



高崎健康福祉大学

Takasaki University of Health and Welfare

2020

令和 2 年度

シラバス

健康福祉学部 医療情報学科



令和 2 年度 医療情報学科 シラバス目次

基礎教養ゼミ(教養基礎).....	4	英語 IVB(リテラシー).....	91
日本語表現法(教養基礎).....	7	英語 IVC(リテラシー).....	93
日本国憲法(教養基礎).....	9	Integrated English I(リテラシー).....	95
法学(教養基礎).....	11	Integrated English II(リテラシー).....	97
経済学(教養基礎).....	13	ドイツ語(リテラシー).....	99
社会学(教養基礎).....	16	フランス語(リテラシー).....	101
生涯健康論(教養基礎).....	18	ポルトガル語(リテラシー).....	103
生涯学習概論(教養基礎).....	21	中国語(リテラシー).....	105
生命と環境の科学(教養基礎).....	23	ハングル語(リテラシー).....	107
国際関係論(教養基礎).....	27	コンピュータ入門 I (リテラシー).....	109
体育理論(教養基礎).....	30	コンピュータ入門 II (リテラシー).....	111
体育実技(教養基礎).....	32	コンピュータ実習 I(リテラシー).....	113
キャリア形成論(教養基礎).....	36	コンピュータ実習 II (リテラシー).....	115
哲学(人間理解).....	39	世界の社会福祉発達史(専門教養科目).....	117
倫理学(人間理解).....	41	国際保健医療論(専門教養科目).....	119
心理学(人間理解).....	43	世界の歴史と日本(専門教養科目).....	122
文学と人間(人間理解).....	45	人間行動学(専門教養科目).....	124
芸術論(人間理解).....	47	健康運動実技(専門教養科目).....	126
ボランティア・市民活動論(人間理解).....	49	宗教と倫理(専門教養科目).....	128
人権論(人間理解).....	52	レクリエーション論(専門教養科目).....	130
人間関係論(人間理解).....	55	数学基礎 I (専門導入科目).....	133
ジェンダー論(人間理解).....	57	数学基礎 II (専門導入科目).....	135
共生の倫理(人間理解).....	59	物理学基礎(専門導入科目).....	137
チーム医療アプローチ論(人間理解).....	61	生物学基礎(専門導入科目).....	139
国際医療事情(人間理解).....	63	化学基礎(専門導入科目).....	141
Introduction to Healthcare Sciences(人間理解).....	66	医療概論(医学英語 I を含む)(専門導入科目).....	143
囲碁の世界(人間理解).....	69	情報セキュリティ I (専門導入科目).....	145
英語 IA(リテラシー).....	71	プログラミング I (C プログラミング基礎)(専門導入科目).....	147
英語 IB(リテラシー).....	73	Web デザイン I (専門導入科目).....	149
英語 IC(リテラシー).....	75	情報システム概論(専門導入科目).....	151
英語 IIA(リテラシー).....	77	Early Exposure(専門導入科目).....	153
英語 IIB(リテラシー).....	79	データサイエンス I (専門導入科目).....	155
英語 IIC(リテラシー).....	81	人体構造・機能論(専門基幹科目).....	157
英語 IIIA(リテラシー).....	83	臨床医学総論(専門基幹科目).....	159
英語 IIIB(リテラシー).....	85	臨床医学各論 I (感染症・寄生虫、血液)(専門基幹科目)	161
英語 IIIC(リテラシー).....	87	臨床医学各論 II (新生物、代謝・内分泌)(専門基幹科目)	
英語 IVA(リテラシー).....	89		

令和2年度 医療情報学科 シラバス目次

.....	163
臨床医学各論Ⅲ(循環器・呼吸器)(専門基幹科目)	165
臨床医学各論Ⅳ(消化器・腎泌尿器、皮膚)(専門基幹科目)	167
臨床医学各論Ⅴ(周産期、筋骨格)(専門基幹科目)	169
臨床医学各論Ⅵ(精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ)(専門基幹科目)	171
保健医療情報学(専門基幹科目)	173
生体情報学Ⅰ(専門基幹科目)	175
診療情報演習Ⅰ(専門基幹科目)	177
診療情報演習Ⅱ(専門基幹科目)	179
情報数学基礎(専門基幹科目)	181
情報システム各論(専門基幹科目)	183
ネットワークⅠ(専門基幹科目)	185
データベース概論(専門基幹科目)	187
プログラミングⅡ(Cプログラミング基礎)(専門基幹科目)	189
プログラミングⅢ(Cプログラミング応用)(専門基幹科目)	191
プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目)	193
情報演習Ⅰ(専門基幹科目)	195
情報演習Ⅱ(専門基幹科目)	197
Web デザインⅡ(専門基幹科目)	199
情報処理演習Ⅰ(専門基幹科目)	201
アルゴリズムとデータ構造Ⅰ(専門基幹科目)	203
マルチメディアⅠ(専門基幹科目)	205
データサイエンスⅡ(専門基幹科目)	207
医療管理総論(専門展開科目)	210
医療管理各論Ⅰ(専門展開科目)	212
医療管理各論Ⅱ(専門展開科目)	214
医療管理各論Ⅲ(専門展開科目)	216
診療情報管理Ⅰ(専門展開科目)	218
診療情報管理Ⅱ(専門展開科目)	221
診療情報管理Ⅲ(専門展開科目)	223
医療統計学Ⅰ(専門展開科目)	225
医療統計学Ⅱ(専門基幹科目)	227
医療統計学演習(専門展開科目)	230
医療情報学各論(専門展開科目)	232
生体情報学Ⅱ(専門展開科目)	234
国際統計分類Ⅰ(専門展開科目)	236

国際統計分類Ⅱ(専門展開科目)	238
医療事務論Ⅰ(医療事務の基礎知識)(専門展開科目)	240
医療事務論Ⅱ(点数計算とレセプトの書き方Ⅰ)(専門展開科目)	242
医療事務論Ⅲ(点数計算とレセプトの書き方Ⅱ)(専門展開科目)	244
医療事務論Ⅳ(点数計算とレセプトの書き方Ⅲ)(専門展開科目)	246
医療経済学(専門展開科目)	248
ソフトウェア工学(専門展開科目)	251
ネットワークⅡ(専門展開科目)	254
コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目)	256
情報処理演習Ⅱ(専門展開科目)	258
マルチメディアⅡ(専門展開科目)	260
Web デザインⅢ(専門展開科目)	262
Web プログラミングⅠ(専門展開科目)	264
Web プログラミングⅡ(専門展開科目)	266
オブジェクトプログラミングⅠ(専門展開科目)	268
オブジェクトプログラミングⅡ(専門展開科目)	270
アルゴリズムとデータ構造Ⅱ(専門展開科目)	272
アニメーション制作演習(専門展開科目)	274
データサイエンスⅢ(専門展開科目)	276
情報セキュリティⅡ(専門導入科目)	278
病院実習(応用展開科目)	280
インターンシップ(応用展開科目)	281
Web 制作演習(応用展開科目)	282
特別ゼミⅠ(応用展開科目)	284
特別ゼミⅡ(応用展開科目)	285
特別ゼミⅢ(応用展開科目)	286
特別ゼミⅣ(応用展開科目)	287
情報演習Ⅲ(応用展開科目)	288
情報演習Ⅳ(応用展開科目)	290
診療情報演習Ⅲ(応用展開科目)	292
診療情報演習Ⅳ(応用展開科目)	294
SPI 講座Ⅰ(非言語能力Ⅰ)(応用展開科目)	296
SPI 講座Ⅱ(非言語能力Ⅱ)(応用展開科目)	298
SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目)	300
SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目)	302
チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)	305

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス目次

医療情報ゼミ(応用展開科目)	307
医療情報学総合演習(応用展開科目)	308
卒業研究(卒業研究)	310
生涯学習社会と図書館(司書)	311
図書館概論(司書)	313
図書館制度・経営論(司書)	316
図書館情報技術論(司書)	318
図書館サービス概論(司書)	320
情報サービス論(司書)	322

児童サービス論(司書)	324
情報サービス演習(司書)	327
図書館情報資源概論(司書)	330
情報資源組織論(司書)	332
情報資源組織演習(司書)	334
図書館サービス特論(司書)	338
図書館情報資源特論(司書)	340

科目名		基礎教養ゼミ(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB001
英文名		Freshman Seminar (FYE)			講義形態	講義
担当教員		町田 修三、根岸 恵子、小泉 英明、武藤 洋一				
科目に関連した実務経験		小泉: 人事、社員教育担当として企業にて勤務(経験) 武藤: 記者、編集者として新聞社にて勤務(経験)				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		充実して実り多い大学生活を送るには、どうしたらいいのだろうか？大学で失敗しないためには、初年時に学生生活の送り方を修得しておくことが極めて大切である。本講義では大学生活のキーとなる、学習方法やレポート執筆等にかかる「学習スキル」、コミュニケーション能力をはじめとした「ソーシャルスキル」、読み書きや数的能力などの「アカデミックスキル」。学生にとって必要なこうしたスキルをしっかりと身につけていくことを、講義の目標としている。受講学生には、積極的に講義に参加する受講態度が求められる。 授業では、ジェネリックスキルをつけるため、できる限りアクティブ・ラーニングを取り入れる。日本語作文能力と数学基礎力は、学習支援センターとのコラボレーションで提出と添削を繰り返して涵養を目指す。				
到達目標		1.大学での学習生活を確立する。 2.基礎学力を確認し、自己学習の方向性をつかむ。 3.社会人に必要とされる言葉使い・文章表現を習得する。■ 4.総合適性検査(SPI)を意識し、対応するための基礎力を養成する。 5.キャリアデザインの構築を図るために、社会常識・マナー等を学び、自ら考え、自ら問える力を養う。■				
評価方法		参加度 50%、提出物 50%で総合的に評価する。総合評価 60%を合格とする。				
使用教材		資料、プリント				
参考文献						
課題に対するフィードバック		提出物・レポート・小テストを返却し、解説をする。基礎力テストや実力テスト後に解説や結果を知らせる。				
オフィスアワー (研究室)		学習支援センター(2号館2階) 月～金開室 以下の時間に質問を受け付ける。 ●数的処理→常時 ●言語関係・レポート等→木曜 3 時限		メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	大学で何を学ぶか(意義と目的)				
	該当到達目標	予習	事前にシラバスを読み、目標を確認し、大学生活をプランニングする。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法等を確認する。			1 時間
2	講義内容	書くためのスキル(ノート、レポート・論文の書き方)				
	該当到達目標	予習	事前配布した資料に目を通しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	ノートテーキング、レポートの書き方をマスターする。			1 時間
3	講義内容	基礎力テスト(計算／言葉)				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3,4	予習	言語・作文・計算や数式など基礎力を確認しておく。	1 時間
		復習	今までの学習を振り返り、復習する。	1 時間
4	該当到達目標 1,2,4	講義内容 解くためのワークⅠ（計算）		
		予習	計算方法や文章題の復習をしておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
5	該当到達目標 1,2,3	講義内容 考えるためのワークⅠ（言葉の多様性①GW）■		
		予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
6	該当到達目標 1,2,3	講義内容 コミュニケーションスキルⅠ（アクティブ・ラーニング GW）		
		予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	レポートを書く。	1 時間
7	該当到達目標 1,2,3	講義内容 考えるためのワークⅡ（言葉の多様性②）■		
		予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
8	該当到達目標 1,2,4	講義内容 解くためのワークⅡ（数的処理①）		
		予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
9	該当到達目標 1,2,5	講義内容 キャリアデザイン■		
		予習	自らの人生設計について考えておく。	1 時間
		復習	レポート書き方を確認しておく。	1 時間
10	該当到達目標 1,2,3	講義内容 考えるためのスキルⅠ（新聞を読み説く）■		
		予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
11	該当到達目標 1,2,4	講義内容 解くためのワークⅢ（数的処理②）		
		予習	前回の問題を解いておく。	1 時間
		復習	配布した問題の残りを解く。	1 時間
12	該当到達目標 1,2,3,5	講義内容 コミュニケーションスキルⅡ（プレゼンテーション GW）		
		予習	事前配布した教材に目を通しておく。	1 時間
		復習	添削を受けた作文を書き直す。	1 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容 シンポジウムーより充実した学生生活をめざして		
		予習	事前配布した資料に目を通しておく。	1 時間
		復習	興味あるトピックについて発表できるようにする。	1 時間
14	該当到達目標 1,2,3,4	講義内容 実力テスト		
		予習	今まで学習した内容を復習しておく。	1 時間
		復習	試験の内容を振り返り、学習する。	1 時間
15	該当到達目標 1,2,3,5	講義内容 考えるためのスキルⅡ（社会を正しく理解する）		
		予習	これまでの講義内容を振り返り、どう活用するかを考えておく。	1 時間
		復習	大学生生活を有意義に過ごすための方策を考える。	1 時間
合計時間（予習・復習）				30 時間

備考	GW＝グループワーク 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修や課題の作成等で各自必要な学習時間を補完すること。 ■：実務経験に基づく内容を示す。

科目名		日本語表現法(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB002
英文名		Japanese expression method				講義形態	講義
担当教員		武藤 洋一					
科目に関連した実務経験		記者として上毛新聞社に勤務。記事全般、コラムを執筆。					
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択	2 単位		
種別							
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
講義概要(テーマ・内容)		日本人の極端な日本語能力低下が問題視される中で、「書き言葉」の表現力を向上させるために、まず自分の考えをまとめ、書くに至るプロセスを理解する。次に日本語の基礎知識の把握と、生じやすい表現上のミスを具体的に認識し、自分の考えをいかに文章化するかを修得する。同時に他者の考えを、発言や文面から把握するとともに、その内容に対する自分の意見を構築、交換、指摘する機会を設け、学士力向上を図る。 現代人がよく間違える慣用句や文章表現について、毎回実例を示しながら説明する。また、高校までに学ぶ機会が少なかったと思われる四字熟語・ことわざなどを、講義時間の一部を使って説明する。小論文を「書く→添削→返却」を 3 回程度実施する。					
到達目標		1.自分の「考え」をまとめ、意思表示できる。 2.日本語の基礎知識を表現・文法・語彙の三側面から確認し、理解できる。 3.日本語表現の基本的ミスを確認し、理解できる。■ 4.文章の組み立て方を理解し、習得できる。 5.日本語表現的に正確な文章が書けるようにする。■					
評価方法		筆記試験(80%)・授業参加度(20%)によって総合的に評価する。評価方法の基準は講義時に通達する。					
使用教材		担当教員作成のプリント。					
参考文献							
課題に対するフィードバック		提出した文章の欠点・修正点を謙虚に捉え、新たな文章作成の場に生かし、文章力向上に挑戦する。					
オフィスアワー(研究室)		授業の前後 1～2 時間。		メールアドレス(#→@)		連絡手段は授業時に説明する。	
1	講義内容	原稿用紙の書き方(実際に執筆する)■					
	該当到達目標	予習	400 字詰め原稿用紙の使い方				1.5 時間
	1	復習	カッコや句読点の書き方 その日の出来事を原稿用紙に書いてみる				1.5 時間
2	講義内容	日常生活の心掛け 小テスト(漢字の特殊読み)					
	該当到達目標	予習	社会の変動に関心を持つ				1.5 時間
	1,4	復習	活字を読む習慣を身に付けるにはどうすべきか考える				1.5 時間
3	講義内容	三段論法と逆三角形■ 小テスト(書けそうで書けない漢字)					
	該当到達目標	予習	新聞記事を段落ごとに考えながら読む(新聞は図書館にある)				1.5 時間
	2,4	復習	新聞記事を「逆三角形」を意識しながら熟読する				1.5 時間
4	講義内容	文章をうまく見せる 3 力条■ 小テスト(同音異義語)					
	該当到達目標	予習	1 回目に書いた文章を見直す				1.5 時間
	2,4	復習	1 回目に書いた文章を書き直してみる				1.5 時間
5	講義内容	主語と述語■ 小テスト(四字熟語ことわざ①)					
	該当到達目標	予習	テキストをチェックしておく				1.5 時間
	2,3	復習	テキストの悪文例を正しく直す				1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	小論文執筆(複数のテーマから1つを選んで書く)			
	該当到達目標 1,2,3	予習	4回目のプリントチェック	1.5 時間	
		復習	書き足りなかったことがないか	1.5 時間	
7	講義内容	修飾語■ 俳句 小テスト(間違い探し①)			
	該当到達目標 2,4	予習	文章はリズムが大切 俳句を作ってみる	1.5 時間	
		復習	プリントの悪文例を見直す	1.5 時間	
8	講義内容	話し言葉と書き言葉■ 小テスト(四字熟語ことわざ②)			
	該当到達目標 2,3	予習	「ら」抜き言葉の長所短所	1.5 時間	
		復習	話し言葉を書き言葉にしてみる	1.5 時間	
9	講義内容	手紙を書く			
	該当到達目標 1,4	予習	誰宛に書くか、何を書くか準備する	1.5 時間	
		復習	授業で書いたほかにも書いてみる	1.5 時間	
10	講義内容	センテンスは短く■ 小テスト(同義語反対語)			
	該当到達目標 3,4	予習	新聞のコラムを読む	1.5 時間	
		復習	悪文例を直す	1.5 時間	
11	講義内容	小論文執筆(同じ形容詞や動詞を何度も使わないように)■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	4回目、7回目のプリント見直し	1.5 時間	
		復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間	
12	講義内容	敬語 小テスト(四字熟語ことわざ③)			
	該当到達目標 3,4	予習	敬語の種類を調べる	1.5 時間	
		復習	プリントの問題を解く	1.5 時間	
13	講義内容	推敲■ 小テスト(間違い探し②)			
	該当到達目標 2,4,5	予習	書籍、新聞を声に出して読む	1.5 時間	
		復習	自分の文章を直してみる	1.5 時間	
14	講義内容	小論文執筆(小論文のテーマに沿ってタイトルを自分で書く)■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	社会問題を考える	1.5 時間	
		復習	別のテーマで書いてみる	1.5 時間	
15	講義内容	覚えておきたい短詩と台詞			
	該当到達目標 3,4,5	予習	知っている俳句短歌を思い出してみる	1.5 時間	
		復習	声に出して読んでおく	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す				

科目名	日本国憲法(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB003
英文名	Japanese Constitution				講義形態	講義
担当教員	金井 洋行					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療及び情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決能力				
講義概要 (テーマ・内容)	憲法の基本理念と日本国憲法に関する基礎的知識を習得することを第一義的な学習目標とする。第二に、社会人として要求される価値規範意識を、憲法学習を通して醸成することを目指す。終局的に、身近な生活関係の中から人々の権利の保護や社会への参加の問題を探り出し、憲法上の課題の理解を深めることを目標とする。講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的あるいは国際的に大きな政治の動きがあった場合には、その話題を飛び入りのに割り込ませることはある。日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。					
到達目標	1.日本国憲法を貫いている思考や仕組みと日本国憲法の歴史的背景を理解することができる。 2.憲法が解決すべき紛争について、その歴史的、社会的背景を認識することができる。 3.市民相互間の法的関係や公的部門のそれに対する機能の関連性を考察することができる。 4.政治の世界で起きている出来事について、具体的な憲法規定と結びつけることができる。 5.主要な学説について、その対立の背景と主張のねらいを認識することができる。					
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテスト					
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキスト:有斐閣新書『注釈憲法』) *テーマによっては DVD の視聴あり。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)					
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	憲法とは何か?ー憲法学習の意義と憲法の本質ー				
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 233-243 頁			2 時間
	1	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	国家・国民・政府ー憲法を構成する基本要素の内容ー				
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-6 頁、138-140 頁			1 時間
	1	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	日本国憲法の制定過程				
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 2-4 頁、資料;「日本国憲法の有効性」			1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	日本国憲法の基本構造と特色				
	該当到達目標	予習	資料「日本国憲法の体系」熟読と疑問点の究明			1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
5	講義内容	国民主権と天皇制				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 5-26 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	平和主義と9条解釈の変遷		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 27-33 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	基本的人権の沿革と観念		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 40-44 頁、232-234 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	基本的人権規定の適用問題(範囲と限界)		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 35-36 頁、40-45 頁	1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	個人主義・自由主義・平等主義		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 42-67 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	日本国憲法上の諸権利の性格(消極的権利と積極的権利)		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 68-87 頁	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国会の地位と選挙の構造と機能		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 109-121 頁、133-136 頁、145-149 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	行政権の意義と内閣の組織・権限の特徴		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 154-168 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	司法権の意義と裁判のルール		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 179-184 頁	1 時間
	4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	権力分立と地方自治・分権		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 111-120 頁、214-226 頁	1 時間
	1,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	憲法改正と憲法保障		
	該当到達目標	予習	テキストの熟読と疑問点の究明 227-243 頁	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日々の社会や政治の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりに考えておくことを期待する。			

科目名	法学(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB004
英文名	Law				講義形態	講義
担当教員	金井 洋行					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療及び情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	法の存在意義を人生の節目で生じる法律問題を通して理解することを基幹的目標とする。生活上生じる法律問題や法的処理事項の背景にある法社会学的意味を考える。法律関係は権利義務の変動の関係であるので、それぞれ権利義務とその変動要因にどのような種類があるかを知ることを目指す。法律関係の基本的システムを習得することによって、社会的生活者に要求される法規範意識を身につける。 講義内容はできうるかぎり予定通り進行させるが、期間内に大きな社会問題が発生した場合には、その話題あるいは関連する事項を飛び入的に割り込ませることがある。					
到達目標	1.法の存在意義や社会的機能の全体的な姿を理解することができる。 2.法制度の社会学的意義を理解することができる。 3.契約関係のシステムの意義と特色を理解することができる 4.家族関係の法的処理の方法を理解することができる。 5.法的紛争処理の限界を知り円滑な生活関係を維持する手法を考察することができる。					
評価方法	・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 3 回の知識テスト又はレポート、定期試験は知識と思考力のテストを実施する。					
使用教材	テーマ別レジュメ、概要・事例資料(テキストに代替するプリント) *テーマによっては DVD の視聴あり。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)					
オフィスアワー (研究室)	出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	法の意義と機能				
	該当到達目標	予習	高校時の社会の教科書「法分野」の箇所を読んでおくこと			2 時間
	1,5	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	成人と法—一人の年齢と能力の法的意味				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	就職と法—採用の法的意味と選別の法的問題				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間
	2,3,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	労働と法—労働契約の内容と労働条件の保護				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み			1 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	結婚と法－婚姻の要件と夫婦の法律関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	親子と法その１－出生をめぐる法律問題と親子関係の形成		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	親子と法その２－親権関係と扶養関係		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	教育と法－義務教育の意義と就学過程の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	社会活動と法－団体の法律関係と団体生活の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	社会負担と法－租税等の国民負担と公共生活上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	国際化と法－出入国管理の法律関係と涉外事件の処理		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	財産関係と法－取引の法律関係と契約締結上の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,3	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	犯罪と法－犯罪・刑罰の法的意味と科罰手続の法律問題		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	争い事と法－紛争の法的処理方法と裁判の仕組み		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	老年期と法－介護・医療の法律問題と人の死の法的意味		
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「概要・事例資料」読み込み	1 時間
	1,2,4,5	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日々の社会の動きに興味をもって様々なニュースソースに接し、自分なりにその背景や解決策を考えておくことを期待する。			

科目名		経済学(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB005
英文名		Economics			講義形態	講義
担当教員		町田 修三				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		経済に関する知識は一般社会や国際社会において極めて重要であるものの、多くの学生は十分な知識を持っていない。選挙権が与えられても経済知識なしで投票に行くのは危険である。この講義では身近なトピックを通して基礎的経済の知識を習得し、国内外の社会のメカニズムや流れを理解できるようになることを目的とする。レベルとしては、新聞やテレビのニュースがしっかりと理解できるようになることを想定している。また、医療分野を専攻する学生にとっては、医療の経済面からの考察も講義に取り入れるので参考にして理解を深めてほしい。 授業開始時に学生から出された質問・疑問に答えながら、前回の復習をする。授業中はクイズをはじめとした問いかけを多く出し、可能な限りアクティブ・ラーニングの導入を試みる。				
到達目標		1.日本の経済の現状を説明できる 2.需要と供給、市場メカニズムについて理解を深め、概説できる 3.景気や GDP について理解を深め、概説できる 4.国の予算や税金制度について説明できる 5.お金の流れや物価変動について説明できる 6.経済政策について理解を深め、他者に説明できる 7.為替レートの変動と貿易の実態について概説できる 8.新聞やテレビのニュースが理解でき、他者に解説できる				
評価方法		学期末試験 80%、毎回の授業の最後に提出するコメントカード、その他の提出物(クイズ、小レポートなど)20%				
使用教材		必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する。				
参考文献		推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。				
課題に対するフィードバック		コメントカードに記載された質問事項、疑問点等に関しては、次回の講義で回答する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートにはコメントを付して返却する。				
オフィスアワー(研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス(#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション(一部 AL[アクティブ・ラーニング]実施)				
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
	8	復習	ニュースに触れる習慣(新聞、テレビ、ネット)を開始する			1 時間
2	講義内容	日本経済の流れ(世界との比較のなかで)				
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく			1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

3	講義内容	経済政策の2大潮流—マーケット or ケインズ(一部AL実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
4	講義内容	需要と供給(需要曲線の意味)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
5	講義内容	市場メカニズムと価格(どうして水よりもダイヤモンドのほうが高いんだろう?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
6	講義内容	価格の変動(どうして缶コーヒーやペットボトルのお茶は、どれも同じ値段なんだろう?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
7	講義内容	国民所得Ⅰ(国の経済力はどう測るんだろう? GDPって何?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
8	講義内容	国民所得Ⅱ(あなたが1万円使うとGDPはいくら増える?)(一部AL実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
9	講義内容	財政(日本の借金は大丈夫? 消費税は何%に?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,4,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
10	講義内容	景気と失業(不景気で学生の就職はどうなる?)(一部AL実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,3,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
11	講義内容	金融(日本銀行は何をすること?)(一部AL実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,5,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
12	講義内容	経済政策のしくみ(アベノミクスは何をした?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,6,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
13	講義内容	為替レートメカニズム(円高、円安ってどうして起こるの?)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
14	講義内容	世界と日本(日本の貿易は黒字? 赤字?)(一部AL実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1,7,8	復習	講義内容の再理解と、新聞・テレビのニュースを自主学習	1.5 時間
15	講義内容	まとめと確認のためのテスト		
	該当到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3,4,5,6, 7,8	復習	期末試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				39 時間
備考	AL(アクティブ・ラーニング)は、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョン、ペアワーク、グループワークなど。 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修(推薦テキストの講読、新聞・雑誌の経済記事講読等)により、必要な学修時間を各自で補完すること。			

科目名	社会学(教養基礎)				科目 ナンバリング	LAB006
英文名	Sociology				講義形態	講義
担当教員	安達 正嗣					
科目に関連した 実務経験	兵庫県庁の家庭問題研究所において3年間、研究員ならびに主任研究員として兵庫県の各市町村で家族・高齢者・福祉調査を実施し調査資料を作成することによって、各課への政策提言をおこなった。					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	社会学的なものの見方とは、どういうものなのか、社会的にもの考えるときに使用する専門的概念・用語には、どのようなものがあるのかなどといった社会学の基本の理解を目指す。使用教材を中心にしながら、日常の具体的な事例から解説することによって、基本的な社会学の考え方を身につける。 毎回、講義後にリプライペーパーを受講生に配布して、その回の講義内容と質問・意見を記入してもらい、次回には質問・意見に答えながら、前回の講義を振り返り理解を定着化させてから、講義をおこなう。					
到達目標	(1)大学生として社会学の基本的な考え方を身につけることができる。 (2)社会学を通じて、豊かな人間性と倫理観を身につけることができる。 (3)日常の人間関係を理解することによって、コミュニケーション能力を身につける。 (4)社会の仕組みを理解して、現代社会における自分自身の立ち位置を知ることができる。 (5)現代社会の社会問題を認識して、その解決を探る能力を身につけることができる。■					
評価方法	平常点(毎回提出してもらいリプライペーパーについては、第1回目の講義で説明します)50%、学期末試験 50%です。					
使用教材	篠原清夫・栗田真樹編著『大学生のための社会学入門』晃洋書房					
参考文献	講義中に、適宜指示する。					
課題に対する フィードバック	各受講生の提出したリプライペーパーに書かれた質問、意見、要望などに対して、つぎの講義の前に答える。場合によっては、担当教員と受講生、あるいは受講生同士のディスカッションをおこなうことを通じて、社会学の理解を深める。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日 5 限・6 限			メールアドレス (#→@)	adachi-m#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション、第1章社会学とは何か(1～12 頁)について解説する。				
	該当到達目標	予習	第1章を読んでおくこと。1 頁の予習課題をしておくこと。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第1章の内容を理解しておくこと。9 頁の課題をしておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	第2章社会を観察する方法(13～24 頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第2章を読んで、13 頁の予習課題をしておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第2章の内容を理解し、22 頁の課題をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	第3章社会で生きる「私」(25～35 頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第3章を読んで、25 頁の予習課題をしておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第3章の内容を理解し、34 頁の課題をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	第4章変容する家族のかたち(36～47 頁)を解説する。実務で得た調査結果を提示する。■				
	該当到達目標	予習	第4章を読んで、36 頁の予習課題をしておくこと。			1.5 時間
	1,2,3	復習	第4章の内容を理解し、47 頁の課題をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	第5章性の多様なあり方を考える(48～59 頁)を解説する。				
	該当到達目標	予習	第5章を読んで、48 頁の予習課題をしておくこと。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	第 5 章の内容を理解し、57 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
6	講義内容	第 6 章「現実を生きる」ための社会学—労働・産業・消費—(60～72 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 6 章を読んで、60 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 6 章の内容を理解し、70 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
7	講義内容	第 7 章日本で進展する環境・災害社会学(73～86 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 7 章を読んで、73 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 7 章の内容を理解し、84 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第 8 章社会学から医療を見つめる(87～97 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 8 章を読んで、87 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 8 章の内容を理解し、96 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第 9 章社会学は教育とどう向き合うのか(98～109 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 9 章を読んで、98 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	第 9 章の内容を理解し、108 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 10 章逸脱行動と社会問題(110～121 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 10 章を読んで、110 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 10 章の内容を理解し、119 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 11 章「格差」の社会学(122～134 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 11 章を読んで、122 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 11 章の内容を理解し、132 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 12 章生活空間としての地域社会(135～149 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 12 章を読んで、135 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 12 章の内容を理解し、144 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 13 章グローバル社会とエスニシティ(150～162 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 13 章を読んで、150 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 13 章の内容を理解し、162 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	第 14 章宗教から社会を捉える(163～176 頁)を解説する。		
	該当到達目標	予習	第 14 章を読んで、163 頁の予習課題をしておくこと。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	第 14 章の内容を理解し、173 頁の課題をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	全講義を振り返り、社会学の考え方についてまとめる。		
	該当到達目標	予習	教科書とノートを読み直して、全講義の理解の確認をしておくこと。	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	全講義の内容と概念について、再確認をしておくこと。	3 時間
合計時間(予習・復習)				48 時間
備考	各受講生が、毎回の講義内容を自分自身の身近な具体的な状況のなかで理解することによって、社会学の考え方を深めることができるので、そうした観点から意欲的に講義に臨んでほしい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	生涯健康論(教養基礎)			科目 ナンバリング	LAB007
英文名	Lifelong Health Theory			講義形態	講義
担当教員	渡邊 秀臣、五十嵐 康、蒲 章則				
科目に関連した 実務経験	渡邊:非常勤医師(整形外科医)として病院に勤務(現在)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	生涯を幸せで豊かに過ごすための基本は健康である。日本人は世界有数の長寿を誇っているが、自立して生活を送る健康寿命は、平均寿命より約 10 年も短い。本講義では、健康寿命の延伸に向けて生涯にわたる健康維持・管理について理解し、人々の健康寿命延伸に健康支援チームの一員として参加できる基礎知識を身に着けることを目的としている。 講義においては、前半はテーマについて概要を説明し、後半は質疑応答する形式です。レポートについても発表する時間を持ちたい。				
到達目標	1.健康の定義と集団の健康評価指標を理解する。■ 2.個体の健康を維持するため生体の調節機構について理解する。■ 3.環境・生活習慣の変容と疾病発症の関連について理解する。■ 4.健康寿命延伸にむけた取り組みについて理解する。■				
評価方法	授業参加度(課題に対する回答等)およびレポート:60 点、期末試験:40 点で総合 60 点以上を合格とする。				
使用教材	テキストは使用せず、配布資料及び視聴覚資料を使用する。				
参考文献	参考書として、厚生統計協会刊の「国民衛生の動向」を利用する。				
課題に対する フィードバック	レポートに対しコメントする。				
オフィスアワー (研究室)	(金)12:30~13:00 13:30~14:30 研究室 4 号館 2 階学部長室	メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。		
1	講義内容	健康の定義と健康評価指標(渡邊) WHO の提唱した健康の定義を知る。集団の健康評価の指標として最もよく使われるのが平均寿命であるが、寿命には、<平均寿命>、<平均余命>、<健康寿命>、<最長寿命>などの呼び方があり、現在の日本で重要なのは、健康寿命であることを理解する。■			
	該当到達目標	予習	「国民衛生の動向」より健康評価諸指標の年代推移を把握する。		1.5 時間
	1	復習	健康の定義と健康評価指標の理解を深める。		1.5 時間
2	講義内容	健康を維持するための食物と物質代謝(五十嵐) 食物(栄養素)は健康に欠かすことのできないエネルギー源である。その物質代謝(同化・異化作用)に関わる体の構造とその働きを理解しながら健康維持について学習する。			
	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。		1.5 時間
	2	復習	食物のエネルギー代謝と健康について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	恒常性維持機構の役割と相互作用(五十嵐) 生体には様々な生理機能をバランスよく正常に機能・維持するための調節機構、すなわち「恒常性維持機構(ホメオスタシス)」が備わっている。このシステムは主に 神経系、内分泌系及び免疫系で構成される。また、食物の消化・吸収を担う腸管では細菌の侵入を防ぐ恒常性機構が働いている。これらの様々な維持機構の働きと相互作用について学習する。			

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

2	該当到達目標	予習	人体構造・生理学の参考書で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	生体の恒常性機構と健康維持の関係を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	運動と健康(渡邊) 運動には、健康維持のための恒常性維持システムを正常に働かせるための運動と筋力を鍛えるための運動がある。ここでは、恒常性維持のための運動とその役割及び自立生活を支え、健康寿命を延ばすための筋力を鍛える運動について理解する。■		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	健康維持における運動の生理学的意義と健康寿命延伸に向けた運動について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	喫煙による健康障害(渡邊) たばこが、発がん性だけでなく、血液循環障害や一酸化炭素中毒などの「喫煙と健康障害」のメカニズムについて理解する。「受動喫煙の影響」についても考える。■		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	喫煙とその健康障害及び健康障害の機序を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	生活習慣病の起因となる肥満(五十嵐) 肥満は原因により原発性肥満(エネルギー摂取過多など)と二次性肥満(性腺機能低下など)に分けられるが、いずれも高血圧、糖代謝異常、脂質代謝異常などの代謝障害の基盤となり、虚血性心疾患や脳血管障害などの動脈硬化性疾患を発症する危険因子となる。それらの起因となる肥満の発症と予防について学習する。		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	肥満とメタボリックシンドロームの病態と対策を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	生活習慣病の危険因子としての糖尿病(五十嵐) 2 型糖尿病(インスリン抵抗性糖尿病)は、冠動脈や脳動脈の動脈硬化、さらには腎障害、視力障害及び神経障害の 3 大合併症の誘発のみならず、健康寿命短縮の危険因子でもある。危険因子としての糖尿病とその予防法について学習する。		
	該当到達目標 2,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	糖尿病の病態と対策を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	生活習慣病(脳血管障害)と認知症(五十嵐) 血管性認知症はアルツハイマー病に次いで 2 番目に多い認知症である。脳は全身の 20%近い血液を必要とする臓器であることから、その発症は循環器障害などの生活習慣病と密接に関係する。ここでは血管性認知症と他の認知症の病態を比較しながら、その予防と治療の現状について学習する。		
	該当到達目標 1,3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	認知症の病態と原因、予防、治療などの現状について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ロコモティブシンドローム(渡邊) 脳卒中と運動器障害は介護の主要原因となっている。骨粗鬆症・サルコペニア・運動器不安定を特徴とするロコモティブシンドローム対策が健康寿命の延伸に重要である。ロコモティブシンドロームの早期診断と予防の重要性について理解する。■		
	該当到達目標 3,4	予習	人体構造・生理学の参考書及び「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
		復習	加齢に伴う運動器障害を理解し、早期診断と予防の重要性について理解する	1.5 時間
10	講義内容	生活習慣病(がん)と生活習慣(渡邊) 日本人の死亡原因の 1 位はがん、2 位は心疾患、3 位は脳卒中であり、いずれも生活習慣に起因する。ここでは、がんという疾患を理解し、がんを発症する生活習慣「がん発症危険因子」を知る。また、「がん予防のための生活習慣」及び早期発見・早期治療のための「がん検診」の重要性について理解する。■		
	該当到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	3,4	復習	生活習慣と発がんとの関係を理解し、がん対策基本計画などその対策について学習する。	1.5 時間
11	講義内容	WHO の歴史と活動内容(蒲) 第2次世界大戦後に設立された国際専門機関として、戦後から現代にいたるまでの活動変遷を検証する。WHO の取り組みを理解し、現在ある WHO の問題点、改善点を考察する。健康であることがいかにその国の活力(国力)に寄与するかを理解する。		
	該当到達目標	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
	1,4	復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
12	講義内容	すべての人に健康を(蒲) アルマータ宣言で採択された「すべての人に健康を」スローガンのもとに、各国が公衆衛生の原点に立ち返り、保健行政戦略を作成、さらに現代進められている持続可能開発目標(SDGs)に向けたユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)にいたることを検証する。		
	該当到達目標	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
	1,4	復習	国際機関での世界の保健戦略を学習する	1.5 時間
13	講義内容	途上国の保健医療の現状と保健行政戦略(蒲) 途上国の人種、風土、歴史的背景、宗教等を考察し、独自の保健行政戦略を実施しているが、その成果や反省点を検証し、日本における地域医療の課題を含めて、今後の対策を考察する		
	該当到達目標	予習	WHO ウェブサイトで該当部分を学習する	1.5 時間
	1,3,4	復習	国際機関で発展途上国への保健戦略を学習する	1.5 時間
14	講義内容	厚生労働省の役割と健康への投資(蒲) 膨大な医療・介護予算をどのように有効に使うか、保健医療行政の立場から検証考察をする。各国の取り組みを比較検証し、今後の行政の取り組みを考える。		
	該当到達目標	予習	厚生労働省のウェブサイトで該当部分を学習する。	1.5 時間
	1,3,4	復習	日本における厚生労働省の保健戦略と動向を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	地域における健康支援チーム構成員とその役割(チーム医療)(渡邊) これまでは、健康管理は個人が自分自身の責任で行うとされてきたが、地域における集団での支えあいに重点を置くようになった。地域における健康支援には、本人、家族を中心に、医療専門職者、診療情報管理士、管理栄養士、福祉専門職者、その他多数の職種者からなる<健康支援チームによるチーム医療>が必要である。どのような職種がどのような役割を果たしてチームを構成して健康を支えようとしているのかを理解する。■		
	該当到達目標	予習	「国民衛生の動向」で該当部分を学習する。	1.5 時間
	4	復習	地域包括ケアシステムを理解し、地域における健康づくりチームの構成員としての各人の役割を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		生涯学習概論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB008
英文名		Introduction to Lifelong Learning			講義形態	講義
担当教員		北村 陽				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別		なし				
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		我々の多くは「学校教育」を中心に「教育」を受けてきたが、人間が学ぶ場は学校だけではない。本授業では、「教育」ではなく「学習」の視点から、公民館・博物館・図書館等の社会教育施設における学習など、「生涯学習」について学ぶ。授業の進め方としては、各テーマについての説明を聞くだけではなく、話し合い活動を通じて課題に取り組むことによって理解を深めていく。 授業の進め方: 少人数や全体での話し合い活動に加え、フィールドワーク(生涯学習施設への訪問)、その成果の発表など多様な学習活動を行います。学校教育の最終段階である大学で学ぶ皆さんにとって、今後の人生で重要となる「生涯学習」について学ぶ意義は大きいと思います。ただし、上記のような活動を重視するため、他者と協力しながら積極的に「学ぼう」という意欲が無い人には不向きです。予習・復習については、小テストの学習等で補完してください。				
到達目標		1.「生涯学習」や「生涯学習社会」の理念について理解している。 2.社会教育施設等における学びの概要・特徴について理解している。 3.他者と協力しながら課題に積極的に取り組むことができる。				
評価方法		テストに 50%、日常点(授業への参加、授業態度、課題への取り組み、討論、授業に対する貢献度等)に 50%を配分して総合評価する。				
使用教材		『よくわかる生涯学習 改訂版』(香川正弘・鈴木眞理・永井健夫編、ミネルヴァ書房、2019 年、2,500 円(税別))				
参考文献		講義中に適宜、紹介する。				
課題に対するフィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んでおく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、授業の概要を確認し、生涯学習を学ぶ意味を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	「学習」とは何か				
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	なぜ「生涯学習」がクローズアップされるのか				
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	人は発達段階に応じて何を学ぶか				
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	就職すると人はどのような学習をするのか				
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	1,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	公民館とは何か		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	図書館とは何か		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	博物館とは何か		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	美術館とは何か		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	青年の家・少年自然の家とは何か		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	グループ発表①		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	グループ発表②		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	グループ発表③		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	グループ発表④		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	グループ発表⑤		
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	資料を読んで、専門用語について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名		生命と環境の科学(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB009
英文名		Science of Environment and Life			講義形態	講義
担当教員		奥 浩之				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題など、高校までに学んだ知識をもとに、わかりやすく順を追って説明してゆく。具体的な事項を取り上げることで、漠然とした生命と環境についてのイメージを一新してもらうことを目的としている。生命分子の構造学習を行うことがあるので、各自で利用できるパソコンのあることが望ましい。(パソコンは持参する必要はなく、自宅で使用できればよい。) 毎回、生命科学と環境科学の一つのトピックスについて、現状と問題・将来の課題などを説明してゆく。生命分子の構造学習を行うことがある。				
到達目標		1.地球環境について元素、物質循環、気候変動の観点から説明できる。 2.生命を構成する分子(核酸、タンパク質)について、分子構造、反応機構、応用の観点から説明できる。 3.私たちの生活に関連して、食品、バイオマス、プラスチックごみ、医薬品や医療機器、のトピックスについて説明できる。 4.グローバルな視点から、新しい感染症、ワクチン開発、などのトピックスについて説明できる。 5.様々な文献や資料を参照し、レポート形式または要約・箇条書きの形式でまとめられるようになる。				
評価方法		レポート課題 50%、授業参加度 50%				
使用教材		使用しない(講義にて用いるスライドを配布予定)				
参考文献						
課題に対するフィードバック		提出されたレポート課題に対しては、コメントを付けて返却または講義時間内に課題の解説を行うことで受講学生へフィードバックする。				
オフィスアワー (研究室)		質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	生命と環境－自己紹介と研究について				
	該当到達目標	予習	(1)免疫系と免疫グロブリンについて調べてみよう。 (2)DNA 配列を測定する方法について調べてみよう。			1 時間
	1,5	復習	(1)抗体医薬品について (2)免疫グロブリンの分子構造と役割について(特に IgG を構成する重鎖と軽鎖はどのような結合で結びついているか? 着目してみよう。) (3)次世代シーケンサーについて			1.5 時間
2	講義内容	生命と環境－地球における元素の循環				
	該当到達目標	予習	元素周期表(http://stw.mext.go.jp/series.html)を読んでみよう。			1 時間
	1,5	復習	(1)人体を構成する元素の存在比 (2)主要元素・微量・超微量元素の具体的な元素名 (3)様々な元素の生体または医薬品における役割			1.5 時間
3	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	(1)ヒトの活動による、水需要の増大、化石燃料の大量燃焼、窒素肥料の大量使用と地球環境への影響について調べてみよう。	1 時間
	1,5	復習	(1)大気・土壌における物質循環 (2)水循環、窒素循環、炭素循環、硫黄循環、リン循環の特徴 (3)人類の活動による物質循環への影響	1.5 時間
4	講義内容	生命と環境－温室効果ガスによる地球温暖化		
	該当到達目標	予習	(1)温室効果ガスとは？温室効果は何故起こるか？調べてみよう。	1 時間
	1,5	復習	(1)地球上での物質循環は気候変動と密接に関連する (大気を暖める要因と冷やす要因) (物質循環の詳細な研究による、地球環境変化の予測) (2)IPCC 第 5 次報告書(2014 年)における RCP シナリオ (気候モデルによって予測された 21 世紀末の世界の気温) (世界全体の CO ₂ 累積排出量と気温上昇量は比例する) (3)国連気候変動枠組条約 (日本における温室効果ガス削減目標)	1.5 時間
5	講義内容	生命と生体分子・・・DNA 二重らせんと X 線構造解析		
	該当到達目標	予習	ワトソンとクリックによる DNA 二重らせんモデル (1)当時用いられた分子モデル(ロンドン・サイエンスミュージアム) http://www.sciencemuseum.org.uk/broughttolife/objects/display?id=6145 (2)1953 年の論文 http://www.nature.com/nature/dna50/watsoncrick.pdf (3)DNA 構造について(英文なので、最初は図を見るのがよい) 特に Figure 5 を見て、3 種類の二重らせん構造があることに注目しよう http://www.nature.com/scitable/topicpage/discovery-of-dna-structure-and-function-watson-397	1 時間
	2,5	復習	(1)DNA の分子構造は X 線回折法によって求められる (2)ブラッグの回折条件式 (3)DNA 繊維写真の X 型パターン	1.5 時間
6	講義内容	生命と生体分子・・・タンパク質の構造と機能		
	該当到達目標	予習	(1)タンパク質を構成する 20 種類のアミノ酸とは？ (2)アミノ酸の“光学活性”とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)アミノ酸 20 種類の分子構造 (2)X 線回折測定によるタンパク質の 3 次元構造解析 (3)NMR 測定によるタンパク質の 3 次元構造解析	1.5 時間
7	講義内容	生命と生体分子・・・さまざまなタンパク質		
	該当到達目標	予習	(1)膜タンパク質とは？ (2)リボソームにおけるタンパク質合成 (3)アイスクリームの成分について。特に、低脂肪アイスクリームはなぜ低脂肪なのか？調べてみよう。	1 時間
	2,5	復習	(1)70S リボソームと tRNA の分子構造(PDB ID: 4v4j) (PDB ID: 2tra)	1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

			(2)カルモデュリンの分子構造変化(PDB ID: 3cln)(PDB entry 2bbm)	
8	講義内容	生命と生体分子・・・ヘム蛋白(Mb、Hb、Cyt c、CYP450)		
	該当到達目標	予習	(1)ヘムタンパク質とは？ (2)ミオグロビンとヘモグロビンの違いは？ (3)CYP3A4 とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)ミオグロビン (PDB ID, 1A6M) (2)チトクローム c (PDB ID, 2B4Z) (3)チトクローム P450 (PDB ID, 1W0E) (4)医薬品の代謝における CYP3A4 の影響について	1.5 時間
9	講義内容	ヒトの活動と環境・・・さまざまな医薬品		
	該当到達目標	予習	(1)コレステロールと高コレステロール血症 (2)認知症とコリン仮説について (3)ポリ乳酸とは？	1 時間
	2,5	復習	(1)スタチン (2)タクロリムス (3)ドネペジル (4)レボフロキサシン	1.5 時間
10	講義内容	ヒトの活動と環境・・・バイオマスとバイオリファイナリー		
	該当到達目標	予習	(1)バイオマスとは？ (2)バイオエタノールとは？ (3)プラスチックゴミ問題とは？	1 時間
	3,5	復習	(1)バイオリファイナリーとは？ (2)バイオガソリンの成分は？ (3)バイオマスプラスチックの具体的な事例は？	1.5 時間
11	講義内容	ヒトの活動と環境・・・食品の安全確保(加工食品の成分)		
	該当到達目標	予習	(1)アクリルアミドの分子構造、用途、注意点	1 時間
	3,5	復習	(1)行政(農水省)では加工食品の安全確保についてどのような活動をおこなわれているか？	1.5 時間
12	講義内容	ヒトの活動と環境:食えると甘い香りが発散するお菓子について		
	該当到達目標	予習	(1)ワインやコーヒーの香りを分析する装置について調べてみよう(ヘッドスペース装置の付いたガスクロトグラフィー/質量分析計) (2)ヒトにおける薬物代謝のしくみ	1 時間
	3,5	復習	(1)ヒトの体の匂いに関与する成分はどのようにして分析されたか？ (2)お菓子を食べてから、体表面から香気成分が発散するまでの経路は？ (ヒトにおける薬物代謝から説明してみよう。)	1.5 時間
13	講義内容	生命と環境・・・さまざまな感染症(AIDS, 結核, マラリアなど)		
	該当到達目標	予習	(1)感染症とは？	1 時間
	4,5	復習	(1)さまざまな感染症について (2)薬剤耐性について	1.5 時間
14	講義内容	生命と環境・・・インフルエンザワクチンの成分		
	該当到達目標	予習	(1)ワクチンによる予防免疫のしくみ	1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	4,5	復習	(1)様々なインフルエンザの治療薬について (2)様々なインフルエンザワクチンについて	1.5 時間
15	講義内容	生命と環境・・・グローバル化によって必要となる新しいワクチン		
	該当到達目標	予習	(1)蚊によって媒介される感染症とは？ (2)グローバル化におけるヒトの移動や経済活動の活発化について	1 時間
	4,5	復習	(1)グローバル化と感染症の拡大はどのように関係するか？ (2)新しいワクチンの開発例について	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			

科目名		国際関係論(教養基礎)			科目ナンバリング	LAB010
英文名		International Relations			講義形態	講義
担当教員		片桐 庸夫				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		新聞やテレビ等のニュースを見て、世界の動きや日本の外交について理解出来るようになること。配布プリントを中心に、講義を行います。現代世界を象徴するドキュメントを収録した DVD を数回用います。また、試験を 3 回程度実施します。その代わり、返却の際には、一人一人に文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導します。その代わり、前期試験は行いません。「復習」に挙げられている本は、参考文献も兼ねています。随時利用して下さい。予習・復習の結果、不明な点、わからない点などありましたら質問して下さい				
到達目標		1.現代世界の理解 2.第 2 次世界大戦後の世界の基本構造の理解 3.国家間の対立要因の理解 4.国家間の相互理解の理解 5.自由主義イデオロギーと社会主義イデオロギーの理解 6.現代の戦争の特徴についての理解 7.国家の安全保障の理解 8.核の下での平和の理解 9.国際秩序概念の理解 10.国際秩序の喪失と国際テロ、難民、民族や宗教の違いに基づく紛争発生要因の理解 11.戦後日本の原型についての理解 12.戦後日本外交の歩み、「戦後」克服の意味の理解 13.日本の課題である国際貢献問題の理解				
評価方法		講義中に行う 3 回程度の試験(60%)、講義に臨む態度(20%)、講義参加度(20%)等により総合評価を行う。				
使用教材		配布するプリントを教材として用いる。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		原則として試験を行った翌週の講義の際に答案を返却する予定である。その際には、一人一人に論文やレポートの文体、文の構成、意味の曖昧な表現、誤字脱字等について指導する。				
オフィスアワー (研究室)		・前期木曜日の昼休み ・非常勤講師控室 随時来てください。講義の後に直接訊ねることも可です。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	講義概要(講義の展開、出席の取り方、試験の方法、成績評価等)についての説明を行う。				
	該当到達目標	予習	必要ナシ			時間
		復習	必要ナシ			時間
2	講義内容	世界の混迷した状況や米国トランプ政権の一国主義、中国の影響力の拡大等について理解する。				
	該当到達目標	予習	1 週間分の新聞の 1,2 面の記事に目を通しておくこと。			1.5 時間
	1,3,7,8,10	復習	ノートテイキングした部分の加筆、整理、それに新聞記事の内容を付加すること。			1.5 時間
3	講義内容	「冷戦の特異性」の意味と大規模な戦争の後に起こりやすい戦勝同盟国間の対立を理解する。				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	プリントのウィーン会議の部分をよく読んでおくこと。	1.5 時間
	1,2,3,9	復習	細谷雄一『国際秩序』中公新書の p.115-120,282 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
4	講義内容	戦勝同盟国間の対立の典型的例であるウィーン会議について理解する。		
	該当到達目標	予習	ウィーン会議参加国の価値観の共有についてプリントを利用して予習すること。	1.5 時間
	2,4,7	復習	『国際秩序』の p.121-124 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
5	講義内容	国際コミュニケーションにとって重要な価値観の共有の意味について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの価値観の共有の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	3,4,5	復習	『国際秩序』の p.128-130 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
6	講義内容	ウィーン会議とは正反対に共通の価値観の欠如していた米ソ間の体制間対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの体制間対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,3,4,5,8	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
7	講義内容	米ソ間のイデオロギー対立について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのイデオロギー対立の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	3,5,7	復習	『国際秩序』の p.237-241 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
8	講義内容	米ソ両国間の安全保障観の相違と戦争の性格の変化(DVD 画像による)について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの安全保障観の相違と戦争の性格の変化の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	6,7,8	復習	DVD 画像を観ながらノートテイキングしたメモを参考にノートにまとめること。	1.5 時間
9	講義内容	冷戦の定義、それに基づく冷戦の起源と終焉について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの冷戦の定義とそれに基づく冷戦の起源と終焉についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,6,7,8	復習	永井陽之介『冷戦の起源』中央公論社の p.6-10 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
10	講義内容	世界を滅ぼすことも可能な究極の兵器である核の下の平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	究極の兵器がもたらした核の下の平和についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,6,7,8	復習	『国際秩序』の p.253-255 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
11	講義内容	冷戦の逆説である戦後の長い平和について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントのガディスの逆説論についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	1,7,8,9	復習	『国際秩序』の p.256-260 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
12	講義内容	冷戦の終焉と終焉後の世界の不安定化の理由・要因について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの国際秩序維持勢力の喪失と国際秩序の喪失の項を読んでおくこと。	1.5 時間
	2,7,9	復習	『国際秩序』の p.281-285 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
13	講義内容	冷戦後初の戦争「湾岸戦争」の意義、テロ・民族対立・宗教対立、難民の大量発生を理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの湾岸戦争、国際秩序なき時代についての項を読んでおくこと。	1.5 時間
	6,7,10	復習	『文明の衝突と 21 世紀の日本』集英社新書の P.21-36 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
14	講義内容	終戦、米国の対日占領政策、天皇制存置、SF 講和、憲法第 9 条、日米安保について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの終戦から SF 講和に至る項を読んでおくこと。	1.5 時間
	7,11,12	復習	小此木・赤木共編『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会の p.288-306 を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

15	講義内容	「戦後」の克服の意味、今日の日本外交の課題について理解する。		
	該当到達目標	予習	プリントの「戦後」の克服、国際貢献問題の項を読んでおく。	1.5 時間
	1,10,13	復習	講義中に配布する新聞の切り抜き記事を読み、内容をノートにまとめること。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				42 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			

科目名		体育理論(教養基礎)		科目 ナンバリング	LAB011
英文名		Physical Education: Theory		講義形態	講義
担当教員		大家 千枝子			
科目に関連した 実務経験		「元気に“動こう・歩こう”」実践リーダー養成講座の講師として、リーダー養成事業に従事している。 (群馬県保健予防課・2018 年度～)			
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択	1 単位
種別					
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、生涯にわたり健康・体力づくりを実践するために必要な基礎知識を学ぶ。自らの健康・体力の現状を把握し、健康・体力づくりに適した身体活動について、その効果や実践方法を知り、実際の生活に活用する能力を養う。 講義中心だが、自身の「体力を知る」ために体育館にて新体力テストを実施する。また新聞を活用した課題を設定しているため、図書館も利用する。			
到達目標		1.現代社会における運動・スポーツの意義を理解し、具体的に述べることができる。 2.自身の健康・体力の状況とともにわが国の健康・体力の現状を把握し、問題点をあげることができる。■ 3.自主的・継続的に健康の保持増進を図るためのアイデアを探り、方法を創造することができる。■ 4.教養を広げるための課題に積極的に取り組み、履修者同士でコミュニケーションをとることができる。 5.人間が創造した運動(文化)の意味を考え、運動への認識を深めることができる。			
評価方法		授業への取り組み実践点 30%、毎回のコメントシート 30%、確認テスト 40%			
使用教材		プリントを適宜配布する。			
参考文献		参考文献を適宜紹介する。			
課題に対する フィードバック		自分以外の履修者による課題(体力テストの結果など)や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。最終日の確認テストは返却予定がないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。			
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。	メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス、大学での学び・健康とは・上達の秘訣を考える			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1,2,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	A 組:体力を知る(新体力テスト)・B 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
3	講義内容	A 組:図書館利用術(図書館コラボ企画)・B 組:体力を知る(新体力テスト)			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	C-learning に測定結果と必要事項を入力する。		0.5 時間
4	講義内容	体力を評価する(体力とは)			
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間
5	講義内容	運動・スポーツの実施状況、体力、体格、継続の仕組みづくり、問題解決のための作戦を立てる■			
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。		0.5 時間
	2,4	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。		0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	体組成、体脂肪の測定方法、エネルギー消費量の算出方法、内臓脂肪について		
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。フィットネスルームで体組成を測定しておく。	0.5 時間
	1,2	復習	今後どのように運動・スポーツを取り入れるか検討する。	0.5 時間
7	講義内容	トレーニングの原理・原則		
	該当到達目標	予習	配布された資料に目をとおす。	0.5 時間
	1,2	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	まとめ、確認テスト		
	該当到達目標	予習	授業でとったノートを読み直し、確認テストに備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	確認テストについて、授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				8 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 【受講上の注意】 ①積極的に C-learning を活用する。スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい。(※整っていない場合は、大学 PC 室などを利用すること。)②欠席した際の配布物は早めに自ら取りに来ること。 【ルール】 次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホの使用 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	体育実技(教養基礎)				科目ナンバリング	LAB012
英文名	Physical Education: Sports & Physical Activities				講義形態	演習
担当教員	佐藤 孝之					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	余暇時間の増大や高齢化が進むなかで、生涯にわたってスポーツに親しむことは、活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に必要不可欠である。本講義では、人との交流を深めながら生涯スポーツへの自己の取り組み方について学ぶ。前半は準備運動やチーム練習などを行い、後半は試合を行う。授業の最後にまとめレポートを作成する。					
到達目標	1.知識・理解の観点:各スポーツ種目の歴史、ルール、マナーを理解・実践できる。 2.思考・判断の観点:安全に効率よく練習およびゲーム運営における自分の役割を思考し、行動できる。 3.関心・意欲の観点:種目特性によって異なる身体感覚について関心をもつことができる。 4.態度の観点:積極的に取り組み、参加者と十分なコミュニケーションを築くことができる。また施設、器具を大切に扱うことができる。 5.技能・表現の観点:基本スキルを獲得することができる。また相手の力量に合わせ、楽しみながらゲームができる。					
評価方法	授業参加度 50%、レポート 25%、授業記録 25%					
使用教材	授業内において適宜配布する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	授業時間内に行う。					
オフィスアワー (研究室)	火曜 1～2 限(非常勤講師)			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ストレッチとレジスタンストレーニング				
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.知っているストレッチ方法にチャレンジしてみること。			1 時間
	1,2,4	復習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を送るために普段の生活を見直すこと。 2.授業内で行ったストレッチやレジスタンストレーニングを積極的に行うこと。			1 時間
2	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・チーム練習)				
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと			1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること			1 時間
3	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・模擬ゲーム)				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3 日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	1 時間
4	講義内容	男女混成での団体スポーツ(バドミントン・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2.次講義からのチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと	1 時間
5	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること	1 時間
6	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1 栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.明らかになった長所、短所について、大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	1 時間
7	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ドッジボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.話し合った内容を実現するために大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながらチェックすること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。	1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

			2.次講義からのチーム内で話し合い, コミュニケーションを高めておくこと	
8	講義内容	男女混成での団体スポーツ(ソフトバレーボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること	1 時間
9	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.課外時間に大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用し、授業の予習・復習を行うこと。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること	1 時間
10	講義内容	男女混成でのチームスポーツ(ソフトバレーボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち、リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと。 2.次講義のチーム内で話し合い、コミュニケーションを高めておくこと	1 時間
11	講義内容	ミニ運動会		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	今回のチーム内でお互いに感想を話し合い、コミュニケーションを高めておくこと	1 時間
12	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・チーム練習)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.チーム内でのコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3	復習	チーム内で話し合いの場を持ち、それぞれの長所、短所を明らかにすること	1 時間
13	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・模擬ゲーム)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。	1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3,4,5		2.明らかにった長所, 短所について, 大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用しながら確認すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	
		復習	チーム内で話し合いの場を持ち, 勝つためのゲームおよび楽しむためのゲームの進め方を探ること	1 時間
14	講義内容	男女別チームによるチームスポーツ(バスケットボール・リーグ戦)		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。 3.日常からチーム内のコミュニケーションを高めておくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	1.チーム内で話し合いの場を持ち, リーグ戦での反省事項を見つけ出すこと.	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	1.栄養(食事)、休養(睡眠)、運動をバランスよく取り、規則正しい生活習慣を心がけること。 2.大学体育施設(フィットネスルームを含む)等を積極的に利用すること。時間が取れない場合は日常生活における労働、家事、通学、趣味などの生活活動中の身体活動量を増やすこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	科目内で知り合った学生と話し合いの場を持ち, 大学体育施設等を積極的に利用すること	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	受講上の注意 1.運動にふさわしいジャージおよびシューズ(屋内外別、スパイク禁止)を着用の上、参加すること(ジーパンなどの普段着での受講は不可)。 2.ケガを未然に防ぐために、時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアス等の貴金属類はすべて外し、髪が肩にかかる学生は髪を纏めて参加すること。 3.実技授業を進める上で配慮を必要とする学生は初回授業までに授業担当者まで申し出ること。 4.貴重品の管理は各自で行うこと。 5.授業で実施するスポーツ種目の器具は大学が用意しますが、個人で所有する器具がある場合は積極的に持参してください。 6.天候により施設変更する場合があります。教務課掲示板で確認してください。			

科目名		キャリア形成論(教養基礎)			科目 ナンバリング	LAB013
英文名		Career Development			講義形態	講義
担当教員		小泉 英明				
科目に関連した 実務経験		社員研修・人材育成・能力開発・キャリア開発のコンサルタント、トレーナーとして各企業・自治体で指導				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		AI(人工知能)をはじめとする各種テクノロジーの進化や地球規模的な気候変動など、社会は今、大きな激動期を迎えています。そのような中で、私たちを取り巻く経済・雇用環境も目まぐるしく変わり、生活や仕事の内容までもが大きく変わりつつあります。 本講座ではそのような社会の動きを見据え、私たちが近い将来に求められる『能力』について理解を深めるとともに、キャリア形成の基盤づくりを行います。 授業では社会で求められている高次元のコミュニケーション能力や思考力、さらには問題解決能力などの『社会人基礎力』を身につけるとともに、ケーススタディ等によって社会適応力を習得します。また本学卒業後、社会人として適切なスタートを切ることができるよう、“自身”の強化プラン策定と目標管理ができる自律的人材の養成を目指します。				
到達目標		1.社会の出来事を理解し、社会に通用する就業観、勤労観を学ぶ。■ 2.自己の成長に向けて、自己を正しく理解するとともに、自己効力感を養う。■ 3.社会人基礎力を理解し、社会適応力を身につける。■ 4.コミュニケーションの本質を理解し、高次元のコミュニケーション力を身につける。■ 5.論理を組み合わせる手法を学び、論理的思考力を高める。■ 6.アイデアの出し方を学び、創造的思考力を高める。■ 7.気づく力を身につけ、問題発見能力を高める。■ 8.問題解決のスキルと手法を学び、問題解決能力を高める。■ 9.自己変革のために必要な自身の問題点を探る。■ 10.自律型人材に向けての目標管理ができる。■ 11.社会における人間関係を学び、社会適応力を高める。■				
評価方法		最終レポート 60%、授業後の提出課題 30%、授業参加度・授業態度 10% それぞれの評価基準については初回授業で説明します。総合評価 60%以上を合格とします。				
使用教材		講義内容を随時プリントして配布します。				
参考文献		授業内で提示します。				
課題に対する フィードバック		授業後の提出課題については、随時コメントをつけてフィードバックします。 最終レポートの後に、出題テーマの意図を掲示によって示します。				
オフィスアワー (研究室)		木曜日(12～17 時)	メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。		
1	講義内容	ガイダンス／キャリア形成のために必要なこと■				
	該当到達目標	予習	新聞、テレビなどのニュースから、社会の出来事を理解して臨む			1.5 時間
	1	復習	キャリア形成に必要なコアコンピタンスを理解する。(課題提出)			1.5 時間
2	講義内容	先行きの予測が困難な時代／社会が求める人材■				
	該当到達目標	予習	事前に配布する第 2 回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。			1.5 時間
	1,3	復習	キャリア形成に必要な「社会人基礎力」について理解を深める。(課題提出)			1.5 時間
3	講義内容	自己の理解■				
	該当到達目標	予習	事前に配布する第 3 回講義プリントを読む。自己分析シートに記入する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	自己理解と、自己効力感を理解する。自分のパーソナリティを確認する。	1.5 時間
4	講義内容	コミュニケーション力■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第4回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	チェックシートによって自身のコミュニケーション力を客観的につかむ。	1.5 時間
5	講義内容	実践コミュニケーション力■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第5回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	ディスカッションを振り返り、自身のストロング・ウィークポイントを知る。	1.5 時間
6	講義内容	気づく力■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第6回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7	復習	事例研究課題に取り組む。気づく力が問題解決の入り口であることを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	考える力Ⅰ（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第7回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,5	復習	事例研究によって論理的思考を理解する。（課題提出→第9回で使用）	1.5 時間
8	講義内容	考える力Ⅱ（クリエイティブシンキング）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第8回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8	復習	事例研究によって創造的思考の重要性を理解する。アイデア発想演習。	1.5 時間
9	講義内容	創造力を伸ばす（グループディスカッション、ブレインストーミング）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第9回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,6,7,8,9	復習	創造力を伸ばす技法の理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	問題解決能力Ⅰ（問題点を探る・WHY ツリー）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第10回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,7,8,9	復習	自身が抱える問題の「問題点」を WHY ツリーで探る。	1.5 時間
11	講義内容	働く意味／「仕事力」と「就業力」■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第11回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	1,3	復習	「仕事観」「就業観」を理解し、レポートを書く。（課題提出）	1.5 時間
12	講義内容	問題解決能力Ⅱ（問題解決の手法・HOW ツリー／目標設定・計画立案）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第12回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,8,9,10	復習	自身の課題を HOW ツリーで探り、目標設定と計画立案を行う。	1.5 時間
13	講義内容	社会における人間関係■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第13回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	人との接し方と、よりよい人間関係を築く方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	自己の確立（バリュープロポジション）■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第14回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,10	復習	将来のキャリア形成に向けて、キャリア自律の重要性を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ストレスマネジメント■		
	該当到達目標	予習	事前に配布する第15回講義プリントを読み、内容をつかんでおく。	1.5 時間
	3,11	復習	ストレス対処法を理解し、ストレスに対する耐性力に高める。	1.5 時間
合計時間（予習・復習）				45 時間
備考	事前に配布するプリントをもとに予習して授業に臨んでください。配布プリントはファイリングし、毎回持参してください。授業は積み上げ方式で進めていくので、授業後は必ず復習してください。新聞やテレビなどのニュースには常に関心を持ち、社会の出来事を理解し授業に臨んでください。 〔健康福祉学部の学生に求められる基本的な資質〕 ①人の役に立つという心構え ②生活者本位の視点			

- ③コミュニケーション能力
- ④チームワーキングへの参画
- ⑤自己研鑽

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	哲学(人間理解)				科目ナンバリング	LAH001
英文名	Philosophy				講義形態	講義
担当教員	大石 桂子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	「他者とうどう関わっていけばよいか」「絶対に正しいことはあるのか」、「病気や“弱さ”にどう向き合うか」。普段は漠然と理解しているように感じることに、改めて疑問を持ち考えるのが哲学である。本講義では身近な題材をもとに医療・福祉・健康分野に関わる者として考えておきたいトピックを取り上げる。哲学者たちの議論や、統計からみえる社会情勢などを手引きとして、論理的に考えていくための基礎力を身につける。 配布プリントを中心に講義を行い、定期的に課題を提示し、学生同士が意見交換する場を設けます。					
到達目標	1.人と人、人と社会の関係、平等性、自由と責任などについて、多様な視点から説明できる。 2.共生の意義や、弱者の排除が社会にもたらす影響を説明できる。 3.各テーマについて、自分の意見をもつことができる。 4.課題やグループワークを通して、自分の考えを他者に伝わりやすく表現できる。 5.自分と異なる他者の考えを受け止め、そこから新たな発見ができる。					
評価方法	定期試験(60%)、講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	講義中にプリントを配布する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	提出された課題の内容にコメントを付けて、授業中に紹介する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日の 2 時限、金曜日の 2 時限。 (1 号館 6 階 601)		メールアドレス (#→@)		oishi#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容をよく読み、講義の目標や取り扱う内容を理解する。			1 時間
	1	復習	「哲学」の目標、学ぶ意義について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	自分と他者(1)「人に認められたい」のは本能? ―ヘーゲル				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	ヘーゲルのいう「承認への欲求」を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	自分と他者(2)「本当の自分」とは何か ―キルケゴール				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	キルケゴールの「大衆と実存」の違いを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	自分と他者(3)人と人の関係性 ―ブーバー、サルトル				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,3	復習	第 2 回から第 4 回までの内容を整理する。			1.5 時間
5	講義内容	ディスカッション ―これからの自分に大切なこと				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,3,4,5	予習	第2回から第4回までの内容について、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	自分にとって大切なことを改めて熟考し、課題を仕上げる。	1.5 時間
6	該当到達目標 2,3	講義内容	平等と共生(1)誰もが信じられる正しさはあるか ―ロールズ	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「機会の平等」と「結果の平等」を理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 2,3,4	講義内容	平等と共生(2)環境は人の心にどう影響するのか	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「無知のヴェール」について理解する。平等について課題を仕上げる。	2 時間
8	該当到達目標 1,3	講義内容	自由・正しい自己決定のために ―カント	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	「自律」の意義について理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 2,3	講義内容	心と身体(1)「私」を形づくるのは心か身体か ―ニーチェ	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	身体がものの見方や価値観に影響する例を考える。	1.5 時間
10	該当到達目標 2,3	講義内容	心と身体(2)人間の中心は脳なのか	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	脳死の問題について理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 2,3	講義内容	エンハンスメント(1)変化する「病」の定義	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	エンハンスメントや「医療化」について理解する。	1.5 時間
12	該当到達目標 2,3	講義内容	エンハンスメント(2)「弱さ」を否定する社会 ―ハーバーマス、サンデル	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	弱さを排除した場合の社会的影響について理解する。	1.5 時間
13	該当到達目標 2,3,4,5	講義内容	ディスカッション―医療技術と自己決定	
		予習	個人の欲求でどこまで医療技術を利用してよいか、自分の考えをまとめる。	1 時間
		復習	エンハンスメントについての自分の考えをまとめる。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,3	講義内容	責任(1)責任の範囲はどこまで? ―アリストテレスほか	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	責任が問われる基準について理解する。	1.5 時間
15	該当到達目標 1,3,4	講義内容	責任(2)「何もしなかった」ことに責任はあるのか ―ヤスパース	
		予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
		復習	講義中にあげた事例について、自分の考えを課題にまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	本講義では知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。 予習・復習については試験前の学習で補完して下さい。			

科目名		倫理学(人間理解)			科目 ナンバリング	LAH002
英文名		Ethics			講義形態	講義
担当教員		出雲 春明				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		現代の医療をめぐる問題を取りあげ、それぞれのトピックを通じて、倫理学の諸理論、人々の多様な価値観について学ぶ。なるべく平易な表現を用いて講義を行う。講義前にシラバスを確認し、当該テーマについて自分がどのようなイメージを持っているのかについて、講義後はそれがどのように変わったのかについて確認しておくこと。配付された資料に基づいて必ず復習しておくこと。講義中、一つの問題をめぐる様々な、そしてしばしば対立する見解が示される。自分ならどの立場をとるか、対立する相手に対してどのように反論するか、常に考えながら講義に臨んでほしい。				
到達目標		1.医療に関連する倫理的諸問題について正確な知識を習得し、 2.自分の考えを表現することができる。 3.また、自分と対立する考えについても理解を深める。				
評価方法		授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末レポート(80%)から評価する。				
使用教材		講義中に資料を配布する。				
参考文献		加藤尚武『脳死・クローン・遺伝子治療―バイオ・エシックスの練習問題』、PHP 新書、1999 年。 小林亜津子『はじめて学ぶ生命倫理―「いのち」は誰が決めるのか』、筑摩書房、2011 年。				
課題に対する フィードバック		講義中、課題を出し、自分の考えをまとめて提出してもらった場合がある。有意義な意見に関しては講義中に紹介する。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス―生命倫理学について				
	該当到達目標	予習	シラバスを読み講義の目的を理解する。			1 時間
	1	復習	生命倫理学の成立事情について、技術の発展と人間観の変化から理解する。			1.5 時間
2	講義内容	不妊治療(1)人工授精、体外受精				
	該当到達目標	予習	人工授精の定義を確認し、書籍、報道から関連情報を取得しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精の特徴とそこで生じる倫理的問題について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	不妊治療(2)代理母出産をめぐる議論				
	該当到達目標	予習	体外受精と人工授精の違い、代理母がなぜ求められるかを確認しておく。			1 時間
	1,2,3	復習	人工授精、体外受精、代理母の特徴とその倫理的問題について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	遺伝子操作(1)ヒトゲノム計画がもたらす未来				
	該当到達目標	予習	ヒトゲノム計画とは何かを調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	遺伝情報が現在社会においてどのように利用されようとしているか理解する。			1.5 時間
5	講義内容	遺伝子操作(2)遺伝子診断技術がもたらす未来				
	該当到達目標	予習	遺伝子診断技術について調べておく。			1 時間
	1,2,3	復習	遺伝子診断技術がこれから社会に及ぼす変化を考えてみる。			1.5 時間
6	講義内容	人工妊娠中絶をめぐる問題				
	該当到達目標	予習	日本における人工妊娠中絶の法的規定について調べておく。			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	人工妊娠中絶をめぐる現在の状況、議論について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	優生思想をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	優生思想とは何かを調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	これまでの議論を優生思想の問題と関連させて振り返っておく。	1.5 時間
8	講義内容	インフォームド・コンセントと患者の権利		
	該当到達目標	予習	インフォームド・コンセントが求められた歴史的なきっかけを調べておく。	1 時間
	1, 2	復習	患者を主役とする医療という考え方について確認しておく。	1.5 時間
9	講義内容	QOL の追求		
	該当到達目標	予習	QOL とは何かを調べておく。	1 時間
	1,2,3	復習	様々な QOL のあり方について考えてみる。	1.5 時間
10	講義内容	告知をめぐる問題		
	該当到達目標	予習	告知をめぐる現状について調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	告知について自分ならどのような選択をするか考えてみる。	1.5 時間
11	講義内容	延命医療について		
	該当到達目標	予習	延命医療について自分の考えをまとめてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	延命と QOL を関連させて考えてみる。	1.5 時間
12	講義内容	安楽死について		
	該当到達目標	予習	安楽死の区分について調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	安楽死の区分について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
13	講義内容	臓器移植(1) 生体臓器移植		
	該当到達目標	予習	日本での生体臓器移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	生体臓器移植の特徴とその倫理的問題について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	臓器移植(2) 死後移植と臓器移植法改正		
	該当到達目標	予習	日本における昨今の死後移植の位置づけについて調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	改正臓器移植法について理解し、自分の意見をまとめてみる。	1.5 時間
15	講義内容	総括—福祉に携わる者として		
	該当到達目標	予習	企業による不祥事の隠蔽事件について調べ、自分の考えをまとめてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	資料に提示されたケースをもとに自らがいかに行動すべきか考える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	心理学(人間理解)			科目ナンバリング	LAH003
英文名	Psychology			講義形態	講義
担当教員	角野 善司				
科目に関連した実務経験	カウンセラーとして臨床心理センターに勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	人間の心理的諸機能に関する理論・研究について学び、支援に必要な基礎的知識の習得を目指す。こころのしくみに関して心理的諸機能を概観し、心の発達や健康について理解したうえで、心理的支援の方法と実際を学ぶ。 授業期間全体を通じた授業の進め方:授業外学習の促進を意図して、毎回宿題として予習復習課題を課す。教科書の該当箇所に関する講義は、予習してあることを前提とするので、簡潔に進める。積極的に質問することを期待する。復習課題の解答解説は丁寧さを心掛ける。				
到達目標	1.心理学理論による人の理解とその技法の基礎について説明できる。 2.人の成長・発達と心理との関係について説明できる。■ 3.日常生活と心の健康との関係について説明できる。■ 4.心理的支援の方法と実際について説明できる。■				
評価方法	毎回の宿題 30%(復習課題 15%、予習課題 15%)、学期末テスト 70%(知識問題 50%、論述問題 20%)。宿題の得点が一定水準に達しなければ、学期末テストの得点に関わらず、単位を付与しない。				
使用教材	加藤伸司ほか「心理学理論と心理的支援[第 2 版]」ミネルヴァ書房 2014 年 2,800 円+税				
参考文献					
課題に対するフィードバック	宿題は毎回授業時に、学期末テストは事後に講評解説の機会を設ける。				
オフィスアワー (研究室)	初回授業時に告知するとともに、研究室ドアに掲出する(8 号館 405 室)		メールアドレス (#→@)	zsumino#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	こころのしくみの理解(1):心理学における主要な理論			
	該当到達目標 1	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する。教科書の該当箇所を精読する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
2	講義内容	こころのしくみの理解(2):心と脳／情動・情緒			
	該当到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
3	講義内容	こころのしくみの理解(3):欲求・動機づけと行動			
	該当到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
4	講義内容	こころのしくみの理解(4):感覚・知覚・認知			
	該当到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
5	講義内容	こころのしくみの理解(5):学習・記憶・思考／知能・創造性			
	該当到達目標 1	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間
		復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。		1.5 時間
6	講義内容	こころのしくみの理解(6):人格・性格／自己概念・自己実現			
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
7	講義内容	こころのしくみの理解(7):集団		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
8	講義内容	こころのしくみの理解(8):適応／人と環境		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	1	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
9	講義内容	人の成長・発達と心理:発達の概念■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	2	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
10	講義内容	日常生活と心の健康:ストレスとストレス■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	3	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
11	講義内容	心理的支援の方法と実際(1):心理検査の概要■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
12	講義内容	心理的支援の方法と実際(2):カウンセリングの概念と範囲■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
13	講義内容	心理的支援の方法と実際(3):カウンセリングとソーシャルワーク等の関連活動との関係■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
14	講義内容	心理的支援の方法と実際(4):心理療法の概要と実際■		
	該当到達目標	予習	教科書の該当箇所を精読する。予習課題に解答する。	1.5 時間
	4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの学習内容を振り返る。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	教科書の該当箇所・配布資料・ノートを再読する。復習課題に解答する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	・宿題の提出は、C-learning による。 ・■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		文学と人間(人間理解)		科目ナンバリング	LAH004
英文名		Literature and Humanity		講義形態	講義
担当教員		斎藤 順二			
科目に関連した実務経験					
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		現代人の基礎教養として、日本の名作文学を朗読 CD で味わうことで、文章表現による心のコミュニケーションを図ることができる。授業では、朗読 CD を活用して日本文学作品の梗概を理解しながら、人物相関図の板書とテキストの読解を行う。これをきっかけにして、さらに各自が近代文学に興味関心を抱いて原作を読み、発展させた読書につなげることが望ましい。			
到達目標		1.視聴覚教材を活用して「文学と人間」への洞察を深めることができる。 2.歴史の諸相における人間と人間生活の理解に役立てることができる。			
評価方法		まとめのレポートを 100 点満点で採点(90%)し、それに授業参加度を加味(10%)して総合評価する。			
使用教材		小田切進『日本の名作』(中央公論新社)定価(本体 720+税)			
参考文献					
課題に対するフィードバック		共通課題「授業で学んだ近代文学の名作の中から、人間と人間生活の理解に役立つと思われる 10 作品を選び、それぞれ 80～90 字で論評しなさい」を採点し、その結果を講評する。			
オフィスアワー (研究室)		質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。
1	講義内容	二葉亭四迷『浮雲』・森鷗外『舞姫』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
2	講義内容	森鷗外『高瀬舟』・『雁』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
3	講義内容	幸田露伴『五重塔』・樋口一葉『たけくらべ』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
4	講義内容	尾崎紅葉『金色夜叉』・徳富蘆花『不如帰』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
5	講義内容	泉鏡花『高野聖』・島崎藤村『破戒』『夜明け前』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
6	講義内容	夏目漱石『坊っちゃん』『こころ』			
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。		1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。		1.5 時間
7	講義内容	伊藤左千夫『野菊の墓』・田山花袋『田舎教師』			

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
8	講義内容	芥川龍之介『羅生門』『鼻』『地獄変』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
9	講義内容	有島武郎『或る女』・武者小路実篤『友情』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
10	講義内容	川端康成『伊豆の踊子』・小林多喜二『蟹工船』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
11	講義内容	林芙美子『放浪記』・尾崎士郎『人生劇場』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
12	講義内容	谷崎潤一郎『春琴抄』『細雪』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
13	講義内容	志賀直哉『暗夜行路』・太宰治『人間失格』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
14	講義内容	壺井栄『二十四の瞳』・井上靖『天平の甍』		
	該当到達目標	予習	教科書を通読し、作品理解へのアプローチとする。	1.5 時間
	1,2	復習	作者について調べ、発展的な読書につなげる。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望(まとめのレポート)		
	該当到達目標	予習	これまでに学んだ近代文学の名作の中から 10 作品に絞り込む。	1.5 時間
	2	復習	知的好奇心から問題意識を持ち、さらに読書の幅を広げる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名		芸術論(人間理解)		科目ナンバリング	LAH005
英文名		Art Theory		講義形態	講義
担当教員		石原 綱成、志尾 睦子			
科目に関連した実務経験		志尾:映画上映・宣伝・企画・製作、イベントプロデュース			
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		この講義は芸術を通して、人間の営為の総体として芸術を学ぶ。それによって、豊かな人間性と教養を身につける。また、あらゆるジャンルの芸術(絵画、映像等)を深く理解する。 講義は前半が石原による芸術史、後半は志尾による映画芸術論となる(オムニバス形式)となる。			
到達目標		1.視覚芸術の歴史を理解できる 2.芸術を人間の営為の総体として理解できる。 3.映像芸術を通して、映画の文化史的意義を理解できる。■ 4.様々な文化を理解することで、グローバルな教養が身につく■			
評価方法		試験を実施する。(石原 50 点、志尾 50 点、計 100 点)			
使用教材		講義スライドの資料を配布する。			
参考文献		担当教員が逐次紹介する。			
課題に対するフィードバック		提出された感想シートやレポートについて逐一コメントなどを提示する。			
オフィスアワー (研究室)		石原:月曜 3 限、金曜 2 限、 志尾:火曜 2 限	メールアドレス (#→@)	石原: ishihara#takasaki-u.ac.jp 志尾: m-shio#takasaki-cc.jp	
1	講義内容	ガイダンス(石原・志尾)			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を理解し授業の目標を理解する		1.5 時間
	2	復習	授業内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法を確認する		1.5 時間
2	講義内容	芸術とは何かー芸術のイメージの調査ー			
	該当到達目標	予習	芸術における各自のイメージを箇条書きできるようにしておく		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布したプリントをもとに芸術のジャンルを理解する		1.5 時間
3	講義内容	芸術史概説			
	該当到達目標	予習	芸術史の流れを体系的に理解しておく		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基に芸術史の歴史を理解する		1.5 時間
4	講義内容	宗教芸術とは何か			
	該当到達目標	予習	世界の主要な宗教の特色を理解する		1.5 時間
	1,2,4	復習	配布した資料を基にキリスト教の教義を理解する		1.5 時間
5	講義内容	キリスト教美術とシンボル			
	該当到達目標	予習	シンボルの本質について理解する		1.5 時間
	1,2,4	復習	キリスト教のシンボルの法則性を理解する		1.5 時間
6	講義内容	ルネサンス美術ー古典古代の芸術ー			
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとに遠近法とは何かを理解する		1.5 時間
	1,2,4	復習	遠近法と人間の「主体」への意識を考える		1.5 時間
7	講義内容	ルネサンス美術ー図像解釈学と美術ー			
	該当到達目標	予習	配布したプリントをもとにプラトンとアリストテレスの相違を理解する		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,4	復習	アイデア論の違いが視覚芸術にいかに関与するかを理解する	1.5 時間
8	講義内容	中間テスト		
	該当到達目標	予習	今まで学んだ内容を理解しておく	1.5 時間
	1,2,4	復習	試験内容を自分なりに再考する	1.5 時間
9	講義内容	メディア芸術とは何か 映画芸術の入り口に立つ■		
	該当到達目標	予習	メディア と称されるもののイメージを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画の成り立ちを理解する	1.5 時間
10	講義内容	映画の誕生と変遷を辿る■		
	該当到達目標	予習	映画の仕組みを理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに映画史を体系的に理解する	1.5 時間
11	講義内容	映画の表現方法について学ぶ■		
	該当到達目標	予習	様々な映像ジャンルを箇条書きできるようにしておく	1.5 時間
	2,3,4	復習	配布した資料をもとに表現方法の多様性を理解する	1.5 時間
12	講義内容	映画の構造を知る■		
	該当到達目標	予習	映画を組み立てているものの役割を理解する	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が総合芸術であるという本質を理解する	1.5 時間
13	講義内容	演習 1: 見えるもの 見えないもの 映画が伝えることを意識する■		
	該当到達目標	予習	映画を観てみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	感想を自分なりの言葉にしてみる	1.5 時間
14	講義内容	演習 2: 演出とは何か■		
	該当到達目標	予習	課題のシナリオを読み、イメージを組み立ててみる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映像表現の可能性と奥深さを楽しむ	1.5 時間
15	講義内容	総論: 映画は時代を映す鏡である 映画で世界を知る■		
	該当到達目標	予習	興味のある国について調べる	1.5 時間
	2,3,4	復習	映画が語る文化、時代性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■: 実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		ボランティア・市民活動論(人間理解)			科目ナンバリング	LAH006
英文名		Civil and Voluntary Activities			講義形態	講義
担当教員		金井 敏				
科目に関連した実務経験		前職でボランティア・市民活動支援センターの運営支援に従事していました。また、様々なボランティア活動実践者と交流があります。 現在、大学ボランティア・市民活動支援センター(VSC)でセンター長として VSC を運営しています。				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		ボランティア・市民活動は、手助けを求めている個人や団体に対して自主的に貢献する活動です。身近な地域や福祉、環境、情報、国際協力まで幅広く取り組まれ、今日の社会に不可欠な存在です。この講義では、具体的なボランティア・市民活動の考え方や実践方法を学び、学生が自ら実践する力を養成します。 毎回の授業は、ボランティアに関する映像視聴、テーマに基づく講義、ゲストスピーカー講義(6 回予定)、ディスカッション、振り返り、次週の予定、という流れで進めます。				
到達目標		1.ボランティア・市民活動の対象者のニーズを学び、ボランティア・市民活動の意義を説明できる。■ 2.ボランティア・市民活動の多様な実践例を学ぶことにより、活動の実際の展開を説明できる。■ 3.ボランティア・市民活動支援センターを活用して、自身の関心に即した活動に参加する。■ 4.参加したボランティア・市民活動の実践を振り返り、成果や課題、次のチャレンジについて考察できる。■				
評価方法		成績評価 ①学期末レポートによる評価(60%)。なお、追再試は実施しません。 ②ボランティア活動に参加して作成する実践レポートによる評価(20%)。評価方法は、ボランティア実践の回数や時間ではなく、ボランティア活動に参加することによる学びを評価します。 ③授業のリアクションペーパー(主にゲストスピーカーの 6 回)による評価(20%)。 その他の評価 ①授業開講数の 2/3 以上を出席することにより、成績の評価対象とします。 ②忌引きや実習、就職活動などによる欠席は、届け出(要添付書類)を提出すれば出席扱いとします。なお、15 分以上の遅刻は欠席とみなします。 ③ボランティア実践の時間(1 回当たり 4 時間×4 回=16 時間相当)も本時の講義時間に含めます。				
使用教材		各講義に即したオリジナル・レジュメや関係資料は授業にて配布します。テキストは使用しません。				
参考文献		必要に応じて適時、紹介します。				
課題に対するフィードバック		実践や授業内容などに関する質問や意見については、授業のなかで取りあげるなど随時、学生にフィードバックします。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 12 時 15 分～13 時 水曜日 12 時 15 分～13 時 で相談に応じます。 研究室:1 号館 3 階 310 研究室。		メールアドレス (#→@)	kanai#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ボランティア・市民活動～新しい世界への誘い■ ボランティア・市民活動支援センター(VSC)の活用方法、授業の進め方を確認する。				
	該当到達目標 1,3	予習	シラバスの内容をよく読んで、現時点でのボランティアの理解を把握する。			1.5 時間
		復習	講義内容、学位授与方針、成績評価方法、VSC 利用方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	ボランティアの力を活かす仕組み～ボランティアセンターの役割■				
	該当到達目標	予習	自分の地元市町村のボランティアセンターの組織や活動内容を調べる。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3,4	復習	ボランティアセンターの活用方法を理解する。	1.5 時間
3	講義内容	子どもの明日と子育てをサポートするボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	児童を対象としたボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童を対象としたボランティアの意義や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
4	講義内容	人々はどのようにボランティアに取り組んできたか ～欧米と日本の歴史		
	該当到達目標	予習	世界の国々でボランティア活動がどのように組み込まれているか調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	欧米と日本のボランティア活動の歴史の違いや長所を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	障害者スポーツ・レクリエーションをサポートするボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	障害者を対象としたスポーツやレクリエーションについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者との接し方や支援の内容や方法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	被災地に届け、災害支援ボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	我が国における災害ボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	被災地におけるボランティア活動の内容や活動上の注意事項などを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	ユニバーサルデザイン・バリアフリーとボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	バリアフリーに関わるボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	バリアフリーをすすめるボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	身近な動物とボランティアの良い関係		
	該当到達目標	予習	動物を対象としたボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	動物に対するボランティア活動の実際や人間との共生について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	地域ささえあいのボランティア ～ふれあい・いきいきサロン～■		
	該当到達目標	予習	地域で取り組まれているふれあい・いきいきサロンについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	高齢者の介護予防や健康、子育て家庭を住民で支える活動について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	心と命をつなぐボランティア活動 ～いのちの電話の実践から考える■		
	該当到達目標	予習	心の悩みや自殺予防に取り組むボランティア活動を調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	いのちの電話の役割と学生でもできる活動について考察する。	1.5 時間
11	講義内容	国際貢献・多文化共生とボランティア活動■		
	該当到達目標	予習	海外で活躍するボランティア活動について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	国際貢献や多文化共生のボランティア活動のあり方を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	ボランティアとNPO ～学生でも創れるNPO 法人■		
	該当到達目標	予習	NPO 法人とは何かについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	NPO 法人の活動内容や設立の要件、ボランティアとの違いなどを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	行政に協力するボランティア ～民生委員・児童委員の活躍～■		
	該当到達目標	予習	行政に協力するボランティアについて調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	民生委員・児童委員の活動を理解し、自分の地域の民生委員を確認する。	1.5 時間
14	講義内容	分かちあう寄付の文化で花咲く貢献社会～赤い羽根共同募金■		
	該当到達目標	予習	赤い羽根共同募金の概要や寄付の実際について調べる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	赤い羽根共同募金のあり方や寄付の文化とは何かを理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ～新しい支え合いと20年後の自分の生き方■		
	該当到達目標	予習	さまざまなボランティア活動を通じて理解した人々の生活のしづらさや今後の課題について考える。	1.5 時間
	1,3,4	復習	ボランティア活動の講義と実際の実践活動を踏まえて、ボランティア活動のあり方や自身の将来の役割について考察する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	●ボランティア実践は、もちろん強制ではありません。自分の興味や関心のある分野や活動に参加する契機として設定しています。大学生として様々な活動にチャレンジしましょう。			

	●ボランティア・市民活動支援センター(VSC, 9 号館 1 階)を活用してください。活動を始める前には必ず, ボランティア活動保険に加入すること。そのほかボランティアの相談に何でも応じます。 VSC 直通 TEL:027-352-1108, VSC メールアドレス:vsc@takasaki-u.ac.jp ●シラバス中の■は実務経験に基づく授業内容を表しています。

科目名		人権論(人間理解)			科目ナンバリング	LAH007
英文名		Theory of Human Right			講義形態	講義
担当教員		金井 洋行				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		人権の観念について、他の観念－人道、倫理、文化規範、宗教的信念、条理原則等－との比較を通して分析し、人間の本性(human nature)との関係を理解する。日本国憲法に規定する「国民の権利」の内容を知り、その効力にどのような制約や限界があるかについて認識する。身近な生活体験から感得した権利侵害や不条理の発生について、人権の観点から考察する姿勢を身につける。 講義内容はできるかぎり予定通り進行させるが、期間内に国内的にあるいは国際的に大きな人権をめぐる事象があった場合には、その話題を飛び入りの的に割り込ませることがある。				
到達目標		1.人権について特にヨーロッパの歴史的発展を背景に人道等の他の価値観との比較で観念できる。 2.人権の様々な観念から憲法の人権規定の適用関係を認識できる。 3.個々の人権の性格を、内面的と外面的、精神的と経済的、消極的と積極的、等の区分で理解できる。 4.人権の擁護がどのような考え方と仕組みによって行われるのかについて、憲法規定を通して認識できる。 5.人権に関する主要な争点について裁判所、特に最高裁判所の考え方を整理できる。				
評価方法		・平常の授業に対する姿勢(15%)、中間テスト(25%)、期末の定期試験(60%) ・中間テストは概ね 2 回の知識テスト。 定期試験は知識と思考力のテスト				
使用教材		テーマ別レジュメ、基礎知識資料(テキストに代替するプリント) * テーマによって DVD の視聴あり				
参考文献						
課題に対するフィードバック		重要テーマについてのレポートに対してコメントを配布する(テーマについては適宜指示)				
オフィスアワー (研究室)		出講日の放課後等において、質問及び学習相談を受ける。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	人権の観念と内容				
	該当到達目標	予習	日本国憲法における基本的人権の項目の教科書等による再チェック			2 時間
	1	復習	予備知識アンケート			0.5 時間
2	講義内容	人権の享有主体と人権規定の適用関係				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み			1 時間
	1,2	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
3	講義内容	人権の制約と限界				
	該当到達目標	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み			1 時間
	1,2,4	復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集			1.5 時間
4	講義内容	幸福追求権の意義と具体化				

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
5	講義内容	法の下での平等－平等権と平等原則－		
	該当到達目標 1,2,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
6	講義内容	人間の内心の価値と保護		
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
7	講義内容	自由と自由主義		
	該当到達目標 1,3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
8	講義内容	表現の自由とその抑制		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
9	講義内容	経済活動の自由と財産権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
10	講義内容	人身の自由と刑事手続の保障		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
11	講義内容	政治活動の自由と参政権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
12	講義内容	生存権の意義と福祉国家の諸権利		
	該当到達目標 3,4,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
13	講義内容	教育を受ける権利と学習権		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
14	講義内容	人権の国際化		
	該当到達目標 3,5	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
15	講義内容	人権の現状と今後の課題		
	該当到達目標 1,4	予習	配布レジュメの考察項目の趣旨理解と今回「基礎知識資料」の読み込み	1 時間
		復習	レジュメの考察項目の内容チェックとノート編集	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 当日に即答できない質問や要望については次回に文書をもって応答することを原則とする。 日常の身の回りに起こる権利侵害や条理違反に目を向け、人権擁護の観点から自分なりに考えておくことを期待する。			

科目名		人間関係論(人間理解)			科目ナンバリング	LAH008
英文名		Theory of Human Relations			講義形態	講義
担当教員		富田 純喜				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		人間関係論といえば、ホーソン実験を基盤として体系化された理論を指すことが多い。また、社会科学における研究アプローチを指すこともある。本講義では、広く生活上の諸現象を人と人との関係から理解することを目的とする。 授業は主に講義形式で進めるが、ワークやグループディスカッションを随時取り入れる。なお、授業内で扱える内容は限られているため、紹介する参考文献などを使って理解を深めること。				
到達目標		1.人間関係論の基礎的内容を理解している。 2.人間関係を多角的な視点から説明できる。 3.人間関係の構築に関する基礎的なアプローチを説明できる。				
評価方法		試験(70%)、授業内課題・参画度(30%)				
使用教材		菅野仁(2008)『友だち幻想―人と人のくつながりを考える―(ちくまプリマ―新書)』筑摩書房				
参考文献						
課題に対するフィードバック		試験前後に出題の意図等を説明する。				
オフィスアワー (研究室)		水曜 5 限、木曜 5 限(8 号館 406)		メールアドレス (#→@)	tomita-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	各回の授業内容を確認し、人間関係について考えてみる。			1.5 時間
	1	復習	資料を読み直し、講義内容を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	ホーソン実験と人間関係論				
	該当到達目標	予習	講義内容に関連する項目について、関連する図書などで調べておく。			1.5 時間
	1	復習	人間関係論の成り立ちについて理解する。			1.5 時間
3	講義内容	「友人重視指向」の日本の高校生(はじめに)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。			1.5 時間
4	講義内容	人は一人では生きられない?(第一章)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。			1.5 時間
5	講義内容	幸せも苦しみも他者がもたらす(第二章)①前半				
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.27-37)を読み、言葉の意味等を調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。			1.5 時間
6	講義内容	幸せも苦しみの他者がもたらす(第二章)②後半				
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.37-46)を読み、言葉の意味等を調べておく。			1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。			1.5 時間
7	講義内容	共同性の幻想―なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)①前半				
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.47-58)を読み、言葉の意味等を調べておく。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	共同性の幻想——なぜ「友だち」のことで悩みは尽きないのか(第三章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.58-79)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
9	講義内容	「ルール関係」と「フィーリング共有関係」(第四章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	熱心さゆえの教育幻想(第五章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)①前半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.106-113)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
12	講義内容	家族との関係と、大人になること(第六章)②後半		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページ(p.113-120)を読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
13	講義内容	「傷つきやすい私」と友だち幻想(第七章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	言葉によって自分を作り変える(第八章)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当ページを読み、言葉の意味等を調べておく。	1.5 時間
	2,3	復習	授業内容を踏まえ、テキストを読み直し、理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	現代社会における人間関係		
	該当到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返る。	1.5 時間
	2,3	復習	現代社会における人間関係について自身の考えをまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	ジェンダー論(人間理解)				科目ナンバリング	LAH009
英文名	Gender Theory				講義形態	講義
担当教員	前田 由美子					
科目に関連した実務経験	女性相談の非常勤相談員として行政機関に勤務(過去)					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	人間の性とはどういう意味をもつのか。それによって形成されている秩序と、それゆえに起こるさまざまな葛藤を真摯にみつめ、性を制度設計に組み込む社会の問題を解き明かす。その上で、それらをどのように解決して行ったら良いのかを深く思索する。そうすることによってより豊かで包容力のある社会を創造する力を備え、行動する人になり、新しい自分や社会を発見することになるであろう。レジュメに基づき解説を行う。時にグループワークも行い、課題について考察を深める。集中講義なので、日ごとに短いレポートを作成提出してもらう。仕事の選択、恋愛、卒業後の人生設計において、この授業で学ぶ知識は大きな影響をもたらすはずである。自身のために、社会を創るために是非学んでほしい。					
到達目標	1.自分自身の内部にある「性」のとらえ方を見つめ直す。■ 2.内面化している固定的な性のイメージや制度に対する固定観念に気づく。■ 3.他者や社会への豊かなまなざしを持てる。■ 4.豊かな社会創造への力を身につける。■					
評価方法	レポートを4回課し、その合計で評価する。総合評価 60%以上で合格とする。					
使用教材	授業用プリント、文献資料等を随時配布する。必要に応じてメディア教材を使用する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	レポートを返却し、コメント解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	質問等は、授業中もしくは終了後に応じ解説する。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	講義全体の説明				
	該当到達目標	予習	性別についての自分の考え方を見つめておく。			1.5 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	ジェンダーと言う概念				
	該当到達目標 1	予習	文献資料に目を通す。			1.5 時間
		復習	ジェンダー概念について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	生き物としての性とその多様性■				
	該当到達目標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間
		復習	性の多様性を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	セクシュアリティ・性的指向■				
	該当到達目標 1,2,3	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間
		復習	セクシュアリティの多様性について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	性役割と性規範■				
	該当到達目標 1,2	予習	文献資料を読んでおく。			1.5 時間
		復習	身の回りの性役割や性規範について気づく。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	ジェンダー・アイデンティティ■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	ジェンダー・アイデンティティについて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	性別と経済		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	経済と性別のつながりを理解する。	1.5 時間
8	講義内容	女性とこども■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	女性と子どものつながりへの偏重を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	男性と子ども		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	男性と子どものつながりの困難を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	労働と性別■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	労働と性別のつながりの問題を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	労働と性別とそれぞれの暮らし		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ワーク・ライフ・バランスを理解し、問題解決法を考える。	1.5 時間
12	講義内容	男性のかかえる問題■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	男性をとりまく問題を理解し、女性の問題との関連を考える。	1.5 時間
13	講義内容	セクシュアル・ハラスメント■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	問題の本質を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ドメスティック・バイオレンス■		
	該当到達目標	予習	文献資料を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	社会問題として理解する。	1.5 時間
15	講義内容	性別と社会の問題		
	該当到達目標	予習	全ての文献のつながりを理解する。	1.5 時間
	3,4	復習	問題の確認と解決法を考える。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予め配布される資料を読み込み、授業での理解を深めるよう努力すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		共生の倫理(人間理解)			科目ナンバリング	LAH010
英文名		Ethics of Symbiosis			講義形態	講義
担当教員		大石 桂子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		現代では多様な価値観・文化をもった人々が、性別や年齢、職業や病気・障がいの有無などを超えて「共生」することが求められている。差別や排除をのりこえ、共生を実現するためどのような取り組みができるのか、基礎的な理論と方法の知識を習得することを目標にする。 授業ではパワーポイントを用いる。定期的に資料に関する分析、考察する機会を設ける。				
到達目標		1.現代社会での共生の意義について理解し、説明できる。 2.共生の歴史について理解し、説明できる。 3.共生を支える社会学、倫理学また教育や臨床的なアプローチを理解し、説明できる。 4.共生の具体的なあり方や事例について理解し、説明できる。 5.各テーマについて自分の考えをもつことができる。				
評価方法		定期試験(60%)，講義中に作成する課題(40%)に、参加態度を加えて総合的に評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材		講義中にプリントを配布する。				
参考文献		講義中に指示する。				
課題に対するフィードバック		提出課題の内容にコメントを添えて、講義中に紹介する。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日の 3 時限、金曜日の 2 時限。 (1 号館 6 階 601)		メールアドレス (#→@)	oishi#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容に目を通し、到達目標などを確認する。			1 時間
	1	復習	講義の目的や学ぶ意義を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	共生とは何か、共生に関わる社会意識				
	該当到達目標	予習	共生の定義を調べる。			1 時間
	1	復習	なぜ共生が必要とされるのか理解する。			1.5 時間
3	講義内容	多文化社会と価値の多様化				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,5	復習	価値の多様化の社会的な影響について、事例を考え課題を作成する。			1.5 時間
4	講義内容	分断と隔離の歴史				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	2,5	復習	近代以降に障がい者などの隔離が進んだ背景を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	優生思想				
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。			1 時間
	2,5	復習	20 世紀初頭～現在の優生思想について、問題点を理解する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	共生の歴史:ノーマライゼーションからエンパワーメントへ		
	該当到達目標	予習	ノーマライゼーションの定義を調べる。	1 時間
	2,4,5	復習	ノーマライゼーションの意義と、他の概念へ置き換わった背景を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	公共空間のユニバーサルデザイン		
	該当到達目標	予習	ユニバーサルデザインの定義を調べる。	1 時間
	4,5	復習	ユニバーサルデザインの意義を理解し、身近な実例を考える。	1.5 時間
8	講義内容	共生をめざして(1) 社会学からのアプローチ		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	世代間保障について理解し、課題を作成する。	2 時間
9	講義内容	共生をめざして(2) 倫理学からのアプローチ		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	共感の道徳的な役割を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	共生をめざして(3) 教育学からのアプローチ		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	学校教育での共生の取り組みを理解する。	1.5 時間
11	講義内容	共生をめざして(4) 非行臨床からのアプローチ		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	矯正教育の意義と成果について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	共生をめざして(5) 認知症ケアの臨床からのアプローチ		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	3,5	復習	介護での QOL 向上やコミュニケーション改善の取り組みを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	「排除型社会」がもたらすリスク		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	1,5	復習	価値多様化の時代の「自己」のあり方、共済、相互扶助の意義を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	事例研究:多民族、多文化の共生		
	該当到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1 時間
	4,5	復習	講義の内容をふまえ、課題を作成する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでのノート・資料に目を通す。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	共生の意義、方法について理解し、自分の考えをまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				38 時間
備考	予習・復習については試験前の学習で補完すること。			

科目名	チーム医療アプローチ論(人間理解)				科目 ナンバリング	LAH011
英文名	Team Approach to Health Care				講義形態	講義
担当教員	原田欣宏、大川喜代美、竹内真理、土井信幸、小笠原映子、渡邊秀臣、篠原智行、丸山健一、					
科目に関連した 実務経験	原田(福祉):ソーシャルワーカーとして高齢者福祉施設・事業所等に勤務(経験) 大川(情報):診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験) 竹内(栄養):管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務。 土井(薬学):薬剤師として主に薬局で勤務(経験) 小笠原(看護):看護師、訪問看護師として総合病院に勤務(経験) 渡邊(理学):整形外科医として医療機関に勤務(非常勤) 篠原(理学):急性期、回復期病院に勤務経験あり。現在は生活期病院に非常勤勤務					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
種別						
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	福祉・医療系の専門職育成を担う大学として、チーム医療を推進する上で各学科の学生が各専門職の役割・活動を理解する。 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。					
到達目標	1.チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について理解できる。■ 2.各専門職の役割と活動について理解できる。■ 3.チーム医療における専門職の連携を促進するための課題について考察できる。■					
評価方法	授業参加への積極性 40%、レポート 60%					
使用教材	講義のスライドを随時プリントして配布する。					
参考文献						
課題に対する フィードバック	・他学科の学生が参加していることから講義中に双方向型講義を行い、学生の考えや意見を導入しながら講義を展開する。 ・課題レポートを読んで感じた点や補足すべき点について文章化し、次回の授業時に受講生に配布する。					
オフィスアワー (研究室)	原田(福祉) 火曜 3 限(1 号館 506 研究室) 大川(情報) 木曜 1 限(1 号館 609 研究室) 竹内(栄養) 木曜 2-4 時限(1 号館 308 研究室) 土井(薬学) 12:00-13:00(7 号館 319 研究室) 小笠原(看護) 月曜 3 限(5 号館 403 研究室) 渡邊(理学) 金曜 3 限(4 号館 2 階学部長室) 篠原(理学) 水曜 3 限(3 号館 206 研究室) 丸山(子ども) 金曜 4 限、(8 号館 408 研究室)		メールアドレス (#→@)		原田(福祉) harada#takasaki-u.ac.jp 大川(情報) okawa-ki#takasaki-u.ac.jp 竹内(栄養) mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp 土井(薬学) doi-n#takasaki-u.ac.jp 小笠原(看護) ogasawara#takasaki-u.ac.jp 篠原(理学) shinohara-t#takasaki-u.ac.jp ※メールでの質問可の教員のみ掲載	
1	講義内容	チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性について■				
	該当到達目標	予習	チーム医療とはどのようなものなのか、学習する。			1.5 時間
	1	復習	21 世紀の医療では、なぜ多職種協働のチーム医療が必須であるか理解する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

2	講義内容	チーム医療における看護師・保健師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	チーム医療に関連する書籍、雑誌等を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	看護師・保健師の役割・活動、チーム医療における看護職の役割について講義内容から復習しておく。	1.5 時間
3	講義内容	チーム医療における理学療法士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	理学療法士の一般的な役割について調べる	1.5 時間
	1,2,3	復習	チームにおけるリハビリテーションの位置づけを復習し、チーム医療に求められる個人の資質について考察する。	1.5 時間
4	講義内容	チーム医療における薬剤師の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	チーム医療における薬剤師の役割と活動	1.5 時間
	1,2,3	復習	チーム医療(病院・薬局)における薬剤師の役割と活動についてインターネット等の電子媒体を用いて調査する。	1.5 時間
5	講義内容	チーム医療における管理栄養士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	事前に学習した他のコメディカルの役割と活動について復習し授業に臨む	1.5 時間
	1,2,3	復習	管理栄養士と他のコメディカルのチーム医療と、チーム内での役割や活動について考察する	1.5 時間
6	講義内容	チーム医療における社会福祉士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	①高齢化社会の現状を調べる ②地域医療の進展を調べる ③社会福祉専門職の職場を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	疾患と障害の関連を理解し、地域で自立した生活支援に必要なチーム医療のあり方を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	チーム医療における保育士・幼稚園教諭・小学校教諭、特別支援学校教諭の役割と活動		
	該当到達目標	予習	乳幼児期・学齢期に罹患しやすい病気の概要や主要な障害について予習をすること。	1.5 時間
	1,2,3	復習	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭・特別支援学校教諭と各種医療職との連携のあり方について復習をすること。	1.5 時間
8	講義内容	チーム医療における診療情報士の役割と活動■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士と病院事務について調べてみる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	診療情報管理士と病院事務について得た知識を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【キーワード】 専門職、チーム医療、チームアプローチ 「チーム医療アプローチ演習」(3または4年次開講)履修には、原則として本科目の単位修得が必要となる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		国際医療事情(人間理解)			科目ナンバリング	LAH012
英文名		International Healthcare			講義形態	講義
担当教員		クリストファー・ターン、町田 修三				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		学生の国際化促進とグローバル人材の養成を目的として設置された科目である。特に本学学生は医療系を専攻する者が多いため、海外の医療に関する様々な事項を経験的に学ぶことに重点を置いている。具体的な内容としては、海外諸国の健康・医療教育、健康・医療の実態、医療制度、病医院や医師・コメディカル等の供給体制、病医院や医療施設の世界比較等について学ぶ。国際化を促進するため、学生には英語で日本の文化や医療の説明をしたり、医療に関する基礎的なディスカッションをしたりすることを取り入れる。また本講義では、学生が実際に海外に赴き実体験として国際医療事情を見聞することを強く推奨する。 海外研修に参加して、実際に海外の医療現場を経験することを強く勧める。その際、どのような視点を持ってリサーチするかの示唆と、見聞したことの要約法・分析法を教授する。リサーチ原稿の作成と発表までをもって1クールとする。				
到達目標		1.諸外国の医療教育を理解し、日本との違いを説明できる 2.諸外国の医療の実態を理解し、日本との違いを説明できる 3.諸外国の医療制度を理解し、日本との違いを説明できる 4.諸外国の病医院について学び、日本との違いを説明できる 5.日本の医療教育や医療事情について、英語で解説ができる				
評価方法		最終レポート(50%)，提出物(20%)，発表，討論など授業参加度(30%) 海外研修参加者は、事前・事後研修および発表のパフォーマンス(30%)，研修レポート(30%)，研修中のパフォーマンス(40%)				
使用教材		特に指定はない。各自自分のリサーチ目的に沿った文献，教材を探すこと				
参考文献						
課題に対するフィードバック		レポートや提出物については，コメントを付して返却する。発表や討論等のパフォーマンスについては，その都度コメントやアドバイスを伝える				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション				
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく			1 時間
		復習	自分の興味のある国の医療事情リサーチを開始する			1.5 時間
2	講義内容	医療の国際化とは				
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく			1 時間
		復習	講義内容の復習、特に世界で進行中の医療の国際化についてしっかりと理解			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

			する	
3	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情 (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
4	講義内容	日本の医療教育, 医療制度, 医療事情を英語で説明してみよう		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	5	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
5	講義内容	先進国(アメリカ, イギリス, ドイツ)の医療教育		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	先進国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	先進国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	先進国の病院		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	その他の先進国(北欧, カナダ, オーストラリアなど)の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	その他の先進国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	中進国(台湾, シンガポール, 中国など), 途上国(ベトナム, インドネシア, タイなど)の医療教育		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 I (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
13	講義内容	中進国, 途上国の医療事情 II (一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料・データに目を通しておく	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容の復習と興味ある国の医療事情発表準備	1.5 時間
14	講義内容	学生プレゼンテーション		
	該当到達目標	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
	1,2,3,4,5	復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
15	講義内容	学生プレゼンテーションとまとめ		

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	発表原稿とプレゼンテーションの準備	3 時間
		復習	学生プレゼンテーションの復習とコメント記入	1.5 時間
	合計時間(予習・復習)			41.5 時間
備考	AL(アクティブ・ラーニング)は、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション、クローズドクエスチョン、オープンクエスチョンなど。 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		Introduction to Healthcare Sciences(人間理解)				科目ナンバリング	LAH013
英文名		Introduction to Healthcare Sciences				講義形態	講義
担当教員		町田 修三、小澤 滯司、東福寺 幾夫、松尾 仁司、クリストファー・ターン、下川 哲昭、今井 純、大石 時子、富田 陽介					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別							
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)		学生の国際化推進とグローバル人材の育成を目的に設置された講義科目であり、授業は原則英語で行う。日本では医療分野の国際化はまだ遅れているが、世界的には急速に拡大しつつある。本講義では、国際的な医療人養成のため、世界共通語である英語を用いて、医療に関する基礎的な事項を易しく解説していく。複数の教員がオムニバス形式で担当するが、学生の理解度を確認しながら平易な英語で解説するので、受講に際して特に高度な英語力は要求しない。英語による授業を学生がしっかりと理解し、医療コミュニケーション能力を高めることで、医療教育の国際化を先取りするような講義へと発展させることを目指す。 数人の教員がオムニバス形式で英語にて、学生の理解度を確認しながら講義を展開する。英語を使用する授業であるので、予習用に授業で用いる教材・資料・データ等をあらかじめ配布する。授業にはこれらの資料を十分に下調べしたうえで臨むことが特に重要である。					
到達目標		1.医療に関する基礎的な内容に関して、英語での説明を理解できる 2.理解した内容について、第三者に説明できる 3.医療に関するトピックに関して、英語での基礎的なプレゼンテーションやディスカッションができる 4.医療に関するトピックについて、外国の学生と話をすることができる					
評価方法		担当各教員による評価を総合して決定する。各教員は、毎回の授業参加度(20%程度)や講義終了時に課す提出物または小レポート(80%程度)により、それぞれの持ち点に応じて学生を評価する					
使用教材		各教員が作成した資料やデータを用いて講義する					
参考文献							
課題に対するフィードバック		提出物や小レポートには、コメントを付して返却する					
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)		machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Introduction of the course (町田)					
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要や目標を理解しておく				1 時間
	1	復習	講義内容の復習、特に専門用語(英語)を覚える				1 時間
2	講義内容	Medical globalization and Japan's healthcare system (町田)					
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通す。特に専門用語(英語)を予習しておく、授業に参加する準備をしておく				1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解				1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

3	講義内容	Healthcare system of foreign countries (町田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
4	講義内容	Introduction of nursing education in Japan and other countries (大石)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
5	講義内容	Introduction to telemedicine (東福寺)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
6	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English I (小澤)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
7	講義内容	Using Medline Plus to obtain medical information in English II (小澤)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
8	講義内容	Immunity and diseases I (今井)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
9	講義内容	Immunity and diseases II (今井)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
10	講義内容	Medical information system (松尾)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
11	講義内容	Genes and cancer : basic understanding of the disease (下川)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
12	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation I (富田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
13	講義内容	The integration of Biomechanics and Neuroscience to optimize rehabilitation II (富田)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
14	講義内容	Mental health and social skills (ターン)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
15	講義内容	Summary and concluding remarks (ターン)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料, データに目を通す. 特に専門用語(英語)を予習しておく き, 授業に参加する準備をしておく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業で学習した専門用語や内容の再理解	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				44 時間
備考	講義内容は学生の興味を持つような分野から、基礎的なものを選んでいる。学生の積極的な授業参加が求められる。 記載した予習・復習時間に加え、自主的な学修により医療の国際化に関する理解を深め、単位修得に必要な時間を各自確保すること。			

科目名		囲碁の世界(人間理解)				科目 ナンバリング	LAH014
英文名		Introduction to Igo				講義形態	講義
担当教員		三谷 哲也					
科目に関連した 実務経験		2002 年日本棋院に入段、現在七段として東京本院に所属。					
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位		
種別							
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)		近年、囲碁は脳を活性化し考える力を養うということで注目されている。囲碁を学ぶことで「考える力」と「集中力」を磨き、「先を読む力」を身につける。また、日本の伝統文化である囲碁を体得することで、言葉と世代を超えたコミュニケーション力を身につけ、国際交流のコミュニケーション力を高める。 授業は基本的に講義形式で打ち方の解説をした後、受講生同士で対局を行う。					
到達目標		1.全く囲碁を知らない状態から囲碁の世界を知り、19 路盤で最後まで打てるようになる。■ 2.いくつかのパターンの囲碁の心得を覚え、囲碁の考え方を身につける。■					
評価方法		毎回の授業貢献度、技術の習熟度を総合的に判断する(60%) 試験(20%)×2 回					
使用教材		光文社新書「東大教養囲碁講座」					
参考文献							
課題に対する フィードバック		試験後に解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)		授業の前後 15 分ずつであるが、状況により次回の授業で対応となる場合がある。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	囲碁の歴史と基本ルール■					
	該当到達目標	予習	教科書 第 1 章 1～3 に目を通し講義の目的を理解する。				1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の基本的なルールを理解する。				1.5 時間
2	講義内容	ルールの復習(1)■					
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-1～1-3 に目を通し基本ルールを確認する。				1.5 時間
	1,2	復習	囲碁の 5 つの基本ルールを理解する。				1.5 時間
3	講義内容	ルールの復習(2)■					
	該当到達目標	予習	教科書 第 2 章 1-4～1-5 に目を通し基本ルールを確認する。				1.5 時間
	1,2	復習	打てない場所、打てる場所を理解する。				1.5 時間
4	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(1)■					
	該当到達目標	予習	教科書 第 P97 に目を通し、囲碁の打ち方のポイントを確認する。				1.5 時間
	1,2	復習	基本的な 3 つの心得を理解する。				1.5 時間
5	講義内容	ルールの復習及び初歩技術(2)■					
	該当到達目標	予習	教科書 第 3 章 2 に目を通し、石の取り方を確認する。				1.5 時間
	1,2	復習	取れている石、シチョウを理解する。				1.5 時間
6	講義内容	問題演習■					
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章 1～2 に目を通し基本的な考え方を理解する。				1.5 時間
	1,2	復習	地の数え方、石のつながりを理解する。				1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	技術の解説(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P188～199に目を通し終盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の終盤の考え方を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	技術の解説(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P173～188に目を通し中盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の考え方を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	技術の解説(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P158～172に目を通し序盤の考え方を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤の考え方を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	9子局の解説・連碁(対局)■		
	該当到達目標	予習	教科書 第5章1に目を通し9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	9子局の打ち方を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	技術の解説(4)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P207～220に目を通し決め打ち碁のポイントを理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	隅の死活を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	技術の解説(5)とペア碁■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章に目を通し、19路盤の考え方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	問題演習■		
	該当到達目標	予習	教科書 第2章4に目を通し、石の追い方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	石の取り方、死活、終局の仕方を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	技術の解説(6)■		
	該当到達目標	予習	教科書 P259～267に目を通し、総合的な石の取り方を理解する。	1.5 時間
	1,2	復習	19路盤の序盤～中盤の打ち方を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	連碁対局 まとめ■		
	該当到達目標	予習	教科書 第4章～5章に目を通し、これまで習ってきたことを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	インターネットやスマートフォンで対局する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	囲碁の道具の片づけについても授業の一環である。スチューデントアシスタント(SA)の方がいても、積極的に片づけに関わること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	英語 IA(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL001
英文名	English IA				講義形態	講義
担当教員	Angela Marli Karsten Tsunoda					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	● MAKING NEW FRIENDS (greetings and introductions) ● RELATIONSHIPS (talking about other people) ● SPORTS AND MUSIC (talking about interests) ● HEALTH AND INFORMATICS (talking about health and link it to informatics) ● GENERAL REVIEW/ FINAL REPORT INSTRUCTIONS (paragraph writing) ● SHORT TALK (giving opinion) Students' presentation styles will include: Power Point, Poster, Role-play and Handout.					
到達目標	1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 2. Gain experience in presentations in English 3. Gain a Better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language.					
評価方法	Attendance & Participation in Class Discussions.....40% Study Assignments.....20% Project Presentation.....20% Final Report.....20%					
使用教材	None					
参考文献	None					
課題に対するフィードバック	● Peer Comments ● Self-assessment ● Teacher's oral and written comments ● Projects/Final Report evaluations					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)		angelakarsten@hotmail.com	
1	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 1 (Greetings and Introductions) – Introduction, practice				
	該当到達目標	予習	Be prepared to talk about oneself using simple English.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Reread syllabus. Review target language. Complete study assignment.			0.5 時間
2	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 2 (Greetings and Introductions) - Review, practice, production				
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.			0.5 時間
3	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 3 (Greetings and Introductions) – Production/Students' presentation				
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class's topic.			0.5 時間
4	講義内容	RELATIONSHIPS 1 (Talking about other people) – Introduction, practice				
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 2.			0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment.	0.5 時間
5	講義内容	RELATIONSHIPS 2 (Talking about other people) – Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
6	講義内容	RELATIONSHIPS 3 (Talking about other people)–. Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class’s topic.	0.5 時間
7	講義内容	SPORTS AND MUSIC 1 (interests) – Introduction, practice		
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 3.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment.	0.5 時間
8	講義内容	SPORTS AND MUSIC 2 (interests)– Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
9	講義内容	SPORTS AND MUSIC 3 (interests)– Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class’s topic.	0.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 1 (health linked to informatics)– Introduction, practice		
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 4.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment	0.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 2 (health linked to informatics)– Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
12	講義内容	GENERAL REVIEW/ FINAL REPORT INSTRUCTIONS (paragraph writing)		
	該当到達目標	予習	Be ready to answer quiz about previous topics.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review instructions for final report and start working on it.	0.5 時間
13	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 3 (health linked to informatics)– Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Brainstorm about your topic of choice (from syllabus). Work on final report.	0.5 時間
14	講義内容	INDIVIDUAL SHORT TALK (giving opinion)		
	該当到達目標	予習	Be ready for short talk. Have final report ready to hand in to instructor.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review topics and target language.	0.5 時間
15	講義内容	UNIVERSITY LIFE REFLECTIONS (first term wrap up/giving opinion)		
	該当到達目標	予習	Be ready to discuss about impressions of first term at university.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Make sure all assignments were submitted. Talk to instructor in case of doubts.	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IB(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL001
英文名		English IB			講義形態	講義
担当教員		岡田 和子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。				
到達目標		1.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 2.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 3.公衆衛生に関する基礎知識を得る				
評価方法		平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。				
使用教材		『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂				
参考文献		1.『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2.『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018				
課題に対するフィードバック		課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。				
オフィスアワー(研究室)		火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室		メールアドレス(#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	高カロリーと健康(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
2	講義内容	高カロリーと健康(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
3	講義内容	伝染病(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
4	講義内容	伝染病(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IC(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL001
英文名		English IC			講義形態	講義
担当教員		岩田 道子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。				
到達目標		1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
評価方法		期末試験 60% 平常点 40%(授業への参加度、課題など)の総合評価とする。				
使用教材		Linda Lee & Erik Gundersen, <i>Select Readings Pre-Intermediate</i> , Oxford University Press, 2011. 2,500 円				
参考文献						
課題に対するフィードバック		添削のうえ返却する、またはクラス全体で問題解決する。				
オフィスアワー(研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	学習内容の確認			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
2	講義内容	Chapter 1①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
3	講義内容	Chapter 1②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
4	講義内容	Chapter 1③				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
5	講義内容	Chapter 2①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
6	講義内容	Chapter 2②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
7	講義内容	Chapter 2③				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
8	講義内容	Chapter 3①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
9	講義内容	Chapter 3②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 3③		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 4①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 4②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
13	講義内容	Chapter 5①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
14	講義内容	Chapter 5②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IIA(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL002
英文名		English IIA			講義形態	講義
担当教員		岩田 道子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。				
到達目標		1. 大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2. 一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3. リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
評価方法		期末試験 60% 平常点 40%(授業への参加度、課題など)の総合評価とする。				
使用教材		Linda Lee & Erik Gundersen, <i>Select Readings Pre-Intermediate</i> , Oxford University Press, 2011. 2,500 円				
参考文献						
課題に対するフィードバック		添削のうえ返却する、またはクラス全体で問題解決する。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	学習内容の確認			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
2	講義内容	Chapter 1①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
3	講義内容	Chapter 1②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
4	講義内容	Chapter 1③				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
5	講義内容	Chapter 2①				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
6	講義内容	Chapter 2②				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習			0.5 時間
7	講義内容	Chapter 2③				
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
8	講義内容	Chapter 3①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
9	講義内容	Chapter 3②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 3③		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 4①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 4②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
13	講義内容	Chapter 5①		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
14	講義内容	Chapter 5②		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキストを読み不明点を抽出しておく	0.5 時間
	1,2,3	復習	新出単語・表現の復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IIB(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL002
英文名		English IIB			講義形態	講義
担当教員		山田 HAY 美由紀				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		この講義では、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を英語をツールとして習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。				
到達目標		1.英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 2.コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3.協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。				
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況（30%）、課題発表（50%）、講義への参加（20%）を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション（参加度）も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。				
使用教材		課題により印刷教材を配布する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。				
	該当到達目標	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。			0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。				
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。			0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。				
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。			0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。専門用語・時事問題等				
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。			0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	・講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。			

科目名	英語 IIC(リテラシー)				科目 ナンバリング	LAL002
英文名	English IIC				講義形態	講義
担当教員	Angela Marli Karsten Tsunoda					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
種別						
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	● MAKING NEW FRIENDS (greetings and introductions) ● RELATIONSHIPS (talking about other people) ● SPORTS AND MUSIC (talking about interests) ● HEALTH AND INFORMATICS (talking about health and link it to informatics) ● GENERAL REVIEW/ FINAL REPORT INSTRUCTIONS (paragraph writing) ● SHORT TALK (giving opinion) Students' presentation styles will include: Power Point, Poster, Role-play and Handout.					
到達目標	1. Improve self-confidence and accurateness in English skills (writing, reading, speaking, listening) 2. Gain experience in presentations in English 3. Gain a Better understanding of oneself and of human life & culture related topics, while relating these to the use of English language.					
評価方法	Attendance & Participation in Class Discussions.....40% Study Assignments.....20% Project Presentation.....20% Final Report.....20%					
使用教材	None					
参考文献	None					
課題に対する フィードバック	● Peer Comments ● Self-assessment ● Teacher's oral and written comments ● Projects/Final Report evaluations					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)		angelakarsten@hotmail.com	
1	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 1 (Greetings and Introductions) – Introduction, practice				
	該当到達目標	予習	Be prepared to talk about oneself using simple English.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Reread syllabus. Review target language. Complete study assignment.			0.5 時間
2	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 2 (Greetings and Introductions) - Review, practice, production				
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.			0.5 時間
3	講義内容	MAKING NEW FRIENDS 3 (Greetings and Introductions) – Production/Students' presentation				
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.			0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class's topic.			0.5 時間
4	講義内容	RELATIONSHIPS 1 (Talking about other people) – Introduction, practice				
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 2.			0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment.	0.5 時間
5	講義内容	RELATIONSHIPS 2 (Talking about other people) – Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
6	講義内容	RELATIONSHIPS 3 (Talking about other people)– Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class’s topic.	0.5 時間
7	講義内容	SPORTS AND MUSIC 1 (interests) – Introduction, practice		
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 3.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment.	0.5 時間
8	講義内容	SPORTS AND MUSIC 2 (interests)– Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
9	講義内容	SPORTS AND MUSIC 3 (interests)– Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Complete written brainstorm/Think about following class’s topic.	0.5 時間
10	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 1 (health linked to informatics)– Introduction, practice		
	該当到達目標	予習	Be ready to give opinion about topic 4.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review target language. Complete study assignment	0.5 時間
11	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 2 (health linked to informatics)– Review, practice, production		
	該当到達目標	予習	Have study assignment ready to discuss.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Connect with group members to prepare for presentation.	0.5 時間
12	講義内容	GENERAL REVIEW/ FINAL REPORT INSTRUCTIONS (paragraph writing)		
	該当到達目標	予習	Be ready to answer quiz about previous topics.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review instructions for final report and start working on it.	0.5 時間
13	講義内容	HEALTH AND INFORMATICS 3 (health linked to informatics)– Production/Students’ presentation		
	該当到達目標	予習	Be ready for own presentation and to ask questions to other groups.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Brainstorm about your topic of choice (from syllabus). Work on final report.	0.5 時間
14	講義内容	INDIVIDUAL SHORT TALK (giving opinion)		
	該当到達目標	予習	Be ready for short talk. Have final report ready to hand in to instructor.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Review topics and target language.	0.5 時間
15	講義内容	UNIVERSITY LIFE REFLECTIONS (first term wrap up/giving opinion)		
	該当到達目標	予習	Be ready to discuss about impressions of first term at university.	0.5 時間
	1,2,3	復習	Make sure all assignments were submitted. Talk to instructor in case of doubts.	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IIIA(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL003
英文名		English IIIA			講義形態	講義
担当教員		山田 HAY 美由紀				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		この講義では、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を英語をツールとして習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。				
到達目標		1.英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 2.コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3.協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。				
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況(30%)、課題発表(50%)、講義への参加(20%)を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキープレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション(参加度)も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は 3 日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。				
使用教材		課題により印刷教材を配布する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキープレーズを練習する。			0.5 時間
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキープレーズを練習する。			0.5 時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキープレーズを練習する。			0.5 時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。専門用語・時事問題等				
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキープレーズを練習する。			0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明		
	該当到達目標	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。英語押韻について		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。		
	該当到達目標	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
	1,2,3	復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	・講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。			

科目名	英語 IIIB(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL003
英文名	English IIIB				講義形態	講義
担当教員	柳澤 順一					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。					
到達目標	1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。					
評価方法	期末試験 50% 平常点 50%(出席率、発表課題、授業での発言など)の総合評価とする。					
使用教材	Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell, Macmillan Language House (1998)					
参考文献						
課題に対するフィードバック	レポートは評価またはショートコメントを付した後返却する(学期末課題については返却しないことがある)。期末試験は採点后、得点を通知する(非常勤のため事務局経由での通知)。					
オフィスアワー (研究室)			メールアドレス (#→@)		jyanagisawa555#gmail.com	
1	講義内容	Introduction (1), Introductory DVD-Watching				
	該当到達目標	予習	特になし(語彙調べ)			0.5 時間
	1,2,3	復習	プリント練習問題の解法			0.5 時間
2	講義内容	Introduction (2), 英検 CAT の利用法				
	該当到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読			0.5 時間
	1,2,3	復習	Face the Camera サマリー作成			0.5 時間
3	講義内容	Chapter 1 Where Do I Get the Bus?				
	該当到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読			0.5 時間
	1,2,3	復習	Face the Camera サマリー作成			0.5 時間
4	講義内容	Chapter 2 Do You Have a Reservation Ma'am?				
	該当到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読			0.5 時間
	1,2,3	復習	Face the Camera サマリー作成			0.5 時間
5	講義内容	Chapter 3 Could You Repeat That?				
	該当到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読			0.5 時間
	1,2,3	復習	Face the Camera サマリー作成			0.5 時間
6	講義内容	Chapter 4 I'll Take the Wrangler Convertible				
	該当到達目標	予習	1st & 2nd Viewing 精読			0.5 時間
	1,2,3	復習	Face the Camera サマリー作成			0.5 時間
7	講義内容	Chapter 5 Would You Like Soup or Salad?				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	0.5 時間
8	講義内容	Review of Chapters 1-5; Additional DVD-Watching (1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Chapter 1-5 の重要語句の暗唱	0.5 時間
		復習	練習問題プリントの解法、Communication Focus 1-5 の表現を整理	0.5 時間
9	講義内容	Additional DVD-Watching (2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	特になし(語彙調べ)	0.5 時間
		復習	練習問題プリントの解法	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 6 Where's the Fitting Room?		
	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 7 Would You Mind Taking My Picture?		
	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 8 Good to See You!		
	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	0.5 時間
13	講義内容	Chapter 9 I Enjoyed My Stay		
	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成	0.5 時間
14	講義内容	Chapter 10 Aisle Seat, Please		
	該当到達目標 1,2,3	予習	1st & 2nd Viewing 精読	0.5 時間
		復習	Face the Camera サマリー作成、英検 CAT ポートフォリオ作成	0.5 時間
15	講義内容	Review of Chapters 6-10		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Chapter 6-10 の重要語句を暗唱	0.5 時間
		復習	Communication Focus 6-10 の表現を整理	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	CALL 教室を使用する。データ保存用の USB メモリを必ず持参すること。			

科目名		英語 IIIC(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL003
英文名		English IIIC			講義形態	講義
担当教員		松田 幸子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得するとともに、リスニング・ライティング等の総合的な英語運用能力を高める。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。				
到達目標		1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.リスニング・ライティング・コミュニケーション等の総合的な英語運用能力を高める。				
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
使用教材		Anthony P. Newell, 山口高領, <i>Pleasure in Reading Aloud and Retelling</i> (金星堂)				
参考文献						
課題に対するフィードバック		試験・課題等は採点後返却する。				
オフィスアワー (研究室)		水曜 3 限(9 号館 304 室)		メールアドレス (#→@)	matsuda-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んでくる			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
2	講義内容	Unit 1 There Is More than One Way to Be a Leader ①				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
3	講義内容	Unit 1 There Is More than One Way to Be a Leader ②				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
4	講義内容	Unit 2 A Cool Response to Food Waste ①				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
5	講義内容	Unit 2 A Cool Response to Food Waste ②				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
6	講義内容	Unit 3 Haiku—Having Fun with Words and Ideas ①				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
7	講義内容	Unit 3 Haiku—Having Fun with Words and Ideas ②				
	該当到達目標	予習	新出単語の確認と小テストの準備			0.5 時間
	1,2,3	復習	ワークシートに取り組む			0.5 時間
8	講義内容	Unit 4 Could Your Face Cost You Your Privacy? ①				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
9	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 4 Could Your Face Cost You Your Privacy? ②		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
10	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 5 Russia's City of the East ①		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
11	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 5 Russia's City of the East ②		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
12	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 6 The Healing Power of Music ①		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
13	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 6 The Healing Power of Music ②		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
14	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ①		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
15	講義内容 該当到達目標 1,2,3	Unit 7 Looking at Life through the Eyes of a Cat ②		
		予習	新出単語の確認と小テストの準備	0.5 時間
		復習	ワークシートに取り組む	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IVA(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL004
英文名		English IVA			講義形態	講義
担当教員		岡田 和子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		幅広い現代的トピックをあつかったテキストにふれ、大学生レベルの英文を読むための基礎的な語彙を獲得する。また、一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。授業は基本的に演習形式で進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声・映像教材を用いた活動を取り入れる。				
到達目標		1.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 2.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 3.公衆衛生に関する基礎知識を得る				
評価方法		平常点 20%(予習・発表状況など)、定期試験 80%を総合的に評価する。				
使用教材		『The Hospital Team 医療系学生のための総合英語』高津昌宏ほか(著)南雲堂				
参考文献		1.『沈みゆく大国アメリカ―逃げ切れ！日本の医療』堤未果(著) 集英社新書 2015 2.『日本が売られる』堤未果(著) 幻冬社新書 2018				
課題に対するフィードバック		課題、試験等の解説は授業中に行う。必要な場合は添削・コメントを付した後返却する。				
オフィスアワー(研究室)		火曜の 4 限まで。1 号館 1 階の講師室		メールアドレス(#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	高カロリーと健康(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
2	講義内容	高カロリーと健康(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
3	講義内容	伝染病(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
4	講義内容	伝染病(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
5	講義内容	個人と公衆の衛生管理(1)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
6	講義内容	個人と公衆の衛生管理(2)				
	該当到達目標	予習	テキストを読んで内容を理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する			0.5 時間
7	講義内容	日本の医療の改善策(1)				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
8	講義内容	日本の医療の改善策(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
9	講義内容	医療における「針刺し損傷」(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
10	講義内容	医療における「針刺し損傷」(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
11	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
12	講義内容	北里柴三郎と日本の医療(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
13	講義内容	チーム医療の必要性(1)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
14	講義内容	チーム医療の必要性(2)		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
15	講義内容	医療が売られる——日本の皆保険制度の危機		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストを読んで内容を理解する	0.5 時間
		復習	専門用語と表現をまとめ、ポイントの英語表現を暗記する	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		英語 IVB(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL004
英文名		English IVB			講義形態	講義
担当教員		中村 博生				
科目に関連した実務経験		英語教諭として中学校に勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		この授業は、大学生に必要とされる基礎的な英語 4 技能の獲得のための講義である。授業は PC 教室で個別学習とアクティブ・ラーニングを用いて進め、受講者の英語運用能力を高めるために、適宜、音声教材を用いた言語活動を取り入れる。				
到達目標		1.大学生レベルの英文を読むための、基礎的な語彙を獲得する。 2.一般的な英文読解のためのリーディング・スキルを獲得する。 3.コミュニケーションのためのリスニング・スピーキング・ライティングの英語運用能力を高める。■				
評価方法		授業参加度(10%)と小テスト／課題遂行度(30%)、試験(60%)から総合的に評価する。				
使用教材		Reading Pass 1 Second Edition、南雲堂、2015、2,300 円＋税				
参考文献		参考となる文献はその都度紹介する。				
課題に対するフィードバック		課題はコメント・添削・評価の上返却する。 期末試験は採点の後返却する。				
オフィスアワー(研究室)		火曜日 2 限、木曜日 2 限(8 号館 1 階学部長室)		メールアドレス(#→@)	nakamura-h#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Introduction				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで学習内容を把握する			0.5 時間
	1,2,3	復習	講義の目標、学位授与方針、評価方法などを確認する。			0.5 時間
2	講義内容	Chapter 1 Olympic Cities				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
3	講義内容	Chapter 2 Internet Communities				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
4	講義内容	Chapter 3 Console Gaming				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
5	講義内容	Chapter 4 Teleworking				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
6	講義内容	Chapter 5 Graffiti				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
7	講義内容	Chapter 6 E-books				
	該当到達目標	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。			0.5 時間
	1,2,3	復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。			0.5 時間
8	講義内容	Chapter 7 Multiculturalism				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	0.5 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
9	講義内容	Chapter 8 Space Tourism		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	0.5 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
10	講義内容	Chapter 9 Cultural Taboos		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	0.5 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
11	講義内容	Chapter 10 Volunteering		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	0.5 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
12	講義内容	Chapter 11 The Burj Al Arab		
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストとワークシートに従って言語活動の準備をする。	0.5 時間
		復習	テキストの本文や練習問題で各技能の向上を目指した復習をする。	0.5 時間
13	講義内容	Review 1 Communication Drill 1 ■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Chapter1～4 の総まとめをする。	0.5 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	0.5 時間
14	講義内容	Review 2 Communication Drill 2 ■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Chapter5～8 の総まとめをする。	0.5 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	0.5 時間
15	講義内容	Review 3 Communication Drill 3 ■		
	該当到達目標 1,2,3	予習	Chapter9～11 の総まとめをする。	0.5 時間
		復習	4 技能を用いたコミュニケーション活動の総復習	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	質問はメールでも受け付ける。授業は、アクティブ・ラーニングの方法を用いて行うので、授業外学修(ワークシートに基づいた予習・復習)を丁寧にやること。また、授業でのペア・グループ・全体での発表などの活動では、積極的に参加することが望まれる。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		英語 IVC(リテラシー)			科目 ナンバリング	LAL004
英文名		English IVC			講義形態	講義
担当教員		山田 HAY 美由紀				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		この講義では、情報医療の現場において必要とされるコミュニケーション能力を英語をツールとして習得する。各自が自分の考えを持って英語で意見交換できる課題、コミュニケーションを必要とするグループ活動課題等を通し、日常英語の語彙、リスニング能力、英語表現力を身につける。また、専門用語に使用される英語についての理解、発音、使用例などに触れる。時事問題について時勢に沿ったテーマを取り上げる時間も設ける。講義は学生の既習内容を考慮した上、英語で行う。質問、疑問、意見等はその都度か講義後に発言すること。質問や意見は、積極的な参加態度、自己表現として奨励し評価の対象となる。グループ課題終了後、自己評価・講義に対する評価用紙に意見を記入することもできる。				
到達目標		1.英語を使って自己の考えを口頭表現することができる。 2.コミュニケーションに必要な英語表現を学び、日常的に実践できる。 3.協力して課題を解決していくことにより、互いの能力を認め合い、個人を尊重する姿勢を身につける。				
評価方法		講義は実技中心のため、時間内のコミュニケーション状況（30%）、課題発表（50%）、講義への参加（20%）を評価する。個人課題は、講義の始めに毎回評価する。ペア、グループ課題は講義内での実践中、各人の英語によるコミュニケーションの様子を評価する。コミュニケーションのためのキーフレーズを毎時紹介するので、記録して課題実践中に使うことが期待される。講義内外でのコミュニケーション（参加度）も評価の対象となる。自己評価用紙の記入は行うが、筆記試験による評価は実施しない。講義に参加することが評価の対象になるので、欠席は3日を超えないよう留意すること。超える場合は要相談。				
使用教材		課題により印刷教材を配布する。				
参考文献						
課題に対する フィードバック		実技実施中、グループ課題発表後に口頭にてフィードバックする。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	講義内容、出欠、評価の概要について理解する。個人活動。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	英語に触れる機会を増やすための個人課題を出すので、受講期間中続けること。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
2	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。簡単なグループ活動と発表。ペア活動の紹介と実践。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
3	講義内容	個人課題について発表し教員評価を受ける。ペア活動。グループ課題 1 の紹介。				
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。			0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。			0.5 時間
4	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 について理解する。専門用語・時事問題等				

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
5	講義内容	個人課題についてペアで発表し合う。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を修正しながら続ける。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
6	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。専門用語・時事問題等		
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
7	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の実践。		
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
8	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 のリハーサル。		
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
		復習	グループ課題 1 の発表に向けて個人練習すること。	0.5 時間
9	講義内容	個人課題についてグループ内で評価し発表する。グループ課題 1 の発表。		
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
10	講義内容	発表について教員から口頭評価。自己評価・講義に対する評価(印刷物配布)。グループ課題 2 の説明		
	該当到達目標 1,2,3	予習	評価を参考に個人課題を続ける。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
11	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
12	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の内容構成。英語押韻について		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題の内容について必要事項を調べておく。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
13	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 の練習。英語押韻について		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
14	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題 2 のリハーサル。		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
15	講義内容	個人課題のグループ内評価と発表。グループ課題の発表。口頭で評価。自己評価・講義に対する評価の記入(印刷物配布)。		
	該当到達目標 1,2,3	予習	個人課題を続ける。グループ課題 2 の練習をしておく。	0.5 時間
		復習	コミュニケーションのためのキーフレーズを練習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	・講義内で電子辞書またはスマートフォンによる辞書検索を行うので持参すること。検索以外の使用については学生として品位のある態度で取り扱うこと。 ・コミュニケーションのためのフレーズを毎回紹介するので、記録して講義中に使用すること。記録用媒体はノート、スマートフォンなど個人で選択する。			

科目名	Integrated English I(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL005
英文名	Integrated English I				講義形態	講義
担当教員	クリス・ターン					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	本講義では、海外英語研修参加希望者を対象とする。英語による日常英会話レベルのコミュニケーション能力を獲得することを講義目標としている。教員より、コミュニケーションをとる必要がある様々な場面設定が提示される。受講生はその対応を考え、実践演習を行う。その後課題を分析し、再度実践演習を行う。また、学生生活で学んだ英語をまとめてノートを作成する。					
到達目標	1.コミュニケーションの基礎知識を学ぶ 2.海外での様々な場面を想定した英会話の練習をする 3.プレゼンテーションの実践演習を行う また海外英語研修に向けた事前準備や説明を行う。					
評価方法	授業内パフォーマンス 90%、提出物 10%					
使用教材	特に定めない。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	提出物にはコメントをつけて返却する。個人面談を行う。					
オフィスアワー (研究室)	火曜 3 限、金曜 3 限 (1 号館 315 研究室)			メールアドレス (#→@)	tarn#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	What is communication?				
	該当到達目標	予習	なし			0.5 時間
	1,2,3	復習	授業内容について要約する			0.5 時間
2	講義内容	Cognitive Psychology: Get to Know Yourself				
	該当到達目標	予習	自分自身について書く			0.5 時間
	1,2,3	復習	自分のインターナショナル・スキルについて書く			0.5 時間
3	講義内容	Social Skills				
	該当到達目標	予習	社会心理学について事前調べを行う			0.5 時間
	1,2,3	復習	改善すべき自分の社会的スキルについて書く			0.5 時間
4	講義内容	The Power of Imagination and Innovation				
	該当到達目標	予習	行きたい国、行きたい理由を挙げる			0.5 時間
	1,2,3	復習	その国について調べる			0.5 時間
5	講義内容	Learning to Control a Conversation				
	該当到達目標	予習	言葉が理解できない状況でどういくコミュニケーションが有効か考える			0.5 時間
	1,2,3	復習	ホストファミリーとの会話例を考える			0.5 時間
6	講義内容	Listening Strategies				
	該当到達目標	予習	訪問国の英語発音について調べる			0.5 時間
	1,2,3	復習	訪問国の短編映画やアニメを見る			0.5 時間
7	講義内容	Basic English: Self Introduction and First Step for Communication in English				
	該当到達目標	予習	自己紹介文を書く			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,3	復習	自己紹介文を仕上げる	0.5 時間
8	講義内容	Create your own English Database		
	該当到達目標	予習	ノートの準備をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	English Database を作成する	0.5 時間
9	講義内容	Meet a Foreigner		
	該当到達目標	予習	外国人ゲストとの会話を考える	0.5 時間
	1,2,3	復習	外国人ゲストとの会話から、スピーキングの課題を見つける	0.5 時間
10	講義内容	Speech Basics: Talking to Audience		
	該当到達目標	予習	相手に伝わるプレゼンテーションについて調べる	0.5 時間
	1,2,3	復習	大学紹介についてのパワーポイントを作成する	0.5 時間
11	講義内容	Presentation 1		
	該当到達目標	予習	自分の学科(専門)についてのプレゼンテーションを作成する	0.5 時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間
12	講義内容	Presentation 2		
	該当到達目標	予習	テーマについてのプレゼンテーションの準備をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーションの直しと仕上げをする	0.5 時間
13	講義内容	Make your own Textbook 1		
	該当到達目標	予習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間
	1,2,3	復習	海外研修・ホームステイを想定し自分自身のテキストブックを作成する	0.5 時間
14	講義内容	Do Group Work to Improve your Textbook		
	該当到達目標	予習	グループごとに各自のテキストブックについて話し合い改善する	0.5 時間
	1,2,3	復習	想定した研修やホームステイについてレポートを書く	0.5 時間
15	講義内容	Conclusion		
	該当到達目標	予習	これまでの授業の復習をする	0.5 時間
	1,2,3	復習	全講義を通して学んだことをレポートにする	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	本講義は海外英語研修参加者を対象とする。予習復習時間については各自補完すること。			

科目名		Integrated English II(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL006
英文名		Integrated English II			講義形態	講義
担当教員		嶋田 和成				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		基本文法事項を整理しながら、TOEIC テスト受験に必要とされる基礎的な英語力養成を主眼とする。そのため授業では、TOEIC テスト形式の問題演習を中心に据えて、英語の基礎力を主にリスニングとリーディングの面から強化する。また、語彙を増やすことにも重点を置く。授業は、教科書を使って TOEIC テスト形式の模擬問題演習と受講生同士によるコミュニケーション活動の形で進める。				
到達目標		1.TOEIC テストの形式と内容を理解できる。 2.語彙力が身につく。 3.文法事項を理解できる。 4.リスニング力が身につく。 5.リーディング力が身につく。				
評価方法		授業への参加度、発表、課題(40%)、期末試験(60%)で評価する。				
使用教材		妻鳥千鶴子他.(2016). <i>First Time Trainer for the TOEIC® Test</i> . 東京:センゲージラーニング.2,000 円				
参考文献		授業内で紹介する。				
課題に対するフィードバック		課題の解説をする。				
オフィスアワー (研究室)		木曜 3 限、金曜 5 限 (研究室:9 号館 3 階 303)		メールアドレス (#→@)	shimada-k # takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス・TOEIC テストとは				
	該当到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。			0.5 時間
	1	復習	講義内容を理解し、TOEIC テストの概要と学習法を確認する。			0.5 時間
2	講義内容	Unit 1: Shopping				
	該当到達目標	予習	Unit 1 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 1 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
3	講義内容	Unit 2: Daily Life				
	該当到達目標	予習	Unit 2 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 2 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
4	講義内容	Unit 3: Transportation				
	該当到達目標	予習	Unit 3 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 3 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
5	講義内容	Unit 4: Jobs				
	該当到達目標	予習	Unit 4 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 4 の練習問題の内容を理解する。			0.5 時間
6	講義内容	Unit 5: Meals				
	該当到達目標	予習	Unit 5 の語彙の意味を調べる。			0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	2,3,4,5	復習	Unit 5 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
7	講義内容	Unit 6: Communication		
	該当到達目標	予習	Unit 6 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 6 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
8	講義内容	Units 1-6 のまとめ		
	該当到達目標	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
9	講義内容	Unit 7: Fun		
	該当到達目標	予習	Unit 7 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 7 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
10	講義内容	Unit 8: Office Work		
	該当到達目標	予習	Unit 8 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 8 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
11	講義内容	Unit 9: Meeting		
	該当到達目標	予習	Unit 9 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 9 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
12	講義内容	Unit 10: Travel		
	該当到達目標	予習	Unit 10 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 10 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
13	講義内容	Unit 11: Finance		
	該当到達目標	予習	Unit 11 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 11 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
14	講義内容	Unit 12: Business		
	該当到達目標	予習	Unit 12 の語彙の意味を調べる。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	Unit 12 の練習問題の内容を理解する。	0.5 時間
15	講義内容	Units 7-12 のまとめ		
	該当到達目標	予習	指定されたリスニング・リーディングの問題を解く。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	解説を聞いて理解し、間違えたところを確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		ドイツ語(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL007
英文名		German			講義形態	講義
担当教員		出雲 春明				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		初習者がドイツ語に親しみ、講義終了後も学習を持続していくための足がかりを築く。 記述よりも実際に口に出して発音することを重視し、ドイツ語でのコミュニケーションに最低限必要な文法や挨拶などの定型表現を一緒に練習していく。				
到達目標		1.ドイツ語を正確に発音し、聞き取ることができる。 2.初級文法を用いて基本的な会話を行い、読み書きすることができる。				
評価方法		授業への参加とその態度(20%)、小テスト・期末テスト(80%)で評価する。				
使用教材		羽根田知子・熊谷知実『ネコと学ぶドイツ語』、三修社(¥2,400)。 なお、必要に応じて別途資料を配付する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		授業の進行に応じて、練習問題を課し、採点して返却する。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンスー日常のなかのドイツ語と、ドイツ語のアルファベットー				
	該当到達目標	予習	シラバスを読み講義内容を理解する。テキスト Lektion1 に目を通しておく。			1 時間
	1	復習	アルファベットの読みを声に出して練習する。			1.5 時間
2	講義内容	Lektion1 母音の発音、ドイツ語の挨拶(1)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1,8)を読み、付属の CD の対応する箇所を聞いておくこと。			1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	Lektion1 子音の発音(1)、ドイツ語の挨拶(2)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1-2,8)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	Lektion1 子音の発音(2)、ドイツ語の数字(1)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.2,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	Lektion1 特殊な発音、ドイツ語の数字(2)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.1-2,8)の対応箇所、配付資料を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
	1	復習	テキストと配付した資料を用いて発音練習をしておくこと。			1.5 時間
6	講義内容	Lektion2 一般動詞の特徴とその人称変化(1)、ドイツ語の時刻表現				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.4-5,14)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間
	1,2	復習	テキスト(p.4)を用いて人称変化の練習をしておくこと。			1.5 時間
7	講義内容	Lektion2 ドイツ語の一般動詞の特徴とその人称変化(2)				
	該当到達目標	予習	テキスト(p.5-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	テキストに出てくる動詞を用いて人称変化の練習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.4-6)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	テキストに出てくる語句を用いて、ドイツ語での作文を練習しておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	Lektion2 ドイツ語の平叙文、疑問文、否定文、命令文(2)、ドイツ語での自己紹介		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.7)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	作文の練習だけでなく、CD の音声を参照しながら、正しい発音か確認しておく。	1.5 時間
10	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9-10,12)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の変化を確認しておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	Lektion3 sein 動詞の特徴とその人称変化(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	sein 動詞の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,11)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の変化を確認、練習しておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	Lektion3 haben の特徴とその人称変化(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.9,13)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	haben の使い方をテキストの語句を用いて練習しておくこと。	1.5 時間
14	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(1)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.15-16)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	ドイツ語の名詞には男性、女性、中性名詞の区別があることを理解すること。	1.5 時間
15	講義内容	Lektion4 ドイツ語の名詞には性別がある(2)		
	該当到達目標	予習	テキスト(p.16-17)を読み、付属の CD を聞いておくこと。	1 時間
	1,2	復習	それぞれの名詞の性別について確認しておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		フランス語(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL008
英文名		French				講義形態	講義
担当教員		ロワイエ・アンヌ＝ソフィー					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	選択	2 単位		
種別							
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
講義概要(テーマ・内容)		フランス語に興味を持ってもらう。教科書の内容を中心に進める。コミュニケーションを目的にした授業のため、フランス語を用いた会話を随時取り入れる。					
到達目標		1.フランス語で簡単な会話ができる 2.フランス語検定 5 級相当の文法を理解する					
評価方法		テキスト内のテストにて文法理解度を確認 50%、授業内の発言・ロールプレイ等 50%					
使用教材		「フランス語をひとつひとつわかりやすく。―超基礎からの個人授業」 学研教育出版 ISBN978-4-05-303813-5					
参考文献							
課題に対するフィードバック		授業内で取り組んだテストをチェックして返却する。					
オフィスアワー(研究室)		質問等は、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス	連絡手段は初回授業時に提示する。		
1	講義内容	主語になる代名詞 / être の使い方①					
	該当到達目標	予習	第 1 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 1 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
2	講義内容	être の使い方② / -er で終わる動詞①					
	該当到達目標	予習	第 2 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 2 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
3	講義内容	-er で終わる動詞② / avoir の使い方					
	該当到達目標	予習	第 3 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 3 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
4	講義内容	男性名詞と女性名詞 / 名詞の複数形					
	該当到達目標	予習	第 4 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 4 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
5	講義内容	The や this にあたる語 / 数えられない名詞					
	該当到達目標	予習	第 5 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 5 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
6	講義内容	「私の」「彼の」など / 形容詞の使い方					
	該当到達目標	予習	第 6 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 6 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間
7	講義内容	否定文の作り方① / 否定文の作り方②					
	該当到達目標	予習	第 7 回で取り組む単元を CD で聞いておく。				0.5 時間
	1,2	復習	第 7 回で取り組んだ単元を再確認しておく。				0.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	疑問文の作り方① / 疑問文の作り方②		
	該当到達目標	予習	第 8 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 8 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
9	講義内容	aller/venir の使い方 / -ir で終わる動詞		
	該当到達目標	予習	第 9 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 9 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
10	講義内容	Faire の使い方 / 「いつ？」とたずねる文		
	該当到達目標	予習	第 10 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 10 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
11	講義内容	「どこ？」とたずねる文 / 「なぜ？」とたずねる文		
	該当到達目標	予習	第 11 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 11 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
12	講義内容	「どのように？」とたずねる文 / 値段や数をたずねる文		
	該当到達目標	予習	第 12 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 12 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
13	講義内容	「どの？」「どんな？」とたずねる文 / 「何歳？」とたずねる文		
	該当到達目標	予習	第 13 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 13 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
14	講義内容	「何時？」とたずねる文 / 「何？」「だれ？」とたずねる文		
	該当到達目標	予習	第 14 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 14 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
15	講義内容	前置詞の使い方 / 「～しなさい」		
	該当到達目標	予習	第 15 回で取り組む単元を CD で聞いておく。	0.5 時間
	1,2	復習	第 15 回で取り組んだ単元を再確認しておく。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	ポルトガル語(リテラシー)				科目 ナンバリング	LAL009
英文名	Portuguese				講義形態	講義
担当教員	伊勢島 セリア明美					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	ポルトガル語の基礎文法を習得することを目指します。 又、ポルトガル語圏文化を紹介したいと思います。 テキストに沿って、文法事項を確認しながら、練習問題に答えて頂きます。 授業の後半は応用会話の練習及びリスニングを行います。					
到達目標	1.初歩レベルの日常会話 2.多文化に触れる					
評価方法	計 3 回のミニ会話の発表で 100%評価。 評価 60%以上を合格とします。					
使用教材	Vamos falar português! Edição Revisada・重松由美著・朝日出版社・2020 年改訂版・2,300 円＋税					
参考文献						
課題に対する フィードバック	応用会話の内容を確認し、必要に応じて補足の説明を行います。					
オフィスアワー (研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に 教室等で相談に応じます。		メールアドレス		連絡手段は初回授業時に提示しま す。	
1	講義内容	ガイダンス、アルファベット、発音、基本挨拶の表現				
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する。			1.5 時間
	1	復習	文字と発音を確認する。数詞 0～10 を覚える。			1.5 時間
2	講義内容	飲み物・食べ物の注文				
	該当到達目標	予習	冠詞を覚える。数詞 11～30 を確認する。「飲み物・食べ物」を確認する。			1.5 時間
	1,2	復習	アイテムを指しながら質問が出来るようにする。「授業で使う表現」を覚える。			1.5 時間
3	講義内容	自己紹介				
	該当到達目標	予習	動詞 ser の活用形を覚える。「学校に関する言葉」を確認する。			1.5 時間
	1	復習	挨拶と自己紹介ができるようにする。「国籍」、「言語」を確認する。			1.5 時間
4	講義内容	相手の出身地・電話番号等を尋ねる				
	該当到達目標	予習	指示形容詞・指示代名詞を覚える。「国名」を確認する。			1.5 時間
	1	復習	疑問文と否定文の構文を確認する。「服と身の回り品」を確認する。			1.5 時間
5	講義内容	家族の紹介				
	該当到達目標	予習	所有形容詞を覚える。「家族」を覚える。			1.5 時間
	1,2	復習	家族の紹介ができるようにする。「職業」を確認する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	人・物を褒める		
	該当到達目標	予習	形容詞の変化形及び「形容詞」を覚える。	1.5 時間
	1	復習	持ち物についてコメントができるようにする。「性格・特徴」を覚える。	1.5 時間
7	講義内容	好きなものを伝える		
	該当到達目標	予習	直接法現在の活用形及び基本前置詞を覚える。巻末の「動詞」を確認する。	1.5 時間
	1	復習	相手の好みを聞けるようにする。「色」を覚える。	1.5 時間
8	講義内容	予定を伝える		
	該当到達目標	予習	不規則動詞 ir 及び fazer の活用形を覚える。「時を表す表現①」を確認する。	1.5 時間
	1	復習	疑問詞疑問文で相手の予定が聞けるようにする。「頻度を表す表現」を覚える。	1.5 時間
9	講義内容	許可や依頼の表現		
	該当到達目標	予習	不規則動詞 poder の活用形を覚える。数詞 31～100 を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	依頼・誘い・許可を求める文が言えるようにする。「建物と店」を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	「～が欲しい」、「～がしたい」と願望や要求を伝える		
	該当到達目標	予習	不規則動詞 querer の活用形を覚える。「時を表す表現②」を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	日付と曜日の表現ができるようにする。「月」及び「曜日」を覚える。	1.5 時間
11	講義内容	今おこなっていることを伝える		
	該当到達目標	予習	不規則動詞 estar の活用形を覚える。「体調・気分を表す形容詞」を確認する。	1.5 時間
	1	復習	場所の説明ができるようにする。「場所を表す表現」を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	過去の行動を伝える		
	該当到達目標	予習	直接法完全過去の活用形を覚える。「時を表す表現③」を覚える。	1.5 時間
	1	復習	時間の表現ができるようにする。「時間の表現」を覚える。	1.5 時間
13	講義内容	理由や原因を尋ねる		
	該当到達目標	予習	よく使う完全過去不規則動詞の活用形を覚える。	1.5 時間
	1,2	復習	不定語・否定語を使った文が言えるようにする。「接続詞」を覚える。	1.5 時間
14	講義内容	過去の習慣を言える		
	該当到達目標	予習	直接法不完全過去の活用形を覚える。「時を表す表現④」を確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	過去から続いている動作が言えるようにする。「時を表す表現⑤」を覚える。	1.5 時間
15	講義内容	比較の表現		
	該当到達目標	予習	「副詞」を覚える。数詞 101～10000 を確認する。	1.5 時間
	1	復習	巻末の文法補足を確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	中国語(リテラシー)				科目ナンバリング	LAL010
英文名	Chinese				講義形態	講義
担当教員	渡邊 賢					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	中国語を学ぶ上で不可欠である発音とその表記と、また最も基礎的な語彙と構文とを身に付け、簡単なコミュニケーションができる語学力の養成を目指す。同時に中国文化の全般に関する興味を喚起したい。授業は全 15 回を通じて、音声および表記の反復学習を徹底する形で展開し、中国語基礎学力の定着を目指す。失敗を恐れず、積極的に楽しく学んでほしい。外国語学習には習慣性のある程度の忍耐が必要である。学生諸君には外国語の学習を通じて、習慣的学習や知的忍耐力を身に着けられたい。					
到達目標	1.中国の地理、風俗および言語とその多様性を理解する。 2.中国語音を表記する音声記号を習得する。 3.中国語音を表記する音声記号を正確に発音する能力を育成する。 4.中国語音を聞いて、弁別する聴力を育成する。 5.日常会話に不自由しない程度の語彙と語法とを習得する。					
評価方法	毎回の小試験 20%、発音中間試験 30%、学期末筆記試験 50%により評価する。 総合評価 60%以上を合格とみなす。					
使用教材	教科書『大学一年生のための合格中国語』小幡敏行著(朝日出版社) ISBN97-4-255-45224-1C1087					
参考文献						
課題に対するフィードバック	毎回の小試験は採点の上、返却する。各自、未熟な点をよく自覚し克服されたい。					
オフィスアワー (研究室)	授業開始前もしくは授業終了後に応じる。			メールアドレス	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバス内容、教科書第 8 頁「中国語について」を読み、講義目標や中国語の特性などについて理解する。			1 時間
	1	復習	不要			0 時間
2	講義内容	発音の基礎Ⅰ:ピンイン字母、単母音、四声などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
3	講義内容	発音の基礎Ⅱ:複合母音、「声(子音)」の唇音・舌尖音・舌根音などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
4	講義内容	発音の基礎Ⅲ:鼻母音、「声(子音)」の舌面音・捲舌音・舌歯音などを学習する。				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	2,3,4	復習	授業で学習したことを、毎日、一日 10 分程度、発音する。			1 時間
5	講義内容	教科書第 1 課、名前の聞き方・答え方、人称代名詞などの学習。				
	該当到達目標	予習	教科書第 1 課の本文および新出語句の発音を練習しておく。			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
6	講義内容	教科書第2課、指示代名詞、「是」を用いた判断文などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第2課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
7	講義内容	教科書第3課、形容詞述語文や数量表現などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第3課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
8	講義内容	教科書第4課、存在文や構造助詞「的」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第4課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
9	講義内容	教科書第5課、介詞構造や方位詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第5課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
10	講義内容	教科書第6課、連動文や能願動詞などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
11	講義内容	教科書第7課、数量補語や動態助詞の「了」と語気詞の「了」などの学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第7課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
12	講義内容	教科書第8課、動態助詞「過」や程度補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第8課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
13	講義内容	教科書第9課、能願動詞「会」「能」「可以」などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第9課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
14	講義内容	教科書第10課、方向補語や結果補語などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第10課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
15	講義内容	教科書第11課、主述述語文や比較表現などについての学習。		
	該当到達目標	予習	教科書第11課の本文および新出語句の発音を練習しておく。	0.5 時間
	2,3,4,5	復習	当該課の語彙、語法を理解する。また会話文や例文は毎日繰り返し練習する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				26 時間
備考	復習は机に向かうには及ばない。通学時などわずかな余暇を利用して、10分程度で構わぬので、必ず毎日、口や舌を動かして毎回の授業の内容を消化することが望ましい。毎回の積み重ねが肝要。後刻、自力でマスターしようとしてもほとんど不可能と心得よ。記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		ハングル語(リテラシー)			科目 ナンバリング	LAL011
英文名		Korean			講義形態	講義
担当教員		徐 明煥				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		はじめて韓国語をまなぶ学生を対象とする。表音文字であるハングルの表記を覚え、単語や文章を正確に発音する練習をする。会話の練習を通して簡単な挨拶や自己紹介、身の回りのものについて覚える。ハングルの文字と単語の書き方、読み方から発音練習や会話表現の練習を行う。また、小テストを行うため、必ず予習・復習を行うこと。				
到達目標		1.韓国語の文字であるハングルの正確な読み書きができる。 2.基本文型を身に付けさせて簡単な日常会話ができる。 3.基本的な韓国語の 4 技能の「聞く」「話す」「読む」「書く」能力を向上させる。 4.初級レベルの韓国語運用能力を身につける。				
評価方法		出席 10%、宿題 20%、小テスト 20%、定期試験 50%				
使用教材		李淑炫(2011)『チェミナ韓国語―自然に身につく会話と文法 韓国語初級テキスト』白帝社 ISBN-13:978-4891748593				
参考文献						
課題に対する フィードバック		宿題にはコメントを付けて返却する。小テストを毎回返却し解説する。				
オフィスアワー (研究室)		質問等がある場合は授業の前後に応じる。もしくはメールで連絡すること。	メールアドレス (#→@)	intgvseo21jp#gmail.com		
1	講義内容	授業概要、ハングルについて、第 1 課:母音				
	該当到達目標	予習	テキストを用意し、12 頁～14 頁を読んでくる。韓国語のノートを用意する。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
2	講義内容	第 2 課:子音(平音と有声音)				
	該当到達目標	予習	22 頁～25 頁を読んでくる。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
3	講義内容	第 2 課:子音(激音と濃音)				
	該当到達目標	予習	26 頁～31 頁を読んでくる。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
4	講義内容	第 3 課:パッチム、パッチム 7 つの代表音				
	該当到達目標	予習	32 頁～37 頁を読んでくる。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
5	講義内容	第 4 課:二重母音、名前を書く、まとめ				
	該当到達目標	予習	38 頁～43 頁を読んでくる。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間
6	講義内容	第 5 課:発音の変化、発音の基本、パッチム音の変化				
	該当到達目標	予習	46 頁～54 頁を読んでくる。			1.5 時間
	1	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	第 6 課:主題を表す助詞「～は」、体言について、指定詞の丁寧な表現 I		
	該当到達目標	予習	56 頁～63 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
8	講義内容	第 7 課:指示代名詞(これ・それ・あれ)、「～ではありません」		
	該当到達目標	予習	64 頁～71 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
9	講義内容	第 8 課:主語を表す助詞「～が」、「～と」、「いる/ある、ない/いない」について、まとめ		
	該当到達目標	予習	72 頁～81 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
10	講義内容	第 9 課:場所や位置を表す表現、数詞 I		
	該当到達目標	予習	82 頁～91 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
11	講義内容	第 10 課:用言の丁寧形 I (改まった表現)、用言の否定形		
	該当到達目標	予習	92 頁～97 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
12	講義内容	第 10 課:羅列の表現、場所を表す助詞、目的格を表す助詞、まとめ		
	該当到達目標	予習	97 頁～101 頁を読んでくる。まとめ	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
13	講義内容	第 6 課～10 課、総合まとめ		
	該当到達目標	予習	第 6 課から第 10 課まで読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	今まで勉強した内容をもう一度、確認して理解しておく。	1.5 時間
14	講義内容	第 11 課:指定詞(丁寧な表現 II)逆接を表す表現数詞 II や時間の言い方		
	該当到達目標	予習	102 頁～105 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	次回、授業内容に係る小テストを実施するので復習をしておくこと。	1.5 時間
15	講義内容	第 11 課:数詞 II や時間の言い方		
	該当到達目標	予習	106 頁～111 頁を読んでくる。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	数詞 I と数詞 II の使い分けや読み方を理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	次回の授業時まで予習・復習を必ずすること。CD を活用し、テキストの読みを練習すること。 メールを送る際は「件名」に「高崎健康福祉大学ハングル語:名前」を必ず記入すること。			

科目名		コンピュータ入門Ⅰ（リテラシー）			科目ナンバリング	LAL012
英文名		Introduction to ComputerⅠ			講義形態	講義
担当教員		坂本 孝				
科目に関連した実務経験		SEとして情報通信企業に勤務（経験）				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別		J 検情報活用試験対応科目				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要（テーマ・内容）		IT 社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の前編である本講義では、情報活用に関する基礎知識を習得し、コンピュータ内でのデータの扱いや構成装置の機能等について学ぶ。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。				
到達目標		1.情報関連資格の内容と意義について理解できる。 2.コンピュータのハードウェアの仕組みを説明できる。 3.コンピュータのソフトウェアの役割を説明できる。 4.コンピュータ内部で情報がどのように記憶・処理されているかを説明できる。 5.現代社会におけるコンピュータの利用分野とその役割を説明できる。■				
評価方法		毎回の確認テスト（80％）、検定結果（20％）により評価する。				
使用教材		自作のプリント				
参考文献						
課題に対するフィードバック		毎回の確認テストは採点して翌週返却し、解説する。				
オフィスアワー（研究室）		月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス（#→@）	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義概要と情報関連資格について				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。			3 時間
2	講義内容	コンピュータの歴史と種類■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			2 時間
3	講義内容	コンピュータの基礎知識				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			2 時間
4	講義内容	情報社会とコンピュータ■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			2 時間
5	講義内容	コンピュータの構成と性能				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			2 時間
6	講義内容	基数変換① n 進数のしくみ				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。			1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	基数変換② 2進数、8進数、16進数の相互変換		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
8	講義内容	文字データの表現		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
9	講義内容	記憶装置① 主記憶装置と補助記憶装置の分類		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
10	講義内容	記憶装置② ハードディスクの仕組み		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
12	講義内容	入出力装置		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
13	講義内容	入出力インターフェース		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
14	講義内容	論理演算		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3,4,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	コンピュータ入門Ⅱ（リテラシー）			科目ナンバリング	LAL013
英文名	Introduction to ComputerⅡ			講義形態	講義
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務（経験）				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別	J 検情報活用試験対応科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	IT社会においてコンピュータを真に活用するためには、ただ単にコンピュータの操作ができるだけでなく、その背景となる技術を理解することが必要不可欠である。「コンピュータ入門」の後編である本講義では、ネットワークとセキュリティを中心とした基本知識について学ぶ。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取組みを行っていく。				
到達目標	1.コンピュータ内部での演算の仕組みやファイルの扱いについて説明できる。 2.ネットワークの基本用語について説明できる。 3.IP アドレスの設定について理解し、自分で適切な設定できる。■ 4.セキュリティ対策の基本用語について説明できる。 5.システムの性能についての計算ができる。■				
評価方法	毎回の確認テスト（80％）、検定結果（20％）により評価する。				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
課題に対するフィードバック	毎回の確認テストは採点して翌週返却し、解説する。				
オフィスアワー （研究室）	月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス （＃→＠）	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	補数			
	該当到達目標	予習	不要	1 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、様々な資格について調べる。		2 時間
2	講義内容	負の数			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。		1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。		2 時間
3	講義内容	演算のしくみ			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。		1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。		2 時間
4	講義内容	ファイルシステム			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。		1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。		2 時間
5	講義内容	ファイル形式			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。		1 時間
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。		2 時間
6	講義内容	ネットワーク① 基本用語			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。		1 時間
	2	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。		2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	ネットワーク② プロトコル、サーバ		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
8	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク① ネットワーク設定の基本■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
9	講義内容	IP アドレスとサブネットマスク② ネットワーク設定の詳細■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	2,3	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
10	講義内容	コンピュータ犯罪とセキュリティ対策■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
11	講義内容	J 検対策		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
12	講義内容	バックアップ		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
13	講義内容	RAID システム		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	4	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
14	講義内容	小数の表現		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	1,5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
15	講義内容	システムの性能■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、穴埋め部分を自分で調べる。	1 時間
	5	復習	講義での説明内容をまとめ、次回テストに備える。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	コンピュータ実習 I(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL014
英文名	Computer Practice I			講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	パソコンはいまや文房具であり、それを使いこなすことはこれからの社会を生き抜く基礎力である。本実習は文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトウェアを使用する確かな基礎力を習得する。教科書にそって説明を行った後、その内容の課題を課す。				
到達目標	1.PC を自己の目的に合わせて使用することができる。 2.文書作成ではマイクロソフトの Word を使用してレポート等の作成が、自力でできる。 3.表計算作成ではマイクロソフトの Excel を使用して、データの整理や集計、グラフ作成ができる。 4.プレゼンテーションでは PowerPoint を使用して、プレゼンテーションの作成と実施ができる。				
評価方法	課題の提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄え(50%)、発表の実施評価(10%)を総合的に評価する。				
使用教材	30 時間アカデミック Office2010 実教出版				
参考文献					
課題に対するフィードバック	課題の出来によっては、問題点を指摘し再提出を求める。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション、PC ログイン方法、eメールの使い方			
	該当到達目標	予習	不要		0 時間
		復習	授業時間外 PC の利用、eメールマナー		0.5 時間
2	講義内容	Windows 操作の基本、文字の入力、Word 文書作成の基本操作・文字の修飾			
	1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		0.5 時間
3	講義内容	Word 書式の設定、図表の挿入、文書を用いたプレゼンテーション実施			
	2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		0.5 時間
4	講義内容	Word 課題文書の作成、編集、印刷			
	2	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		1 時間
5	講義内容	Excel 基本操作 データ入力の基礎、基本操作、基本的なワークシート編集			
	3	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間
		復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。		0.5 時間
6	講義内容	Excel 基本操作 関数、罫線、セル書式の指定			
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。		0 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
7	講義内容	Excel	基本操作 グラフ作成	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	Excel	基本操作 関数(条件判定、順位づけ)	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
9	講義内容	Excel	基本操作 関数を利用した検索	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
10	講義内容	Excel	基本操作 Excel の便利な機能	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
11	講義内容	PowerPoint	スライド作成の基本操作	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
12	講義内容	PowerPoint	図形の描画	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
13	講義内容	PowerPoint	プレゼンテーション効果の活用、アニメーションの設定	
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	4	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
14	講義内容	PowerPoint	課題プレゼンテーション資料作成	
	該当到達目標	予習	発表予定の資料について準備をしておくこと	1.5 時間
	1,2,4	復習	発表資料の作成を行うこと。	3 時間
15	講義内容	PowerPoint	課題プレゼンテーション実施	
	該当到達目標	予習	発表練習をしておくこと。	0.5 時間
	1,4	復習	不要	0 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。			

科目名		コンピュータ実習Ⅱ(リテラシー)			科目ナンバリング	LAL015
英文名		Computer PracticeⅡ			講義形態	演習
担当教員		田村 拓郎				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		Excel はあらゆるビジネスシーンにおいて最も活用されている表計算ソフトである。本講義は、その Excel を活用して効果的に実務を行うためのさらに高度な技術、知識を習得することを目的とする。授業では、新しい機能など課題に必要な説明を行った後、実習課題を課す。				
到達目標		1.Excel 表計算処理技能認定試験 2 級に合格する。 2.Excel 表計算処理技能認定試験 1 級に合格する。				
評価方法		課題提出状況(20%)、試験結果(80%)で評価する。				
使用教材		Excel 表計算処理技能認定試験 1・2 級問題集 サートファイ ソフトウェア活用能力認定委員会				
参考文献						
課題に対するフィードバック		提出後講義にて解答、解説を行なう。				
オフィスアワー(研究室)		月曜日 4,5 限		メールアドレス(#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス、作業環境、基本操作				
	該当到達目標	予習	不要			0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			0.5 時間
2	講義内容	ユーザ定義書式				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			0.5 時間
3	講義内容	数学関数、日時関数				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			1 時間
4	講義内容	データベース関数				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			1 時間
5	講義内容	ピボットテーブル				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			1 時間
6	講義内容	マクロ機能				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。			1 時間
7	講義内容	ゴールシーク機能				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
8	講義内容	2 級模擬問題		
	該当到達目標	予習	これまでに学習したことを復習しておくこと。	2 時間
	1	復習	不要	0 時間
9	講義内容	Excel の環境の設定と変更		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
10	講義内容	ユーザ定義応用		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	0.5 時間
11	講義内容	統計		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
12	講義内容	ソルバー機能		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
13	講義内容	データテーブル機能		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
14	講義内容	データ分析		
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。	0 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	1 時間
15	講義内容	1 級模擬問題		
	該当到達目標	予習	これまでに学習したことを復習しておくこと。	2 時間
	2	復習	不要	0 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	授業時間外に PC 室を積極的に利用すること。 Excel 表計算処理技能認定試験に対応。			

科目名		世界の社会福祉発達史(専門教養科目)			科目ナンバリング	LSH001
英文名		History of World Welfare			講義形態	講義
担当教員		戸澤 由美恵				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		今日、様々な人が社会福祉を必要としている。社会福祉が、その国の中でどのように発展してきたのか、各国の歴史的経緯を踏まえて、現状を理解する。 各国の 1・2 回目はイメージや理解を促すために視聴覚教材を視聴する。 授業時に配布するレジュメ・資料等に沿って進める。				
到達目標		1.視聴覚教材や配布資料等を参考に、その国の歴史や文化、人々の生活のイメージがもてる 2.歴史的文化的背景を踏まえた、その国の社会福祉制度の発達を理解できる 3.各国の人々の生活と社会福祉の現状を知り、自国や自身の生活との共通点・相違点等を考えることができる				
評価方法		定期試験で 80%、提出物(ミニレポートやリアクションペーパー)等で 20%を評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材		教科書は指定しない。 授業時にレジュメ・資料等を配布する。該当する国の学習回が終わるまで資料を持参すること。				
参考文献		参考文献等は、随時紹介する				
課題に対するフィードバック		ミニレポートやリアクションペーパーへの記入を通して授業内容の理解について確認する。必要に応じて、全体への追加説明やコメント等を行う。				
オフィスアワー(研究室)		水曜 2 限 3 階 303		メールアドレス(#→@)	tozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで、授業内容や講義の目標などを理解する			0.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容、到達目標、評価方法などを確認し、全体像を把握する			0.5 時間
2	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア① マレーシアの歴史や文化をイメージする				
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、マレーシアを知る			1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像を元に、マレーシアの新たな側面を確認しノートを整理する			1.5 時間
3	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア② マレーシアの社会福祉の考え方を理解する				
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する			1.5 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、マレーシアの歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る			1.5 時間
4	講義内容	アジアの社会福祉-マレーシア③ マレーシアの社会福祉の現状を知る				
	該当到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、マレーシアの福祉観を理解する			1.5 時間
	2,3	復習	マレーシアの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ			1.5 時間
5	講義内容	西欧の社会福祉-英国① 英国の歴史や文化をイメージする				
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、英国を知る			1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、英国の新たな側面を確認しノートを整理する			1.5 時間
6	講義内容	西欧の社会福祉-英国② 英国の社会福祉の考え方を理解する				
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	配布資料等を読み、歴史的文化的背景をふまえた英国の福祉観を知る	1.5 時間
7	講義内容	西欧の社会福祉-英国③ 英国の社会福祉の現状を知る		
	該当到達目標	予習	配布資料をノートに整理し、英国の福祉観を理解する	1.5 時間
	2,3	復習	英国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間
8	講義内容	前半のまとめ		
	該当到達目標	予習	マレーシア・英国のノート作成を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ	1.5 時間
9	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国① アメリカ合衆国の歴史や文化をイメージする		
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、アメリカ合衆国を知る	1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、アメリカ合衆国の新たな側面を確認しノートを整る	1.5 時間
10	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国② アメリカ合衆国の福祉の考え方を理解する		
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1.5 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、歴史的文化的背景をふまえたアメリカ合衆国の福祉観を知る	1.5 時間
11	講義内容	北米の社会福祉-アメリカ合衆国③ アメリカ合衆国の社会福祉の現状を知る		
	該当到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、アメリカ合衆国の福祉観を理解する	1.5 時間
	2,3	復習	アメリカ合衆国の社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間
12	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン① スウェーデンの歴史や文化をイメージする		
	該当到達目標	予習	世界史・地理(高校)の教科書・資料やインターネットを活用し、スウェーデンを知る	1.5 時間
	1	復習	配布資料や映像等を元に、スウェーデンの新たな一面を確認しノートを整る	1.5 時間
13	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン② スウェーデンの福祉の考え方を理解する		
	該当到達目標	予習	前回作成のノートを元に、歴史的文化的背景を理解する	1.5 時間
	1,2	復習	配布資料等を読み、スウェーデン・北欧の歴史的文化的背景をふまえた福祉観を知る	1.5 時間
14	講義内容	北欧の社会福祉-スウェーデン③ スウェーデンの社会福祉の現状を知る		
	該当到達目標	予習	配布資料等をノートに整理し、スウェーデンの福祉観を理解する	1.5 時間
	2,3	復習	スウェーデンの社会福祉の現状を理解し、自分なりの意見や感想を持つ	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	アメリカ合衆国・スウェーデンのノート整理を通し、不明な点を確認しておく	1.5 時間
	1,2,3	復習	二国の特徴を理解し、自分なりの感想や意見をもつ。四カ国の学びを元に、日本の社会福祉について自分なりの意見をもつ	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				44.5 時間
備考	* 各国の1・2回目はイメージや理解を促すために視聴覚教材の視聴をするので、欠席に気をつけましょう。 * 授業時に配布するレジュメ・資料等に沿って進めていきますので、該当する国の学習回が終わるまで持参しましょう。 * 予習は、日頃から新聞を読み、ニュースや映画を見るなどして海外情勢や文化などに興味を持つようにしましょう。 * 復習は、レジュメ・配布資料等をノートに保存・整理しながら、紹介された文献・映画等を視聴し、試験前に不足時間を補うようにしましょう。 * 不明な点、疑問点等がある場合は、まずはメールで連絡してください。			

科目名		国際保健医療論(専門教養科目)			科目 ナンバリング	LSH002
英文名		Theory of International Health			講義形態	講義
担当教員		李 孟蓉				
科目に関連した 実務経験		在日外国人への健康支援(経験) 青年海外協力隊として開発途上国に支援(経験)				
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		世界における健康格差の実態を知り、医療従事者として世界平和・全人類の繁栄と福祉を願いつつ、新たな国連の目標である SDGs を軸に、グローバルヘルスの基本理念と戦略を学び、国際保健医療の活動の場を地球的視野で認識できる。また、地球規模の健康課題やその影響要因、国際保健医療の関連分野の活動の理念と実際を学びながら、国際協力に必要な知識や方法を習得し、グローバル化の時代に活躍する医療職を目指すことができる。 自作の授業資料や参考文献をもとに解説を加えて講義する。講義の中でワークショップやグループワークを取り入れて、参加型、協議型の授業も行う。グループワークとレポート課題の詳細については授業を進めながら提示する。				
到達目標		1.国際保健医療学、国際保健医療協力の概念と変遷を理解できる。 2.保健医療分野での国際協力の必要性と意義を理解できる。 3.世界の保健・医療・福祉の動向と課題、それに対する国際的戦略や取り組みおよび課題を理解できる。 4.異文化を理解し、異文化適応のプロセスを理解できる。■ 5.国際保健医療協力の実際や実践手法を理解できる。■ 6.在日外国人への健康支援を理解できる。■				
評価方法		レポート課題 70%、授業参加度 30% (グループワーク、プレゼンテーション等)を総合的評価する				
使用教材		配布資料				
参考文献		①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」 山本敏晴 小学館 ②「国際協力―その新しい潮流」 下村恭人 有斐閣 ③「国際保健医療学」第 3 版 国際保健医療学会編 杏林書院 ④世界の厚生労働 2019 有限会社正陽文庫 ⑤「国民衛生、2 の動向 2018/2019」 厚生労働統計協会 ⑥「世界の貧国 1 日 1 ドルで暮らす人びと」 ジェレミーシーブルック 青土社 適宜参考書を紹介する				
課題に対する フィードバック		レポートの中でみられた疑問や課題を授業の中で再確認する。				
オフィスアワー (研究室)		火曜・水曜の 2 限、質問はメールでも対応する。 研究室:3 号館 2 階 208	メールアドレス (#→@)		ri#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	国際保健、国際保健医療学の定義、国際保健医療協力の概念				
	該当到達目標	予習	国際保健医療協力に関する新聞・雑誌などの記事を読む。			1.5 時間
	1,2	復習	国際保健協力の定義、世界や国内の国際協力の概念が理解できる。			1.5 時間
2	講義内容	グローバルヘルスと国際保健医療協力の歴史				
	該当到達目標	予習	世界で起きている健康問題に関する新聞・雑誌などの記事を読む。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	世界で起きている健康問題と支援の必要性を理解できる。	1.5 時間
3	講義内容	国際保健医療関連の国際機関、NGO の取り組みと日本の国際協力		
	該当到達目標	予習	参考文献①「世界で一番いのちの短い国 シェラレオネの国境なき医師団」、②国際協力—その新しい潮流に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	国際保健医療協力の仕組み、国際保健医療関連の国際機関や NGO 団体、ODA の活動を理解できる。	1.5 時間
4	講義内容	プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、MDGs の経緯と変遷、SDGs の目標		
	該当到達目標	予習	参考文献③「国際保健医療学」第3版の第1部1～4、10～11までを読む。	1.5 時間
	1,3	復習	世界の歴史の中でのプライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、MDGs の基本理念と変遷、SDGs の目標と活動を理解できる。	1.5 時間
5	講義内容	諸外国における保健・医療・福祉		
	該当到達目標	予習	参考文献④世界の厚生労働 2019 p.102-136、事前配布資料を読んでおく	1.5 時間
	3	復習	ドイツ、フィランド、オーストラリア等の諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題を理解できる	1.5 時間
6	講義内容	世界における健康の格差①（保健指標、母子保健）		
	該当到達目標	予習	参考文献⑤「国民衛生の動向 2019/2020」を参考し、日本における衛生の主要指標、保健と医療の動向（人口動態、生命表、母子保健など）について目を通しておく。	1.5 時間
	2,3	復習	世界で生じている健康格差の実態とその原因を理解できる。	1.5 時間
7	講義内容	世界における健康の格差②（感染症と非感染性疾患）		
	該当到達目標	予習	開発途上国の健康格差について情報を集め、その原因を考える。	1.5 時間
	2,3	復習	開発途上国の保健医療課題とその原因を理解できる	1.5 時間
8	講義内容	異文化と異文化適応		
	該当到達目標	予習	身近にある異文化体験をまとめておく	1.5 時間
	4	復習	文化が人々の生活様式へ与える影響を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	国際保健医療協力と異文化理解■ 元青年海外協力隊を招き、異文化の中での国際協力活動について事例をもとに解説を加えて講義する		
	該当到達目標	予習	世界で行われてる国際保健医療協力を調べる。	1.5 時間
	2,3,4	復習	国際協力として行われている支援について、目的、実際の活動内容、異文化適応が理解できる。	1.5 時間
10	講義内容	「貧困と格差」を考えるワークショップ①■ 国際協力の経験をもとに、国づくりを行うシミュレーションゲームをワークショップという形で取り入れて、各グループが協力しあえるように指導をしながら行う		
	該当到達目標	予習	参考書⑥「世界の貧国 1日1ドルで暮らす人びと」に目を通す	1.5 時間
	2,3,5	復習	世界の不平等や格差に気付くことができ、国の豊かさについて考えることができる。	1.5 時間
11	講義内容	「持続可能な開発目標の達成に向けて」を考えるワークショップ②■ SDGs の目標にて世界の課題、日本ができること、自分にできることを考えるワークショップという形で取り入れて、各グループが円滑にディスカッションを進めるように指導をしながら行う		
	該当到達目標	予習	第4回目の授業内容を再度確認しておく	1.5 時間
	2,3,5	復習	SDGs の目標を理解し、自分たちが取り組めることを考え、実践につなげることができる。	1.5 時間
12	講義内容	在日外国人の健康支援■ 在日外国人の背景や特性、健康問題、医療機関へのアクセス等について、事例をもとに解説を加えて講義する。		
	該当到達目標	予習	日本、群馬県内の在日外国人（人口、国籍、在留資格、居住地域、生活など）について調べ、体験、新聞等の媒体から実情に関心を持ち把握しておく。	1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	4,6	復習	在日外国人が抱えている健康問題と支援が理解できる。	1.5 時間
13	講義内容	グローバルヘルス グループワーク①		
	該当到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(ODA)	1.5 時間
	2,3,5	復習	国際保健医療協力における ODA の活動を理解できる	1.5 時間
14	講義内容	グローバルヘルス グループワーク②		
	該当到達目標	予習	世界で行われている国際協力を調べる。(NGO)	1.5 時間
	2,3,5	復習	国際保健医療協力における NGO の活動を理解できる	1.5 時間
15	講義内容	プレゼンテーション、まとめ		
	該当到達目標	予習	1～14 回目の授業資料に目を通す	1.5 時間
	2,3,4,5	復習	地球規模の健康課題や国際協力に必要な知識、方法が理解できる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	世界の歴史と日本(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH003
英文名	The World History and Japan				講義形態	講義
担当教員	山本 麻子					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	多様化し複雑になっている現代社会において現代社会において就労し、よりよい人間関係を築いていくためには、異なる価値観の存在を認識し異文化への理解を深めることは重要だ。本講座では、イギリスの場合を一つのケーススタディとし、特定のテーマについてどのような背景・要因があり、どのような過程をたどり、どのような結果に至り、どのように現代に影響しているかを考察する。 長年在住したイギリスでの公的・私的な経験を参考に、テーマに即して、事例を紹介する。イギリス以外の国々にも言及しつつ、日本の諸側面と比較する。					
到達目標	1. テーマについての知識を深め、理解を深めることができる。 2. 先人たちの努力や業績を認識することができる。 3. 日本の該当する箇所と比較考察することができる。 4. 毎回の授業を通して、物事を多角的に考え、日常生活に応用することのできる能力を発揮させられる。					
評価方法	レポートが 50%、予習復習、授業中の態度等から 50%					
使用教材	決まった教材は使用しないが、必要に応じて、資料を配布する。また、参考資料を提示する。					
参考文献	同上					
課題に対するフィードバック	課題も含め、質問等にはできる限りフィードバックを与える。					
オフィスアワー (研究室)	質問および学習相談には授業開始前、もしくは終了後に応じる		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する	
1	講義内容	ガイダンス・授業の進め方についてのイントロ「歴史とは何か」について				
	該当到達目標	予習	講座選択の理由、歴史とは何か、について考えてくる			1 時間
	1,2,3	復習	授業で扱った例について質問、コメントを考えてくる			1 時間
2	講義内容	イギリスの最近の話題から				
	該当到達目標	予習	前回の授業で出された課題についてコメント等を考えてくる			1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習する			1 時間
3	講義内容	イギリスの教育 1: 多文化環境での学校; 実践例				
	該当到達目標	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる			1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習し、コメント等を考える			1 時間
4	講義内容	イギリスの教育 2: 学習の方法、内容等での日英の比較を含める				
	該当到達目標	予習	全体の授業で出された課題について考えてくる			1 時間
	1,2,3,4	復習	授業で使用した資料を復習する			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	産業革命 1: 背景と経過			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを考える	1 時間	
6	講義内容	産業革命 2: 影響と問題			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを考える	1 時間	
7	講義内容	女性の地位 1: 婦人参政権運動の背景と経過			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習する	1 時間	
8	講義内容	女性の地位 2: 経過の続きと結果等々			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について考える	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習する	1 時間	
9	講義内容	英語の歴史 1: 英語の歴史は英国の歴史(前半)			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について考える	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを考える	1 時間	
10	講義内容	英語の歴史 2: 英語の歴史は英国の歴史(後半)			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について考える	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習する	1 時間	
11	講義内容	シェイクスピアの時代の前後 1: スペインの無敵艦隊(背景)			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントを考える	1 時間	
12	講義内容	シェイクスピアの時代の前後 2: シェイクスピアについて、背景、グローブ座等々			
	該当到達目標 1,4	予習	前回の授業で出された課題について考えてくる	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習し、コメントがあれば書く	1 時間	
13	講義内容	これまでの復習等、レポートの書き方等			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について書いてくる	1 時間	
		復習	レポートの題材、構成を推敲する	1 時間	
14	講義内容	マグナカルタ等について: 意義と背景、影響			
	該当到達目標 1,2,4	予習	前回の授業で出された課題について考える	1 時間	
		復習	授業で使用した資料を復習する	1 時間	
15	講義内容	まとめ			
	該当到達目標 2,3,4	予習	前回の授業で出された課題について考える	1 時間	
		復習	資料等を参考にこれまでの内容を概観する	1 時間	
合計時間(予習・復習)					30 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。				

科目名	人間行動学(専門教養科目)				科目ナンバリング	LSH004
英文名	Theory of Human Behavior				講義形態	講義
担当教員	上原 徹・服部 卓					
科目に関連した実務経験	【上原】精神科医として大学病院等で勤務経験 30 年以上、現在も非常勤医師として実務を行っている。 【服部】臨床心理士として大学病院等で勤務経験は約 30 年、現在に至る。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	学生が行動科学の基礎と応用を学ぶことで、臨床や対人支援の場面におけるクライアントの行動や、支援者である自らの行動との相互作用を理解することを講義目標とする。 授業は配布資料も使って要点をまとめ、一部 DVD を視聴しつつ進める。 前半を服部、後半を上原担当					
到達目標	1.医療などの対人支援における基本的姿勢を身につける 2.ケアを受ける人の心理や行動を理解できる 3.適切な対人的交流のための知識と技術が説明できる 4.他職種と機能的に連携する視点を持てる■ 5.行動科学や心理学の初級知識を解説できる					
評価方法	レポートを 90%とし、授業中の態度を 10%程度参考にして総合評価する。授業態度(静肅さ、不要な私語、真摯な姿勢など)に問題がある場合は、個別に減点する。					
使用教材	福村出版「行動科学への招待〔改訂版〕 現代心理学のアプローチ」を教科書として用いるので必携。DVD 教材を用いた授業も加える。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。					
オフィスアワー (研究室)	月 4、金 3 研究室:1 号館 5 階 501		メールアドレス (#→@)		授業で提示する	
1	講義内容	青年期の心理と性格				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			0.5 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。			2.5 時間
2	講義内容	対人行動				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	1,2	復習	ノートを読むこと。			2 時間
3	講義内容	集団■				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	2,3,4	復習	ノートを読むこと。			2 時間
4	講義内容	異文化と自己				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。			2 時間
5	講義内容	ヒューマンファクター ― 労働の心理学 ―				
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
6	講義内容	きずなの発達		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
7	講義内容	自己の形成と発達		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	2,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
8	講義内容	医療における人間関係		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3	復習	ノートを読むこと。	2 時間
9	講義内容	健康		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
		復習	ノートを読むこと。	2 時間
10	講義内容	学習と学習支援		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
11	講義内容	知覚		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
12	講義内容	記憶		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
13	講義内容	思考		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	3,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
14	講義内容	疲労・メンタルヘルスと現代の職場■		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
15	講義内容	音楽と脳・まとめ■		
	該当到達目標	予習	教科書の講義に関係する部分を読むこと。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	ノートを読むこと。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	複数の学科学生が多数で聴講し、非常勤講師もお迎えするので、静粛に臨むこと。授業中の不必要な私語や不謹慎な態度は、厳に慎むこと(成績評価に影響する)。連絡先は、主任講師の上原がオリエンテーション時に案内する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		健康運動実技(専門教養科目)			科目ナンバリング	LSH005
英文名		Health Exercise Skills			講義形態	講義
担当教員		大家 千枝子				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		健康保持増進のための運動実践力育成と体力の向上を図る。そして生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質と能力を身につけるための入り口・一助となることを目標とする。				
到達目標		1.運動に対する欲求や運動が好きであることを感じることができる。 2.運動技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 3.公正・協力・責任・参画・勇気などに対する意欲をもつことができる。 4.仲間や教員と積極的にコミュニケーションを図ることができる。 5.健康・安全を確保して、スポーツライフを継続するための工夫や仕組みを創造することができる。				
評価方法		授業ごとの取り組みの評価点 65%、課題 20%、記録(提出物・コメント)15%				
使用教材		プリントを適宜配布する。				
参考文献		参考文献を適宜紹介する。				
課題に対するフィードバック		毎回の授業後に授業記録カードの提出を求める。授業記録カードに付したコメントやスタンプは必ずチェックすること。また最終日には、授業で学んだことの整理・課題・目標到達度の確認(ルーブリックにて自己評価)を行う。課題は返却しないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。				
オフィスアワー(研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス(#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス・履修者からの需要調査				
	該当到達目標	予習	シラバスを読んで講義目標などを理解する。要配慮の場合は事前に申し出る。			0.5 時間
	3,4,5	復習	到達目標、学位記授与方針、成績評価方法などを確認する。			0.5 時間
2	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施				
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。			0.5 時間
3	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施				
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。			0.5 時間
4	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施				
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。			0.5 時間
5	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施				
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。			0.5 時間
6	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施				
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。			0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。			0.5 時間
7	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
8	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
9	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
10	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
11	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
12	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
13	講義内容	屋外種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
14	講義内容	室内種目からの需要調査結果による選択種目の実施		
	該当到達目標	予習	体調を整えて授業に備える。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業の様子を振り返り、知識や方法を復習する。実際に動く。	0.5 時間
15	講義内容			
	該当到達目標	予習	これまで授業で学んだこと、自身の授業態度を振り返る。	0.5 時間
		復習	目標達成度の確認。今後どのように運動・スポーツを継続できるか検討する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 【受講上の注意】 ①運動に適した服装(ジャージ、Tシャツなど)とシューズ(屋内外別)を着用すること。 (※ジーンズ・普段着での受講は不可。スマホや時計、指輪、ブレスレット、ネックレス、ピアスなどは外しておく。) ②原則として見学は認めない。配慮を必要とする学生は初回ガイダンス終了までに申し出ること。 ③貴重品は各自で管理すること。 ④授業で使用する用具は基本的に大学側で用意するが、個人所有のラケットなどがあれば持参を推奨する。 ⑤天候による施設変更がある。教務課掲示板やポータルサイトで確認すること。 ⑥フットサルコートの人混みがとれやすく、靴下やウエアに付着することがある 【履修条件】 準備・後片付けなどの授業運営は受講生の積極的な姿勢を求める。また、技術の高低や得意不得意、好き嫌い、勝ち負けにとらわれず、自分の持っている技術力をいかして、スポーツそのものを楽しむ能力や積極的に体を動かすことが求められる。 【ルール】 授業開始時には整列し、出席をとる。授業終了時には、振り返りとして授業記録カードの提出がある。次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用。			

科目名		宗教と倫理(専門教養科目)			科目ナンバリング	LSH006
英文名		Religion and Ethics			講義形態	講義
担当教員		出雲 春明				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		東西の代表的な宗教・倫理思想に触れることで、世の多様な価値観への理解を養うことを目的とする。また、それによって自己の在り方に対する客観的・批判的な視座を養う。 なるべく平易な表現を用いて講義を行う。シラバスを参考にして、講義中に取り扱う書物や人物についてあらかじめ調べておくことが望ましい。また、配付された資料を読むなど、復習は必ず行うこと。「宗教」は「非日常的なもの」として敬遠されることも多い。しかし、だからこそ、そこで語られる教えや物語は、しばしば漠然と過ごされている私たちの日常を省みる絶好の機会を提供してくれる。自分が普段どのような判断や行動をしているか常に考えつつ、講義に臨んでほしい。				
到達目標		1.講義で取り扱った諸宗教・倫理思想の基本について説明することができる。 2.そして、それを自己理解、他者理解に役立てることができる。				
評価方法		授業への参加と小レポート(30%)、期末レポート(70%)から評価する。				
使用教材		講義中に資料を配布する。				
参考文献		関根正雄(訳)『旧約聖書 ヨブ記』、岩波文庫、1971 年。 金子大栄『歎異抄』、岩波文庫、改版、1981 年。				
課題に対するフィードバック		毎回、授業終了時に意見や質問などを提出してもらう(小レポート)。質問に関しては次回授業時に解説の時間を設ける。有意義な意見に関しても紹介の時間を設ける。				
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを読み、講義目標、到達目標、評価方法などについて確認しておく。			1 時間
	1	復習	これからの講義内容の大枠について確認しておく。			1.5 時間
2	講義内容	『聖書』の思想:一神教の系譜				
	該当到達目標	予習	一神教(ユダヤ教、キリスト教、イスラム教)それぞれの関係について調べておく。			1 時間
	1,2	復習	ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、それぞれの特徴について確認しておく。			1.5 時間
3	講義内容	善人とは何か―『旧約聖書』(『ヨブ記』)より(1)「契約」について				
	該当到達目標	予習	『ヨブ記』の概略について調べておく。			1 時間
	1,2	復習	「旧約」、「新約」とは何か、「応報主義」とは何か理解する。			1.5 時間
4	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(2)生誕の災い				
	該当到達目標	予習	『ヨブ記』のプロローグを読んでおく。			1 時間
	1,2	復習	ヨブ記、ギリシア神話、仏教などにおけるペシミスティックな人間観を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	善人とは何か―『ヨブ記』より(3) 自己の在り方を省みる				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	『ヨブ記』の登場人物の関係性について考えておく。	1 時間
		復習	自己と他者の間にある鏡像的な相互関係について理解する。	1.5 時間
6	該当到達目標 1,2	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(4)現代の事例から考える	
		予習	ヨブと彼の友人たちの議論を確認しておく。	1 時間
		復習	自己批判の欠如がもたらす事態について歴史的事件を通じて理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容	善人とは何か—『ヨブ記』より(5)「懺悔」ということ	
		予習	『ヨブ記』エピローグを読んでおく。	1 時間
		復習	聖書の思想における「懺悔」の位置づけについて理解する。	1.5 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容	旧約から新約へ:イエスの教え	
		予習	『ヨブ記』をめぐる議論について確認しておく。	1 時間
		復習	イエスの教えが登場してくる背景とその意義について理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 1	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(1)『歎異抄』について	
		予習	『歎異抄』とはどんな書か調べておく。	1 時間
		復習	『歎異抄』第三条の特異性について理解する。	1.5 時間
10	該当到達目標 1	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(2)罪の意識	
		予習	『歎異抄』第三条に関する様々な見解を確認しておく。	1 時間
		復習	親鸞の内面を支配していた深い罪の意識を理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(3)浄土思想の展開(1)	
		予習	親鸞の師である法然が登場してきた時代背景について調べておく。	1 時間
		復習	当時の人々の心に去来していた思いについて理解する。	1.5 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(4)浄土思想の展開(2)	
		予習	親鸞の生涯について調べておく。	1.5 時間
		復習	親鸞の罪の意識の由来について理解し、自らに引きつけて考える。	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(5)「悪人正機説」	
		予習	これまでの議論について確認しておく。	1.5 時間
		復習	『歎異抄』第三条の悪人正機説の意味を理解する。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容	悪人とは何か—『歎異抄』より(6)悪の不可避性とそれゆえの無力	
		予習	親鸞における悪について自らに引きつけて考えておく。	1.5 時間
		復習	我々が気づかず捕らわれている自己中心的な考え方について理解する。	1.5 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容	総括—東西の宗教	
		予習	聖書の思想と浄土思想の核心部分について確認しておく。	1 時間
		復習	東西の宗教、倫理思想の共通点について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			

科目名		レクリエーション論(専門教養科目)		科目ナンバリング	
英文名		Recreation Theory		講義形態	演習
担当教員		大家 千枝子			
科目に関連した実務経験		レクリエーション・インストラクター養成講習会講師として、公認指導者養成に従事(現在)。(公益財団法人日本レクリエーション協会公認・群馬県レクリエーション協会主催、2015 年度より)			
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		人びとの「心を元気にする」ための手助けができるレクリエーション支援の強み(専門性)を理解する。支援の目的とそれを達成するための方法の裏付けとなる人の心の仕組みを学ぶ。(※履修者が教員から一方的にレクリエーション支援を受けて楽しむ授業ではない。) 教員による講義がベースとなるが、グループワークによるテーマに沿った共同作業も予定している。「心を元気にする」ための理論をその実践へと結び付けるため、各グループによるレクリエーション活動を用いた短時間のレクリエーション支援を行い、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」という感覚を養う。授業ごとの意見や感想を C-learning で求めることがある。			
到達目標		1.レクリエーション支援の目的と手段について、理解し、説明できる。■ 2.レクリエーション活動の楽しさが心を元気にすることについて、理解できる。■ 3.コミュニケーションの促進がレクリエーション支援の基盤であることを理解し、説明できる。■ 4.授業の性質やグループ内での個人の役割について、理解し、行動することができる。 5.必要な資料や情報を収集し、意見をまとめ、期日を守って提出できる(C-learning も含む)。			
評価方法		グループワークでの活発な議論・活動への貢献度 30%、授業での課題 35%、確認テスト 35% (※履修期間中、学内外のレク支援に自ら関わった場合は所定用紙提出で「課題」点に加点。)			
使用教材		「楽しさをとおした心の元気づくり レクリエーション支援の理論と方法」、公益財団法人日本レクリエーション協会、1,800 円+税 ISBN978-4-931180-95-6			
参考文献		「基本のアイスブレイキング・ゲーム」、公益財団法人日本レクリエーション協会、2,530 円(税込) ISBN978-4-931180-92-5 C2076			
課題に対するフィードバック		自分以外の履修者による課題や感想、評価を知ることが学生相互の刺激になるため、C-learning を使ってフィードバックする。また紙媒体の提出課題は、適宜返却を予定している。ただし最終日の確認テストは返却予定がないので、開示を希望するものは本人が直接申し出ること。			
オフィスアワー (研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。	メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス、さまざまな現場でのレク支援について理解を深める(視聴覚教材使用)■			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。		0.5 時間
2	講義内容	レクリエーション支援の方法(アイスブレイキングのプログラムを体験する)■、グループわけ			
	該当到達目標	予習	自身がこれまで体験したレクリエーション活動について振り返る。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		0.5 時間
3	講義内容	レクリエーション概論(レクリエーションの主旨と手段を理解する)■、レク支援の説明と日程抽選			
	該当到達目標	予習	テキスト第 1 章(p.9～17)を読んでおくこと。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		0.5 時間
4	講義内容				
	該当到達目標	予習	テキスト第 2 章(p.19～32)を読んでおくこと。		0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	楽しさをとおした心の元気づくりについて授業を振り返って、イメージをもつ。		0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	楽しさと心の元気づくりの理論(楽しさをとおした心の元気づくりを理解する)		
	該当到達目標	予習	テキスト第2章(p.33～36)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
6	講義内容	レクリエーション支援の理論(コミュニケーションと信頼関係づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.37～43)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
7	講義内容	レクリエーション支援の理論(良好な集団づくりの理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第3章(p.44～49)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
8	講義内容	レクリエーション支援の理論(自主的、主体的に楽しむ力を高める理論)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.50～55)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
9	講義内容	レクリエーション支援の方法(信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.57～65)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
10	講義内容	レクリエーション支援の方法(ホスピタリティの体験的理解 その1・その2)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.66～69)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
11	講義内容	レクリエーション支援の方法(ハードル設定の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
12	講義内容	レクリエーション支援の方法(アレンジ方法の習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
13	講義内容	レクリエーション支援の方法(CSSプロセスの習得)		
	該当到達目標	予習	テキスト第4章(p.70～82)を読んでおくこと。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
14	講義内容	安全管理の方法■		
	該当到達目標	予習	これまでの自身のレク活動における安全管理について振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
15	講義内容	授業で学んだことの整理・確認テスト(または課題)・目標到達度の確認		
	該当到達目標	予習	これまでの授業を振り返る。	0.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	確認テストについて、授業でとったノートを読み直し、復習する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考	【単位修得に必要な時間について】 記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 【受講上の注意】 ①積極的に C-learning を活用する。スマホ所有やネット環境が整っていることが望ましい。(※整っていない場合は、大学 PC 室などを利用すること。)②欠席した際の配布物は早めに自ら取りに来ること。 【履修条件】 グループワークを行うため、積極的に参加する学生を求める。 【ルール】 レクリエーション論を学ぶうえで、信頼関係づくりの方法における「あたたかくもてなす意識と配慮」の観点より、次の行為は授業中にしないこと。①ガムを噛む、②授業と関係のないスマホ使用、③マスクや帽子の着用(ただし事情がある場合を除く。) ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	数学基礎Ⅰ（専門導入科目）				科目ナンバリング	HII101
英文名	Mathematics BasicⅠ				講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫					
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事した。					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。 大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、以下の範囲の基礎的問題が解けるようになる。					
到達目標	1.式に示された計算の手順を論理的に分析・理解し、正しく数の計算・式の計算ができる。 2.式の展開や因数分解ができ、各種の一次方程式・二次方程式を解くことができる。 3.一次式・二次式・円・楕円・双曲線のグラフの概形が描ける。 4.三角比と弧度法を理解し、三角関数のグラフの概形が描け、公式の説明ができる。■ 5.指数法則・対数法則を理解し指数・対数の計算ができ、指数関数・対数関数のグラフの概形が描ける。■					
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。					
使用教材	「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2					
参考文献						
課題に対するフィードバック	毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605			メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	教科書のまえがき、シラバスを読む。			1 時間
	1,2,3,4,5	復習	プリントの課題を解く。			1 時間
2	講義内容	数と式の計算 1 整数、分数、小数、繁分数、平方根、複素数				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.2～3、6～7 を読む。			1 時間
	1	復習	教科書 14 章の練習問題 1.1、1.2、1.5、1.6 の A を解く。			1.5 時間
3	講義内容	数と式の計算 2 展開公式、因数分解、分数式の計算、部分分数の計算、無理式の計算				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.4～5、8～10 を読む。			1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.3、1.4、1.7～1.9 の A を解く。			1.5 時間
4	講義内容	数と式の計算 3 方程式、連立一次方程式、代数方程式				
	該当到達目標	予習	教科書の 1 章 p.11～12 を読む。			1 時間
	2	復習	教科書 14 章の練習問題 1.10、1.11 の A を解く。			1.5 時間
5	講義内容	数と式の計算 1 練習問題を解き、解法を確認する。				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の B を解く。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 1.1～1.11 の C を解く。	1.5 時間
6	該当到達目標 2	講義内容 関数とグラフ 1 関数、直線、放物線		
		予習	教科書の 2 章 p.14～18 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.3 の A を解く。	1.5 時間
7	該当到達目標 3	講義内容 関数とグラフ 2 円、楕円、双曲線		
		予習	教科書の 2 章 p.19～21 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.4、2.5 の A を解く。	1.5 時間
8	該当到達目標 3	講義内容 関数とグラフ 3 不等式		
		予習	教科書の 2 章 p.22～24 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.6、2.7 の A を解く。	1.5 時間
9	該当到達目標 3	講義内容 関数とグラフ 4 練習問題を解き、解法を確認する。		
		予習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の B を解く。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 2.1～2.7 の C を解く。	1.5 時間
10	該当到達目標 4	講義内容 三角関数 1 三角比、ラジアン単位と一般角、三角関数■		
		予習	教科書の 3 章 p.26～34 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の A を解く。	1.5 時間
11	該当到達目標 4	講義内容 三角関数 2 三角関数、三角関数のグラフ、三角関数の公式■		
		予習	教科書の 3 章の p.35～39 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 3.1～3.5、3.7 の B を解く。	1 時間
12	該当到達目標 5	講義内容 三角関数 3 三角関数の基本を確認する。■		
		予習	配布されたプリントを読む。	1 時間
		復習	プリントの課題を解く。	1.5 時間
13	該当到達目標 5	講義内容 指数関数・対数関数 1 指数と指数法則、指数関数とグラフ、特別な関数 $y = e^x$ ■		
		予習	教科書の 4 章 p.42～49 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3 の A を解く。	1.5 時間
14	該当到達目標 5	講義内容 指数関数・対数関数 2 対数と対数法則、常用対数と自然対数、対数関数とグラフ■		
		予習	教科書の 5 章 p.52～58 を読む。	1 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 5.1～5.4 の A を解く。	1.5 時間
15	該当到達目標 5	講義内容 指数関数・対数関数 3■		
		予習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の B を解く。	1.5 時間
		復習	教科書の 14 章の練習問題 4.1～4.3、5.1～5.4 の C を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		数学基礎Ⅱ（専門導入科目）			科目ナンバリング	HIII102
英文名		Mathematics Basic II			講義形態	講義
担当教員		東福寺 幾夫				
科目に関連した実務経験		オリンパス在職中に、血液分析装置のデータ処理方式の研究開発やシステム開発に従事した。				
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		授業は、教科書の例題を解説後に各自練習問題を解き、指名された学生が解答例を板書する形式を基本とする。その他、必要に応じて関連するプリントを配布し、宿題を出すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。 大学での学習に必要な数学の基礎を習得し、上記範囲の基礎的問題が解けるようになる。				
到達目標		1.独立変数の変動に対応した関数値の変動について理解でき、極限値の収束・発散が説明できる。 2.ある区間における関数の平均変化率を計算できる。 3.平均変化率の極限値としての微分係数の演算式が理解でき、接線の方程式を求めることができる。■ 4.不定積分、原始関数の意味が説明できる、2 次式までの不定積分ができる。 5.定積分が計算でき、複数の曲線が囲む領域の面積を計算できる。■ 6.集合の概念を理解し、集合の演算や要素の個数の問題を解くことができる。 7.順列、組み合わせや二項定理を説明できる。 8.確率と期待値の説明ができる。■				
評価方法		授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。				
使用教材		「大学新入生のための数学入門増補版」石村園子著・共立出版 ISBN4-320-01769-2				
参考文献						
課題に対するフィードバック		毎回の授業の冒頭で前回授業の振り返りを行う。 また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標 1	予習	シラバスを読む			1 時間
		復習	プリントの課題を解く。			1.5 時間
2	講義内容	関数の極限				
	該当到達目標 1	予習	教科書の 6 章 p.60～65 を読む。			1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 6.1～6.2 の B,C を解く。			1.5 時間
3	講義内容	関数の極限 極限公式				
	該当到達目標 1	予習	教科書の 6 章 p.66～68 を読む。			1 時間
		復習	教科書 14 章の練習問題 6.3 を解く。			1.5 時間
4	講義内容	微分係数■				
	該当到達目標	予習	教科書の 7 章 p.70～72 を読む。			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2,3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.1～7.2 を解く。	1.5 時間
5	講義内容	導関数、微分計算■		
	該当到達目標	予習	教科書の 7 章 p.73～75 を読む。	1 時間
	2,3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.3～7.5 の A,B を解く。	1.5 時間
6	講義内容	接線の方程式、関数の増減とグラフ■		
	該当到達目標	予習	教科書の 7 章 p.76～82 を読む。	1 時間
	3	復習	教科書 14 章の練習問題 7.6～7.8 の A を解く。	1.5 時間
7	講義内容	不定積分、定積分■		
	該当到達目標	予習	教科書の 8 章 p.84～87 を読む。	1 時間
	4,5	復習	教科書の 14 章の練習問題 8.1～8.2 の A,B を解く。	1.5 時間
8	講義内容	面積■		
	該当到達目標	予習	教科書の 8 章 p.88～92 を読む。	1 時間
	5	復習	教科書の 14 章の練習問題 8.3～8.4 の A,B を解く。	1.5 時間
9	講義内容	集合 1 集合と要素、数の集合、部分集合、包含関係、ベン図		
	該当到達目標	予習	教科書の 12 章 p.120～122 を読む。	1 時間
	6	復習	教科書の 14 章の練習問題 12.1、12.2 を解く。	1.5 時間
10	講義内容	集合 2 集合の演算、要素の個数		
	該当到達目標	予習	教科書の 12 章 p.123～124 を読む。	1 時間
	6	復習	教科書の 14 章の練習問題 12.3、12.4 を解く。	1.5 時間
11	講義内容	順列と組合せ		
	該当到達目標	予習	教科書の 13 章 p.126,127 を読む。	1 時間
	7	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.1、13.2 を解く。	1.5 時間
12	講義内容	二項定理		
	該当到達目標	予習	教科書の 13 章 p.128、p.129 を読む。	1 時間
	7	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.3 を解く。	1.5 時間
13	講義内容	確率 1■		
	該当到達目標	予習	教科書の 13 章 p.130～131 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.4、13.5 を解く。	1.5 時間
14	講義内容	確率 2■		
	該当到達目標	予習	教科書の 13 章 p.132～133 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.6 を解く。	1.5 時間
15	講義内容	期待値■		
	該当到達目標	予習	教科書の 13 章 p.134 を読む。	1 時間
	8	復習	教科書の 14 章の練習問題 13.7 を解く。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	物理学基礎(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII103
英文名	Physics Basis				講義形態	講義
担当教員	高橋 大志					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	3 年生での講義(生体情報学Ⅰ、Ⅱ)の内容(適切に生体情報を計測するための技術)を理解できるように、本講義では力や電気、エネルギーといった基本的な物理現象を学習する。また、本講義ではスライドによるアニメーションを用いて物理現象を視覚的に理解させるとともに演習問題も適宜実施する。					
到達目標	1.物体の運動とエネルギーについて概念を理解できる。 2.光、音、熱、電気などの性質や現象を説明できる。 3.健康や医療との関係について理解できる。					
評価方法	中間試験(50%)および期末試験(50%)の総合結果で評価し、60%以上を合格とする。					
使用教材	「大学新入生のための物理入門(廣岡 秀明著、共立出版)」を使用する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	中間および期末試験は記述式として採点後に評価のポイントを解説する。					
オフィスアワー (研究室)	火曜日の 3 時限、質問はメールで受け付ける。研究室:1 号館 314		メールアドレス (#→@)		takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・力の釣り合い				
	該当到達目標	予習	教科書 p.1~6 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.6~8 の演習問題を解く。			1.5 時間
2	講義内容	力とモーメント、圧力				
	該当到達目標	予習	教科書 p.9~16 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.17~18 の演習問題を解く。			1.5 時間
3	講義内容	物体の運動				
	該当到達目標	予習	教科書 p.19~25 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.26~27 の演習問題を解く。			1.5 時間
4	講義内容	運動の法則				
	該当到達目標	予習	教科書 p.28~36 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.37 の演習問題を解く			1.5 時間
5	講義内容	仕事量と仕事率				
	該当到達目標	予習	教科書 p.64~70 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.70~71 の演習問題を解く。			1.5 時間
6	講義内容	エネルギー				
	該当到達目標	予習	教科書 p.72~80 を読む。			1.5 時間
	1	復習	教科書 p.80~81 の演習問題を解く。			1.5 時間
7	講義内容	熱と温度				
	該当到達目標	予習	教科書 p.92~99 を読む。			1.5 時間
	2	復習	教科書 p.99~100 の演習問題を解く。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	中間まとめ			
	該当到達目標	予習	7 回目までの講義内容を確認する。	1.5 時間	
	1,2	復習	7 回目までの講義のポイントを整理する。	1.5 時間	
9	講義内容	音波、ドップラー効果			
	該当到達目標	予習	教科書 p.131~137、p.139~143 を読む。	1.5 時間	
	2	復習	教科書 p.137~138、p.143~144 の演習問題を解く。	1.5 時間	
10	講義内容	光とレンズの性質			
	該当到達目標	予習	教科書 p.145~150、p.158~163 を読む。	1.5 時間	
	2	復習	教科書 p.150、p.163~164 の演習問題を解く。	1.5 時間	
11	講義内容	電流と磁場 1			
	該当到達目標	予習	教科書 p.176~184 を読む。	1.5 時間	
	1,2	復習	教科書 p.184~185 の演習問題を解く。	1.5 時間	
12	講義内容	電気回路			
	該当到達目標	予習	教科書 p.186~195 を読む。	1.5 時間	
	1,3	復習	教科書 p.196~197 の演習問題を解く。	1.5 時間	
13	講義内容	健康・医療と物理現象 I			
	該当到達目標	予習	光、音等を用いた生体計測装置を調べる。	1.5 時間	
	1,3	復習	光、音等を用いた生体計測装置を理解する。	1.5 時間	
14	講義内容	健康・医療と物理現象 II			
	該当到達目標	予習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を調べる。	1.5 時間	
	1,3	復習	磁場、放射線を利用した生体計測装置を理解する。	1.5 時間	
15	講義内容	全体まとめ			
	該当到達目標	予習	講義全体で実施した内容を確認する。	1.5 時間	
	1,2,3	復習	講義全体を通して重要なポイントを整理する。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	本講義では自ら考えて物理学を理解してもらうため必ず予習と復習に取り組むこと。				

科目名	生物学基礎(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII104
英文名	Biology Basis				講義形態	講義
担当教員	坂井 隆浩					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	生物学の基本的な知識を修得するために「細胞の機能」「多細胞生物のからだ」「タンパク質・糖・脂質」「遺伝」「遺伝情報とその発現」「エネルギー代謝と物質代謝」「生体内の情報伝達」「免疫」などについて学習する。 【授業期間全体を通じた授業の進め方】 講義の最初に前回の復習、講義の最後に練習問題を実施することによって理解度を高める。					
到達目標	1.細胞の構造や機能について説明できる。 2.動物のからだの構造や組織や器官の働きについて説明できる。 3.生命活動を支える分子の構造や役割について説明できる。 4.遺伝子の構造と機能について説明できる。 5.生命活動に必要なエネルギーの産生について説明できる。 6.生体内の情報伝達機構について説明できる。 7.免疫のしくみについて説明できる。					
評価方法	定期試験の成績により評価する。評価基準の詳細は初回講義時に説明する。					
使用教材	教科書:「ZERO からの生命科学」(南山堂)、他に随時プリントを配布する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	定期試験後に、解答を掲示すると同時に、指定した期間内に必要に応じて個別にフィードバックをおこなう。講義で実施した練習問題については、講義の中で解説する。					
オフィスアワー (研究室)	木曜 2 限(7 号館 203 研究室・坂井)			メールアドレス (#→@)	sakai#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	細胞の構造と機能 ①細胞の多様性				
	該当到達目標	予習	細胞の多様性について、教科書 5 頁～10 頁を読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
2	講義内容	細胞の構造と機能 ②細胞の基本構造とそのはたらき				
	該当到達目標	予習	細胞の構造とはたらきについて、教科書 10 頁～25 頁を読んでおく。			1.5 時間
	1	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
3	講義内容	動物の組織と器官				
	該当到達目標	予習	動物のからだの構造について、教科書 27 頁～38 頁を読んでおく。			1.5 時間
	2	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
4	講義内容	からだを作る物質 ①タンパク質				
	該当到達目標	予習	タンパク質について、教科書 54 頁～68 頁を読んでおく。			1.5 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。			1.5 時間
5	講義内容	からだを作る物質 ②糖質				
	該当到達目標	予習	糖質について、教科書 68 頁～71 頁を読んでおく。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
6	講義内容	からだを作る物質 ③脂質		
	該当到達目標	予習	脂質について、教科書 71 頁～77 頁を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
7	講義内容	体内における物質代謝 ①消化と吸収		
	該当到達目標	予習	消化と吸収について、教科書 79 頁～87 頁を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
8	講義内容	体内における物質代謝 ②物質の代謝		
	該当到達目標	予習	糖質、タンパク質、脂質の代謝について、教科書 87 頁～100 頁を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
9	講義内容	メンデル遺伝		
	該当到達目標	予習	メンデルの法則について、教科書 101 頁～108 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
10	講義内容	DNA の構造と複製		
	該当到達目標	予習	DNA の構造と複製について、教科書 109 頁～118 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
11	講義内容	遺伝子の発現とその調節		
	該当到達目標	予習	転写や翻訳について、教科書 119 頁～131 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
12	講義内容	DNA 損傷と修復		
	該当到達目標	予習	DNA 損傷と修復について、教科書 131 頁～137 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
13	講義内容	遺伝子の操作		
	該当到達目標	予習	遺伝子の操作について、教科書 137 頁～146 頁を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
14	講義内容	恒常性の維持 内分泌系と神経系		
	該当到達目標	予習	恒常性について、教科書 147 頁～156 頁を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
15	講義内容	生体の防御 免疫系		
	該当到達目標	予習	免疫について、教科書 163 頁～171 頁を読んでおく。	1.5 時間
	7	復習	教科書や配布資料を参考にして、講義内容の要点をまとめておく。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	化学基礎(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII105
英文名	Chemical Basis				講義形態	講義
担当教員	西村 淳					
科目に関連した実務経験	1966 年—2009 年有機化学の研究、1976 年—2019 年有機化学に関する教育					
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	受講生が化学の領域の思考法を獲得することを目指した講義である。言い換えれば、どのような物質が現在の社会を支えるものとして利用されていて、なぜそれが利用できるのか、を考える素地を与えることを目標としている。科学(化学)を深く理解することを目指す他の講義への導入を目的としている。各章のまとめを授業中に示すので、ノートに記し、口頭あるいはメールなどで質問して、その内容を確実に理解できるように努力することが期待されている。 講義形式で授業を進める。LCD を用いてパワーポイントで講義する。ノートを取ることは必須である。					
到達目標	1.化学の基礎的事項の概略が説明できる。■ 2.物質の利用が、原子・分子のどのような性質によるものかを概略説明できる。■ 3.実際に世の中で役立っている物質に興味を持てる。 4.化学の現状と将来の概略が説明できる。■					
評価方法	授業参加度及び貢献度(毎回の小テストを回収することで評価する。50 点満点)。 試験(期末に試験を行う。教科書とノートは持ち込み可、但し配布資料以外のゼロックスコピーを貼ったものは不可。50 点満点)。 総合評価 60 点以上を合格とする。					
使用教材	アトキンス著、渡辺訳「化学、美しい原理と恵み」(丸善出版株式会社、2014、価格 1,080 円)					
参考文献	西村ら著「有機合成化学入門」(丸善出版株式会社)などの他、適宜紹介する。					
課題に対するフィードバック	授業中の質問は随時可能である。質問はメールでも受け付ける。					
オフィスアワー (研究室)	授業のある水曜日 15:00-16:00			メールアドレス (#→@)	jfgaorh.jun#gmail.com	
1	講義内容	ガイダンス:教師自己紹介、授業の到達目標およびテーマ、キーワード、授業についての注意				
	該当到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目的などを理解する。			1.5 時間
		復習	ノートで書き取った内容を整理する。			1.5 時間
2	講義内容	化学の起源・対象・成り立ち、物質の出現、化学史■				
	該当到達目標	予習	教科書のまえがき、第一章を読む。			1.5 時間
		1	復習	ノートを教科書によって補完する。		
3	講義内容	化学の原理①——原子と分子、周期表■				
	該当到達目標	予習	教科書の第二章を読む。			1.5 時間
		1	復習	原子と分子、周期表について、ノートを教科書によって補完する。		
4	講義内容	化学の原理②——原子と分子、結合、量子化学■				
	該当到達目標	予習	教科書の第二章を読む。			1.5 時間
		1	復習	結合や量子化学についてノートを教科書によって補完する。		
5	講義内容	化学の原理③——原子と分子、熱力学■				
	該当到達目標	予習	教科書の第三章を読む。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	熱力学の法則について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
6	講義内容	化学の原理④——原子と分子、発熱反応、吸熱反応■		
	該当到達目標	予習	教科書の第三章を読む。	1.5 時間
	1	復習	発熱反応や吸熱反応について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
7	講義内容	化学反応、四つの基本的な反応■		
	該当到達目標	予習	教科書の第四章を読む。	1.5 時間
	1	復習	四つの基本的な化学反応について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
8	講義内容	化学反応、有機分子の反応と電子雲■		
	該当到達目標	予習	教科書の第四章を読む。	1.5 時間
	1	復習	有機分子の反応と電子雲について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
9	講義内容	化学の道具、秤りとる■		
	該当到達目標	予習	教科書の第五章を読む。	1.5 時間
	1	復習	秤りとることについて、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
10	講義内容	化学の道具、原子の並びをつかむ■		
	該当到達目標	予習	教科書の第五章を読む。	1.5 時間
	1	復習	原子の並びについて、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
11	講義内容	化学の恵み、水を安全にする化学■		
	該当到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
12	講義内容	化学の恵み、土と空気■		
	該当到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	化学の恵みについて、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
13	講義内容	化学の恵み、医薬■		
	該当到達目標	予習	教科書の第六章を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	医薬について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
14	講義内容	化学の未来、ナノの世界■		
	該当到達目標	予習	教科書の第七章を読む。	1.5 時間
	2,3	復習	ナノの世界について、ノートを教科書によって補完する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	教科書を再読し、ノートの補完をする。	1.5 時間
	4	復習	全体のまとめをノートに記す。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	授業中の私語は厳禁であるが、授業時間中の小テスト解答中は周りの受講生と相談することを許している。 各講義における有機化学領域は、実務経験を含めて解説する。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療概論(医学英語Ⅰを含む)(専門導入科目)			科目ナンバリング	HII106
英文名	Introduction to Medicine & Medical EnglishⅠ			講義形態	講義
担当教員	小澤 滯司				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力
		問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)	医学の体系、医学の歴史、医学倫理、医療制度など医学・医療に関する包括的な事項、および、英語による医学用語の表現法				
到達目標	1.医学の体系、医学の歴史について概要を説明できる。 2.医療と社会の関わり、医療の倫理、医療制度を理解する。 3.医学英語に関して、英語で表記された基本的な医学用語を日本語に訳すことができる。				
評価方法	期末試験 80%、講義時間中に実施するミニテスト等 20%として、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材	テキスト: ①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版 日本病院会				
参考文献					
課題に対するフィードバック	講義中のミニテストおよび期末試験では、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答、および採点基準を解説する。また、採点結果を講評する。				
オフィスアワー(研究室)	水曜日の3時限と4時限		メールアドレス(#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	医学の体系(基礎医学、臨床医学、予防医学)、および社会と医療			
	該当到達目標	予習	テキスト①の3-6ページに目を通す。		1 時間
	1,2	復習	基礎医学、臨床医学、予防医学の役割、それぞれの分野の学問体系を理解する。また、医療と社会の関わりについての重要事項を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	医学の歴史 (1)ギリシャ、ローマ、中世の医学			
	該当到達目標	予習	テキスト①の6-9ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	ギリシャ、ローマ、中世の有名な医学者の名前と業績を覚える。		1.5 時間
3	講義内容	医学の歴史 (2)近代の医学(ルネッサンスから18世紀まで)			
	該当到達目標	予習	テキスト①の9-11ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	ルネッサンスから18世紀までの有名な医学者の名前と業績を覚える。		1.5 時間
4	講義内容	医学の歴史 (3)19世紀の医学			
	該当到達目標	予習	テキスト①の11-12ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	19世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。		1.5 時間
5	講義内容	医学の歴史 (4)20世紀の医学			
	該当到達目標	予習	テキスト①の12-13ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	20世紀の有名な医学者の名前と業績を覚える。		1.5 時間
6	講義内容	医学の歴史 (5)現代の医学(治療医学および検査・診断学の進歩)			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	テキスト①の 14-18 ページに目を通す。	1 時間
	1	復習	現代までに大きな発展を遂げた診断法、検査法、治療法の概略を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	医学の歴史 (6)わが国の医学の歴史と現代の医療の特徴		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 18-26 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	わが国の医学の歴史について、特に明治期以降の発展を理解する。また、現代の医療の特徴であるチーム医療や EBM について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	医の倫理 (医療人の遵守すべき倫理規範、臨床医学研究の在り方など)		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 27-40 ページに目を通す。	1 時間
	1,2	復習	医療倫理規範、倫理綱領、脳死と臓器移植、インフォームド・コンセント、個人情報の保護について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	社会保障制度と医療制度		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 42-50 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	国民総医療費の現状、医療保険制度について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	医療法と医療計画		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 51-53 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	医療法、わが国の医療供給体制、地域保健について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	医学英語 I (1)造語の基本		
	該当到達目標	予習	テキスト②の 1-2 ページを精読する。	1 時間
	3	復習	医学用語の構成を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	医学英語 I (2)語根、接頭語、接尾語		
	該当到達目標	予習	テキスト②の 2-9 ページを精読する。	1 時間
	3	復習	基本となる語根、接頭語、接尾語を理解して覚える。	1.5 時間
13	講義内容	医学英語 I (3)感染症と腫瘍に関する医学用語		
	該当到達目標	予習	テキスト②の 10 ページを精読する。	1 時間
	3	復習	感染症と腫瘍に関する医学用語を理解して覚える。	1.5 時間
14	講義内容	医学英語 I (4)器官系の解剖生理、疾患症状、検査に関する英語表現、および 1-14 回の講義での重要事項の指摘		
	該当到達目標	予習	テキスト②の 11-12 ページを精読する。	2 時間
	1,2,3	復習	循環器系の解剖生理、症状、検査に関連する医学用語を理解して覚える。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	4 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義ノート、配布されたプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点について理解を深める。	5 時間
	1,2,3	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医の倫理、医学の進歩と現代医学の特徴等について、実務経験を含めて解説する。			

科目名	情報セキュリティ I (専門導入科目)				科目ナンバリング	HII107
英文名	Cyber Security I				講義形態	講義
担当教員	松尾 仁司					
科目に関連した実務経験	情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別	「セキュリティマネジメント」指定科目					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	デジタル社会の発展に伴い、基盤となる情報システムの安全確保や個人情報の保護など情報セキュリティは益々重要になっている。本講義では情報ネットワークにおける脅威の理解と情報セキュリティ技術と対策、システム運用の方法を体系的に学ぶ。 講義の中で小テストを実施し理解度の確認と解答の理解による再学習を行う。					
到達目標	1.情報セキュリティの基本知識を習得する。 2.保健医療分野で必要とされる情報セキュリティに関する知識を習得する。					
評価方法	期末試験の成績 60%、授業中の小テスト 40%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	情報セキュリティマネジメント合格教本(最新版) (株)技術評論社					
参考文献						
課題に対するフィードバック	小テストは次の授業で解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 4 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)			メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入:情報セキュリティ				
	該当到達目標	予習	教科書の目次と 1-1 を熟読する。			1.0 時間
	1	復習	教科書 1-1 の演習問題を解く。			2.0 時間
2	講義内容	脅威と脆弱性・サイバー攻撃				
	該当到達目標	予習	教科書 1-2, 1-3 を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書 1-2, 1-3 の演習問題を解く。			1.5 時間
3	講義内容	暗号と認証				
	該当到達目標	予習	教科書 1-4, 1-5 を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書 1-4, 1-5 の演習問題を解く。			1.5 時間
4	講義内容	リスク分析■				
	該当到達目標	予習	教科書 2-1 を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書 2-1 の演習問題を解く。			1.5 時間
5	講義内容	セキュリティポリシー■				
	該当到達目標	予習	教科書 2-2 を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。			1.5 時間
6	講義内容	管理とシステム監査				
	該当到達目標	予習	教科書 2-3, 2-4, 2-5 を熟読する。			1.5 時間
	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。			1.5 時間
7	講義内容	情報セキュリティ対策(1)				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	教科書 3-1, 3-2 を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
8	講義内容	情報セキュリティ対策(2)		
	該当到達目標	予習	教科書 3-3, 3-4 を熟読する	1.5 時間
	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	セキュリティ関連法規とガイドライン■		
9	該当到達目標	予習	教科書 4-1, 4-2, 4-3 を熟読する	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	ネットワーク(1)		
	該当到達目標	予習	教科書 5-1-1~5-1-4 を熟読する。	1.5 時間
10	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	ネットワーク(2)		
11	該当到達目標	予習	教科書 5-1-5~5-1-10 を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	データベース		
	該当到達目標	予習	教科書 5-2 を熟読する。	1.5 時間
12	1	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	システム戦略と構成要素■		
13	該当到達目標	予習	教科書 6-1 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	セキュリティシステム戦略とプロジェクトマネジメント■		
	該当到達目標	予習	教科書 6-2, 6-3, 6-4 を熟読する。	1.5 時間
14	1,2	復習	教科書 2-2 の演習問題を解く。	1.5 時間
	講義内容	全体まとめ		
15	該当到達目標	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	演習問題を復習し理解を確実にする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習については、教科書を用いて確実に行う事。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミング I (C プログラミング基礎)(専門導入科目)			科目 ナンバリング	HII108
英文名	Programming I (C Programming Foundation)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した 実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針 との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	プログラミング言語として C 言語を用い、基本的なプログラミング技法を習得することを目的とする。 毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、 プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を 参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて 提出する。				
到達目標	1.プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2.入力した数値に演算を施して適切な結果を出力することができる。■ 3.条件によって処理を振り分けて適切な結果を出力することができる。■ 4.繰り返し処理を行って適切な結果を出力することができる。■ 5.複数の数値を処理して合計値・平均値・最大値・最小値・公倍数・公約数等を求めることができ る。■				
評価方法	課題提出状況(60%)、試験(20%)、学習姿勢(20%)により評価する。				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
課題に対する フィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	プログラミング環境と基本操作			
	該当到達目標	予習	不要	0 時間	
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		3 時間
2	講義内容	文字列の表示■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	変数の表示と演算■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	キーボードからの数値入力■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	条件分岐処理① if 文■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
6	講義内容	条件分岐処理② if 文のネスティング■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2,4	反復処理① while 文■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2,4	反復処理② while 文を使った一覧表出力■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2,3,4,5	合計計算■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2,3,4,5	最大値・最小値■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2,3,4,5	まとめ問題と復習		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	該当到達目標 1,2,3,4,5	前回までの内容に関する確認テスト		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	該当到達目標 1,2,3,4,5	反復処理① for 文■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2,3,4,5	反復処理② for 文を使った応用■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2,3,4,5	特別課題とりくみ■		
		予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	Web デザイン I (専門導入科目)				科目ナンバリング	HII109
英文名	Web Design I (Introduction to Web Design)				講義形態	演習
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別	Web クリエータ認定試験					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養				コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能				生涯学習力
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	ネットワークで情報を発信する場合には、ホームページに関する知識が必要であり、きめ細やかなサイトを作成に基礎となる HTML4.01 の知識を修得する。特に HTML のタグの利用方法、CSS の記述方法を学習して、基本的な Web サイトを作成できる能力を身につける。 授業の進め方は、指定教科書を基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合問題を解く。					
到達目標	1.HTML と CSS について説明できる。 2.HTM の記述方法、一般定義を記述できる。 3.HTML の仕切り、文字修飾、イメージ、作表、リンクを記述できる。 4.CSS の記述方法、スタイル関連の HTML タグを記述できる。 5.CSS によるテキスト、フォント、背景、ボックス、配置、疑似クラス、ID を記述できる。					
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	教科書「よくわかるマスターWeb クリエータ能力認定試験 HTML4.01 対応初級 ISBN978-4-8651-034-1C3055 演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック						
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室: 1 号館 6 階 608			メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、Web クリエータ能力試験の概要				
	該当到達目標	予習	教科書のはじめにから 15 ページまで、シラバスを一読しておくこと			1 時間
	1,2	復習	自分の PC に CD-ROM から作業ファイルをインストールする			1.5 時間
2	講義内容	HTML の基本、Step1 HTML と CSS の切り分け、Step2 HTML の記述方法				
	該当到達目標	予習	Chapter1 の Step1HTML と CSS の切り分け、Step2 を事前学習しておくこと			1 時間
	1,2	復習	Step2 を復習			1.5 時間
3	講義内容	HTML の記述、Step1 一般定義				
	該当到達目標	予習	Step1 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step1 の課題を完成する			1.5 時間
4	講義内容	HTML の記述、Step2 仕切り				
	該当到達目標	予習	Step2 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step2 の課題を完成する			1.5 時間
5	講義内容	HTML の記述、Step3 文字就職				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3	予習	Step3 を読んでおく	1 時間
		復習	Step3 の課題を完成する	1.5 時間
6	講義内容 該当到達目標 1,2,3	HTML の記述、Step4 イメージ/マルチメディア		
		予習	Step4 を読んでおく	1 時間
	1,2,3	復習	Step4 の課題を完成する	1.5 時間
		7	講義内容 該当到達目標 1,2,3	HTML の記述、Step5 リスト
予習	Step5 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step5 の課題を完成する	1.5 時間
		8	講義内容 該当到達目標 1,2,3	HTML の記述、Step6 作表
予習	Step6 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step6 の課題を完成する	1.5 時間
		9	講義内容 該当到達目標 1,2,3	HTML の記述、Step7 リンク
予習	Step7 を読んでおく			1 時間
	1,2,3	復習	Step7 の課題を完成する	1.5 時間
		10	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の基本、Step1 CSS の記述方法
予習	Step7 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	Step7 の課題を完成する	1.5 時間
		11	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の記述、Step1 スタイル関連の HTML タグ
予習	CSS の Step1 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step1 の課題を完成する	1.5 時間
		12	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の記述、Step2 テキスト
予習	CSS の Step2 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step2 の課題を完成する	1.5 時間
		13	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の記述、Step3 フォント、背景
予習	CSS の Step3 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step3 の課題を完成する	1.5 時間
		14	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の記述、Step4 ボックス
予習	CSS の Step4 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step4 の課題を完成する	1.5 時間
		15	講義内容 該当到達目標 1,4,5	CSS の記述、Step5 配置、疑似クラス、ID
予習	CSS の Step5 を読んでおく			1 時間
	1,4,5	復習	CSS の Step5 の課題を完成する	1.5 時間
		合計時間(予習・復習)		
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	情報システム概論(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII110
英文名	Overview of Information System				講義形態	講義
担当教員	中村 賢治					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	IT 化の進む社会において、情報システムは欠くことのできない存在である。企業内にも無数の情報システムが存在し、それらを結ぶ大規模な情報システムも存在する。これらの基本的な知識を取得する。また、情報システムを通して情報技術と社会の結びつきを学ぶ。 本講義は授業中や課題に ICT ツールを多用する。課題において知識をアウトプットする場面が多数ある。					
到達目標	1.企業と法務に関する基本的な知識を取得する 2.経営戦略、システム戦略に関する基本的な知識を取得する 3.開発技術からマネジメントに関する基本的な知識を取得する 4.コンピュータシステムに関する基本的な知識を取得する					
評価方法	授業毎の小テスト 60 点と課題 40 点で評価する。					
使用教材	IT パスポート試験 対策テキスト&過去問題集(FOM 出版)、最新版を使用する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	小テストと課題の返却で評価する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜 2 限、木曜 2 限			メールアドレス (#→@)	nakamura-k#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、デジタルトランスフォーメーション				
	該当到達目標 1	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、理解する			0.5 時間
		復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。			2.5 時間
2	講義内容	企業活動				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
3	講義内容	法務				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
4	講義内容	経営戦略、技術戦略				
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
5	講義内容	システム戦略				
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
6	講義内容	開発技術				
	該当到達目標 2	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
		復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
7	講義内容	プロジェクトマネジメント				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
8	講義内容	サービスマネジメント		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
9	講義内容	システム構成要素		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
10	講義内容	ハードウェア		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
11	講義内容	ソフトウェア		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
12	講義内容	ネットワーク		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
13	講義内容	ユーザ・インタフェース		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
14	講義内容	セキュリティ		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
15	講義内容	最新テクノロジー		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	4	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名		Early Exposure(専門導入科目)				科目ナンバリング	HII111
英文名		Early Exposure				講義形態	講義
担当教員		医療情報学科全教員					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別							
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
			健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
			問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)		社会人として必要とされる基礎知識やマナーなどを身につけるとともに、将来の進路を考えるための礎を築く。また、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成などの病院実習やインターンシップに必要な知識と技能を身につける。講義は、オムニバス形式で、接遇や礼儀作法、一般常識、表現方法、報告書作成の知識・技能を学ぶ。ゼミごとに分かれてグループワークも行う。					
到達目標		1.一般常識を身につけている。 2.コミュニケーション能力を身につけている。 3.社会人としてのマナーを身につけている。 4.論理的な思考能力を身につけている。					
評価方法		レポート 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材		講義資料を随時プリントして配布する。					
参考文献							
課題に対するフィードバック		レポートにはコメントを付けて返却する。定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。					
オフィスアワー (研究室)		質問等は、授業開始前もしくは終了後に 応じる。		メールアドレス (#→@)		各自で各教員から確認しておくこと。	
1	講義内容	ガイダンス					
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読しておく。				時間
		復習	特になし				時間
2	講義内容	社会人としての一般常識と礼儀作法					
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。				1 時間
		復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。				1 時間
3	講義内容	医療事務管理士の業務内容、資格取得に必要な知識と技術					
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。				1 時間
		復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。				1 時間
4	講義内容	PG・SE の業務内容、資格取得に必要な知識と技術					
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。				1 時間
		復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。				1 時間
5	講義内容	一般事務職の仕事、必要な知識と技術					
	該当到達目標 1,2	予習	講義資料を熟読する。				1 時間
		復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。				1 時間
6	講義内容	手紙、電子メールの基本的なマナー					
	該当到達目標 1,2,3	予習	講義資料を熟読する。				1 時間
		復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。				1 時間
7	講義内容	診療情報管理士の業務内容、資格取得に必要な知識と技術					
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。				1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
8	講義内容	報告書作成およびプレゼンテーションスキル		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
9	講義内容	電話対応とコミュニケーションスキル		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
10	講義内容	院内コミュニケーション、患者接遇、チーム医療		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
11	講義内容	医療機関の概要、医療保険制度、病院経営		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
12	講義内容	医療機関におけるコンピュータの活用、病院内情報システム		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、演習問題を解く。	1 時間
13	講義内容	論理的な思考能力を磨く①		
	該当到達目標	予習	非言語能力の資料を熟読する。	1 時間
	1,4	復習	講義内容を熟読し、演習問題を解く。	1 時間
14	講義内容	論理的な思考能力を磨く②		
	該当到達目標	予習	統一テーマによるアドバイザ毎のゼミ。	1 時間
	1,4	復習	ゼミ毎に分かれ自己将来像などをこれまでの講義を踏まえてディスカッションする。	1 時間
15	講義内容	統一テーマによるアドバイザ毎のゼミ		
	該当到達目標	予習	ゼミ毎に分かれ前回の議論をまとめレポートを作成する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	特になし	時間
合計時間(予習・復習)				27 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	データサイエンス I (専門導入科目)				科目ナンバリング	HII112
英文名	Data Science I (Introduction to Data Science)				講義形態	講義
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	データサイエンスは、データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決までを一気通貫で科学することが求められる。データマイニングより修得すべき内容が多く、広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。本講義では、データ分析の基礎知識を習得する。授業の進め方は、e-learning と指定教科書を基本に授業を進め、単元毎に演習・練習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合問題を解く。なお、内容を理解し、スキルを身につけるためには、予習復習が必要である。					
到達目標	1.調査項目を分類・集計し、適切なグラフ表現ができる。 2.データの代表値の意味を理解し、データクレンジングについて説明できる。 3.2 変量間の散布図と相関係数の要点を説明できる。 4.確率の基本的な性質を説明できる。 5.標本調査・母集団と標本・無作為抽出を説明できる。 6.問題解決のプロセスや実験調査計画、データ解釈について説明できる。					
評価方法	レポート 80%、授業への参加度 20%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	教科書「データ分析」日本統計学会編、ISBN978－4－489－02132－9 C3040E ￥2200 演習教材は随時プリントして配布またはネット配信する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、データ分析の基礎知識と本講の概要				
	該当到達目標	予習	第一部データ分析の基礎知識を読んでおく			1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習する			1.5 時間
2	講義内容	調査項目の種類と集計方法、調査項目の分類、質的変数の集計、クロス集計				
	該当到達目標	予習	1. 調査項目の種類と集計方法 P3～P8			1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。			1.5 時間
3	講義内容	さまざまなグラフ表現、グラフ作成の目的、統計グラフの特徴、複数のグラフの組み合わせ、誤解を招きやすいグラフ表現				
	該当到達目標	予習	2. さまざまなグラフ表現を熟読しておく			1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。			1.5 時間
4	講義内容	時系列データの特徴を調べる、指数(指標)による表現、折れ線グラフ作成上の注意、対数の利用				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	3. 時系列データを熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
5	該当到達目標 1,2	講義内容	度数分布とヒストグラム、度数分布表の作成、ヒストグラムと度数分布、分布の特徴の把握	
		予習	4. 度数分布とヒストグラムを熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
		講義内容	分布の位置を示す代表値、度数分布表からの平均値の計算	
6	該当到達目標 1,2	予習	5. 分布の位置を表す代表値を熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容	5 数要約と箱ひげ図、分位数と 5 数要約、データの散らばりを考える、複数のデータの分布を比較する、要約表示と箱ひげ図	
		予習	6. 5 数要約と箱ひげ図を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
		講義内容	分散と標準偏差、観測値の散らばりの程度、単位の変換と平均値、分散、標準偏差、変動係数で散らばりを考える、 Σ 記号の使い方	
8	該当到達目標 1,2	予習	7. 分散と標準偏差を熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容	観測値の標準化、データの外れ値とその検出	
		予習	8. 観測値の標準化を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
		講義内容	相関と散布図、2 つの変数の関係、層別散布図	
10	該当到達目標 1,2,3	予習	9. 相関と散布図を熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
11	該当到達目標 1,2,3	講義内容	相関係数を数値で表す、相関係数の注意点	
		予習	10. 相関係数を熟読する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
		講義内容	確率の基本	
12	該当到達目標 4	予習	11. 確率の基本的な性質を熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
13	該当到達目標 4	講義内容	反復試行と条件付き確率、事象の独立性、順列と組み合わせ	
		予習	12. 反復試行と条件付き確率を熟読する。	1.5 時間
	4	復習	講義内容を熟読し、練習問題を解く。	1.5 時間
		講義内容	標本調査、全数調査と標本調査、母集団と標本、無作為抽出法	
14	該当到達目標 5	予習	13. 標本調査を熟読する。	1.5 時間
		復習	講義内容を熟読し、練習問題を解く。	1.5 時間
15	該当到達目標 1,2,3,4,5,6	講義内容	問題解決のプロセス、統計的問題解決、PPDAC サイクル、実験・調査計画、問題の明確化、実験研究と観察研究、実験調査の計画を立てる、とデータを解釈する、問題の設定とデータ分析、データの収集法、結果の解釈	
		予習	第二部調査計画と結果の統計的な解釈を熟読する。	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	講義内容を熟読し、練習問題を解く。	1.5 時間
		合計時間(予習・復習)		
備考				

科目名		人体構造・機能論(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB201
英文名		Structure & Function of the Human Body			講義形態	講義
担当教員		小澤 滯司				
科目に関連した実務経験		非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)				
学年・開講期		1 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		人体の構造と機能についての基本的事項、およびそれらの基礎的知識に基づく病気の起こるメカニズムの概要				
到達目標		1.人体を構成する細胞・組織・器官および器官系の構造と機能を理解する。 2.上記の知識に基づき、それらの異常がどのような病気をもたらすかを推論できる。 本科目の内容を十分に理解しておくことは、臨床医学総論、および臨床医学各論Ⅰ－Ⅵを学ぶための準備として不可欠である。				
評価方法		期末試験 80%、授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること)20%とし、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材		テキスト:人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版 テキストの中から、人体の構造と機能の基本を理解するための重要事項を選んで講義する。				
参考文献		診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会				
課題に対するフィードバック		講義中のミニテストおよび期末試験では、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答、および採点基準を解説する。また、採点結果を講評する。				
オフィスアワー(研究室)		水曜日の3時限と4時限		メールアドレス(#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	人体の構造と機能の概要、細胞				
	該当到達目標	予習	テキストの第1章1-6ページに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	人体の構造と機能の概要、細胞とその構成要素、およびそれらの役割を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	細胞を取り巻く環境、人体の構成				
	該当到達目標	予習	テキストの第1章9-15ページに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	細胞膜を介する物質輸送、および細胞・組織・器官・器官系の関連を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	遺伝子のはたらき				
	該当到達目標	予習	テキストの第1章6-9ページと配布プリントに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	遺伝子、DNAの複製、タンパク質合成の分子メカニズムを理解する。			1.5 時間
4	講義内容	運動系(1) 骨格				
	該当到達目標	予習	テキストの第2章17-44ページに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	身体の区分と表示、骨格とその構成要素である骨と関節の構造を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	運動系(2) 骨格筋の構造と機能				
	該当到達目標	予習	テキストの第2章44-63ページに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	骨格筋の構造と収縮メカニズムを理解する。主要な骨格筋の名称を覚える。			1.5 時間
6	講義内容	神経系の構造と機能(1) ニューロン、グリア、シナプス				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	テキストの第 3 章 71-80 ページに目を通す。	1 時間
		復習	神経線維およびシナプスにおける情報伝達のメカニズムを理解する。	1.5 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容 神経系の構造と機能(2) 中枢神経系(脳と脊髄)		
		予習	テキストの第 3 章 80-99 ページに目を通す。	1 時間
		復習	脳と脊髄の構造、および脳の区分と各部位の機能の概要を理解する。	1.5 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容 神経系の構造と機能(3) 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)		
		予習	テキストの第 3 章 99-113 ページに目を通す。	1 時間
		復習	体性神経系と自律神経系の区分、およびそれらの構造と機能を理解する。	1.5 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容 循環器系の構造と機能		
		予習	テキストの第 5 章 149-183 ページに目を通す。	1 時間
		復習	心臓と血管の構造と機能を理解する。特に、心臓弁の名称と機能、興奮伝導系、心電図、冠循環について時間をかけて復習する。	1.5 時間
10	該当到達目標 1,2	講義内容 血液・体液		
		予習	テキストの第 6 章 187-203 ページと第 7 章 206-213 ページに目を通す。	1 時間
		復習	血液組成、血液凝固、血液型、体液区分、体液の恒常性について理解する。	1.5 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容 呼吸器系の構造と機能		
		予習	テキストの第 9 章 233-256 ページに目を通す。	1 時間
		復習	呼吸器の構造、換気とガス交換のメカニズム、呼吸調節について理解する。	1.5 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容 消化器系の構造と機能		
		予習	テキストの第 10 章 259-284 ページに目を通す。	1 時間
		復習	消化器系の構造、および胃、小腸、大腸、肝臓、膵臓、胆嚢の機能を理解する。	1.5 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容 泌尿器系の構造と機能		
		予習	テキストの第 11 章 305-321 ページに目を通す。	1 時間
		復習	泌尿器系の構造、および腎臓において尿が生成される過程を理解する。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容 内分泌系とホルモン、および 1-14 回の講義の内容のうちで特に重要な事項の指摘		
		予習	テキストの第 12 章 323-348 ページに目を通す。	2 時間
		復習	内分泌の定義を理解し、主要なホルモンの名称、化学構造、機能を覚える。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	4 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容 まとめ、重要事項の解説		
		予習	テキスト、講義のノート、配布されたプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	5 時間
		復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で人体の構造と機能の異常がどのような病態を生じさせるかを、実務経験を含めて解説する。			

科目名	臨床医学総論(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB202
英文名	Outline of Clinical Medicine				講義形態	講義
担当教員	尾形 敏郎					
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務(現在)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要(テーマ・内容)	病気の原因・診断・検査と治療の概要、先天奇形・染色体異常、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響					
到達目標	1.病気の主な原因とその際に起こる人体の組織・器官の変化の概要を説明できる。 2.病気の診断と治療がどのように行われるか、および病気の診断と治療の過程で行われる多種類の検査のもつ意義を説明できる。 3.先天奇形、主な染色体異常症候群、および損傷・中毒・その他の外因が人体にもたらす影響を説明できる。					
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること)20%とし、合計 60%以上を合格とする。					
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会					
参考文献						
課題に対するフィードバック	期末試験について、実施直後に配点、問題に対する模範解答を掲示する。					
オフィスアワー(研究室)	質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス(#→@)	togata45#gmail.com		
1	講義内容	健康と疾病、病気の原因(1)				
	該当到達目標	予習	テキストの 113-114 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	健康と疾病の言葉の定義、病気の原因を理解する。			1.5 時間
2	講義内容	病気の原因(2)				
	該当到達目標	予習	テキストの 114-119 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	病気の原因を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	臓器の病理学的変化、病気の診断、治療の方針				
	該当到達目標	予習	テキストの 121-122 ページと 134-136 ページに目を通す。			1 時間
	1,2	復習	臓器の病理学的変化、病気の診断方法および治療方針を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	検査(検査技師による検体検査など)				
	該当到達目標	予習	テキストの 123-125 ページと 129-134 ページに目を通す。			1 時間
	2	復習	検査技師による検体検査などの概要を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	検査(放射線技師による画像検査など)				
	該当到達目標	予習	テキストの 126-128 ページに目を通す。			1 時間
	2	復習	放射線技師による画像検査を理解する。			1.5 時間
6	講義内容	先天奇形(1)神経系、眼、耳、顔面、頸部の奇形				
	該当到達目標	予習	テキストの 137-141 ページに目を通す。			1 時間
	3	復習	神経系、眼、耳、顔面、頸部の先天奇形を理解する。			1.5 時間
7	講義内容	先天奇形(2)呼吸器系、消化器系の奇形				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	テキストの 142-146 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	呼吸器系、消化器系の先天奇形を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	先天奇形(3)生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の奇形		
	該当到達目標	予習	テキストの 147-150 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	生殖器、腎・尿路系、筋骨格系の先天奇形を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	染色体異常		
	該当到達目標	予習	テキストの 151-152 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	染色体異常の定義、疾患について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	損傷(1)皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部の損傷		
	該当到達目標	予習	テキストの 153-155 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	皮膚、筋・腱、血管、靱帯など軟部組織の損傷の概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	損傷(2)頭部、頸部、胸部の損傷		
	該当到達目標	予習	テキストの 156-160 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	頭部、頸部、胸部の損傷の概要を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	損傷(3)腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷		
	該当到達目標	予習	テキストの 161-165 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	腹部、下背部、腰椎、骨盤部の損傷の概念について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	損傷(4)肩、四肢の損傷		
	該当到達目標	予習	テキストの 165-178 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	肩、四肢の損傷の概念について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	薬物による中毒、物質の毒作用(アルコール、農薬、生物由来の毒物などの作用)、および 1-14 回の講義のうちで特に重要な事項の指摘		
	該当到達目標	予習	テキストの 178-192 ページに目を通す。	2 時間
	1,2,3	復習	薬物による中毒、物質の毒作用などの概要を理解する。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	4 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布さプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	5 時間
	1,2,3	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名	臨床医学各論Ⅰ（感染症・寄生虫、血液）（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB203
英文名	Clinical MedicineⅠ（Infection, Blood etc.）			講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦				
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務（現在）				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要（テーマ・内容）	病原微生物による疾患、および血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。				
到達目標	1.病原微生物による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.血液疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。				
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会				
参考文献	「病気が見える」シリーズ MEDIC MEDIA 社				
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。				
オフィスアワー（研究室）	質問等は電子メールで受け付ける。		メールアドレス（#→@）	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	感染症総論（1）病原微生物の種類、検査など			
	該当到達目標	予習	テキストの 197-200 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	感染症の発生するメカニズムや検査法などを理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
2	講義内容	感染症総論（2）治療、予防など			
	該当到達目標	予習	テキストの 199-201 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	感染症の治療と予防を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
3	講義内容	腸管感染症			
	該当到達目標	予習	テキストの 202-206 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	腸管感染症の概要を理解する。配布プリントに目を通す		1.5 時間
4	講義内容	結核および非定型抗酸菌症			
	該当到達目標	予習	テキストの 207-209、214 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	結核および非定型抗酸菌症を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
5	講義内容	人獣共通感染症、種々の細菌感染症			
	該当到達目標	予習	テキストの 210-221 ページ目を通す。	1 時間	
	1	復習	呼吸器および人獣共通感染症の概略を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
6	講義内容	性感染症、スピロヘータなど			
	該当到達目標	予習	テキストの 225-233 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	性感染症、スピロヘータの概略を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
7	講義内容	ウイルス感染症（1）総論、種々のウイルス感染症			
	該当到達目標	予習	テキストの 234-243 ページに目を通す。	1 時間	
	1	復習	ウイルス感染症を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
8	講義内容	ウイルス感染症（2）肝炎、HIV および関連感染症			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1	予習	テキストの 244-252 ページに目を通す。	1 時間
		復習	ウイルス肝炎、HIV および関連感染症を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	該当到達目標 1	講義内容 真菌症、原虫疾患、寄生虫病など		
		予習	テキストの 253-262 ページに目を通す。	1 時間
		復習	真菌症、原虫疾患、寄生虫症などを理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	該当到達目標 2	講義内容 血液疾患(1) 血液疾患総論		
		予習	テキストの 319-325 ページに目を通す。	1 時間
		復習	血液疾患総論(組成、造血メカニズムなど)を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	該当到達目標 2	講義内容 血液疾患(2) 貧血		
		予習	テキストの 328-334 ページに目を通す。	1 時間
		復習	さまざまな貧血疾患につき理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	該当到達目標 2	講義内容 血液疾患(3) 無形成性貧血およびその他の貧血、凝固障害		
		予習	テキストの 335-341 ページに目を通す。	1 時間
		復習	無形成性貧血、その他の貧血、凝固障害を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	該当到達目標 2	講義内容 血液および造血器、免疫機構の障害		
		予習	テキストの 342-345 ページに目を通す。	1 時間
		復習	血液および造血器、免疫機構の障害につき理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容 重要事項の解説		
		予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-13 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	4 時間
		復習	重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	2.5 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容 まとめ、復習問題の解説		
		予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	4 時間
		復習	終了試験に向け、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名		臨床医学各論Ⅱ（新生物、代謝・内分泌）（専門基幹科目）		科目ナンバリング	HIB204
英文名		Clinical MedicineⅡ（Neoplasm, Metabolism etc）		講義形態	講義
担当教員		坂本 輝彦			
科目に関連した実務経験		常勤医師として病院に勤務（現在）			
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要（テーマ・内容）		腫瘍（新生物）による疾患、および内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。			
到達目標		1.腫瘍（新生物）による疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.内分泌・代謝系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。			
評価方法		期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。			
使用教材		診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会			
参考文献		「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社			
課題に対するフィードバック		各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。			
オフィスアワー（研究室）		質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス（#→@）	tsaka.20121006#gmail.com
1	講義内容	腫瘍（新生物）総論（1） 腫瘍の定義、分類			
	該当到達目標	予習	テキストの 265-266 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	腫瘍の総論（腫瘍の定義、分類）につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
2	講義内容	腫瘍（新生物）総論（2） 画像診断、治療、予防			
	該当到達目標	予習	テキストの 270-276 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	腫瘍の総論（画像診断、治療、予防）につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
3	講義内容	消化管（食道・胃）の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 270-276 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	食道・胃疾患の悪性新生物につき理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
4	講義内容	消化管（大腸）および肝・胆の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 277-285 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	大腸および肝胆道系の悪性新生物を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
5	講義内容	膵臓および呼吸器系の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 286-291 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	膵臓および呼吸器系の悪性新生物を理解する。配布プリントに目を通す。		1.5 時間
6	講義内容	口唇、口腔、咽頭、骨、皮膚の悪性新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 266-270、291-293 ページに目を通す		1 時間
	1	復習	口唇、口腔、咽頭、骨、皮膚の悪性新生物を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
7	講義内容	乳房、子宮、卵巣の新生物			
	該当到達目標	予習	テキストの 293-298 ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	乳房、子宮、卵巣の新生物を理解し、配布プリントに目を通す。		1.5 時間
8	講義内容	前立腺、泌尿器、脳などの新生物			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1	予習	テキストの 298-302、312 ページに目を通す。	1 時間
		復習	前立腺、泌尿器、脳の新生物を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	該当到達目標 1	講義内容	内分泌腺、リンパ組織関連の悪性新生物、良性腫瘍(1)	
		予習	テキストの 302-307、308-311、313 ページに目を通す	1 時間
		復習	内分泌腺の新生物、リンパ組織関連の悪性新生物、良性腫瘍を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	該当到達目標 1	講義内容	上皮内癌、良性腫瘍(2)、内分泌疾患(1) 甲状腺疾患	
		予習	テキストの 309-311、347-353 ページに目を通す。	1 時間
		復習	上皮内癌、良性腫瘍(2)、内分泌疾患(1)甲状腺疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	該当到達目標 2	講義内容	糖尿病および内分泌疾患(2) 副甲状腺、下垂体疾患	
		予習	テキストの 355-363 ページに目を通す。	1 時間
		復習	糖尿病および内分泌障害(2):副甲状腺、下垂体疾患を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	該当到達目標 2	講義内容	内分泌疾患(3) 下垂体疾患、副腎疾患、栄養欠乏症	
		予習	テキストの 364-372 ページに目を通す。	1 時間
		復習	内分泌疾患(3) 下垂体疾患、副腎疾患、栄養欠乏症を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	該当到達目標 2	講義内容	代謝障害、体液・電解質異常	
		予習	テキストの 373-384 ページに目を通す。	1 時間
		復習	代謝障害、体液・電解質異常を理解する。配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容	重要事項の解説	
		予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-13 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	4 時間
		復習	重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	2.5 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容	まとめ、復習問題の解説	
		予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	4 時間
		復習	終了試験に向け、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名	臨床医学各論Ⅲ(循環器・呼吸器)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB205
英文名	Clinical MedicineⅢ (Cardiovascular & Respiratory systems)			講義形態	講義
担当教員	小澤 滯司				
科目に関連した実務経験	非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)	循環器、呼吸器系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などに関する基本的事項				
到達目標	1.循環器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.呼吸器系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。				
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること)20%とし、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材	テキスト:診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会				
参考文献	人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版				
課題に対するフィードバック	講義中のミニテストおよび期末試験では、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答、および採点基準を解説する。また、採点結果を講評する。				
オフィスアワー(研究室)	水曜日の3時限と4時限		メールアドレス(#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	循環器疾患 (1)循環器疾患総論 ①主要症候			
	該当到達目標	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第5章 循環系と講義ノート、およびテキストの473-474ページに目を通す。		1 時間
	1	復習	循環器疾患の主要症候の発生メカニズムを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	循環器疾患 (2)循環器疾患総論 ②心不全			
	該当到達目標	予習	テキストの519-523ページと配布プリントに目を通す。		1 時間
	1	復習	左心不全と右心不全の発生メカニズムと症状を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	循環器疾患 (3)循環器疾患総論 ③検査(i)心音、血液生化学、心電図			
	該当到達目標	予習	テキストの474-476ページと配布プリントに目を通す。		1 時間
	1	復習	循環器疾患の際に、心音、血液生化学検査、心電図で検出される代表的な変化を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	循環器疾患 (4)循環器疾患総論 ④検査(ii)心エコー、心カテテルなど			
	該当到達目標	予習	テキストの476-478ページと配布プリントに目を通す。		1 時間
	1	復習	心エコー、心カテテル検査の概要を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	循環器疾患 (5)リウマチ性心疾患、弁膜症			
	該当到達目標	予習	テキストの479-486ページと配布プリントに目を通す。		1 時間
	1	復習	僧房弁と大動脈弁の異常に重点をおいて、弁膜症の原因、症状、検査、治療法を理解する。		1.5 時間
6	講義内容	循環器疾患 (6)先天性心疾患			
	該当到達目標	予習	テキストの487-495ページと配布プリントに目を通す。		1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	先天性心疾患の種類、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器疾患 (7)高血圧性疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 495-500 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	高血圧の定義、原因、治療の目的、高血圧による臓器障害を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	循環器疾患 (8)虚血性心疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 501-506 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	狭心症と急性心筋梗塞の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	循環器疾患 (9)肺性心疾患、その他の心疾患(心膜炎、心筋症など)		
	該当到達目標	予習	テキストの 507-519 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	肺性心疾患、心膜疾患、急性心筋炎、心筋症の概要を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	循環器疾患 (10)動脈と静脈の疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 532-542 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	動脈硬化、大動脈瘤、大動脈解離、動脈血栓・塞栓、静脈血栓、痔核、食道静脈瘤などの概要を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	呼吸器疾患 (1)呼吸器疾患総論、呼吸不全		
	該当到達目標	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第9章 呼吸器系と講義ノート、およびテキストの 545-546 ページと 578-589 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	呼吸器疾患の主要症候の発生するメカニズムと呼吸不全の定義を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	呼吸器疾患 (2)上気道感染症、インフルエンザ		
	該当到達目標	予習	テキストの 548-550 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	普通感冒とインフルエンザの区別、インフルエンザウイルスの多型性について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	呼吸器疾患 (3)肺炎		
	該当到達目標	予習	テキストの 550-558 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	肺炎の分類、原因、症状、検査、治療法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	呼吸器疾患 (4)慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、胸膜疾患、および 1-14 回の講義での重要事項の指摘		
	該当到達目標	予習	テキストの 561-564、565-566、576-578 ページ、配布プリントに目を通す。	2 時間
	1,2	復習	慢性閉塞性肺疾患の原因、症状、検査、治療法を十分に復習して理解する。および 1-14 回の講義で指摘された重要事項の理解度を確認する。	4 時間
15	講義内容	まとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義ノート、配布されたプリント等を利用して 1-14 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された重要事項について理解を深める。	5 時間
	1,2	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で循環・呼吸器疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名		臨床医学各論Ⅳ(消化器・腎泌尿器、皮膚)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB206
英文名		Clinical MedicineⅣ (Digestive & Urinary Systems etc.)			講義形態	講義
担当教員		坂本 輝彦				
科目に関連した実務経験		常勤医師として病院に勤務(現在)				
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
			問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		消化器系、腎・泌尿器系の疾患、および皮膚疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。				
到達目標		1.消化器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.腎・泌尿器系疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 3.皮膚疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。				
評価方法		期末試験 80%、授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること)20%とし、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材		診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会				
参考文献		「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社				
課題に対するフィードバック		各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。				
オフィスアワー(研究室)		質問等はメールで受け付ける。		メールアドレス(#→@)	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	消化器疾患(1) 消化器疾患総論				
	該当到達目標	予習	テキストの 585-588、608-611、623-627 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	消化器疾患の主要症候・検査などを理解する。配布プリントに目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	消化器疾患(2) 食道、胃・十二指腸の疾患				
	該当到達目標	予習	テキストの 588-596 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	食道、胃・十二指腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	消化器疾患(3) 小腸、大腸の疾患				
	該当到達目標	予習	テキストの 596-608 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	小腸、大腸の疾患の検査・症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
4	講義内容	消化器疾患(4) 肝臓疾患				
	該当到達目標	予習	テキストの 608-622 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	肝臓疾患の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
5	講義内容	消化器疾患(5) 胆嚢、胆管、膵臓の疾患				
	該当到達目標	予習	テキストの 628-638 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	胆嚢、胆管、膵臓の特徴・症状・検査・治療を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
6	講義内容	腎・泌尿器疾患(1) 腎疾患総論				
	該当到達目標	予習	テキストの 639-642 ページに目を通す。			1 時間
	2	復習	腎疾患の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
7	講義内容	腎・泌尿器疾患(2) 腎系球体疾患				
	該当到達目標	予習	テキストの 643-652 ページに目を通す。			1 時間
	2	復習	腎系球体疾患の症状・検査・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	腎・泌尿器疾患(3) 全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 653-659 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	全身疾患と腎、腎尿細管間質性疾患の症状、検査、治療法を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	腎・泌尿器疾患(4) 腎不全、尿管結石、尿細管疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 659-668 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	腎不全、尿路系、尿細管疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	腎・泌尿器疾患(5) 尿路系疾患、生殖器疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 669-683 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	尿路系疾患、生殖器疾患の概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	皮膚疾患(1) 皮膚疾患総論、皮膚の感染症、水疱症		
	該当到達目標	予習	テキストの 735-741 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	皮膚疾患、感染症、水疱症の主症状・治療を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	皮膚疾患(2) 皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患		
	該当到達目標	予習	テキストの 743-753、760-763 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	皮膚炎、湿疹、真菌症、自己免疫疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	皮膚疾患(3) 毛髪疾患、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍		
	該当到達目標	予習	テキストの 763-768 ページに目を通す。	1 時間
	3	復習	毛髪疾患、皮膚の結合織病(膠原病)、悪性腫瘍を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-13 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	4 時間
	1,2,3	復習	重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	2.5 時間
15	講義内容	まとめ、復習問題の解説		
	該当到達目標	予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	4 時間
	1,2,3	復習	終了試験に向け、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名	臨床医学各論Ⅴ（周産期、筋骨格）（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB207
英文名	Clinical MedicineⅤ（Perinatal Medicine etc.）				講義形態	講義
担当教員	坂本 輝彦					
科目に関連した実務経験	常勤医師として病院に勤務（現在）					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要（テーマ・内容）	妊娠、周産期における疾患、および筋・骨格系の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などについて、基本的な知識を習得する。					
到達目標	1.妊娠、周産期における疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.骨格系の疾患の特徴・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。					
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度（授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること）20%とし、合計 60%以上を合格とする。					
使用教材	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ（基礎・医学編）」第 8 版 日本病院会					
参考文献	「病気がみえる」シリーズ MEDIC MEDIA 社					
課題に対するフィードバック	各講義の際に毎回出題する復習問題については、最終講義の際にまとめて解説し、講義の再復習および期末試験の対策をおこなう。					
オフィスアワー（研究室）	質問等はメールで受け付ける。			メールアドレス（#→@）	tsaka.20121006#gmail.com	
1	講義内容	生殖器の構造と機能、性周期				
	該当到達目標	予習	テキストの 689 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	生殖器の構造と機能、性周期を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
2	講義内容	妊娠の成立と維持				
	該当到達目標	予習	テキストの 689-692 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	妊娠の成立と維持を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
3	講義内容	正常の妊娠と分娩				
	該当到達目標	予習	テキストの 691-692 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	正常の妊娠と分娩を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
4	講義内容	流産				
	該当到達目標	予習	テキストの 692-701 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	流産の概要を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
5	講義内容	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻				
	該当到達目標	予習	テキストの 701-704 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	妊娠高血圧症候群、妊娠悪阻の症状・検査などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
6	講義内容	予想される分娩の諸問題（1）胎位異常など				
	該当到達目標	予習	テキストの 705-714 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	胎位異常などの概念を理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間
7	講義内容	予想される分娩の諸問題（2）前置胎盤など				
	該当到達目標	予習	テキストの 714-718 ページに目を通す。			1 時間
	1	復習	前置胎盤などの症状・治療などを理解し、配布プリントに目を通す。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	分娩・産褥における合併症		
	該当到達目標	予習	テキストの 719-724 ページに目を通す。	1 時間
	1	復習	分娩・産褥における合併症を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
9	講義内容	周産期の児に発生する病態		
	該当到達目標	予習	テキストの 725-732 ページに目を通す。	1 時間
	1	復習	周産期の児に発生する病態概要を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
10	講義内容	筋・骨格系疾患(1) 関節障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 769-776 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	関節障害をきたす疾患を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
11	講義内容	筋・骨格系疾患(2) 全身性結合組織障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 776-787 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	全身性結合組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
12	講義内容	筋・骨格系疾患(3) 脊柱障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 787-798 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	脊柱障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
13	講義内容	筋・骨格系疾患(4) 骨軟部組織障害		
	該当到達目標	予習	テキストの 798-810 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	骨軟部組織障害の特徴を理解し、配布プリントに目を通す。	1.5 時間
14	講義内容	重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布プリント等を利用して 1-13 回の講義の内容を復習して、特に講義中に強調された点については理解を深める。	4 時間
	1,2	復習	重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	2.5 時間
15	講義内容	まとめ、復習問題の解説		
	該当到達目標	予習	復習問題の理解、講義内容の復習を行う。	4 時間
	1,2	復習	終了試験に向け、自己理解度を判断し、不十分と思われた箇所は自己学習にて理解しておく。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で病気の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。			

科目名	臨床医学各論Ⅵ(精神・脳神経・感覚器、医学英語Ⅱ)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB208
英文名	Clinical MedicineⅥ (Nervous system) & Medical EnglishⅡ			講義形態	講義
担当教員	小澤 滯司、上原 徹				
科目に関連した実務経験	小澤：非常勤医師として病院・診療所に勤務(経験) 上原：常勤医師として病院に勤務(経験)、非常勤医師として病院に勤務(現在)				
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)	精神・神経系、感覚器の疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などに関する基本的事項、および疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現法				
到達目標	1.神経系疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 2.精神疾患の基本的事項を理解する。 3.眼疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後などの基本的事項について説明できる。 4.多様な疾患の症状・検査・診断・治療に関する英語表現を日本語に訳すことができる。				
評価方法	期末試験 80%、授業への参加度・貢献度(授業中の質疑に積極的に参加し、授業の進行に協力すること)20%とし、合計 60%以上を合格とする。				
使用教材	テキスト： ①診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」第8版 日本病院会 ②診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅱ(基礎・医学用語編)」第8版 日本病院会 ③診療情報管理士教育問題集 2016 基礎・医学編 日本病院会				
参考文献	人体の構造と機能 第5版 医歯薬出版				
課題に対するフィードバック	講義中のミニテストおよび期末試験では、実施直後に出題の意図、問題に対する模範解答、および採点基準を解説する。また、採点結果を講評する。				
オフィスアワー(研究室)	水曜日の3時限と4時限		メールアドレス(#→@)	sozawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	神経系疾患(1)神経疾患を理解するための基礎的事項			
	該当到達目標 1	予習	参考書(人体構造・機能論のテキスト)第3章 神経系と講義ノート、第4章 感覚器、およびテキスト①の425-427ページに目を通す。		1 時間
		復習	神経系の構造と機能に関する知識に基づき、主要症状の発生メカニズムを理解する。		1.5 時間
2	講義内容	神経系疾患(2)脳血管疾患			
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の527-532ページと配布プリントに目を通す。		1 時間
		復習	脳血管疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。		1.5 時間
3	講義内容	神経系疾患(3)中枢神経系の炎症性疾患			
	該当到達目標 1	予習	テキスト①の427-429ページに目を通す。		1 時間
		復習	中枢神経系の炎症性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	神経系疾患(4)神経変性疾患			
	該当到達目標	予習	テキスト①の429-433ページと配布プリントに目を通す。		1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	神経変性疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	神経系疾患(5)脱髄疾患、末梢神経系疾患		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 433-441 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	脱髄疾患、末梢神経系疾患の種類、原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	神経系疾患(6)神経・筋接合部、骨格筋の疾患、その他の神経系の障害		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 441-446 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	1	復習	重症筋無力症、筋ジストロフィー、脳性麻痺、水頭症の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	眼疾患:眼瞼、結膜、涙器、水晶体、硝子体、脈絡膜・網膜、視神経の障害		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 447-463 ページと配布プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	主要な眼疾患の原因、症状、検査、治療法を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	医学英語Ⅱ(1)造語法の基本(医学英語Ⅰの復習)		
	該当到達目標	予習	テキスト②の 1-10 ページを復習する。	1 時間
	4	復習	テキスト③の 12 章 問題 12-1 から 12-9 を解き直す。	1.5 時間
9	講義内容	医学英語Ⅱ(2)循環器・呼吸器・消化器疾患の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	医学英語Ⅱ(3)泌尿生殖器・血液・代謝・内分泌疾患等の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
11	講義内容	医学英語Ⅱ(4)精神神経・感覚器・骨格系・皮膚疾患等の症状・検査・診断・治療の用語		
	該当到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	1 時間
	4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	医学英語Ⅱ(5)特に難解な医学用語についての解説、および 1-12 回の授業での重要事項の指摘		
	該当到達目標	予習	テキスト③の 12 章で指定された問題を予め解いてから授業に臨むこと。	2 時間
	1,3,4	復習	授業で解いた問題について、テキスト②を参照して正解に至る道筋を確認する。 および 1-12 回の授業で指摘された重要事項の理解度を確認する。	4 時間
13	講義内容	1-12 回の講義のまとめ、重要事項の解説		
	該当到達目標	予習	テキスト、講義のノート、配布されたプリント等を利用して 1-12 回の講義の内容を復習して、特に授業中に強調された点については理解を深める。	5 時間
	1,3,4	復習	まとめ、重要事項の解説で示された事項のすべてを理解したことを確認する。	1.5 時間
14	講義内容	精神と行動の障害(1)精神疾患総論、器質性精神障害、精神作用物質など		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 391-396 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	講義ノートに基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
15	講義内容	精神と行動の障害(2)統合失調症、気分障害、神経症性障害、広汎性発達障害など		
	該当到達目標	予習	テキスト①の 397-422 ページに目を通す。	1 時間
	2	復習	講義ノートに基づき、テキスト対応箇所を再読する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	各講義で精神神経疾患の分類、症状、検査、治療について実務経験を含めて解説する。医学英語では、学生が問題集の演習問題を解いて、解答に至る過程を相互に説明することにより授業を進行させる。			

科目名		保健医療情報学(専門基幹科目)		科目ナンバリング	HIB209
英文名		Outline of Healthcare Informatics		講義形態	講義
担当教員		松尾 仁司			
科目に関連した実務経験		情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験)			
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位	
種別		「診療情報管理士認定試験」指定科目			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
			問題解決力		
講義概要 (テーマ・内容)		保健医療情報学は、情報技術を応用し、医療の質的向上・安全性向上と医療サービスの効率化などを実践的に達成することを目的とする分野である。本講義では、医療情報の特徴、医療情報化に関連する政策、病院や地域で活用される医療情報システム、医療情報の標準化、情報セキュリティなどを全般的に学ぶ。 講義の中で小テストを実施し、理解度の確認と解答の解説による再学習を行う。			
到達目標		1.日本病院会が認定する診療情報管理士認定試験の該当専門分野で合格点が取れる。 2.診療情報管理上特に重要な標準化とセキュリティに関する実践力をつける。■			
評価方法		期末試験の成績 70%、授業中の小テスト 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。			
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ第 8 版(専門・情報管理編) (社)日本病院会発行			
参考文献		適宜紹介する			
課題に対するフィードバック		合計 5 回の小テストはその都度採点し、次回の授業で解説を行う。			
オフィスアワー (研究室)		水曜日 3 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)	メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・医療情報学とは			
	該当到達目標	予習	教科書の p.279~283 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療情報学の概念について理解する。		1.5 時間
2	講義内容	医療情報の特徴と種類■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.284~288 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療情報の特徴と種類、利活用について理解する。		1.5 時間
3	講義内容	保健医療の情報化政策の歴史と関連法令■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.288~295 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医療の情報化には行政が深く関わっていることを理解する。		1.5 時間
4	講義内容	保健医療情報化政策の今後の方向性■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.295~296 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	行政による医療の情報化推進策の方向性を理解する。		1.5 時間
5	講義内容	病院情報システム概論■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.297~299 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	病院情報システムの特徴、歴史について理解する。		1.5 時間
6	講義内容	医事会計システム■			
	該当到達目標	予習	教科書の p.300 ~302 に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	医事会計システムについて理解する。		1.5 時間
7	講義内容	病院の部門情報システム■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	教科書の p.302~306 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	臨床検査システム、放射線部門システムなどについて理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オーダエントリシステムと電子カルテシステム■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.306~313 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	オーダエントリシステムと電子カルテシステムの役割・特徴について理解する。	1.5 時間
	講義内容	地域医療情報システム■		
9	該当到達目標	予習	教科書の p.314~321 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	遠隔医療システム、地域医療情報ネットワークシステムについて理解する。	1.5 時間
	講義内容	診療情報の二次利用■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.322~325 に目を通す。	1.5 時間
10	1	復習	データウェアハウス、医療ビッグデータ処理について概念を理解する。	1.5 時間
	講義内容	個人が管理する保健医療記録■		
11	該当到達目標	予習	教科書の p.326~328 に目を通す。	1.5 時間
	1	復習	EHR,PHR など個人健康情報の概念を理解する。	1.5 時間
	講義内容	医療情報の標準化■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.329~335 に目を通す。	1.5 時間
12	1,2	復習	用語・コードの標準化、伝送規格などの重要性を理解する。	1.5 時間
	講義内容	情報セキュリティ■		
13	該当到達目標	予習	教科書の p.335~343 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	セキュリティポリシーや安全管理について理解する。	1.5 時間
	講義内容	保健医療の情報化のこれから■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.344 に目を通す。	1.5 時間
14	1	復習	保健医療情報分野の将来について理解する。	1.5 時間
	講義内容	全体まとめ		
15	該当到達目標	予習	講義全体を通して重要なポイントを確認する。	1.5 時間
	1,2	復習	保健医療情報学の重要なポイントを整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		生体情報学Ⅰ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB210
英文名		Biological InformationⅠ			講義形態	講義
担当教員		高橋 大志				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
			問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）		生体は多くの優れた機能を有しており、これらの優れた機能を測定・解析し応用することにより医学的価値の高い医療機器を開発することが可能である。そのためには、生体信号（血圧や体温などの生体からの情報）を感度良く検出し解析する必要がある。本講義では、血圧計、心電計、脳波計など、医療現場で使用されている機器の検出・計測原理やデバイス構造を理解することを目的とする。なお、講義では教科書の当該内容をスライドで説明する。				
到達目標		1. 生体の特性及び生体情報の解析法を理解する。 2. 医療機器の情報検出法及び測定原理について理解する。				
評価方法		期末試験の成績にて評価し、60%以上で合格とする。				
使用教材		「医用工学入門」木村雄治著（コロナ社）（ISBN978-4-339-07075-0）				
参考文献						
課題に対するフィードバック		3 年生後期の「生体情報学Ⅱ」（必修）において実験・実習を行うので、その実習内で講義の理解度を確認する。				
オフィスアワー （研究室）		火曜日の 3 時限、質問はメールで受け付ける。研究室:1 号館 314		メールアドレス （#→@）	takahashi-d#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入				
	該当到達目標	予習	教科書の p.1~6 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	生体情報学で何を学ぶのか理解する。			1.5 時間
2	講義内容	心臓の刺激伝導系と心電計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.7~24 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	心電図の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
3	講義内容	脳波計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.25~36 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	脳波の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
4	講義内容	血圧計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.36~41 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	血圧とその測定法について理解する。			1.5 時間
5	講義内容	筋電計				
	該当到達目標	予習	教科書の p.81~84 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	筋電図の発生とその検出法について理解する。			1.5 時間
6	講義内容	体温計測法（サーモグラフィ、体温計）				
	該当到達目標	予習	教科書の p.49~51 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	生体から発生する体温情報について理解する。			1.5 時間
7	講義内容	パルスオキシメータと血液の光吸収特性				
	該当到達目標	予習	教科書の p.87~90 を熟読する。			1.5 時間
	1,2	復習	動脈血酸素飽和度とパルスオキシメータの原理について理解する。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	呼吸流量計(スパイロメータ)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.84~87 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	呼吸流量とスパイロメータの原理について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	画像診断装置 I (単純 X 線撮影、X 線 CT)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.115~118 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	X 線による撮像原理について理解する。	1.5 時間
10	講義内容	画像診断装置 II (MRI)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.122~126 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	MRI の原理について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	画像診断装置 III (PET・SPECT)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.119~122 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	PET・SPECT の原理について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断装置		
	該当到達目標	予習	教科書の p.105~111 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	超音波診断装置の原理について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	内視鏡		
	該当到達目標	予習	教科書の p.127~128 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	内視鏡の原理と応用について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	患者監視システム		
	該当到達目標	予習	教科書の p.94~104 を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	患者監視システムの種類と用途について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	安全対策(電撃の安全対策)		
	該当到達目標	予習	教科書の p.162~170 を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	医療機器の電氣的安全対策について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	物理エネルギーと生体計測装置の関連を理解できるように、必ず予習と復習に取り組むこと。			

科目名	診療情報演習Ⅰ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB211
英文名	Medical Information ExerciseⅠ			講義形態	演習
担当教員	木村 憲洋				
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	診療情報管理を行う上で必要な基礎的な知識の習得と実践的な能力を養う。 実際の認定試験と同様に問題集を解き、その後間違いについて調べていく。				
到達目標	1.診療情報管理に必要な基礎的知識が習得できる。■ 2.診療情報管理をスムーズに行うために必要な実践的な能力を身に付ける。■				
評価方法	授業中に出される課題を提出することにより、それを基に評価する。				
使用教材	診療情報管理士の受験科目において購入した教科書と問題集				
参考文献					
課題に対するフィードバック	課題については、全体の状況について授業中に報告する。				
オフィスアワー （研究室）	月曜日 1 時限		メールアドレス （#→@）	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	診療情報管理士に関する医学知識について■			
	該当到達目標	予習	診療情報管理士に関する医学知識について、臨床医学総論・各論で習ったことまとめる。		2 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間
2	講義内容	医学と医療■			
	該当到達目標	予習	医学と医療について、これまで習ったことをまとめる。		2 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間
3	講義内容	医療概論■			
	該当到達目標	予習	医療概論について、これまで習ったことをまとめる。		2 時間
	1,2	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間
4	講義内容	人体構造・機能論			
	該当到達目標	予習	人体構造・機能論について、これまで習ったことをまとめる。		2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間
5	講義内容	外傷学			
	該当到達目標	予習	外傷学について、これまで習ったことをまとめる。		2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間
6	講義内容	先天異常			
	該当到達目標	予習	先天異常について、これまで習ったことをまとめる。		2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。		4 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	中毒		
	該当到達目標	予習	中毒について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
8	講義内容	感染症および寄生虫症		
	該当到達目標	予習	感染症および寄生虫症について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
9	講義内容	新生物		
	該当到達目標	予習	新生物について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
10	講義内容	血液・代謝・内分泌		
	該当到達目標	予習	血液・代謝・内分泌について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
11	講義内容	精神		
	該当到達目標	予習	精神について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
12	講義内容	脳神経・神経		
	該当到達目標	予習	脳神経・神経について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
13	講義内容	循環器・呼吸器		
	該当到達目標	予習	循環器・呼吸器について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
14	講義内容	消化器・泌尿器		
	該当到達目標	予習	消化器・泌尿器について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
15	講義内容	皮膚・筋骨		
	該当到達目標	予習	皮膚・筋骨について、これまで習ったことをまとめる。	2 時間
	1	復習	授業中に行う問題集の間違った部分について、教科書を用いて正答を探す。	4 時間
合計時間(予習・復習)				90 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報演習Ⅱ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB212
英文名	Medical Information Exercise II			講義形態	演習
担当教員	木村 憲洋				
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	診療情報管理士認定試験合格のため、医療制度や病院経営に関する理解を目標とする。 事前に与えられる現在の医療制度や病院経営に関する課題を調べ、まとめる。授業時間にグループによる発表を行い、参加者で講評する。				
到達目標	1. 医療制度と病院経営に関する理解の深化■ 2. 診療情報管理士試験へ向けて問題集などの正答率を上げる				
評価方法	グループワークと課題、発表により評価(100%)				
使用教材	病院のしくみ、医療費のしくみ、病院と医療のしくみ、診療情報管理士テキスト診療情報管理Ⅲ				
参考文献					
課題に対するフィードバック	現在の医療制度や病院経営に関する課題を与え、調べ、まとめる。そして授業で発表し、参加者で講評する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日 1 時限		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療制度の課題 1■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、医師不足について		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間
2	講義内容	医療制度の課題 2■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、働き方改革		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間
3	講義内容	医療制度の課題 3■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、公立病院の再編リスト		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間
4	講義内容	医療制度の課題 4■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、高額医薬品問題		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間
5	講義内容	医療制度の課題 5■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、デバイスラグ		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間
6	講義内容	医療制度の課題 6■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、遠隔医療		3 時間
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる		0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	医療制度の課題 7■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、国民医療費の高騰	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
8	講義内容	医療制度の課題 8■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、地域包括ケアシステム	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
9	講義内容	病院経営に関する課題 1■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、人件費率の高騰	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
10	講義内容	病院経営に関する課題 2■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、共同購入	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
11	講義内容	病院経営に関する課題 3■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、老朽化した建物の建て替え	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
12	講義内容	病院経営に関する課題 4■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、病院経営の複雑化	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
13	講義内容	病院経営に関する課題 5■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、診療報酬改定への対応	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
14	講義内容	病院経営に関する課題 6■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、優秀な事務系人材の採用と活用	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
15	講義内容	病院経営に関する課題 7■			
	該当到達目標	予習	現状の課題を提示:例えば、医師の採用	3 時間	
	1,2	復習	グループによる発表を聞きディスカッション後に個々人でまとめる	0.5 時間	
合計時間(予習・復習)					52.5 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報数学基礎(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB213
英文名	Basic Mathematics for Informatics				講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫					
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置等の制御用デジタル回路の研究開発やシステム開発に従事した。					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	コンピュータやデジタル機器の原理を理解する上で必須となる基数変換、数の表現方法、論理演算、集合、関係などについて、その基礎知識を習得する。 配布するプリントを基に、板書を中心に解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の総復習を行う。					
到達目標	1.情報学を学ぶ基礎である、数と量についてその特徴や表現方法を理解する。 2.位取り記数法の意味を理解し、整数及び小数の基数変換ができる。 3.論理値を対象とする論理演算の基礎を理解し、真理値表から論理式を作成ができる。■ 4.論理演算法則を理解し、論理式の変換や簡略化ができる。■ 5.論理演算と論理回路の対応を理解し、簡単な論理式と論理回路図の相互変換ができる。■ 6.集合の基礎を理解し、集合の演算ができる。					
評価方法	授業への参加と貢献 20%、単元毎の小テスト 20%、期末試験 60%で評価し、60 点以上を合格とする。					
使用教材						
参考文献	自作のプリントを配布する。					
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テスト・演習を行い、理解度を確認し、必要に応じて補充の説明を実施する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605			メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	ガイダンス			1 時間
	1,2	復習	シラバスを読む			1.5 時間
2	講義内容	数の表現方法(整数)、r 進法、基数変換				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間
3	講義内容	2 進数の加減演算、乗算、負数の表現方法				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間
4	講義内容	数と量、小数(実数)の表現法、誤差				
	該当到達目標	予習	プリントを読む			1 時間
	1,2	復習	プリントの演習問題を解く			1.5 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	小数の表現・固定小数点、不動小数点			
	該当到達目標 1,2	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
6	講義内容	2 進化 10 進数			
	該当到達目標 1,2	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
7	講義内容	命題と論理演算			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
8	講義内容	ブール代数・論理演算■			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
9	講義内容	論理式と論理演算、論理式の簡略化■			
	該当到達目標 3,4	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
10	講義内容	論理式と論理回路■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
11	講義内容	組み合わせ回路 半加算器■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
12	講義内容	組み合わせ回路 全加算器■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
13	講義内容	組み合わせ回路 エンコーダ■			
	該当到達目標 5	予習	プリントを読む	1 時間	
		復習	プリントの演習問題を解く	1.5 時間	
14	講義内容	組み合わせ回路 デコーダ■			
	該当到達目標 6	予習	プリントの第 4 章を読む	1 時間	
		復習	プリントの練習問題を解く	1.5 時間	
15	講義内容	まとめ 総復習			
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	演習問題を解く	1 時間	
		復習	演習問題を解き直す	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報システム各論(専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB214
英文名	Special of Information System				講義形態	講義
担当教員	中村 賢治					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	Society5.0 において、デジタルトランスフォーメーションが生活を一変させている。その中で DX、AI、セキュリティ、データサイエンスなど教養として学ぶべき内容は多岐にわたる。それらの最新の知見を身に着け、知識をアウトプットする能力を身に着ける。 本講義は授業中や課題に ICT ツールを多用する。課題において知識をアウトプットする場面が多数ある。					
到達目標	1.セキュリティの基礎知識を身に着ける 2.Society5.0 と DX がもたらす社会について理解する 3.AI とそれを応用した社会制度を理解する					
評価方法	授業毎の小テスト 60 点と課題 40 点で評価する。					
使用教材	アフターデジタル(著:藤井 保文)を使用する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題の講評を授業内に行う。					
オフィスアワー (研究室)	水曜 2 限、木曜 2 限			メールアドレス (#→@)	nakamura-k#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、デジタルトランスフォーメーション				
	該当到達目標	予習	教科書の目次とシラバスを熟読し、理解する			0.5 時間
	1	復習	講義の概要、目的、評価方法を理解する。			2.5 時間
2	講義内容	DX によって変わる社会とセキュリティ				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
3	講義内容	教養として求められるデータサイエンス				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
4	講義内容	ネットワークの基礎とセキュリティの最新状況				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	1	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
5	講義内容	Society5.0 を構成する要素				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
6	講義内容	デジタルトランスフォーメーション(DX)				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する			2.5 時間
7	講義内容	5G とシェアリングエコノミー				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
8	講義内容	5GとOMO型ビジネス		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
9	講義内容	GDPRと法制度		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
10	講義内容	国際社会のIT政策と日本のEdTech		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	2	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
11	講義内容	AIが社会にもたらす変化		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
12	講義内容	対話ロボット		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
13	講義内容	画像判別システム		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
14	講義内容	診断支援システム		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、単元の内容を理解する	0.5 時間
	3	復習	課題で知識をアウトプットし、知識を確認する	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	ネットワーク I (専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB215
英文名	Network I (Introduction to Network)				講義形態	講義
担当教員	長澤 亨					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	移動体通信とインターネットにより、ユビキタスの情報通信の環境が整いつつある。このような情報基盤を作る情報通信ネットワークに関する基本的な知識と技術を習得することによって、現状と今後の方向について効果的な活用をめざす。 情報通信ネットワークの歴史的な変遷を踏まえて、通信工学の基本的な考え方、ネットワークの構築・管理側に必要となるネットワークの基礎知識を学ぶ。本講義のみでネットワークやインターネットに公開するサーバの構築は難しいが、構築・運営をする上で知っておくべきネットワーク全体の知識を習得する。授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進める。内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。基本定期試験で成績を付けるが、章毎に練習問題で知識を確認する。					
到達目標	1.ネットワーク通信の基礎技術を説明できる。 2.インターネットの仕組みを説明できる。 3.OSI の参照モデルと TCP/IP の階層モデルを説明できる。 4.無線 LAN の仕組みを説明できる。 5.ネットワークセキュリティを説明できる。					
評価方法	定期試験 70%、レポート 30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	教科書「図解ネットワーク仕事で使える基本の知識」増田若菜著(技術評論社) ISBN978-4-7741-3880-0C3055 講義のスライドを随時プリントして配布する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	レポートにはコメントを付けて返却する。 定期試験の後に、出題の意図を掲示によって示す。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限と 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)		nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	教科書の前書き、シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。			1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する。			1.5 時間
2	講義内容	ネットワークの基礎知識				
	該当到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-1～1-5 に目を通す			1 時間
	1,2	復習	ネットワークのプロトコルやレイヤ構造を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	LAN とインターネット				
	該当到達目標	予習	教科書の第 1 章 1-6～1-10 に目を通す。			1 時間
	1,3	復習	インターネットの接続、回線事業者、ISP の役割 ADSL などを理解する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	OSI 参照モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-1～2-5に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
5	講義内容	TCP/IP モデル		
	該当到達目標	予習	教科書の第2章 2-6～2-10に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	OSI 参照モデルとネットワーク標準プロトコル TCP/IP を理解する。	1.5 時間
6	講義内容	TCP/IP でネットワーク接続機器を識別する		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-1～3-5に目を通す。	1 時間
	1,3	復習	TCP/IP の仕組みとポート番号について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	TCP/IP と IP アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-6～3-9に目を通す。	1 時間
	2,3	復習	IP アドレスのクラス、サブネットマスク、VLSM と CIDR について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	IP アドレスと MAC アドレス		
	該当到達目標	予習	教科書の第3章 3-10～3-13に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	MAC アドレス、ブロードキャストや ARP 要求について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	LAN で使われる技術		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-1～4-5 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ネットワークポロジ、LAN と WAN、ルーティングについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	LAN で使われるサービス		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-6～4-10 目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ルーティングプロトコル、DHCP、NAT と NATPT について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	VPN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-11 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	VPN を実現する (SSL-VPN、IPsec-VPN、IP-VPN) について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	無線 LAN の仕組み		
	該当到達目標	予習	教科書の第4章 4-12～4-13 に目を通す。	1 時間
	1,2,4	復習	無線 LAN の仕組みと CSMA/CD、CSMA・CA について理解する。	1.5 時間
13	講義内容	ネットワークセキュリティ		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
14	講義内容	コンピュータウイルス		
	該当到達目標	予習	教科書の第6章 6-6～6-12 に目を通す。	1 時間
	1,2,5	復習	ネットワークのセキュリティとファイアウォールについて理解する。	1.5 時間
15	講義内容	ネットワークの構築と管理		
	該当到達目標	予習	教科書の第7章 7-1～7-5 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	ネットワークの構成、ネットワーク機器、冗長化について理解する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	データベース概論(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB216
英文名	Introduction to Database Systems			講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘				
科目に関連した実務経験	研究員として WebDB システムを開発(経験)				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	様々な分野で電子化・ネットワーク化が進み、ますます大量のデータが蓄積されるようになり、その管理・活用の基盤としてデータベース管理システムの重要性は一層高まっている。本講義では、表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解するところから始め、関係(リレーショナル)データベースについて学ぶ。 前半は主に関係モデルと正規化の理論、トランザクションについて学び、後半は関係データベース管理システム(RDBMS)の標準的問い合わせ言語である SQL について学ぶ。 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説をベースに進め、スライド資料はネット上で見られるようにするので予復習に利用し、授業中は内容理解につとめること。また、数回に一度程度小テストを行なう。				
到達目標	1. 表計算ソフトとデータベース管理システムの違いを理解し、データベース技術の重要性を説明できる。 2. トランザクション管理、同時実行制御、障害復旧、セキュリティ管理など、データベース管理システムの役割について説明できる。 3. リレーションの正規化の目的と手順を説明できる。■ 4. SQL で基本的な問い合わせ文を作成できる。■ 5. データベース技術が社会の中でどのように利用されているかを説明することができる。				
評価方法	期末試験(100%)で評価する。				
使用教材	[改訂新版]これだけはおさえたい データベース基礎の基礎」、谷尻かおり著、技術評論社 ISBN-13: 978-4774139937				
参考文献					
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限		メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	暮らしの中のデータベース			
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	5	復習	講義の内容をまとめる。		1.5 時間
2	講義内容	ファイル、表計算ソフト、関係データベース			
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	1	復習	ファイルや表計算ソフトによるデータ管理とデータベース管理システムによるデータ管理の違い、トランザクションの概念などを理解する。		1.5 時間
3	講義内容	関係データベースの基礎概念			
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	2	復習	テーブル、レコード、フィールド、主キーの意味を理解する。		1.5 時間
4	講義内容	リレーションシップと参照性制約			
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。		1.5 時間
	2	復習	テーブル間のリレーションシップと参照制約の意味を理解する。		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	索引、関係演算、ビュー		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	索引やビューを利用する目的と関係演算について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	データベース設計の流れ		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	2	復習	データベース設計の流れの各ステップを理解する。	1.5 時間
7	講義内容	第一正規形■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	データベース設計における第一正規形の意義を理解し、テーブルを第一正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	第二正規形■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	部分関数従属性、完全関数従属性、第二正規形を理解し、テーブルを第二正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	第三正規形■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	推移的関数従属性、第三正規形を理解し、テーブルを第三正規形に分解する手順を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	主キー、外部キー、参照性制約■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	主キー、外部キー、参照性制約を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	SQL(1):DDL(データ定義言語)■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	SQL の書き方の基本を理解し、簡単なスキーマ定義ができるようにする。	1.5 時間
12	講義内容	SQL(2):DML(データ操作言語)①■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	SELECT 文と WHERE 句を用いた基本的な問い合わせ方法とテーブルの結合方法を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	SQL(3):DML(データ操作言語)②■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	副問合せ、集約関数、レコードの挿入・削除・更新方法を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	SQL(4):DCL(データ制御言語)■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当箇所を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	ユーザー権限やトランザクション管理の意味と SQL での実現方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	これまでの疑問点を解消し、理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験に対応。受験予定者は履修すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅡ (C プログラミング基礎) (専門基幹科目)			科目 ナンバリング	HIB217
英文名	ProgrammingⅡ (C Programming Practical Use)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した 実務経験	SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	「プログラミングⅠ」で学習した C 言語の基本的なプログラミング技法を基に、主にデータ処理技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。				
到達目標	1.応用的な繰り返し処理について理解できる。■ 2.実数型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 3.文字型データを使った適切なデータ処理ができる。■ 4.配列を使った集計・探索等、様々なデータ処理ができる。■ 5.文字型データ配列と文字列の関連について理解できる。■				
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
課題に対する フィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	二重ループ処理■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
2	講義内容	long 型変数と float 型変数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	double 型変数と数値演算関数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	配列の基本■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	配列の基本 初期化■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
6	講義内容	配列を利用した計算■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	配列を利用した計算(テーブル集計)■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	二次元配列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	配列の応用 テーブルサーチ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	金種計算■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	文字型データ① 文字コードの扱い■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	文字型データ② 文字範囲の判定■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	文字型データ③ 文字定数表記と文字の判定・変換■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	文字型データの配列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	文字型データの配列 文字列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅢ(C プログラミング応用)(専門基幹科目)			科目ナンバリング	HIB218
英文名	ProgrammingⅢ (C Programming Application)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した実務経験	SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	C言語プログラミングの最も特徴的な機能であるポインタを中心に、応用的なプログラミング技法を習得することを目的とする。毎回 5～10 題程度の小課題に取り組み、ステップアップ学習方式で多くの課題をこなすことにより、プログラミングにおける様々な手法を身につける。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。 課題は毎回 5～10 題程度あるので、授業内にできなかった分も含めて、次回授業までに仕上げて提出する。				
到達目標	1.文字列について適切に処理ができる。■ 2.自作の関数が作れる。■ 3.構造体を使ったデータ処理ができる。■ 4.ポインタのメリット・デメリットを理解し、ポインタ操作を駆使したデータ処理ができる。■ 5.ファイルからデータを取込んで処理し、ファイルに書き出すことができる。■ 6.2進数のビット操作ができる。■ 7.資料を参照しながら、再帰プログラムを自分自身で作成することができる。■				
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	文字列の入力と編集■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
2	講義内容	関数(引数がない場合)■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	関数(引数がある場合)■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	構造体■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	構造体配列■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	構造体と関数■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
7	講義内容	ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	ポインタと関数① 変数、配列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	ポインタと関数② 文字列を関数に渡す■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	構造体ポインタ■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	ファイル処理① 書式指定入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	ファイル処理② 行単位・文字単位入出力■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	ビット演算① 基本演算■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	ビット演算② 指定ビットの ON/OFF■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	6	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	7	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	プログラミングⅣ(Windows プログラミング)(専門基幹科目)			科目 ナンバリング	HIB219
英文名	ProgrammingⅣ (Windows Programming)			講義形態	演習
担当教員	坂本 孝				
科目に関連した 実務経験	SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	プログラミング言語として Visual C#を用い、ボタン、メニュー、テキストボックス等の部品やグラフィックスを使った Windows アプリケーションの作成方法を習得する。 講義テーマごとに教員が作成したプリントを使い、各回、前半は例題の説明を行い、後半は例題を参考にしながら各自課題に取り組む形式で進める。課題は毎回 2～3 題程度。				
到達目標	1.プログラミングに必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2.各種コントロールを利用したプログラムの作成ができる。■ 3.タイマーを利用した定期更新プログラムの作成ができる。■ 4.画像を利用したアニメーションプログラムの作成ができる。■ 5.乱数を利用した簡単なゲームプログラムの作成ができる。■				
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。				
使用教材	自作のプリント				
参考文献					
課題に対する フィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	環境設定とプロジェクト作成			
	該当到達目標	予習	不要	0 時間	
	1	復習	講義での説明内容をまとめ、基本操作の復讐をしておく。		3 時間
2	講義内容	テキストボックス、ボタン、ラベル■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
3	講義内容	ラジオボタン、チェックボックス、ピクチャーボックス■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
4	講義内容	グループボックス、リストボックス■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
5	講義内容	コンボボックス、ローカル変数とグローバル変数■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
6	講義内容	メニューバー■			
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。		1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。		2 時間
7	講義内容	日時取得、文字列操作■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
		復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	タイマー■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	コントロール有効化と無効化■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	イメージリスト■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	乱数■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	画像の移動アニメと座標制御■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	簡易ゲームプログラム制作① じゃんけんゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	簡易ゲームプログラム制作② 画像当てゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	簡易ゲームプログラム制作③ スロットゲーム■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、例題を入力・実行しておく。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す			

科目名	情報演習Ⅰ（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB220
英文名	Information ExerciseⅠ				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発（経験）					
学年・開講期	2 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 （テーマ・内容）	情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着け、基本情報技術者試験午前免除試験合格と秋の本試験の合格のための基礎を築くことを目指す。 授業は基本情報技術者試験午前の過去問題や e-learning への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。e-learning・過去問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持った取り組みが求められる。					
到達目標	1. 基本情報技術者試験におけるテクノロジー系の基本的な知識を身に着ける■ 2. 基本情報技術者試験におけるストラテジ系の基本的な知識を身に着ける 3. 基本情報技術者試験におけるマネジメント系の基本的な知識を身に着ける 4. 基本情報技術者試験午後問題に対応するための基礎を身に着ける。					
評価方法	期末試験（100％）で評価する。					
使用教材	「令和 02 年【春期】【秋期】基本情報技術者 合格教本」、角谷一成、技術評論社 ISBN-13: 978-4297109592					
参考文献	● 「令和 02-03 年 基本情報技術者 試験によく出る問題集【午後】」、角谷一成、技術評論社、ISBN-13: 978-4297109950 ● e-learning 用教材と過去問題（配布する）					
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー （研究室）	月曜 5 限			メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	基礎理論				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	アルゴリズムとプログラミング■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	コンピュータシステム■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データベース■				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	ネットワーク				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2,3	復習	e-learning、過去問題に取り組む。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	セキュリティ			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
7	講義内容	システム開発■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
8	講義内容	プロジェクトマネジメント			
	該当到達目標 1,2,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
9	講義内容	問題演習①			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
10	講義内容	問題演習②			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
11	講義内容	問題演習③			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
12	講義内容	問題演習④			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
13	講義内容	問題演習⑤			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
14	講義内容	問題演習⑥			
	該当到達目標 4	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間	
		復習	e-learning、過去問題に取り組む。	1.5 時間	
15	講義内容	実践問題			
	該当到達目標 1,2,3,4	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間	
		復習	実践問題に取り組む。	1.5 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修していることが望ましい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報演習Ⅱ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB221
英文名	Information ExerciseⅡ			講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘				
科目に関連した実務経験	会社員としてシステム開発（経験）				
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数			
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	情報処理技術やシステム開発、業務知識に関する基本的な知識を身に着け、基本情報技術者試験合格を目指す。 授業は基本情報技術者試験午後の過去問題への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。過去問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となるので、合格への意欲を持った取り組みが求められる。				
到達目標	1. 情報セキュリティの知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。 2. データベース、ネットワークに関する知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。 3. ハードウェア、ソフトウェアに関する知識を身に着け、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。■ 4. データ構造とアルゴリズムに関する知識を身につけ、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。■ 5. C 言語に関する知識を身につけ、基本情報技術者試験午後問題が解けるようになる。				
評価方法	期末試験（100％）で評価する。				
使用教材	「令和 02-03 年 基本情報技術者 試験によく出る問題集【午後】」、角谷一成、技術評論社、ISBN-13: 978-4297109950				
参考文献	適宜資料を配布する				
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	月曜 4 限		メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	過去問題演習（1）			
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。		1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。		1.5 時間
2	講義内容	過去問題演習（2）			
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。		1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。		1.5 時間
3	講義内容	過去問題演習（3）			
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。		1.5 時間
	1,2,3	復習	過去問題に取り組む。		1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム（1）■			
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。		1.5 時間
	4	復習	過去問題に取り組む。		1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム（2）■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
		復習	過去問題に取り組む。	1.5	時間
6	該当到達目標 4	講義内容 データ構造とアルゴリズム(3)■			
		予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5	時間
		講義内容 データ構造とアルゴリズム(4)■			
7	該当到達目標 4	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
		復習	過去問題に取り組む。	1.5	時間
8	該当到達目標 4	講義内容 データ構造とアルゴリズム(5)■			
		予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
	4	復習	過去問題に取り組む。	1.5	時間
		講義内容 C言語によるプログラミング(1)			
9	該当到達目標 5	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5	時間
10	該当到達目標 5	講義内容 C言語によるプログラミング(2)			
		予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
	5	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5	時間
		講義内容 C言語によるプログラミング(3)			
11	該当到達目標 5	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5	時間
		復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5	時間
12	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 過去問題演習(4)			
		予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5	時間
		講義内容 過去問題演習(5)			
13	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5	時間
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5	時間
14	該当到達目標 1,2,3,4,5	講義内容 総合演習(1)			
		予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5	時間
	1,2,3,4,5	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5	時間
		講義内容 総合演習(2)			
15	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5	時間
		復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5	時間
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修することが望ましい。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	Web デザインⅡ（専門基幹科目）				科目ナンバリング	HIB222
英文名	Web designⅡ（HTML5 & JavaScript Programming）				講義形態	講義
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	1 年 後期		選必・単位数	選択 2 単位		
種別	Web クリエーター認定試験					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 （テーマ・内容）	Web デザインⅠでは HTML と CSS について学んだ。ホームページを作成する場合 HTML と CSS だけでは十分ではなく、動きのあるホームページを作成できない。たとえば、マウスでボタンをクリックしたとき画像表示を変更や入力データをチェックしたり、マップを表示して拡大縮小や移動するときなどは Ajax という技術を利用する必要がある。その際、JavaScript とサーバ側の CGI との間で連携処理が必要である。このような、動的な処理を行うホームページを作成できるスキルを身につけることを目標とする。授業の進め方は、指定教科書およびプリントを基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合演習課題を解く。					
到達目標	1.JavaScript の概要と記述ルールを説明できる。 2.JavaScript の基本的な文法を説明できる。 3.HTML、CSS(Cascading Style Sheets)と JavaScript の連携を説明できる。 4.JavaScript で利用されるライブラリを説明できる。 5.JavaScript と CGI(Common Gateway Interface)に連携を説明できる。					
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	情報演習 5 ステップ 30 JavaScript ワークブック ISBN4-87783-818-x c3004					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。					
オフィスアワー （研究室）	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608			メールアドレス （#→@）	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Step01JavaScript の概要と記述ルール、Step02 イベントハンドラの利用				
	該当到達目標	予習	予め Step01 と Step02 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step01 と Step02 の演習の復習			1.5 時間
2	講義内容	Step03 関数の基本、Step04 変数の宣言				
	該当到達目標	予習	予め Step03 と Step04 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step03 と Step04 の演習の復習			1.5 時間
3	講義内容	Step05 変数の演算、Step06 配列				
	該当到達目標	予習	予め Step05 と Step06 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3	復習	Step05 と Step06 の演習の復習			1.5 時間
4	講義内容	Step07 関数の引数、Step08 繰り返し処理				
	該当到達目標	予習	予め Step07 と Step08 を読んでおくこと			1 時間
	1,2,3,4	復習	Step07 と Step08 の演習の復習			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

5	講義内容	Step09 繰り返し処理と文字の表示、Step10 条件分岐 1		
	該当到達目標	予習	予め Step09 と Step10 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step09 と Step10 の演習の復習	1.5 時間
6	講義内容	Step11 条件分岐 2、Step12break と continue		
	該当到達目標	予習	予め Step11 と Step12 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step11 と Step12 の演習の復習	1.5 時間
7	講義内容	Step13 関数の戻り値、Step14 文字入力とエラー処理		
	該当到達目標	予習	予め Step13 と Step14 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4	復習	Step13 と Step14 の演習の復習	1.5 時間
8	講義内容	Step15 オブジェクト、Step16 ウインドの操作		
	該当到達目標	予習	予め Step15 と Step16 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step15 と Step16 の演習の復習	1.5 時間
9	講義内容	Step17 スクロール処理、Step18 文字色、背景色の操作		
	該当到達目標	予習	予め Step17 と Step18 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step17 と Step18 の演習の復習	1.5 時間
10	講義内容	Step19 画像の操作 1、Setp20 画像の操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step19 と Step20 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step19 と Step20 の演習の復習	1.5 時間
11	講義内容	Step21 日付、時刻の操作 1、Step22 日付、時刻の操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step21 と Step22 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step21 と Step22 の演習の復習	1.5 時間
12	講義内容	Step23 フォームの操作 1、Step24 フォームの操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step23 と Step24 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step23 と Step24 の演習の復習	1.5 時間
13	講義内容	Step25URL と履歴の操作、Step26Math オブジェクト		
	該当到達目標	予習	予め Step25 と Step26 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step25 と Step26 の演習の復習	1.5 時間
14	講義内容	Step27string オブジェクト、Step28 一定間隔で処理を繰り返し実行する		
	該当到達目標	予習	予め Step27 と Step28 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step27 と Step28 の演習の復習	1.5 時間
15	講義内容	Step29 クッキーの操作 1、Step30 クッキーの操作 2		
	該当到達目標	予習	予め Step29 と Step30 を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	Step29 と Step30 の演習の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		情報処理演習 I（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB223
英文名		Information Processing Exercise I			講義形態	演習
担当教員		田村 拓郎				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		Office 製品は世界の多くの企業で利用されているビジネスツールである。VBA は Excel などに標準搭載されている Visual Basic をベースとしたプログラミング言語で、作業の自動化やシステム開発にも用いられている。本講義では VBA の基礎から実践的なコーディングまでを学ぶことを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。				
到達目標		1.VBA の基礎的な機能、使い方を理解する。 2.VBA を用いた実践的なテクニックを習得できる。				
評価方法		課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。				
使用教材		Excel マクロ&VBA SB クリエイティブ				
参考文献						
課題に対するフィードバック		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4,5 限(田村)		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標 1	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
		復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	VBA とは、マクロとの違い				
	該当到達目標 1	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
3	講義内容	VBA の基本構文				
	該当到達目標 1	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
4	講義内容	セルの値や書式の操作				
	該当到達目標 1	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
5	講義内容	変数の仕組みと使い方				
	該当到達目標 1	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
		復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
6	講義内容	条件分岐①				

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
7	講義内容	条件分岐②		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
8	講義内容	繰り返し処理①		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
9	講義内容	繰り返し処理②		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
10	講義内容	対話型マクロ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
11	講義内容	ユーザーフォーム		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
12	講義内容	基本的な入力や表示を行うコントロール		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
13	講義内容	文字列を操作する関数		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
14	講義内容	日付や時刻を操作する関数		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
15	講義内容	マクロの連携、まとめ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	アルゴリズムとデータ構造 I (専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB224
英文名	Algorithm and Data Structure I				講義形態	講義
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した実務経験	SE として情報通信企業に勤務(経験)					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	データが加工されやすいように格納しておく形態をデータ構造といい、加工手順のことをアルゴリズムという。本講義では、情報処理技術者として必須となるデータ構造とアルゴリズムの代表的な知識を習得する。 各講義において、最初に前回授業内容の確認テストを実施、その後、各回テーマについて教員が作成したプリントを使って、説明および問題取り組みを行っていく。					
到達目標	1.フローチャートをもとにトレースができる。■ 2.基本記号を使ったフローチャートの作成ができる。■ 3.代表的なアルゴリズムについて理解できる。■ 4.代表的なアルゴリズムを疑似言語で表現できる。■ 5.代表的なデータ構造について理解できる。■					
評価方法	課題提出状況(50%)、確認テスト(30%)、学習姿勢(20%)により評価する。					
使用教材	自作のプリント					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題の解答を提示し、解説する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限			メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	フローチャートを使った反復処理のトレース■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
2	講義内容	C 言語プログラムを使った反復処理のトレース■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
3	講義内容	配列内容のトレース■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
4	講義内容	線形探索■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
5	講義内容	二分探索■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間
6	講義内容	基本選択法による整列■				
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。			1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

7	講義内容	隣接交換法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
8	講義内容	基本挿入法による整列■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
9	講義内容	疑似言語■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
10	講義内容	ハッシュ探索■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
11	講義内容	再帰呼出し■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
12	講義内容	クイックソート■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
13	講義内容	スタックとキュー■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
14	講義内容	木構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
15	講義内容	リスト構造■		
	該当到達目標	予習	配布資料を読み、問題を解いてくる。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	マルチメディア I (専門基幹科目)				科目ナンバリング	HIB225
英文名	Introduction to Multimedia				講義形態	演習
担当教員	木幡 直樹、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	本講義では、受講者がマルチメディアに関連する基礎的な事項を理解するとともに、クリエイターやデザイナーに用いられている Photoshop、Illustrator というふたつのアプリケーションの演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するための基礎的な能力を身につけることを目標とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.マルチメディアに関連する基礎的な事項に関して、その概要を説明できる。 2.Illustrator の基本操作を習得し、CG を作成することができる。 3.Photoshop の基本操作を習得し、画像を素材として、加工して利用することができる。					
評価方法	課題の提出状況とその出来栄え 90%、授業への参加態度 10%で評価する。					
使用教材	自作教材					
参考文献						
課題に対するフィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	水 3 限、金 3 限(木幡) 月曜日 4,5 限(田村)		メールアドレス (#→@)	kohata#takasaki-u.ac.jp tamura-t#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	マルチメディアと情報化社会				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
3	講義内容	情報のデジタル化				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
4	講義内容	マルチメディアの構成要素とその取扱い				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。			0.5 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			1 時間
5	講義内容	CG 作成演習(1) 基本操作				
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2 時間
6	講義内容	CG 作成演習(2) 基本図形と変形操作				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2 時間
7	講義内容	CG 作成演習(3) パスの描画と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
8	講義内容	CG 作成演習(4) レイヤーの基本		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
9	講義内容	CG 作成演習(5) 変形、合成、特殊効果		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
10	講義内容	CG 作成演習(6) 画像の配置と編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
11	講義内容	Photoshop(1) 画像サイズ、解像度、フォーマットの変換		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
12	講義内容	Photoshop(2) 範囲選択、写真合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
13	講義内容	Photoshop(3) ノイズ除去、色補正		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
14	講義内容	Photoshop(4) 透明化、グラデーション		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。		
				2 時間
15	講義内容	課題作品制作		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
2,3	復習	授業外の時間も用いて、課題作品を完成させる。		
				10 時間
合計時間(予習・復習)				40.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名		データサイエンスⅡ（専門基幹科目）		科目ナンバリング	HIB226
英文名		Data scienceⅡ（Basic statistics for data science）		講義形態	講義
担当教員		長澤 亨、田村 拓郎			
科目に関連した実務経験					
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別					
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		✓	問題解決力		
講義概要 （テーマ・内容）		データサイエンスは、データの取得、蓄積、解析、モデル構築、検証、課題解決までを一気通貫で科学することが求められる。データマイニングより修得すべき内容が多く、広範な知識が必要になる。大学 4 年間を通じて関連科目を学び知識を涵養する。授業の進め方は、e-learning と指定教科書を基本に授業を進め、単元毎に演習問題を解き知識の定着を図る。最終段階では総合的な知識の定着度を確認するために総合問題を解く。なお、内容を理解するために必要となる知識不足を補うために予習復習が必要である。本講では、統計的推計学として検定の基本的な考え方を涵養する。			
到達目標		1. 変数の型を説明できる。 2. 基礎統計量とデータの偏差を説明できる。 3. 確率計算の基礎を理解している。 4. データ分析の基礎（1 変量と 2 変量の場合）について説明できる。 5. データの活用（時系列、Q-Q プロット、箱ひげ図、単回帰モデルなど）について説明できる。 6. 推測のために（データの収集、確率で考える、期待値、標本分布、対数の法則、中心極限の定理など）について説明できる。 7. 推定するために（推定の方法、信頼区間と信頼係数、平均・分散・比率・回帰係数・相関係数などの区間推定など）について説明できる。 8. 仮説検定（仮説検定の考え方、母平均に関する仮説、母比率に関する仮説、独立性の検定、2 変量に関する検定、1 元配と 2 元配置分散分析など）について説明できる。			
評価方法		定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
使用教材		統計学基礎 日本統計学科編 東京図書 ISBN978-4-489-02122-0			
参考文献					
課題に対するフィードバック		課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。			
オフィスアワー （研究室）		月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608	メールアドレス （#→@）	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、データ分析の基礎の復習と本講の概要			
	該当到達目標 1,2,3	予習	データ分析 1, 2 章を熟読する。		1.5 時間
		復習	講義内容を熟読し、演習問題を解く。		1.5 時間
2	講義内容	統計分析の準備 変数の型、基本統計量とデータの偏差			
	該当到達目標 1,2,3	予習	第 0 章統計分析の準備の § 01～03 を熟読する。		1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、チェックシートで理解度を確認する。		1.5 時間
3	講義内容	確率計算の基礎、ベルヌーイ試行、独立性と条件付き確率、平均値の分布を考える			
	該当到達目標 3,4	予習	第 0 章統計分析の準備の § 04 を熟読する。		1.5 時間
		復習	講義内容を復習し、チェックシートで理解度を確認する。		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	データを見る(1)、データ変数の種類、質的変数のグラフ、ヒストグラムを作成、その他のグラフを作成する		
	該当到達目標	予習	第1章 § 1.1 の1変量の場合を熟読する。	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
5	講義内容	データを見る(2)、平均/分散・標準偏差でデータを見る、その他の値でデータを見る、データの偏差を見る、時系列データで見る、2変数の場合、変数の関係を図で見る、変数の関係を数値で見る		
	該当到達目標	予習	第1章 § 1.2 の2変量の場合を熟読する。	1.5 時間
	4	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
6	講義内容	時系列データを活用する、Q-Qプロットを用いて分布を探る、質的データの散らばりを測る		
	該当到達目標	予習	第2章 § 2.1～2.3 を熟読する。	1.5 時間
	4,5	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
7	講義内容	単回帰モデルを用いてデータを活用する、因果関係を想定してデータを活用する、活用のために因果関係のモデル化を行う、最小二乗法を活用する、結果を評価するために決定係数を用いる、自由度調整済み決定係数を用いる、係数の標準化と標準誤差、変数変換、質的変数の活用		
	該当到達目標	予習	第2章 § 2.4～2.6 を熟読する。	1.5 時間
	4,5	復習	講義内容を復習し、演習問題を解き、チェックシートで理解度を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	推測のために(1)、データを収集する、確率で考える、確率変数とその期待値		
	該当到達目標	予習	第3章(1) § 3.1～3.3 を熟読する。	1.5 時間
	6	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
9	講義内容	推測のために(2)、標本分布、ベルヌーイ試行、生起確率pと二項分布、ポアソン分布、大数の法則と中心極限の定理、ベル型分布、正規分布、t分布、カイ二乗分布		
	該当到達目標	予習	第3章(1) § 3.4 を熟読する。	1.5 時間
	6	復習	講義内容を復習し、練習問題を解き、チェックシートで理解度を確認する。	1.5 時間
10	講義内容	推定する(1)、推定の方法、母集団分布と母数、推定量とその分布、点推定と区間推定、信頼区間と信頼係数		
	該当到達目標	予習	第4章 § 4.1～§ 4.2 を熟読する。	1.5 時間
	7	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
11	講義内容	推定する(2)、母集団の平均の区間推定、正規分布の推定、t分布の利用、Q-Qプロット、非正規性と中心極限の定理、二つの母平均の差の区間推定、対応がある標本の場合		
	該当到達目標	予習	第4章 § 4.3 熟読する。	1.5 時間
	7	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
12	講義内容	推定する(3)、母集団分散の区間推定、母集団比率の推定、回帰係数の区間推定、母数相関係数の区間推定、母集団相関係数の区間推定		
	該当到達目標	予習	第4章 § 4.4～§ 4.7 を熟読する。	1.5 時間
	7	復習	講義内容を復習し、練習問題を解き、チェックシートで理解度を確認する。	1.5 時間
13	講義内容	仮説を検定する(1)検定の考え方、母集団の平均に関する仮説、正規分布の平均に関する検定、正規分布の平均に関するt検定、二つの正規分布の平均値の差に関する仮説検定、対応がある標本の検定、正規性の検討		
	該当到達目標	予習	第5章 § 5.1～§ 5.2 を熟読する。	1.5 時間
	8	復習	講義内容を復習し、練習問題を解く。	1.5 時間
14	講義内容	仮説を検定する(2)団の比率に関する仮説、分割表に関する独立性の検定、2変数データに関する検定		
	該当到達目標	予習	第5章 § 5.3～§ 5.5 を熟読する。	1.5 時間
	8	復習	練習問題を解き、チェックシートで理解度を確認する。	1.5 時間
15	講義内容	線形モデルの活用、一元配置分散分析と二元配置分散分析		
	該当到達目標	予習	第6章を熟読する。	1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	8	復習	練習問題を解き、チェックシートで理解度を確認する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名		医療管理総論(専門展開科目)			科目 ナンバリング	HID301
英文名		Introduction to Medical Management Theory			講義形態	講義
担当教員		木村 憲洋				
科目に関連した 実務経験		病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別		「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針 との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		医療業界を理解するにあたり、医療の管理について知る必要がある。そこで、医療業界における医療資源を中心に医療管理について知識を習得する。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。				
到達目標		1.医療資源に関する理解をする。 2.医療における法律の理解をする。 3.診療情報管理士と医療業界の位置づけについて理解する。■				
評価方法		定期試験 100%				
使用教材		診療情報管理Ⅲ(日本病院会) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院経営の仕組み(日本医療企画)				
参考文献						
課題に対する フィードバック		講義中にディスカッションを行う。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 1 時限		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療資源について■				
	該当到達目標	予習	教科書で医療資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	医療資源について理解する。			2 時間
2	講義内容	医療における物的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で物的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。			2 時間
3	講義内容	医療における人的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で人的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	物的資源について理解する。			2 時間
4	講義内容	医療における財的資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で財的資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	財的資源についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	医療における情報資源■				
	該当到達目標	予習	教科書で情報資源についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復習	情報資源について理解する。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	日本の医療制度■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で日本の医療制度についてまとめる。	1 時間	
		復習	日本の医療制度について理解する。	2 時間	
7	講義内容	医療保障■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療保障についてまとめる。	1 時間	
		復習	医療保障について理解する。	2 時間	
8	講義内容	医療制度の特徴■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療制度の特徴についてまとめる。	1 時間	
		復習	医療制度の特徴について理解する。	2 時間	
9	講義内容	医療制度の成り立ち■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療制度の成り立ちについてまとめる。	1 時間	
		復習	医療制度の成り立ちについて理解する。	2 時間	
10	講義内容	国民医療費の現状と将来■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で国民医療費の現状と将来についてまとめる。	1 時間	
		復習	国民医療費の現状と将来について理解する。	2 時間	
11	講義内容	医療の需要と供給■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療の需要と供給についてまとめる。	1 時間	
		復習	医療の需要と供給について理解する。	2 時間	
12	講義内容	人口の推移■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で人口の推移についてまとめる。	1 時間	
		復習	人口の推移について理解する。	2 時間	
13	講義内容	地域医療■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で地域医療についてまとめる。	1 時間	
		復習	地域医療について理解する。	2 時間	
14	講義内容	医療の提供構造■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療の提供構造についてまとめる。	1 時間	
		復習	医療の提供構造について理解する。	2 時間	
15	講義内容	医療計画■			
	該当到達目標 1,2,3	予習	教科書で医療計画の提供構造についてまとめる。	1 時間	
		復習	医療計画について理解する。	2 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	医療管理各論Ⅰ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID302
英文名	Medical Management TheoryⅠ			講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋				
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期	1 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	病院を的確に維持、運営していく上で重要な、病院の経営管理をはじめとする基礎的な知識を見につけることを目標とする。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。				
到達目標	1.病院経営における経営資源の理解 2.病院経営の基本の理解■				
評価方法	定期試験 100%				
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）				
参考文献					
課題に対するフィードバック	授業においてフィードバック				
オフィスアワー (研究室)	月曜日 1 時限	メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。		
1	講義内容	病院経営管理■			
	該当到達目標	予習	教科書で病院経営管理についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	病院経営管理について理解する。		2 時間
2	講義内容	プロセス(工程)とは■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療のプロセスについてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	医療のプロセスについて理解する。		2 時間
3	講義内容	組織と機能■			
	該当到達目標	予習	教科書で組織と機能についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	組織と機能について理解する。		2 時間
4	講義内容	管理と組織■			
	該当到達目標	予習	教科書で病院の管理と組織についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	病院の管理と組織についてまとめる。		2 時間
5	講義内容	財務・経営管理■			
	該当到達目標	予習	教科書で財務・経営管理についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	財務・経営管理について理解する。		2 時間
6	講義内容	人事・労務管理■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書で人事・労務管理についてまとめる。	1 時間
		復習	人事・労務管理について理解する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容 施設管理■		
		予習	教科書で施設管理についてまとめる。	1 時間
		復習	施設管理について理解する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容 医療管理■		
		予習	教科書で医療管理についてまとめる。	1 時間
		復習	医療管理について理解する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容 診療部門■		
		予習	教科書で診療部門についてまとめる。	1 時間
		復習	診療部門について理解する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2	講義内容 看護部門■		
		予習	教科書で看護部門についてまとめる。	1 時間
		復習	看護部門について理解する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容 医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門■		
		予習	教科書で医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門についてまとめる。	1 時間
		復習	医療技術部門・診療協力部門・メディカルスタッフ部門について理解する。	2 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容 教育研究部門■		
		予習	教科書で教育研究部門についてまとめる。	1 時間
		復習	教育研究部門について理解する。	2 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容 チーム医療■		
		予習	教科書でチーム医療についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療について理解する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容 チーム医療の主な活動■		
		予習	教科書でチーム医療の主な活動についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療の主な活動について理解する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容 チーム医療の推進■		
		予習	教科書でチーム医療の推進についてまとめる。	1 時間
		復習	チーム医療の推進について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療管理各論Ⅱ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID303
英文名	Medical Management TheoryⅡ			講義形態	講義
担当教員	木村 憲洋				
科目に関連した実務経験	病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行なってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	日本における医療制度について理解と DPC 制度の成立と DPC による請求について理解することを目指す。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。				
到達目標	1.日本の医療制度の理解■ 2.DPC 制度の理解				
評価方法	定期試験 100%				
使用教材	診療情報管理Ⅲ（日本病院会） 病院のしくみ（日本実業出版社） 病院経営の仕組み（日本医療企画）				
参考文献					
課題に対するフィードバック	講義中にディスカッションを行う。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日 1 時限		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	わが国の医療保険制度■			
	該当到達目標	予習	教科書で我が国の医療保険制度についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	我が国の医療保険制度について理解する。		2 時間
2	講義内容	保険診療と医療費の支払いの仕組み■			
	該当到達目標	予習	教科書で保険診療と医療費の支払いの仕組みについてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	保険診療と医療費の支払いの仕組みについて理解する。		2 時間
3	講義内容	診療報酬制度の概要■			
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬制度の概要についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	診療報酬制度の概要について理解する。		2 時間
4	講義内容	診療報酬請求業務■			
	該当到達目標	予習	教科書で診療報酬請求業務についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	診療報酬請求業務についてまとめる。		2 時間
5	講義内容	ケースミックス区分法■			
	該当到達目標	予習	教科書でケースミックス区分法についてまとめる。		1 時間
	1,2	復習	ケースミックス区分法について理解する。		2 時間
6	講義内容	診断群分類■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書で診断群分類についてまとめる。	1 時間
		復習	診断群分類について理解する。	2 時間
7	該当到達目標 1,2	講義内容 わが国の診断群分類誕生の背景■		
		予習	教科書でわが国の診断群分類誕生の背景についてまとめる。	1 時間
		復習	わが国の診断群分類誕生の背景について理解する。	2 時間
8	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC の成り立ち■		
		予習	教科書で DPC の成り立ちについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC の成り立ちについて理解する。	2 時間
9	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC のコーディング■		
		予習	教科書で DPC のコーディングについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC のコーディングについて理解する。	2 時間
10	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC とコーディング■		
		予習	教科書で DPC とコーディングについてまとめる。	1 時間
		復習	DPC とコーディングについて理解する。	2 時間
11	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC と経営分析■		
		予習	教科書で DPC と経営分析についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と経営分析について理解する。	2 時間
12	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC と診療報酬点数■		
		予習	教科書で DPC と診療報酬点数についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と診療報酬点数について理解する。	2 時間
13	該当到達目標 1,2	講義内容 DPC と包括評価■		
		予習	教科書で DPC と包括評価についてまとめる。	1 時間
		復習	DPC と包括評価について理解する。	2 時間
14	該当到達目標 1,2	講義内容 介護保険制度■		
		予習	教科書で介護保険制度についてまとめる。	1 時間
		復習	介護保険制度について理解する。	2 時間
15	該当到達目標 1,2	講義内容 病院経営と診療報酬と介護報酬■		
		予習	教科書で病院経営と診療報酬と介護報酬についてまとめる。	1 時間
		復習	病院経営と診療報酬と介護報酬について理解する。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		医療管理各論Ⅲ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID304
英文名		Medical Management TheoryⅢ			講義形態	講義
担当教員		木村 憲洋				
科目に関連した実務経験		病院における経営企画室に 15 年従事し、病院経営、医療政策、新規事業の立ち上げなどを行ってきた。同時に診療情報管理士としても 5 年間 ICD コーディングや統計業務などを行ってきた。				
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別		「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		質の高い医療を提供するための診療情報管理士に役割と医療安全や医療の質に関する基本について理解することを目 標とする。 授業は、教科書の内容について、実際の病院の業務内容を説明しながら理解してもらう。				
到達目標		1.医療の質と診療情報管理士の役割について理解する。■ 2.医療安全の基本を理解する。 3.医療安全の基本を理解する。				
評価方法		定期試験 100%				
使用教材		診療情報管理Ⅲ(日本病院会) 病院のしくみ(日本実業出版社) 病院経営の仕組み(日本医療企画)				
参考文献						
課題に対するフィードバック		講義中にディスカッションを行う。				
オフィスアワー(研究室)		月曜日 1 時限	メールアドレス(#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	医療安全概論■				
	該当到達目標	予 習	教科書で医療安全概論についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復 習	医療安全概論について理解する。			2 時間
2	講義内容	医療におけるリスクマネジメント■				
	該当到達目標	予 習	教科書で医療におけるリスクマネジメントについてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復 習	医療におけるリスクマネジメントについて理解する。			2 時間
3	講義内容	ヒューマンエラー■				
	該当到達目標	予 習	教科書でヒューマンエラーについてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復 習	ヒューマンエラーについて理解する。			2 時間
4	講義内容	医療事故■				
	該当到達目標	予 習	教科書で医療事故についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復 習	医療事故についてまとめる。			2 時間
5	講義内容	医事紛争■				
	該当到達目標	予 習	教科書で医事紛争についてまとめる。			1 時間
	1,2,3	復 習	医事紛争について理解する。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	医療事故調査制度■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療事故調査制度についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療事故調査制度について理解する。	2 時間	
7	講義内容	医療の質と保障■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質と保証についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療の質と保証について理解する。	2 時間	
8	講義内容	チーム医療における診療情報共有■			
	該当到達目標	予習	教科書でチーム医療における診療情報共有についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	チーム医療における診療情報共有について理解する。	2 時間	
9	講義内容	医療の質マネジメント■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質マネジメントについてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療の質マネジメントについて理解する。	2 時間	
10	講義内容	医療の質の評価■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質の評価についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療の質の評価について理解する。	2 時間	
11	講義内容	医療の質の公表■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療の質の公表についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療の質の公表について理解する。	2 時間	
12	講義内容	医療マーケティング■			
	該当到達目標	予習	教科書で医療マーケティングについてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	医療マーケティングについて理解する。	2 時間	
13	講義内容	診療情報管理におけるデータの活用■			
	該当到達目標	予習	教科書で診療情報管理におけるデータの活用についてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	診療情報管理におけるデータの活用について理解する。	2 時間	
14	講義内容	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データ■			
	該当到達目標	予習	教科書で電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	電子カルテデータ、オーダーデータと医事会計データについて理解する。	2 時間	
15	講義内容	診療情報管理データと医事会計データ■			
	該当到達目標	予習	教科書で診療情報管理データと医事会計データについてまとめる。	1 時間	
	1,2,3	復習	診療情報管理データと医事会計データについて理解する。	2 時間	
合計時間(予習・復習)					45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名		診療情報管理Ⅰ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID305
英文名		Health information managementⅠ			講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美				
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択	2 単位	
種別		「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		診療情報管理の意義と役割について系統的に学習する。診療情報管理に関わる法令や諸規則、診療情報の機能的な記録方法やルール、構成を学ぶ。診療情報管理を実施するための基礎として診療情報の重要性を理解する。診療情報を適切に取り扱い、責任ある情報管理を行う能力を身に付ける。 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標		1.診療情報管理の意義と役割を理解する■ 2.診療情報管理の歴史について知識を深める 3.診療情報管理と法規等を理解する■ 4.診療情報管理に関するガイドラインを理解する 5.診療情報の記載方式を理解する 6.診療情報の記載について知識を深める				
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%				
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集(専門・8 章～12 章)				
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
課題に対するフィードバック		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)		木曜 1 限(1 号館 609 研究室) 質問はメールでも可能。		メールアドレス(#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキストⅣ第 8 章「診療情報管理Ⅰー法令・諸規則ー」を読み、講義の目標を理解する。			1.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、評価方法を確認し、診療情報管理士に必要な知識を認識する。			1 時間
2	講義内容	診療情報管理に関する用語の定義				
	該当到達目標	予習	診療録(カルテ)に記載されている用語の定義に目を通す。			1.5 時間
	1	復習	診療情報管理に関する用語の定義を理解する。			1 時間
3	講義内容	診療記録の価値■				
	該当到達目標	予習	診療記録の価値に目を通す			1.5 時間
	1	復習	診療記録の価値を理解する			1 時間
4	講義内容	診療情報管理の役割■				
	該当到達目標	予習	診療情報管理の役割に目を通す			1.5 時間
	1	復習	診療教法管理の役割を理解する			1 時間
5	講義内容	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理				
	該当到達目標	予習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理に目を通す			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	診療記録のルーツと諸外国における診療情報管理を理解する	1 時間
6	講義内容	わが国における診療情報管理		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキストⅣ第 8 章「診療情報管理Ⅰ」の日本における診療情報管理に目を通す	1.5 時間
	2	復習	日本における診療情報管理を理解する	1 時間
7	講義内容	診療情報管理と法規等 1■		
	該当到達目標	予習	診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規に目を通す	1.5 時間
	2	復習	診療記録の記載と保存についての法規および、電子化に関する法規を理解する	1 時間
8	講義内容	診療情報管理と法規等 2■		
	該当到達目標	予習	診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療記録の提示に関する法規および、医療事故にともなう法的責任を理解する	1 時間
9	講義内容	診療情報管理と法規等 3■		
	該当到達目標	予習	診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律に目を通す	1.5 時間
	3	復習	診療情報の守秘に関する法規および、個人情報の保護に関する法律を理解する	1 時間
10	講義内容	診療情報管理と法規等 4■		
	該当到達目標	予習	医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応に目を通す	1.5 時間
	4	復習	医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスおよび、個人情報保護法と厚生労働省のガイダンスに基づく病院の対応を理解する	1 時間
11	講義内容	診療情報管理と法規等 5■		
	該当到達目標	予習	診療情報の提供に関する指針に目を通す	1.5 時間
	4	復習	診療情報の提供に関する指針	1 時間
12	講義内容	診療記録の記載方式■		
	該当到達目標	予習	診療記録の記載方式である POS とフォーカスチャータリング、クリニカルパスに目を通す	1.5 時間
	4	復習	診療記録の記載方式である POS とフォーカスチャータリング、クリニカルパスを理解する	1 時間
13	講義内容	診療情報の記載		
	該当到達目標	予習	診療情報の記載方法および、診療録の基本的な記載事項に目を通す	1.5 時間
	5	復習	診療情報の記載方法および、診療録の基本的な記載事項を理解する	1 時間
14	講義内容	診療記録の種類		
	該当到達目標	予習	診療記録の種類に目を通す	1.5 時間
	6	復習	診療記録の種類を理解する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理の意義と役割まとめ		
	該当到達目標	予習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療	1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	6		情報管理士の役割を考える	
		復習	診療録、診療記録に関する法律や法規を踏まえて診療情報管理の意義と診療情報管理士の役割を理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅱ(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID306
英文名	Health information managementⅡ				講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美					
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	診療情報管理士の専門性について理解し、医療に貢献する診療情報管理を実践していくための能力の基礎を身に付ける。診療情報管理を実施する場で容易に想起され、応用可能な基礎知識を習得する。 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。					
到達目標	1.診療情報管理士について理解する。■ 2.診療情報管理士に求められる資質について知識を深める。 3.診療情報管理士の基本業務について理解する。■ 4.紙カルテ運用における診療情報管理について知識を深め理解する。 5.電子カルテ運用における診療情報管理を理解する。 6.診療情報管理士による改善への取り組みについて知識を深め実務に生かせるようにする。 7.診療情報管理士の活動組織について知識を深め、実務に活用できるようにする。					
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%					
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集(専門・8 章～12 章)					
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針					
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	金曜日 1 限(1 号館 609 研究室) 質問はメールでも可能。			メールアドレス (#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	診療情報管理士について■				
	該当到達目標 1	予習	診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針に目を通す			1.5 時間
		復習	診療情報管理士とは何かおよび、診療情報管理士の業務指針			1 時間
2	講義内容	診療情報管理士に求められる資質				
	該当到達目標 2	予習	知識と技能、視点に目を通す			1.5 時間
		復習	知識と技能、視点を理解する			1 時間
3	講義内容	診療情報管理士の基本業務 1				
	該当到達目標 3	予習	診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務に目を通す			1.5 時間
		復習	診療情報を体系的・一元的に管理する業務、安全に管理する業務を理解する			1 時間
4	講義内容	診療情報管理士の基本業務 2				
	該当到達目標 3	予習	診療情報を点検する業務、有効に活用する業務に目を通す			1.5 時間
		復習	診療情報を点検する業務、有効に活用する業務を理解する			1 時間
5	講義内容	診療情報を提供する業務■				
	該当到達目標 3	予習	診療情報を提供する業務に目を通す			1.5 時間
		復習	診療情報を提供する業務を理解する			1 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	個人情報保護と診療情報管理■		
	該当到達目標	予習	個人情報保護の視点からの保管管理に目を通す	1.5 時間
	4	復習	個人情報保護の視点からの保管管理を理解する	1 時間
7	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	ナンバリング、ファイリングに目を通す	1.5 時間
	4	復習	ナンバリング、ファイリングを理解する	1 時間
8	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	診療記録の保存期間と保存方法、パーキングに目を通す	1.5 時間
	4	復習	診療記録の保存期間と保存方法、パーキングを理解する	1 時間
9	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 3		
	該当到達目標	予習	紙カルテの管理方式および貸出管理に目を通す	1.5 時間
	5	復習	紙カルテの管理方式および貸出管理を理解する	1 時間
10	講義内容	紙カルテ運用における診療情報管理 4		
	該当到達目標	予習	紙カルテの管理方式および貸出管理に目を通す	1.5 時間
	5	復習	紙カルテの管理方式および貸出管理を理解する	1 時間
11	講義内容	電子カルテ運用における診療情報管理 1		
	該当到達目標	予習	電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存に目を通す	1.5 時間
	5	復習	電子カルテの運用、記載する場所の明確化、紙媒体情報の保存を理解する	1 時間
12	講義内容	電子カルテ運用における診療情報管理 2		
	該当到達目標	予習	診療情報の点検および、個人情報保護への対応に目を通す	1.5 時間
	5	復習	診療情報の点検および、個人情報保護への対応を理解する	1 時間
13	講義内容	診療情報の提供に係る業務		
	該当到達目標	予習	院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供に目を通す	1.5 時間
	6	復習	院内職員および院外と、医療機能情報の提供制度、患者への診療情報提供を理解する	1 時間
14	講義内容	診療情報管理士による改善への取り組み		
	該当到達目標	予習	医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営に目を通す	1.5 時間
	7	復習	医療の質の評価、医療安全管理、チーム医療、病院経営を理解する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理士の活動組織		
	該当到達目標	予習	診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会に目を通す	1.5 時間
	7	復習	診療情報管理室、診療情報管理委員会、適切なコーディングに関する委員会について理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	診療情報管理Ⅲ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID307
英文名	Health information managementⅢ			講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美				
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)	診療情報管理士の実務で重要な DPC、医師事務作業補助、がん登録について理解を深める。各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標	1.DPC 業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。■ 2.医師事務作業補助者業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。 3.がん登録業務について、実務上求められることを踏まえて実務者の視点から学習する。■				
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%				
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集(専門・診療情報管理編)				
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)	木曜 1 限(1 号館 609 研究室) 質問はメールでも可能。		メールアドレス (#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	DPC 制度と実務 1■			
	該当到達目標	予習	DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりに目を通す		1.5 時間
	1	復習	DPC と診療情報管理士(診療情報管理部門)との関わりを理解する		1 時間
2	講義内容	DPC 制度と実務 2			
	該当到達目標	予習	影響調査(基礎調査)と診療情報管理士に目を通す		1.5 時間
	1	復習	影響調査(基礎調査)と診療情報管理士を理解する		1 時間
3	講義内容	DPC 制度と実務 3			
	該当到達目標	予習	DPC と影響調査(基礎調査)に目を通す		1.5 時間
	1	復習	DPC と影響調査(基礎調査)を理解する		1 時間
4	講義内容	DPC 制度と実務 4			
	該当到達目標	予習	病院指標の公開と診療情報管理士に目を通す		1.5 時間
	1	復習	病院指標の公開と診療情報管理士を理解する		1 時間
5	講義内容	DPC 制度と実務 5			
	該当到達目標	予習	データ精度と診療情報管理士に目を通す		1.5 時間
	1	復習	データ精度と診療情報管理士を理解する		1 時間
6	講義内容	DPC 制度と実務 6			
	該当到達目標	予習	DPC データの活用に目を通す		1.5 時間
	1	復習	DPC データの活用を理解する		1 時間
7	講義内容	医師事務作業補助者業務について 1			
	該当到達目標	予習	医師事務作業補助者の業務と体制に目を通す		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	医師事務作業補助者の業務と体制を理解する	1 時間
8	講義内容	医師事務作業補助者業務について 2		
	該当到達目標	予習	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりに目を通す	1.5 時間
	2	復習	医師事務作業補助者と診療情報管理士の関わりを理解する	1 時間
9	講義内容	がん登録の実務について 1■		
	該当到達目標	予習	わが国のがん対策とがん登録に目を通す	1.5 時間
	3	復習	わが国のがん対策とがん登録を理解する	1 時間
10	講義内容	がん登録の実務について 2		
	該当到達目標	予習	がん登録に目を通す	1.5 時間
	3	復習	がん登録を理解する	1 時間
11	講義内容	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)について		
	該当到達目標	予習	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	レセプト情報・特定健診等データベース(NDB)を理解する	1 時間
12	講義内容	診療情報管理 まとめ 1		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の問題を解いておく	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 8 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
13	講義内容	診療情報管理 まとめ 2		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の問題を解いておく	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 9 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
14	講義内容	診療情報管理 まとめ 3		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の問題を解いてお	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士教育問題集 専門の 10 章の全問の正解をテキストで確認する	1 時間
15	講義内容	診療情報管理総まとめ		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士として、実務ではどうあるべきか、答えられるようにまとめておく	1.5 時間
	4	復習	診療情報管理士として病院実務のあるべき姿を理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療統計学Ⅰ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HIB308
英文名	Medical StatisticsⅠ			講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別	診療情報管理士試験対応科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	今日の社会では、多種多様なデータが絶え間なく生成・蓄積されている。医療の現場においても、患者や医療従事者の状態、ケアの内容や程度、病院の経理状況などの様々なデータが存在する。それらを適切に処理し意思決定に結びつける必要があるが、データの適切な分析とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。本講義では、データの整理、表現、比較のための記述統計学の基本的な概念や手法と、病院統計の基本を理解することを目標とする。 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説、練習問題の考え方・解き方の解説をベースに進める。スライド資料はネット上で見られるようにするので予復習に利用し、授業中は内容理解につとめること。				
到達目標	6. データの尺度を説明できる。 7. 基本統計量を説明できる。 8. 箱ひげ図、ヒストグラム、散布図を作図でき、相関係数を計算・評価できる。 9. 適切なグラフ表現を選択し、作成できる。 10. 病院における各種指標の意味を理解し、計算できる。				
評価方法	期末試験（100％）で評価する。				
使用教材	「プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000843				
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会				
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	月曜 5 限		メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	記述統計学と推測統計学、データの尺度			
	該当到達目標 1	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
		復習	参考文献の該当範囲を読んでデータ尺度について理解を定着させる。		1.5 時間
2	講義内容	統計データの集計			
	該当到達目標 1,2	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
		復習	例題を解き直し、質的データと量的データの統計表を作成できるようにする。		1.5 時間
3	講義内容	統計表のグラフ表現			
	該当到達目標 2,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
		復習	例題を解き直し、棒グラフとヒストグラムの違いを確認し、正しいヒストグラムを作成できるようにする。		1.5 時間
4	講義内容	中心位置の統計量			
	該当到達目標 2,3	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間
		復習	例題を解き直し、平均と中央値の意味と違いを確認する。		1.5 時間
5	講義内容	散らばりの統計量			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	2,3	復習	例題を解き直し、分散と標準偏差の意味と違いを確認する。	1.5 時間
6	講義内容	散らばりのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、四分位数・四分位範囲の求め方を確認し、箱ひげ図を作成できるようにする。	1.5 時間
7	講義内容	二変数の関連性 1		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	共分散と相関係数、散布図に関する例題を解き直し、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	二変数の関連性 2		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	誤用を避け適切に活用できるよう、相関係数を評価する際の注意点を確認する。	1.5 時間
9	講義内容	ここまで(記述統計学)のまとめ		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を見直し、疑問の解消に努める。	1.5 時間
10	講義内容	データのグラフ表現		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、目的に応じた適切なグラフ選択ができるように各種グラフの特徴の理解を深める。	1.5 時間
11	講義内容	主な医療評価指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	該当範囲を読み直し、主な統計調査の内容と目的を確認する。	1.5 時間
12	講義内容	病院の経営管理指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、各種指標の意味を理解し、実際に計算できるようにする。	1.5 時間
13	講義内容	臨床研究の主な指標と倫理指針		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	テキストを読み直し、ケースコントロールとコホート研究の違いを理解し、また、人を対象とした研究に関する倫理指針への理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	検査を評価する様々な指標		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、陽性的中率などの主要な指標の意味と計算方法を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	診療情報管理士試験や基本情報技術者試験受験者は医療統計学Ⅱの履修も強く勧める。			

科目名	医療統計学Ⅱ（専門基幹科目）			科目ナンバリング	HIB309
英文名	Medical Statistics II			講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	診療情報管理士試験対応科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	他の様々な分野同様、医療の現場においても様々なデータが生産・蓄積され続けている。それらを適切に処理し意思決定に結びつける必要があるが、データの適切な分析とその結果の解釈には統計的知識が不可欠である。特に、想定される全対象(母集団)のデータが得られずその一部(標本)のデータしか得られない場合には、推測統計学の知識が必須である。 本科目では、推測統計学の基本的な考え方と、基本的な統計学的検定手法について学ぶ。特に各検定手法を適用する際の前提条件が説明できるようになることを目標とする。 講義はスライドを用いて教材テキストに沿った解説、練習問題の考え方・解き方の解説をベースに進める。スライド資料はネット上で見られるようにするので予復習に利用し、授業中は内容理解につとめること。また、10 週以降は例題演習を行う。				
到達目標	1. 記述統計学と推測統計学の違いを説明できる。 2. 母集団と標本の関係、標本に望まれる性質を説明できる。 3. 点推定と区間推定を説明できる。 4. 統計学的検定の考え方と基本概念の意味を説明できる。 5. 基本的な検定手法を適用すべき状況と前提条件を説明でき、検定を実行できる。				
評価方法	期末試験(100%)で評価する。				
使用教材	「プレスステップ統計学Ⅱ 推測統計学」、稲葉由之、弘文堂 ISBN-13: 978-4335000874				
参考文献	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅲ」、一般社団法人日本病院会				
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。				
オフィスアワー (研究室)	月曜 4 限	メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	母集団と標本			
	1	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
		復習	記述統計学と推測統計学の違いについて理解し、医療における推測統計学の役割への理解を深める。特に、母集団と標本の違い、標本抽出時に注意すべき点の理解を深める。		
2	講義内容	確率と確率変数			
	1,2	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
		復習	講義内容をまとめ直し、確率変数への理解を深める。		
3	講義内容	確率分布			
	2,3	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
		復習	講義内容をまとめ直し、経験確率と先験確率、確率変数と確率分布の概念の理解を深める。また、例題を解き直し二項分布に基づく確率計算ができるようにする。		
4	講義内容	大数の法則、中心極限定理			
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。		

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2,3	復習	例題を解き直し、経験確率と大数の法則、中心極限定理の意味の理解を深める。	1.5 時間
5	講義内容	正規分布、 χ^2 分布(カイ二乗分布)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3	復習	例題を解き直し、正規分布・標準正規分布の性質について理解を深める。また、自由度の概念を確認する。	1.5 時間
6	講義内容	母平均の点推定と区間推定 1		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、点推定と区間推定の考え方の違いと推定方法の理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	母平均の点推定と区間推定 2		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、点推定と区間推定の考え方の違いと推定方法の理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	統計的仮説検定の考え方、母平均に対する検定(Z 検定, t 検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	2,3,4	復習	例題を解き直し、Z 検定と t 検定の計算ができるようにし、また、Z 検定と t 検定の適用条件の違いを理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ここまで(記述統計学)のまとめ		
	該当到達目標	予習	ここまでの内容で疑問点を明らかにしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	授業資料を見直し、疑問の解消に努める。	1.5 時間
10	講義内容	母比率の二項検定と Z 検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4,5	復習	例題を解き直し、母比率の二項検定と、その近似計算としての Z 検定を実行できるようにする。	1.5 時間
11	講義内容	対応のない 2 群の平均値の差の検定(Z 検定、student の t 検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、Z 検定、student の t 検定の考え方の理解を深める。特に、student の t 検定は 2 つの母分散が等しい場合にしか適用できないことをよく理解する。	1.5 時間
12	講義内容	対応のない 2 群の平均値の差の検定(Welch の t 検定)、対応のある 2 群の平均値の差の検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、それぞれの検定法の考え方と適用されるべき状況の理解を深める。特に、student の t 検定と異なり、Welch の t 検定は前提無しに適用可能であり、より好ましい検定であることを理解する。	1.5 時間
13	講義内容	χ^2 検定(適合度の検定、独立性の検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、適合度の検定・独立性の検定の考え方への理解を深める。特に、 χ^2 検定は帰無仮説の下での期待値と観測値のズレを評価するものである点を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	χ^2 検定(マクネマー検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	例題を解き直し、マクネマー検定の考え方への理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体に目を通し、これまでの疑問点などをピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	疑問だった点についての理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	医療統計学演習(専門展開科目)				科目ナンバリング	HIB310
英文名	Medical Statistics Exercise				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位		
種別	診療情報管理士試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	医療の現場では日々様々なデータが発生・蓄積されており、医療診断や病院経営の改善などに役立つ可能性を秘めている。しかし、データを客観的に評価し適切に利用するには統計学的知識が不可欠であり、また、必要な計算を実際に行える必要がある。本演習では、医療統計学Ⅰ・Ⅱで学んだ様々な統計指標や手法について、Excel を用いて実際に計算しその結果を評価できるようになることを目標とする。 演習ではテキスト内容に沿った内容の Excel ファイルを配付し、その中で問題を解きながら理解を深める。細かい操作方法などについては、教室の中央画面を使って説明する。Excel ファイルは持ち帰り、復習により理解を深めること。					
到達目標	1. Excel で基本統計量を計算できる。 2. Excel で棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラムなどが作成できる。 3. Excel で散布図の作成、相関係数の計算、回帰直線による予測などができる。 4. Excel で二項分布、Z 分布、t 分布などの確率計算ができる。 5. Excel で点推定と区間推定ができる。 6. Excel で基本的な検定手法の計算ができる。					
評価方法	課題提出(30%)＋期末試験(70%)で評価する。					
使用教材	「Excel で学ぶ統計解析入門 Excel2016/2013 対応版」、菅民郎、オーム社 ISBN-13: 978-4274218705					
参考文献						
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限			メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	基本統計量の計算				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
2	講義内容	度数分布表、ヒストグラムの作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
3	講義内容	f 箱ひげ図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
4	講義内容	誤差グラフ・パレート図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	2	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。			1.5 時間
5	講義内容	相関係数の計算、散布図の作成				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	散布図と回帰直線、回帰直線に基づく予測		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	二項分布に基づく確率計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
8	講義内容	ポワソン分布に基づく確率計算		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
9	講義内容	正規分布に基づく確率計算、正規確率プロットの作成		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
10	講義内容	Excel の名前機能、条件付き書式、データ分析ツール		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	4	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
11	講義内容	母平均の推定、母比率の推定、サンプルサイズの決定法		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	5	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
12	講義内容	母平均の検定 (Student の t 検定、Welch の t 検定)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
13	講義内容	Excel の分析ツールによる検定、T.TEST()関数による検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
14	講義内容	マクネマー検定		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	6	復習	Excel ファイルの課題を完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当到達目標	予習	これまでの課題を見直し、疑問点をピックアップする。	1.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	疑問を解消するよう、課題を見直す。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	内容の概説は行いが、医療統計学 I・II を履修済みである前提で進める。			

科目名		医療情報学各論(専門展開科目)		科目ナンバリング	HID311
英文名		Theories of Medical Informatics		講義形態	講義
担当教員		松尾 仁司			
科目に関連した実務経験		情報系企業で医療情報システムの研究開発に従事(経験) 保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)運営幹事(経験) 医療機器企業で画像診断機器の研究開発に従事(経験)			
学年・開講期		3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位	
種別		「診療情報管理士認定試験」指定科目			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		✓	問題解決力		
講義概要(テーマ・内容)		本講義では、少子高齢化が進展する社会での医療機関において今後必要となる医療機器・情報システムの具体例を挙げ、その機能・役割を考えることを通して保健医療情報学で学んだことの肉付けを行う。参考資料で予習し、小課題を講義中にディスカッションして理解を深める。 医療機器関連の事業所見学・ゲストスピーカーの講演等を実施する予定。			
到達目標		1. 少子高齢化社会を展望し、今後の医療サービスの姿とそれに相応しい 新たな医療機器・情報システムとは何かを考える力をつける。■ 2. 最先端の医療機器・情報システムの特徴を理解する。■			
評価方法		期末試験 70%、レポート課題 30%で評価。 総合評価 60%以上を合格とする。			
使用教材		予習のための参考資料を参照フォルダにて配布する。			
参考文献		適宜紹介。			
課題に対するフィードバック		講義中のディスカッション・レポート結果を参照しながら次回以降の講義を行う。			
オフィスアワー(研究室)		火曜日 4 限 (研究室:1 号館 6 階 607 室)	メールアドレス (#→@)	matsuo#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	導入・社会の潮流と展望			
	該当到達目標	予習	シラバスを読む。		1.5 時間
	1	復習	講義全体の目標を理解する。		1.5 時間
2	講義内容	少子高齢化社会			
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	少子高齢化を意識して 21 世紀のあるべき社会について考えを整理する。		1.5 時間
3	講義内容	健康寿命の延伸■			
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。		1.5 時間
	1	復習	21 世紀における健康・医療・介護の在り方について考えを整理する。		1.5 時間
4	講義内容	基盤技術の動向■			
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。		1.5 時間
	1,2	復習	医療機器・情報システムの基盤技術の動向について整理する。		1.5 時間
5	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅰ)■			
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。		1.5 時間
	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の現状を把握する。		1.5 時間
6	講義内容	医療分野のデータ利活用(Ⅱ)■			
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	健康・医療・介護分野でのデータ利活用の将来について整理する。	1.5 時間
7	講義内容	健康支援システム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	健康支援システムの動向について整理する。	1.5 時間
8	講義内容	高度医療機器(Ⅰ)－医療機器の実際－■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	医療機関で活用される小型医療機器について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	高度医療機器(Ⅱ)－高度先端医療－■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	高度先端医療機関での活用が期待される高度医療機器について整理する。	1.5 時間
10	講義内容	遠隔医療システム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	遠隔医療システムの動向について整理する。	1.5 時間
11	講義内容	地域包括ケアシステム■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	地域包括ケアシステムの現状と動向について整理する。	1.5 時間
12	講義内容	介護支援システム		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	介護支援システムの現状と展望についてまとめ理解する。	1.5 時間
13	講義内容	AI 技術の活用■		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1,2	復習	医療情報分野における AI 技術の現状と課題を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	医療機関の将来像		
	該当到達目標	予習	講義資料を熟読する。	1.5 時間
	1	復習	ICT 技術の発展による医療機関の将来像を整理する。	1.5 時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当到達目標	予習	講義全体を通しての重要なポイントに目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	今後必要となる医療機器・情報システムについて整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		生体情報学Ⅱ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID312
英文名		Biological Information II			講義形態	演習
担当教員		東福寺 幾夫、長澤 亨、高橋 大志、田村 拓郎、中村 賢治				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		3 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		生体情報学Ⅱでは、生体情報学Ⅰで学んだ知識をもとに、1 号館 6 階の生体情報実験室にある生体計測機器および電子機器を用いて実験し、その原理と仕組みについて理解するとともに、報告書(レポート)の作成方法について学ぶ。実験は班単位で実施するが、報告書(レポート)は個人毎に作成する。				
到達目標		1.医療に利用されている機器の原理や操作方法を説明できる。 2.電子回路・サーモグラフィー、心電・筋電などのデータの取得と解析ができる。 3.人体の構造を理解し、目的部位の超音波画像をプローブで表示できる。				
評価方法		評価は提出された報告書(100%)により行う。特に報告書に記載されている考察・課題の項目を重点的に評価する。報告書は実験終了後 1 週間以内に担当教員まで提出する。報告書未提出は不合格となる。				
使用教材		学科で作成した実験書を使用する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		1 週間後に提出された報告書に不備がある場合はその個所を明示して再提出とする。再提出は 2 回までで、それ以上は不合格となる。				
オフィスアワー (研究室)		各教員が最初のゼミにて示す。		メールアドレス (#→@)	各教員が最初のゼミにて示す。	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間
	1	復習	配布された実験書の実験レポート作成要領を熟読する。			0.5 時間
2	講義内容	電流計の原理とテストによる直流電圧、抵抗の測定				
	該当到達目標	予習	実験書の p.7～18 を熟読する。			2 時間
	1,2	復習	レポート作成			5 時間
3	講義内容	レポート指導①				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間
	1,2	復習	レポート修正			1.5 時間
4	講義内容	オシロスコープを用いた CR 回路定数の測定				
	該当到達目標	予習	実験書の p.19～37 を熟読する。			2 時間
	1,2	復習	レポート作成			5 時間
5	講義内容	レポート指導②				
	該当到達目標	予習	特になし			0 時間
	1,2	復習	レポート修正			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	血圧計、サーモグラフィー		
	該当到達目標	予習	実験書の p.38～66 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
7	講義内容	レポート指導③		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
8	講義内容	筋電図、心電図		
	該当到達目標	予習	実験書の p.67～81 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
9	講義内容	レポート指導④		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
10	講義内容	脳波、眼球運動		
	該当到達目標	予習	実験書の p.82～95 を熟読する。	2 時間
	1,2	復習	レポート作成	5 時間
11	講義内容	レポート指導⑤		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,2	復習	レポート修正	1.5 時間
12	講義内容	超音波診断(腹部)		
	該当到達目標	予習	実験書の p.96～100 を熟読する。	2 時間
	1,3	復習	レポート作成	5 時間
13	講義内容	レポート指導⑥		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1,3	復習	レポート修正	1.5 時間
14	講義内容	レポート指導総括: 全 6 回の実験レポート作成のポイントの解説		
	該当到達目標	予習	提出したレポートを見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3	復習	レポート作成のポイントを理解。	1 時間
15	講義内容	全体まとめ: 実験に用いた電子機器、生体計測機器の原理と仕組みを総括		
	該当到達目標	予習	実験書全体にもう一度目を通す。	1.5 時間
	1,2,3	復習	特になし	0 時間
合計時間(予習・復習)				55.5 時間
備考	3 年前期配当の「電子情報工学基礎」を履修していることが望ましい。			

科目名	国際統計分類Ⅰ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HID313
英文名	International Statistical Classification I				講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美					
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	「診療情報管理士」指定科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 （テーマ・内容）	診療情報管理士に必要とされるコーディングの能力は、医学に対する広い知識と、死因・疾病に係る国際的な統計の知識である。医学・医療の知識と共に日々研鑽し、新しい知識を習得するとともに、医療に対する社会のニーズをいち早く受け止め、診療情報を利活用できるようにする。各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。					
到達目標	1.日本の人口動態統計のしくみと意義を理解する。 2.人口動態統計に用いられる国際疾病分類(ICD)についての理解を深め、その歴史と現在の譲許を理解する。 3.国際統計分類群(ファミリー)に属するその他の分類体系についての理解を深め、健康情報に関する幅広いコード体系についての意義と問題点を理解する。 4.日本に導入されているDPC/PDPS(Diagnosis Procedure Combination/Per-Diem Payment System)制度におけるICDの利用について理解する。■					
評価方法	授業参加への積極性 10%、定期試験 90%					
使用教材	診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅳ 診療情報管理士教育問題集(専門・診療情報管理編) ICD-10 第 1 巻「内容例示表」(2013 年版) ICD-10 第 3 巻「索引表」(2013 年版)					
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針					
課題に対するフィードバック	授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	金曜 1 限(1 号館 609 研究室) 質問はメールでも可能。		メールアドレス (#→@)		okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	国際疾病分類論 1				
	該当到達目標	予習	わが国の人口動態統計に目を通す			1.5 時間
	1	復習	わが国の人口動態統計を理解する			1 時間
2	講義内容	国際疾病分類論 2				
	該当到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の歴史に目を通す			1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類(ICD)の歴史を理解する			1 時間
3	講義内容	国際疾病分類論 3				
	該当到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の現状に目を通す			1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類(ICD)の現状を理解する			1 時間
4	講義内容	国際疾病分類論 4				
	該当到達目標	予習	国際疾病分類(ICD)の構造に目を通す			1.5 時間
	2	復習	国際疾病分類(ICD)の構造を理解する			1 時間
5	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 1				
	該当到達目標	予習	国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造に目を通す			1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類群ファミリー(WHO-EIC)の概念と構造を理解する			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 2		
	該当到達目標	予習	国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類群ファミリーに含まれる分類、国際生活機能分類(ICF)を理解する	1 時間
7	講義内容	国際疾病分類群ファミリー論 3		
	該当到達目標	予習	国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)に目を通す	1.5 時間
	3	復習	国際疾病分類-腫瘍学(ICD-O)を理解する	1 時間
8	講義内容	国際疾病分類の利用 1 原死因選択ルール 1		
	該当到達目標	予習	死因の定義と死亡診断書に目を通す	1.5 時間
	3	復習	死因の定義と死亡診断書を理解する	1 時間
9	講義内容	国際疾病分類の利用 2 原死因選択ルール 2		
	該当到達目標	予習	原死因の選択ルールに目を通す	1.5 時間
	3	復習	原死因の選択ルールを理解する	1 時間
10	講義内容	国際疾病分類の利用 3 原死因選択ルール 3		
	該当到達目標	予習	各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「一般原則」「選択ルール 1～3」の例題に回答し理解する	1 時間
11	講義内容	国際疾病分類の利用 4 原死因選択ルール 4		
	該当到達目標	予習	各原則・ルールの内容「修正ルール A～F」に目を通す	1.5 時間
	3	復習	各原則・ルールの内容「修正ルール A～F」の例題に回答し理解する	1 時間
12	講義内容	国際疾病分類の利用 5		
	該当到達目標	予習	周産期死亡に目を通す	1.5 時間
	3	復習	周産期死亡について理解する	1 時間
13	講義内容	主要病態のコーディングと再選択ルール■		
	該当到達目標	予習	主要病態のコーディングと再選択ルールに目を通す	1.5 時間
	3	復習	主要病態のコーディングと再選択ルールを理解する	1 時間
14	講義内容	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用■		
	該当到達目標	予習	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用に目を通す	1.5 時間
	4	復習	診断群分類(DPC)における国際疾病分類(ICD)の利用を理解する	1 時間
15	講義内容	ICD を用いるうえでの注意点■		
	該当到達目標	予習	ICD を用いるうえでの注意点到目を通す	1.5 時間
	4	復習	ICD を用いるうえでの注意点を理解する	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		国際統計分類Ⅱ（専門展開科目）		科目ナンバリング	HID314
英文名		International Statistical Classification II		講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美			
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務（経験）			
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位	
種別		「診療情報管理士」指定科目			
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力
		✓	問題解決力		
講義概要 （テーマ・内容）		人体構造（解剖生理）、医学各論等で学習した知識を生かし、国際統計分類Ⅰの学習と関連付けながら、ICD-10 の各章に沿った疾病分類体系を学習し、その特徴を踏まえて統計として正しい分類ができるよう理解を深める。退院時要約や死亡診断書等を用いて診療記録の記載内容を把握し、主傷病名等の診断名および原死因の統計上必要な分類コードを正確に選択できる知識を習得する。 各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。			
到達目標		1.ICD-10 各章の分類体系およびその特徴と留意事項の理解 2.分類コードの演習を含めた総合学習■			
評価方法		授業参加への積極性 10%、定期試験 90%			
使用教材		診療情報管理士テキスト 診療情報管理Ⅲ 診療情報管理士教育問題集（専門・診療情報管理編） ICD-10 第 1 巻「内容例示表」（2013 年版） ICD-10 第 3 巻「索引表」（2013 年版）			
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針			
課題に対するフィードバック		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。			
オフィスアワー （研究室）		木曜 1 限（1 号館 609 研究室） 質問はメールでも可能。	メールアドレス （#→@）	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	国際疾病分類の基本 1			
	該当到達目標 1	予習	コーディングの目的および注意事項、ICD-10(2013 年版)準拠の概説に目を通す		1.5 時間
		復習	コーディングの目的および注意事項、ICD-10(2013 年版)準拠の概説を理解する		1 時間
2	講義内容	国際疾病分類の基本 2			
	該当到達目標 1	予習	用語の定義および、傷病名の索引方法の解説に目を通す		1.5 時間
		復習	用語の定義および、傷病名の索引方法の解説を理解する		1 時間
3	講義内容	第 1 章・第 3 章・第 4 章の疾病分類体系の理解■			
	該当到達目標 2	予習	第 1 章・第 3 章・第 4 章の特徴と疾病構造に目を通す		1.5 時間
		復習	第 1 章・第 3 章・第 4 章の疾病分類体系の理解		1 時間
4	講義内容	第 5 章～第 7 章の疾病分類体系の理解■			
	該当到達目標 2	予習	第 5 章～第 7 章の特徴と疾病構造に目を通す		1.5 時間
		復習	第 5 章～第 7 章の疾病コーディングを理解する		1 時間
5	講義内容	第 8 章～第 10 章の疾病分類体系の理解■			
	該当到達目標 2	予習	第 8 章～第 10 章特徴と疾病構造に目を通す		1.5 時間
		復習	第 8 章～第 10 章の疾病コーディングを理解する		1 時間
6	講義内容	第 11 章～第 13 章の疾病分類体系の理解■			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	第 11 章～第 13 章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 11 章～第 13 章疾病コーディングを理解する	1 時間
7	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 1■		
	該当到達目標	予習	第 2 章新生物のこの章の特徴に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 2 章新生物のこの章の特徴を理解する	1 時間
	8	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 2■	
該当到達目標		予習	新生物の分類を理解するための基本事項に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類を理解するための基本事項を理解する	1 時間
	9	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 3■	
該当到達目標		予習	新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物の分類に際しての注意事項 1) 原発部位等を理解する	1 時間
	10	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 4■	
該当到達目標		予習	2) 機能的活性および、異所性組織に目を通す	1.5 時間
	2	復習	2) 機能的活性および、異所性組織を理解する	1 時間
	11	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 5■	
該当到達目標		予習	新生物における主傷病名の選択に目を通す	1.5 時間
	2	復習	新生物における主傷病名の選択を理解する	1 時間
	12	講義内容	第 2 章新生物 疾病分類体系の理解 6■	
該当到達目標		予習	第 2 章新生物の疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 2 章新生物疾病コーディングを理解する	1 時間
	13	講義内容	第 14 章～第 16 章の疾病分類体系の理解■	
該当到達目標		予習	特第 14 章～第 16 章徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 14 章～第 16 章疾病コーディングを理解する	1 時間
	14	講義内容	第 17 章～第 19 章の疾病分類体系の理解■	
該当到達目標		予習	第 17 章～第 19 章特徴と疾病構造に目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 17 章～第 19 章特徴と疾病構造を理解する	1 時間
	15	講義内容	第 20 章・第 21 章の疾病分類体系の理解■	
該当到達目標		予習	第 20 章・第 21 章の疾病分類体系と、原死因コーディングに目を通す	1.5 時間
	2	復習	第 20 章・第 21 章疾病コーディングと原死因コーディングを理解する。	1 時間
	合計時間(予習・復習)			
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療事務論Ⅰ（医療事務の基礎知識）（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID315
英文名	Medical Clerical TheoryⅠ			講義形態	講義
担当教員	高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2年 前期	選必・単位数	選択 2単位		
種別	「医療事務管理士技能認定試験」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要（テーマ・内容）	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。				
到達目標	1.病院概論を理解する。 2.医療保障制度を理解する。 3.請求事務の基本を知り、上書きをかけるようにする。 4.診察料について理解し、計算・請求できるようにする。 5.医学管理料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.在宅医療について理解し、計算・請求できるようにする。 7.投薬料について理解し、計算・請求できるようにする。 8.注射料について理解し、計算・請求できるようにする。 9.処置料を理解し、計算・請求できるようにする。 10.リハビリテーション料を理解し、計算・請求できるようにする。				
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%				
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。				
オフィスアワー（研究室）	水曜日 3限。質問はメールでも可能。	メールアドレス（#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「医療機関の概要・医療保険のしくみ」に目を通す	1.5 時間	
	1	復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。	1.5 時間	
2	講義内容	病院概論			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1章 医療機関薬局」に目を通す	1.5 時間	
	1	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間	
3	講義内容	医療保障制度について			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2章 医療保障制度、3章 保険給付、4章 医療事務の仕事」に目を通す	1.5 時間	
	2	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間	
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2章 レセプトの基礎知識」に目を通す	1.5 時間	
	3	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間	
5	講義内容	診察料①			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4部 1章初・再診料」に目を通す	1.5 時間	

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	診察料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章初・再診料」の例題を解く	1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	医学管理料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」に目を通す	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	医学管理料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」の例題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	在宅医療料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 在宅医療 C」に目を通す	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	投薬料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	投薬料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」の例題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	注射料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 注射 G」に目を通す	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	処置料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」に目を通す	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	処置料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」の例題を解く	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	講義内容	リハビリテーション料		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 リハビリテーション H」に目を通す	1.5 時間
	10	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅱとセットで受講すること。 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅱ（点数計算とレセプトの書き方Ⅰ）（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID316
英文名	Medical Clerical Theory Ⅱ			講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「医療事務管理士技能認定試験」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。				
到達目標	1.病院概論を理解する。 2.医療保障制度を理解する。 3.請求事務の基本を知り、上書きをかけるようにする。 4.診察料について理解し、計算・請求できるようにする。 5.医学管理料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.在宅医療について理解し、計算・請求できるようにする。 7.投薬料について理解し、計算・請求できるようにする。 8.注射料について理解し、計算・請求できるようにする。 9.処置料を理解し、計算・請求できるようにする。 10.リハビリテーション料を理解し、計算・請求できるようにする。				
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%				
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	水曜日 3 限。質問はメールでも可能。	メールアドレス （#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp		
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 1「医療機関の概要・医療保険のしくみ」に目を通す		1.5 時間
		復習	テキストの使い方、予習復習方法を理解し、実践する。		1.5 時間
2	講義内容	病院概論			
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 医療機関薬局」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
3	講義内容	医療保障制度について			
	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 医療保障制度、3 章 保険給付、4 章 医療事務の仕事」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
4	講義内容	診療報酬請求事務の基本と上書き			
	該当到達目標 3	予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 レセプトの基礎知識」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
5	講義内容	診察料①			

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章 初・再診料」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
6	該当到達目標 4	講義内容	診察料②	
		予習	医科医療事務テキスト 2「4 部 1 章 初・再診料」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	該当到達目標 5	講義内容	医学管理料①	
		予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	該当到達目標 5	講義内容	医学管理料②	
		予習	医科医療事務テキスト 2「2 章 医学管理等 B」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	該当到達目標 6	講義内容	在宅医療料	
		予習	医科医療事務テキスト 2「3 章 在宅医療 C」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	該当到達目標 7	講義内容	投薬料①	
		予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	該当到達目標 7	講義内容	投薬料②	
		予習	医科医療事務テキスト 2「4 章 投薬 F」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	該当到達目標 8	講義内容	注射料	
		予習	医科医療事務テキスト 2「5 章 注射 G」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	該当到達目標 9	講義内容	処置料①	
		予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	該当到達目標 9	講義内容	処置料②	
		予習	医科医療事務テキスト 2「6 章 処置 J」の例題を解く	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
15	該当到達目標 10	講義内容	リハビリテーション料	
		予習	医科医療事務テキスト 2「7 章 リハビリテーション H」に目を通す	1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅰとセットで受講すること。 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅲ（点数計算とレセプトの書き方Ⅱ）（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID317
英文名	Medical Clerical Theory Ⅲ			講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「医療事務管理士技能認定試験」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。				
到達目標	1.検査料を理解し、計算・請求できるようにする。 2.手術料を理解し、計算・請求できるようにする。 3.麻酔料を理解し、計算・請求できるようにする。 4.画像診断料を理解し、計算・請求できるようにする。 5.入院料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.公費負担医療やその他の制度について理解する。 7.点検作業について理解し、総括とまとめができるようにする。				
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%				
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	水曜日 3 限。質問はメールでも可能。		メールアドレス （#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	検査料①			
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
2	講義内容	検査料②			
	該当到達目標 1	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」の例題を解く		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
3	講義内容	検査料③			
	該当到達目標 2	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
4	講義内容	手術料①			
	該当到達目標 3	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」に目を通す		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
5	講義内容	手術料②			
	該当到達目標 4	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」の例題を解く		1.5 時間
		復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
6	講義内容	麻酔料			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」に目を通す		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」に目を通す	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」の例題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」に目を通す	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	公費負担医療		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	その他の制度		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」に目を通す	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「レセプトの点検」に目を通す	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	9	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	10	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅳとセットで受講すること。 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名	医療事務論Ⅳ（点数計算とレセプトの書き方Ⅲ）（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID318
英文名	Medical Clerical Theory Ⅳ			講義形態	演習
担当教員	高橋 真悟				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「医療事務管理士技能認定試験」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	診療報酬に関する基礎知識を学び、病院勤務に必要な知識を身に付ける。 各講義で当該箇所を解説し、例題などの問題を解く。また、当該箇所について宿題レポートの課題を出す。				
到達目標	1.検査料を理解し、計算・請求できるようにする。 2.手術料を理解し、計算・請求できるようにする。 3.麻酔料を理解し、計算・請求できるようにする。 4.画像診断料を理解し、計算・請求できるようにする。 5.入院料について理解し、計算・請求できるようにする。 6.公費負担医療やその他の制度について理解する。 7.点検作業について理解し、総括とまとめができるようにする。				
評価方法	授業への取り組み 10%、期末試験 90%				
使用教材	医科医療事務テキスト 1～3、トレーニングブック、サポートブック、レポート集、レセプト用紙、診療報酬点数表。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	宿題を出した翌週の授業にて答え合わせを行い、回収後、誤りの多い箇所について解説を行う。				
オフィスアワー （研究室）	水曜日 3 限。質問はメールでも可能。		メールアドレス （#→@）	takahashi-shin#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	検査料①			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」に目を通す		1.5 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
2	講義内容	検査料②			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「8 章 検査 D」の例題を解く		1.5 時間
	1	復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
3	講義内容	検査料③			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「9 章 病理診断 N」に目を通す		1.5 時間
	2	復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
4	講義内容	手術料①			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」に目を通す		1.5 時間
	3	復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
5	講義内容	手術料②			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「10 章 手術 K」の例題を解く		1.5 時間
	4	復習	宿題レポートを作成する		1.5 時間
6	講義内容	麻酔料			
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「11 章 麻酔 L」に目を通す		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	4	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	画像診断料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」に目を通す	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
8	講義内容	画像診断料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「12 章 画像診断 E」の例題を解く	1.5 時間
	5	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
9	講義内容	入院料①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」に目を通す	1.5 時間
	6	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
10	講義内容	入院料②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「14 章 入院 A」の例題を解く	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
11	講義内容	公費負担医療		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「1 章 公費負担医療」に目を通す	1.5 時間
	7	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
12	講義内容	その他の制度		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 1「2 章 その他の医療制度」に目を通す	1.5 時間
	8	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
13	講義内容	点検・総括・まとめ		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 3「レセプトの点検」に目を通す	1.5 時間
	9	復習	宿題レポートを作成する	1.5 時間
14	講義内容	模擬試験①		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの外来レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	9	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
15	講義内容	模擬試験②		
	該当到達目標	予習	医科医療事務テキスト 4 トレーニングブックの入院レセプト 1 枚を作成する	1.5 時間
	10	復習	模擬テストの解答を見直し、本試験に備える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	医療事務管理士資格取得希望学生は必修科目。 医療事務論Ⅲとセットで受講すること。 予習・復習については、試験前の学習で補填すること。			

科目名		医療経済学(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID319
英文名		Health Economics			講義形態	講義
担当教員		町田 修三				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		将来、医療関連の現場で働く可能性のある学生が、医療経済関連の知識や医療の実態を学び、専門家としての基礎知識を身につけることを目標としている。講義では、日本の医療の特性や現状を理解することに主眼を置くが、医療の国際化をにらんで海外諸国との比較を導入することで更に理解度を深めてゆく。また、新しい学問領域である薬剤経済学のエッセンスも一部紹介する。				
到達目標		1.経済財としての医療の特徴を説明できる。 2.医療の供給体制の構築、医療スタッフそれぞれの役割、連携について説明できる。 3.国民医療費の推移・動向と国民医療費の増大要因について理解し、他者に説明できる。 4.診療報酬の基礎を理解したうえで、日本の薬価基準制度について他国との比較もふまえて説明できる。 5.日本の社会保障制度の枠組みと特徴、特に医療制度、医療保険制度について説明できる。 6.これまで実施されてきた医療改革の事例を理解し、今後必要となる改革(混合診療や高齢者医療など)について自分の意見を持ち、他者に説明できる。 7.アメリカやヨーロッパ諸国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 8.発展途上国の医療制度について、日本との違いを列挙し個々に説明できる。 9.日本の病医院経営の現状分析ができ、医療経営や医療マネジメントの理論と実践手法を身につけている。また、薬剤師をとりまく医療マネジメントの実際について理解している。 10.製薬企業や医薬品市場の特徴と、医薬品流通の仕組みや特性について概説できる。 11.薬剤経済学の一分野として、薬物療法の経済評価手法について、そのエッセンスを理解し概説できる。				
評価方法		定期試験 80%、講義評価(コメントペーパー、クイズ、小レポート)20%で評価する。				
使用教材		必修テキストはない。講義では毎回資料、データを配布する				
参考文献		推薦テキストは多数あるので、講義の中で必要に応じて紹介する。				
課題に対するフィードバック		コメントペーパーに記載された学生からの質問事項、疑問点については、次回の講義で解説する。クイズについても次回の講義で解説する。小レポートについては、後日出題意図を解説するとともに、コメントを付して返却する。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4 限目、金曜日 2 限目 研究室:1 号館 6 階 603		メールアドレス (#→@)	machida#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	イントロダクション、日本の医療の基礎知識				
	該当到達目標	予習	シラバスを熟読し、講義の概要と目標を理解しておく			1 時間
		復習	クイズ形式で学習した日本の医療の特徴について確認する			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

2	講義内容	医療需要(医療需要の特徴)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	1	復習	講義内容についての理解を深める	1 時間
3	講義内容	医療の供給体制(医療労働市場、医療の質)(一部 AL[アクティブ・ラーニング])実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	2	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
4	講義内容	国民医療費の分析		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	3	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1 時間
5	講義内容	診療報酬と薬価制度(医療と薬剤の価格の決まり方)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	4	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
6	講義内容	日本の医療制度と医療改革(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	5,6	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
7	講義内容	世界の医療制度 I (アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	7	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
8	講義内容	世界に医療制度 II (途上国と新興国)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	8	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
9	講義内容	医療マネジメント I (病院の経営分析)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	9	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
10	講義内容	医療マネジメント II (選ばれる病院になるための戦略)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	9	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
11	講義内容	医薬品産業の分析 I (製薬企業の行動と産業構造)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	10	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
12	講義内容	医薬品産業の分析 II (医薬品卸企業の行動と産業構造)(一部 AL 実施)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	10	復習	講義内容の再理解と、興味を持った部分の自主的リサーチ	1.5 時間
13	講義内容	薬剤経済学 I (薬剤療法の費用-効果分析、モデル分析)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておく	1 時間
	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
14	講義内容	薬剤経済学 II (演習)		
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布した資料、データに目を通しておくとともに、練習問題を解いておく	1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	11	復習	講義内容の再理解、特に解答方法の再確認	1.5 時間
15	講義内容	全体のまとめと確認テスト		
	該当到達目標	予習	これまで学習した事項について目を通し、理解を深めておく	3 時間
	1～11	復習	試験の出題意図、講義の理解度の再確認と今後の学習の方向性を考える	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				35 時間
備考	記載した予習・復習時間に加え、推薦テキストの講読や新聞・雑誌の医療関連記事のチェック等により、単位修得に必要な時間数を各自確保すること。			

科目名	ソフトウェア工学(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID320
英文名	Software Engineering			講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫				
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、血液分析装置等の組込み用ソフトウェア開発や、病院検査室向け臨床検査システムのシステム開発管理に従事した。				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	ソフトウェアの規模は拡大の一途をたどっており、大規模なソフトウェアを効率的に正しく作成するためには適切な方法論が必要である。本講義では、大規模ソフトウェア開発のための基本的な方法論を学ぶ。教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。				
到達目標	1.大規模ソフトウェア開発に係る様々な課題を理解し、課題解決への取り組みについて説明できる。■ 2.ソフトウェアの開発工程を説明できる。■ 3.要求分析についてしっかりと理解して説明することができる。 4.ソフトウェアの設計や開発について説明できる。■ 5.開発したソフトウェアの品質管理、保守・再利用について説明できる。				
評価方法	期末試験 70%, 授業参加度 30%				
使用教材	「情報工学レクチャーシリーズ ソフトウェア工学」、高橋直久・丸山勝久共著、森北出版株式会社、2010年、3,000 円、ISBN978-4-627-81061-7 必要に応じて資料を配布する。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	授業内で適宜コメントする。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、成績評価法などを確認する		1.5 時間
2	講義内容	大規模ソフトウェア開発の課題■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章に目を通す		1 時間
	1	復習	ソフトウェア危機、大規模ソフトウェアがもたらす問題、問題解決への取り組みについて理解する。		1.5 時間
3	講義内容	ソフトウェアの開発工程■			
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章に目を通す		1 時間
	2	復習	ソフトウェアの開発工程、ウォーターフォールモデル、進化型プロセスモデルについて理解する。		1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	プロジェクト管理■		
	該当到達目標	予習	教科書第 3 章に目を通す	1 時間
	2	復習	プロジェクト管理、開発工数の見積、品質管理について理解する。	1.5 時間
5	講義内容	要求分析(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求分析、要求獲得について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	要求分析(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章に目を通す	1 時間
	3	復習	要求仕様化、要求確認について理解する。	1.5 時間
7	講義内容	構造化分析		
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章に目を通す	1 時間
	3	復習	構造化分析、DFD、実体関連図、状態遷移図について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	オブジェクト指向分析		
	該当到達目標	予習	教科書第 6 章に目を通す	1 時間
	3	復習	オブジェクト指向開発方法論、オブジェクト指向分析の手順について理解する。	1.5 時間
9	講義内容	アーキテクチャ設計		
	該当到達目標	予習	教科書第 7 章に目を通す	1 時間
	4	復習	アーキテクチャ設計、アーキテクチャ設計のプロセス、アーキテクチャスタイルについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	ユーザインタフェース設計		
	該当到達目標	予習	教科書第 8 章に目を通す	1 時間
	4	復習	ユーザインタフェース設計、対話方式、画面設計について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	モジュール設計■		
	該当到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す	1 時間
	4	復習	モジュール設計、モジュール分割の評価基準、構造化システム設計について理解する。	1.5 時間
12	講義内容	プログラミング		
	該当到達目標	予習	教科書第 10 章に目を通す	1 時間
	4	復習	プログラミング、構造化プログラミング、データ中心アプローチについて理解する。	1.5 時間
13	講義内容	テストと検証■		
	該当到達目標	予習	教科書第 11 章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェアテスト、テスト技法、ソフトウェア検証、検証技法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	保守と再利用■		
	該当到達目標	予習	教科書第 12 章に目を通す	1 時間
	5	復習	ソフトウェア保守、保守技法、ソフトウェア再利用、再利用技法について理解する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	教科書全体に目を通す	1 時間
		復習	教科書全体に目を通す	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		ネットワークⅡ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID321
英文名		NetworkⅡ（Network Construction Technology）			講義形態	講義
担当教員		長澤 亨				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別		IT パスポート、基本情報技術者試験				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）		ネットワーク技術は日々発展進化し、高速化がなされると同時に身の回りの機器がすべてネットワークに接続する時代になってきた。また、PC 以外にも様々なスマートメディアの利用が進む中で、セキュリティ技術の重要性が増すとともに、ネットワークの技術が大きく変わってきた。特に高速化技術と常時接続性、そして冗長化技術である。本講義では、実際のケーブル、PC はもちろん実際のルータやスイッチの設定を通して、ネットワーク技術を身に付けることを目的とする。 授業の進め方は、基本指定教科書の内容をまとめたスライドで進めるが、内容補足のために板書によってより詳しく解説し、知識の定着を図る。定期試験に代えて章ごとに演習課題を解き、知識定着の確認を行う。演習課題の作成において知識が不足していると思われる場合は、教科書や関連資料等を熟読して補完するよう促す。				
到達目標		1.ネットワークの基礎知識を復習しておく。 2.プロトコルを説明できる。 3.サブネットと VLAN を説明できる。 4.ルータの機能を説明できる。 5.ルーティングプロトコルを説明できる。 6.L3 スwitchの機能を説明できる。 7.ネットワークの管理、アクセスリストの管理を説明できる。 8.WAN プロトコルを説明できる。				
評価方法		定期試験 60%、課題提出 30%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材		教科書：Cisco CCNA 認定ガイド Todd Lammle 著生田りえ子/井早優子訳 ISBN4-8222-8188-4 C3055				
参考文献						
課題に対するフィードバック		課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー （研究室）		月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室：1 号館 6 階 608		メールアドレス （#→@）	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	第 1 章インターネットワーキング				
	該当到達目標 1	予習	第 1 章インターネットワーキングを読んでおく			1 時間
		復習	学修内容を復習する			1.5 時間
2	講義内容	第 2 章インターネットプロトコル				
	該当到達目標	予習	第 2 章インターネットプロトコルを読んでおく			1 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
3	講義内容	第 3 章サブネット化と VLSM		
	該当到達目標	予習	第 3 章サブネット化と VLSM を読んでおく	1 時間
	3	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
4	講義内容	第 4 章 CiscoIOS の概要①		
	該当到達目標	予習	第 4 章 CiscoIOS の概要の前半を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
5	講義内容	第 4 章 CiscoIOS の概要②		
	該当到達目標	予習	第 4 章 CiscoIOS の概要の後半を読んでおく	1 時間
	4	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
6	講義内容	第 5 章 IP ルーティング①		
	該当到達目標	予習	ルーティング処理、IP ルーティング処理を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
7	講義内容	第 5 章 IP ルーティング②		
	該当到達目標	予習	IP ルーティングの設定を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
8	講義内容	第 5 章 IP ルーティング③		
	該当到達目標	予習	RIP,EIGRP を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
9	講義内容	EIGRP と OSPF		
	該当到達目標	予習	EIGRP と OSPF を読んでおく	1 時間
	4,5	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
10	講義内容	第 7 章レイヤ 2 スwitchング		
	該当到達目標	予習	第 7 章レイヤ 2 スwitchングを読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
11	講義内容	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)①		
	該当到達目標	予習	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)の前半を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
12	講義内容	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)②		
	該当到達目標	予習	第 8 章バーチャル LAN(VLAN)の後半を読んでおく	1 時間
	6	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	第 9 章 Cisco インターネットワークを管理する		
	該当到達目標	予習	第 9 章 Cisco インターネットワークを管理を読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
14	講義内容	第 10 章アクセスリストでトラフィックを管理する		
	該当到達目標	予習	第 10 章アクセスリストでトラフィックを管理するを読んでおく	1 時間
	7	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
15	講義内容	第 11 章 WAN プロトコルとまとめ		
	該当到達目標	予習	第 11 章 WAN プロトコルを読んでおく	1 時間
	8	復習	学修内容を復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	コンピュータアーキテクチャ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID322
英文名	Computer Architecture			講義形態	講義
担当教員	東福寺 幾夫				
科目に関連した実務経験	オリンパス在職中に、組み込み用マイコン応用回路の設計やシステムデバッグのためのエミュレータ開発、モニタプログラム(OS)の開発に従事した。				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	情報技術を学んでいくうえではコンピュータの基本的な知識を押さえておく必要がある。プログラミングを学ぶ上でも、コンピュータの仕組みや動作の原理を知っておくことは有用である。コンピュータシステムの設計原理であるコンピュータアーキテクチャを理解することで、効率のよいプログラム作成の基礎力を養成することを目指す。 教科書を中心に、ポイントを板書で解説する。さらに全員が演習問題を解き、指名された代表者が解答を板書することで、授業は進行する。また、理解度を確認する宿題や演習問題を課すことがある。学期末には、総合的な演習問題を配布し、授業内容の復習を行う。				
到達目標	1.「コンピュータアーキテクチャ」という用語を説明できる。 2.命令の形式とアドレス指定の方式について説明できる。■ 3.命令の実行サイクルと、割り込み制御について説明できる。■ 4.コンピュータの演算の仕組みを説明できる。 5.記憶装置の階層化・高速化と仮想記憶方式について説明できる。 6.システムの構成方法と信頼性について説明できる。				
評価方法	授業への参加と貢献 10%、授業毎のドリル 20%、期末試験 70%で評価し、60 点以上を合格とする。				
使用教材	教科書「わかりやすく図で学ぶコンピュータアーキテクチャ」 野地保著 共立出版				
参考文献					
課題に対するフィードバック	毎回の授業の冒頭でドリルを実施し、前回授業の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限 1 号館 6 階 605		メールアドレス (#→@)	tofukuji#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスおよび教科書のまえがきを読み、講義の目標を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価法などを確認する。		1.5 時間
2	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本－1 コンピュータアーキテクチャとは・コンピュータ発達の歴史■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.1, 1.2 を読む		1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く		1.5 時間
3	講義内容	コンピュータアーキテクチャの基本－2 コンピュータアーキテクチャの概要■			
	該当到達目標	予習	教科書第 1 章 1.3 を読む		1 時間
	1	復習	教科書第 1 章の演習問題及びドリルを解く		1.5 時間
4	講義内容	情報の表現と単位－1 情報の単位・数値の表現			

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	1	予習	教科書第 2 章 2.1, 2.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 2 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
5	講義内容	情報の表現と単位－2 文字の表現・誤り検出と訂正・論理演算■			
	該当到達目標	1	予習	教科書第 2 章 2.3～2.5 を読む	1 時間
			復習	教科書第 2 章の演習問題を及びドリル解く	1.5 時間
	講義内容	命令セットアーキテクチャー1 命令の形式			
6	該当到達目標	2,3	予習	教科書第 3 章 3.1 を読む	1 時間
			復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
7	講義内容	命令セットアーキテクチャー2 アドレス方式・命令の種類■			
	該当到達目標	2,3	予習	教科書第 3 章 3.2, 3.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 3 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
	講義内容	制御アーキテクチャー1 命令実行制御・マイクロプログラム制御			
8	該当到達目標	2,3	予習	教科書第 4 章 4.1, 4.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
9	講義内容	制御アーキテクチャー2 高速化アーキテクチャ・割込み制御■			
	該当到達目標	2,3	予習	教科書第 4 章 4.3, 4.4 を読む	1 時間
			復習	教科書第 4 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
	講義内容	演算アーキテクチャー1 演算の基本			
10	該当到達目標	4	予習	教科書第 5 章 5.1 を読む	1 時間
			復習	教科書第 5 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
11	講義内容	演算アーキテクチャー2 演算アルゴリズム			
	該当到達目標	4	予習	教科書第 5 章 5.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 5 章の演習問題を解く	1.5 時間
	講義内容	メモリアーキテクチャー1 記憶階層・仮想記憶			
12	該当到達目標	5	予習	教科書第 6 章 6.1 を読む	1 時間
			復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
13	講義内容	メモリアーキテクチャー2 高速化手法			
	該当到達目標	5	予習	教科書第 6 章 6.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 6 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
	講義内容	システムアーキテクチャ 性能評価・信頼性			
14	該当到達目標	6	予習	教科書第 10 章 10.1, 10.2 を読む	1 時間
			復習	教科書第 10 章の演習問題及びドリルを解く	1.5 時間
15	講義内容	まとめと演習			
	該当到達目標	1,2,3,4,5	予習	教科書を読み直す	1 時間
			復習	演習問題を見直す	1.5 時間
	合計時間(予習・復習)				
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	情報処理演習Ⅱ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HIB323
英文名	Information Processing ExerciseⅡ				講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	ネットワークシステムのコンテンツとして今やデータベースは情報システムの要となっている。本講義では、リレーショナル型データベースである ACCESS の基礎から実際の活用までを学ぶことを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.データベースシステムの機能を理解する。 2.ACCESS を用いて基本的な業務をデータベース化できる。					
評価方法	課題提出状況(80%)、学習姿勢(20%)で評価する。					
使用教材	Access テキスト基礎編 ムゲンダイ出版					
参考文献						
課題に対するフィードバック	提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限			メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	データベースとは、Access の基本操作				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
3	講義内容	テーブル機能 テーブルの作成				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
4	講義内容	テーブル機能 レコードの追加、インポート、エクスポート				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
5	講義内容	テーブル機能 データシート、フィールドプロパティ				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			2.5 時間
6	講義内容	クエリ機能 選択クエリ、リレーションシップ				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
7	講義内容	クエリ機能 抽出条件		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
8	講義内容	クエリ機能 演算子を用いた抽出		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
9	講義内容	クエリ機能 並べ替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
10	講義内容	クエリ機能 集計クエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
11	講義内容	クエリ機能 クロス集計クエリ、パラメータクエリ		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
12	講義内容	クエリ機能 演習フィールド		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
13	講義内容	フォーム機能 フォームの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
14	講義内容	フォーム機能 デザイン編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	2.5 時間
15	講義内容	レポート機能 レポートの作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	3	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	3 時間
合計時間(予習・復習)				43 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名		マルチメディアⅡ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HIB324
英文名		MultimediaⅡ			講義形態	演習
担当教員		田村 拓郎				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		本講義では、プロフェッショナルの映像制作の現場でも幅広く使用されている動画編集ソフトであるPremiere Pro の演習を通じて、マルチメディアコンテンツを作成するためのビデオ編集の開始から完成までの基礎的な能力を身につけることを目的とする。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。				
到達目標		1.コンピュータによる動画の編集と制作の基礎を身につける。 2.編集作業等に用いるソフトウェアの適切な活用法を身につける。 3.企画立案、動画制作を行なうことができる。				
評価方法		課題提出状況(40%)、提出された課題成果物の出来栄え(40%)、学習姿勢(20%)で評価する。				
使用教材		自作教材				
参考文献						
課題に対するフィードバック		提出物(ファイル)の内容が、求める課題の条件を満たしているかどうかを確認し、その結果を学生に伝え、必要に応じ、再提出を求める。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	映像編集の流れ				
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べておく。			0 時間
	1	復習	専門用語の意味を再確認し、理解しておく。			0.5 時間
3	講義内容	カット編集とインサート編集				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
4	講義内容	色補正				
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
5	講義内容	音声補正				
	該当到達目標	予習	CG 作成ソフトの機能について調べておく。			0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。			1 時間
6	講義内容	動画の書き出し				

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
7	講義内容	インタビュー動画の作成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
8	講義内容	画面切り替え		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
9	講義内容	カット演出、画像編集		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
10	講義内容	グラフィックの作り方と合成		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
11	講義内容	アニメーションの作り方		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。	0.5 時間
	2	復習	授業の課題の再確認を行う。不完全だった場合は授業外で完成させる。	1 時間
12	講義内容	課題作品制作 1 企画立案		
	該当到達目標	予習	前回学んだ操作を再確認しておく。動画企画を考える。	1 時間
	3	復習	動画企画を立案する。	5 時間
13	講義内容	課題作品制作 2 撮影、音声の制作		
	該当到達目標	予習	撮影の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	10 時間
14	講義内容	課題作品制作 3 動画編集、内容構成		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	それぞれの課題制作を行なう。	5 時間
15	講義内容	課題作品制作 4 動画編集、修正		
	該当到達目標	予習	編集の準備を行う。	0.5 時間
	3	復習	課題作品を完成させる。	5 時間
合計時間(予習・復習)				41.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	Web デザインⅢ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID325
英文名	Web DesignⅢ (Responsive Design)			講義形態	講義
担当教員	長澤 亨				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	Web クリエーター能力認定試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	レスポンス Web デザインは、これからのウェブ制作を支える重要な制作手法の一つである。本講義の目標は、レスポンス Web デザインの理念、Web デザインⅡの HTML5 と JavaScript をベースにして、基本的な制作手法、必要とされるワークフローの考え方から制作の実践を通じて、レスポンス Web デザイン技術を修得することにある。 授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web プログラミングの技術であるレスポンスデザインの技術を習得させる。まず、Web を構成する基本的な技術である JavaScript の知識を修得させること。つぎにレスポンスデザインで重要な CSS3 の記述方法を習得させる。また、各単元において演習課題をクリアすることで知識の定着度を確認する。最終的に各自レスポンス Web ページの Web サイトを構築する。知識が不足で課題が解けない場合は、予習復習が不足しているため、自習で補うことを促す。				
到達目標	1.レスポンス Web デザインの必要性や考え方を説明できる。 2.レスポンス Web デザインの基礎知識を理解している。 3.レスポンス Web デザインに必要なワークフローを説明できる。 4.ブラウザ・端末対応の仕様やブレイクポイントとレファレンスポイントの仕様を決めることができる。 5.レスポンスなコンテンツを作成することができる。				
評価方法	定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材	教科書:「レスポンス Web デザイン 制作の実践的ワークフローとテクニック」渡辺竜、ソシム ISBN978-4-88337-857-9 C2055				
参考文献					
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限と 3 時限 質問はメールでも受け付ける。 研究室:1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、第 1 章いまレスポンス Web デザインなのか？			
	該当到達目標 1	予習	第 1 章を読んでおくこと		1 時間
		復習	第 1 章の復習		1.5 時間
2	講義内容	第 2 章レスポンス Web デザインの基礎知識①			
	該当到達目標 2	予習	2.1 から 2.3 を読んでおくこと		1 時間
		復習	2.1 から 2.3 の復習		1.5 時間
3	講義内容	第 2 章レスポンス Web デザインの基礎知識②			
	該当到達目標 2	予習	2.4 から 2.6 を読んでおくこと		1 時間
		復習	2.4 から 2.6 の復習		1.5 時間
4	講義内容	第 3 章レスポンスな制作に必要なこと①			

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 2	予習	3.1 から 3.4 を読んでおくこと	1 時間
		復習	3.1 から 3.4 の復習	1.5 時間
5	講義内容	第 3 章レスポンスな制作に必要なこと②		
	該当到達目標 2	予習	3.5 から 3.9 を読んでおくこと	1 時間
		復習	3.5 から 3.9 の復習	1.5 時間
6	講義内容	第 4 章レスポンスなワークフロー①		
	該当到達目標 3	予習	4.1 から 4.3 を読んでおくこと	1 時間
		復習	4.1 から 4.3 の復習	1.5 時間
7	講義内容	第 4 章レスポンスなワークフロー②		
	該当到達目標 3	予習	4.4 から 4.6 を読んでおくこと	1 時間
		復習	4.4 から 4.6 の復習	1.5 時間
8	講義内容	第 4 章レスポンスなワークフロー③		
	該当到達目標 3	予習	4.7 から 4.9 を読んでおくこと	1 時間
		復習	4.7 から 4.9 の復習	1.5 時間
9	講義内容	第 4 章レスポンスなワークフロー④		
	該当到達目標 3	予習	4.10 から 4.12 を読んでおくこと	1 時間
		復習	4.10 から 4.12 の復習	1.5 時間
10	講義内容	第 5 章レスポンス Web デザインの基礎の実践①		
	該当到達目標 2,3,4	予習	5.1 から 5.2 を読んでおくこと	1 時間
		復習	5.1 から 5.2 の復習	1.5 時間
11	講義内容	第 5 章レスポンス Web デザインの基礎の実践②		
	該当到達目標 2,3,4	予習	5.3 から 5.4 を読んでおくこと	1 時間
		復習	5.3 から 5.4 の復習	1.5 時間
12	講義内容	第 5 章レスポンス Web でデザインの基礎の実践③		
	該当到達目標 4,5	予習	5.5 から 5.7 を読んでおくこと	1 時間
		復習	5.5 から 5.7 の復習	1.5 時間
13	講義内容	第 6 章レスポンス Web デザインでサイトを構築する①		
	該当到達目標 4,5	予習	6.1 から 6.2 を読んでおくこと	1 時間
		復習	6.1 から 6.2 の復習	1.5 時間
14	講義内容	第 6 章レスポンス Web デザインでサイトを構築する②		
	該当到達目標 4,5	予習	6.3 から 6.4 を読んでおくこと	1 時間
		復習	6.3 から 6.4 の復習	1.5 時間
15	講義内容	第 6 章レスポンス Web デザインでサイトを構築する③		
	該当到達目標 5	予習	6.5 を読んでおくこと	1 時間
		復習	6.5 の復習	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		Web プログラミング I (専門展開科目)			科目ナンバリング	HID326
英文名		Web Programing I (MySQL & PHP Programming)			講義形態	講義
担当教員		長澤 亨				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数			
種別		Web クリエータ能力認定試験				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	✓	生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		現在、データベースでは関係データベースが使われている。膨大なデータを効率よく管理することを目的としている。一般にデータベースに追加、削除、検索などの管理機能を含めてデータベースシステムという。RDBMS の起源は、1970 年に IBM 社の EdgarF.Codd 氏が関係 DB に関する理論が基になっている。MySQL は Michael Widenius 氏が開発し、1995 年に誕生した RDBMS である。また、MySQL はオープンソースであるが、世界で 1000 万以上のサーバにインストールされて実際に動作している。本講義では、MySQL の基本と本質を理解することにある。 授業の進め方は、教科書をベースに基本的な知識を習得させる。実際にデータベースを操作し知識の定着を図る。新しい知識に関しては教科書に立ち返り、知識定着のために演習を行う。以上の繰り返しで授業を進める。演習が解けない場合は予習復習時間が不足分しているため、追加自習で補うことを促す。				
到達目標		1.関係データベースを簡潔に説明することができる。 2.MySQL データベースをインストールすることができる。 3.データベース、テーブルの作成、削除、変更ができる。 4.SQL 文でデータベースのデータを検索・登録・削除することができる。 5.PHP と MySQL を連携する方法を説明できる。				
評価方法		定期試験 50%、課題提出 40%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材		教科書:基礎からの MySQL SoftBankCreative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055				
参考文献						
課題に対するフィードバック		課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー (研究室)		月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608		メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、Chapter1 MySQL の概要				
	該当到達目標	予習	MySQL の概要を読んでおく			1 時間
	1	復習	MySQL の概要を復習する			1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 MySQL の環境設定				
	該当到達目標	予習	MySQL の環境設定を読んでおく			1 時間
	1,2	復習	MySQL の環境設定を復習する			1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 MySQL の基礎知識				
	該当到達目標	予習	MySQL の基礎知識を読んでおく			1 時間
	1,2	復習	MySQL の基礎知識を復習する			1.5 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	Chapter4 データベースの作成		
	該当到達目標	予習	データベースの作成を読んでおく	1 時間
	1,2	復習	課題を完成させる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter5 データ型とデータの入力		
	該当到達目標	予習	データ型とデータの入力を読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter6 テーブルを改造する		
	該当到達目標	予習	「テーブルを改造する」を読んでおく	1 時間
	1,3	復習	課題を完成させる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter7 テーブルやレコードをコピー・削除する		
	該当到達目標	予習	「テーブルやレコードをコピー・削除する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter8 MySQLを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「MySQL を使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter9 データを編集する		
	該当到達目標	予習	「データを編集する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter10 複数のテーブルを利用する		
	該当到達目標	予習	「複数のテーブルを利用する」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter11 ビューを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ビューを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter12 ストアドプロシージャを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「ストアドプロシージャを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
13	講義内容	Chapter13 トランザクションを使いこなす		
	該当到達目標	予習	「トランザクションを使いこなす」を読んでおく	1 時間
	1,3,4	復習	課題を完成させる	1.5 時間
14	講義内容	Chapter14 ファイルを使ったやり取り		
	該当到達目標	予習	ファイルを使ったやり取り読んでおく	1 時間
	1,3,4,5	復習	課題を完成させる	1.5 時間
15	講義内容	総合演習、まとめ		
	該当到達目標	予習	理解できていなかった部分を明確にする	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	最終的な課題を完成させる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	Web プログラミングⅡ（専門展開科目）			科目ナンバリング	HID327
英文名	Web ProgramingⅡ（Server Side Programming）			講義形態	講義
担当教員	長澤 亨				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	Web クリエーター能力認定試験				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）	PHP は 1995 年ごろ「Personal Home Page Tools」として作られ、Web アプリケーションに特化したサーバサイドスクリプト言語である。PHP の特徴は関数が大量にあり、それらは高速に動作する。また、オブジェクト指向的な手法をとることもでき、UNIX や Windows のいずれのプラットフォームでも開発し、動作する。本講義では、PHP の基本を理解し、PHP とデータベースを連携した Web アプリケーション開発するための技能の習得を目指す。 授業の進め方は、教科書と資料を基本に進め、Web サイトの管理運用技術を習得させる。まず、Web を構成する基本的な要素についての知識を学び、演習課題で知識を定着させる。最終的に独自の Web サイトを構築する。知識が定着しておらず予習復習が不足している場合には、自習で補うことを促す。				
到達目標	1.PHP の基本を説明できる。 2.HTML,CSS,JavaScript、PHP の関係を説明できる。 3.HTMLと PHP の連携プログラムを作成できる。 4.PHP と MySQL の連携プログラムを作成できる。 5.インターネットに公開するときの対策を説明できる。				
評価方法	定期試験 60%、課題提出 30%、授業の参加度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材	教科書：基礎からの MySQL SoftBank Creative 西沢夢路 ISBN978-4-7973-6945-8 C0055				
参考文献					
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。 定期試験の後、正解を示し、評価を返却する。				
オフィスアワー （研究室）	月曜日の 1 時限、3 時限 質問はメールでも受け付ける。 1 号館 6 階 608		メールアドレス （#→@）	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、MySQL+PHP の基礎			
	該当到達目標 1	予習	Chapter15 MySQLを利用するための PHP を読んでおくこと		1 時間
		復習	授業の復習		1.5 時間
2	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 1			
	該当到達目標 1	予習	PHP の変数、文字列、関数の部分を読んでおくこと		1 時間
		復習	PHP の変数、文字列、関数に関する課題を仕上げる		1.5 時間
3	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 2			
	該当到達目標 1	予習	比較演算子、繰り返し処理を読んでおくこと		1 時間
		復習	比較演算子、繰り返し処理の課題を仕上げる		1.5 時間
4	講義内容	Chapter16 PHP の基礎知識 3			
	該当到達目標	予習	条件分岐、配列を読んでおくこと		1 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	条件分岐、配列の課題を仕上げる	1.5 時間
5	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトと HTML1		
	該当到達目標	予習	HTML の復習と HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す	1 時間
	1,2	復習	HTML ファイルを PHP スクリプトで書き出す課題を仕上げる	1.5 時間
6	講義内容	Chapter17 PHP スクリプトと HTML2		
	該当到達目標	予習	POST と GET によるデータ送信を読んでおくこと	1 時間
	1,2,3	復習	POST と GET によるデータ送信の課題を仕上げる	1.5 時間
7	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトで MySQL を操作する 1		
	該当到達目標	予習	PHP スクリプトで MySQL サーバに接続する。	1 時間
	1,2,4	復習	PHP スクリプトで MySQL サーバに接続の課題を仕上げる	1.5 時間
8	講義内容	Chapter18 PHP スクリプトで MySQL を操作する 2		
	該当到達目標	予習	PHP スクリプトでクエリを発行する。	1 時間
	1,2,4	復習	PHP スクリプトでクエリを発行の課題を仕上げる	1.5 時間
9	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 1		
	該当到達目標	予習	「簡単掲示板を作る」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	簡単掲示板を作る課題を仕上げる	1.5 時間
10	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2		
	該当到達目標	予習	トップページの作成を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	トップページの作成の課題を仕上げる	1.5 時間
11	講義内容	Chapter19 MySQL+PHP の実践 2		
	該当到達目標	予習	表示・挿入・削除・検索機能の作成を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4	復習	表示・挿入・削除・検索機能の作成の課題を仕上げる	1.5 時間
12	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 1		
	該当到達目標	予習	「公開されるフォルダに重要な情報を置かない」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を復習する	1.5 時間
13	講義内容	Chapter20 インターネットに公開するときの対策 2		
	該当到達目標	予習	「正規表現を意図しないタグを実行させない」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	正規表現の課題を仕上げる	1.5 時間
14	講義内容	実用掲示板の作成		
	該当到達目標	予習	「実用になる掲示板を作る」を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	実用になる掲示板の課題を仕上げる	1.5 時間
15	講義内容	環境設定		
	該当到達目標	予習	Windows サービス、MySQL のパスワード変更を読んでおく	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	学修した内容を仕上げる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	オブジェクトプログラミング I (専門展開科目)				科目ナンバリング	HIB328
英文名	Object-Oriented Programming I				講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてプログラム開発(経験)					
学年・開講期	2 年 後期		選必・単位数	選択 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	現在のソフトウェア開発においてはオブジェクト指向設計とオブジェクト指向プログラミングが一般化しており、多くのプログラミング言語がオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目ではプログラミング言語 Java を用い、プログラミングの基礎スキルとともにオブジェクト指向プログラミングの基本的概念を理解し実践できるようになることを目標とする。 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、つまづく点は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。					
到達目標	1. 統合開発環境の基本的な利用方法が身についている。 2. Java 言語の基本的な文法を理解し、プログラムを作成・実行できる。 3. クラスの定義やクラスの継承など、Java 言語のオブジェクト指向機構の基本的な機能を利用してプログラムを作成・実行できる。■ 4. インターフェース、例外処理などの機能を適切に利用したプログラムを作成できる。					
評価方法	課題提出(30%)＋試験課題(70%)で評価する。					
使用教材	「やさしい Java 第 7 版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600846					
参考文献	「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602					
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限			メールアドレス (#→@)	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	統合開発環境 Eclipse の基本操作とプログラムの作成・実行				
	該当到達目標	予習	不要			1.5 時間
	1,2	復習	使用する統合開発環境の基本的な操作方法を習得する。			1.5 時間
2	講義内容	Java の基本、定数、変数、データ型、式と演算子				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
3	講義内容	条件分岐(if 文、witch 文)、繰り返し(for 文、while 文)				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
4	講義内容	1 次元配列、2 次元配列				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。			1.5 時間
5	講義内容	課題演習(オブジェクト指向以前) 1				
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
6	講義内容	課題演習(オブジェクト指向以前)2		
	該当到達目標	予習	課題に取り組む。	1.5 時間
	1,2	復習	課題を完成させる。	1.5 時間
7	講義内容	クラス定義の基本、フィールド、メソッド、インスタンスの生成		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	アクセス制限、オーバーロード		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	コンストラクタとコンストラクタのオーバーロード		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	クラス変数、クラスメソッド		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	既存クラスの利用(String, StringBuffer, Integer, Math)、オブジェクトの配列		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	継承、オーバーライド、Object クラス、アノテーション		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
13	講義内容	抽象クラスとインターフェース		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
14	講義内容	例外とファイル処理		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3,4	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
15	講義内容	総合課題■		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	オブジェクトプログラミングⅡ（専門展開科目）				科目ナンバリング	HIB329
英文名	Object-Oriented ProgrammingⅡ				講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験	会社員としてプログラム開発（経験）					
学年・開講期	3 年 前期		選必・単位数	選択 2 単位		
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 （テーマ・内容）	現代のプログラミング言語の多くはオブジェクト指向の考え方を取り込んでいる。本科目では、プログラミング言語 Java を用い、オブジェクト指向の基本概念であるカプセル化、継承、多態性への理解を深めオブジェクト指向プログラミングのスキルを身に着ける。また、パッケージ、例外処理、マルチスレッドプログラミング、GUI とイベント駆動型プログラミング、ネットワークプログラミングなどの基本を学ぶ。 演習は統合開発環境を用いて実際にプログラミングを行うのが主体となる。教材テキストに沿った解説を行いつつ、テキストの例題や課題のプログラミングを行うことで理解を深めるが、つまり点は人により様々であるので、問題があれば必ず質問・解消すること。					
到達目標	1. Java 言語でオブジェクト指向、例外処理、パッケージなどを利用したプログラムを作成できる。■ 2. Java 言語で基本的なマルチスレッドプログラムを作成できる。 3. Java 言語で基本的な GUI プログラムを作成できる。 4. Java 言語で基本的なネットワークプログラムを作成できる。 5. Java 言語で基本的なデータベースプログラムを作成できる。					
評価方法	課題提出（30％）＋試験課題（70％）で評価する。					
使用教材	「やさしい Java 活用編 第 7 版」、高橋麻奈著、SB クリエイティブ ISBN-13: 978-4815600839					
参考文献	「プログラミング言語 Java 第 4 版」、柴田芳樹訳、東京電機大学出版局 ISBN-13: 978-4501552602					
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー （研究室）	月曜 4 限			メールアドレス （#→@）	ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	パッケージの作成と利用				
	該当到達目標	予習	オブジェクトプログラミングⅠのテキストを全体的に読み返しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
2	講義内容	マルチスレッドプログラミング（1）				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
3	講義内容	マルチスレッドプログラミング（2）				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
4	講義内容	マルチスレッドプログラミング（3）				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。			1.5 時間
5	講義内容	GUI プログラミング（1）				
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。			1.5 時間

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
6	講義内容	GUI プログラミング (2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	GUI プログラミング (3)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	ネットワークプログラミング (1)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	ネットワークプログラミング (2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	ネットワークプログラミング (3)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	データベースプログラミング (1)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
12	講義内容	データベースプログラミング (2)		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	3	復習	テキストを読み返した上で、課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
13	講義内容	データベースプログラミング (3)		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	3,4	復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習 (1) ■		
	該当到達目標	予習	テキストの該当範囲を読んでおく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題プログラムを作成・実行する。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習 (2) ■		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	総合課題を完成させる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	オブジェクトプログラミング I を履修済みであることが望ましい。(前半ではオブジェクトプログラミング I の教科書も使用する) ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		アルゴリズムとデータ構造Ⅱ（専門展開科目）			科目 ナンバリング	HID330
英文名		Algorithm and Data StructureⅡ			講義形態	講義
担当教員		坂本 孝				
科目に関連した 実務経験		SEとして情報通信企業に勤務(経験)				
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別		基本情報技術者試験対応科目				
学位授与方針 との対応			豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		基本情報技術者試験で過去に出題された問題に取り組む。 各講義において、過去問題を解くための基礎知識について解説し、その後、過去問題の取組みを行っていく。				
到達目標		1.基本情報技術者試験で使用される疑似言語が理解できる。 2.探索処理、整列処理の基本的なアルゴリズムが理解できる。■ 3.文字列操作の応用アルゴリズムが理解できる。■ 4.スタック構造、木構造等のデータ構造が理解でき、これを処理するアルゴリズムが理解できる。■				
評価方法		確認テスト(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。				
使用教材		教科書「基本情報 STEP UP 演習 アルゴリズム対策」(インフォテック・サーブ)				
参考文献						
課題に対する フィードバック		課題の解答を提示し、解説する。				
オフィスアワー (研究室)		月曜 5 限、水曜 5 限		メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	1 次元配列の基本操作				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
2	講義内容	順位付け処理■				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
3	講義内容	2 次元配列の基本操作				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
4	講義内容	配列を利用した図形処理■				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
5	講義内容	データ探索				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
6	講義内容	整列 基本選択法、隣接交換法				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間
7	講義内容	整列 基本挿入法、クイックソート				
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。			1 時間
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

8	講義内容	文字列の比較		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
9	講義内容	文字列の転記		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
10	講義内容	文字列の圧縮/復元		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
11	講義内容	ボイヤ・ムーア法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
12	講義内容	スタック		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
13	講義内容	木構造		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
14	講義内容	ハッシュ法		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
15	講義内容	数学的アルゴリズム		
	該当到達目標	予習	指定された問題を解いてくる。	1 時間
	1	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに仕上げる。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	アニメーション制作演習(専門展開科目)				科目ナンバリング	HID331
英文名	Animation Production Exercise				講義形態	演習
担当教員	坂本 孝					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	PC やモバイル、Web ブラウザなどさまざまなデバイスやプラットフォームに向けたインタラクティブなアニメーションを作ることができる Adobe Animate を使って、基本的な操作からグラフィック描画やアニメーション制作ができるまでを学ぶ。 講義テーマごとに、前半は操作説明を行い、後半は各自課題に取り組む形式で進める。 毎回課題を出題するので、指定期日までに仕上げて提出する。					
到達目標	1.アニメーション制作に必要な PC 環境と操作方法について理解できる。 2.描画ツールを使ったベクターグラフィックの描画ができる。 3.フレームアニメーションや各種トゥイーンアニメーションの制作ができる。 4.画像を利用したアニメーションの制作ができる。 5.スクリプトを利用したアニメーション制御ができる。					
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)により評価する。					
使用教材	自作の教材					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題の解答例を提示し、解説する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限、水曜 5 限			メールアドレス (#→@)	sakamoto#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	描画ツールの基本操作				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	1,2	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
2	講義内容	フレームアニメーション				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
3	講義内容	トゥイーンアニメーション				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
4	講義内容	レイヤー				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
5	講義内容	文字アニメーション				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
6	講義内容	グラデーション				
	該当到達目標	予習	不要	0 時間		
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。			3 時間
7	講義内容	モーションガイド				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
8	講義内容	カラーアニメーション		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
9	講義内容	シェイプアニメーション		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
10	講義内容	画像を利用したアニメーション		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,4	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
11	講義内容	ムービークリップ		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
12	講義内容	ボタン		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
13	講義内容	アクションスクリプト		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
14	講義内容	コンテンツのパブリッシュ		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
15	講義内容	作品制作		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	2,3,4,5	復習	講義で出題された課題に取り組み、次回講義までに提出する。	3 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考				

科目名	データサイエンスⅢ(専門展開科目)			科目ナンバリング	HID332
英文名	Data scienceⅢ			講義形態	講義
担当教員	中村 賢治				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	IoT 機器や AI の発達等を背景に、高度な自動化が世界に遅れて日本でも進んでいる。これらの基本的な知識を取得し、発展させるためにはデータサイエンス的思考が必要である。そのための基礎を Python と PBL を用いて学ぶ。到達評価・目標に問題解決学習(PBL 演習)を用い、問題解決力を養う。本講義は授業中や課題に ICT ツールを多用する。課題において知識をアウトプットする場面が多数ある。				
到達目標	1.高度に自動化された情報システムの基礎知識を学ぶ 2.Society5.0 及びデータサイエンスの役割を理解し、プログラミングできる 3.高度に自動化された情報システムを理解し、PBL 演習を通して問題解決力を身に着ける				
評価方法	授業毎の課題 100 点で評価する				
使用教材	東京大学のデータサイエンティスト育成講座 (塚本邦尊)				
参考文献					
課題に対するフィードバック	採点後に返却する				
オフィスアワー (研究室)	水曜 2 限、木曜 2 限		メールアドレス (#→@)	nakamura-k#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、Python のセットアップ			
	該当到達目標	予習	テキストのあらましを読んてくる	1	時間
	1,2,3	復習	授業の内容を確認し、知識をアウトプットする。	2	時間
2	講義内容	人工知能の歴史・サービスの最前線			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5	時間
	1	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5	時間
3	講義内容	人工知能システムのモデル・サービス			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5	時間
	1	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5	時間
4	講義内容	文科省の提示するデータサイエンス教育			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5	時間
	1	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5	時間
5	講義内容	データサイエンスの応用			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5	時間
	1	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5	時間
6	講義内容	機械学習のモデル			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5	時間
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5	時間
7	講義内容	ニューラルネットモデル作成 1			

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
8	講義内容	ニューラルネットモデル作成 2			
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
	9	講義内容	自然言語処理 1		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
	10	講義内容	自然言語処理 2		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
	11	講義内容	自然言語処理 3		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
	12	講義内容	対話システム		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	2	復習	授業中に配られた資料を読み、理解を深める	2.5 時間	
	13	講義内容	PBL 課題 1		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	3	復習	PBL 課題を進め、プレゼンの用意をする。	2.5 時間	
	14	講義内容	PBL 課題 2		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	3	復習	PBL 課題を進め、プレゼンの用意をする。	2.5 時間	
	15	講義内容	PBL 課題 3(発表)		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、授業の内容を把握する	0.5 時間	
	3	復習	他班の発表を見て、評価をする。	2.5 時間	
合計時間(予習・復習)				45 時間	
備考					

科目名	情報セキュリティⅡ（専門導入科目）				科目ナンバリング	HID333
英文名	Information Security Ⅱ				講義形態	講義
担当教員	中村 賢治					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	アフターデジタルの社会は日常となり、社会はネットワークに内包されている。しかし、日本はセキュリティ制度の遅れから、セキュリティトラブルに対応できていない。そこで PBL 形式でセキュリティ対策を学び、病院や企業におけるセキュリティ対策を理解する。 本講義は授業中や課題に ICT ツールを多用する。課題において知識をアウトプットする場面が多数ある。					
到達目標	1.セキュリティ・インシデント対応の基礎知識を学ぶ 2.セキュリティに関する法務 3.インシデント対応を PBL 形式で解決する					
評価方法	授業毎のテスト 30 点、課題発表 70 点					
使用教材	情報処理安全確保支援士 合格教本（技術評論社）、最新版を使用する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	テストと課題発表に対して、コメントと改善案を付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜 2 限、木曜 2 限			メールアドレス (#→@)	nakamura-k#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス、CTF の説明				
	該当到達目標 1	予習	シラバスを読んでくる			0.5 時間
		復習	授業の全体像を把握する			2.5 時間
2	講義内容	信号処理、通信技術、トラフィック				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間
		復習	授業の内容を確認し、理解を深める			2.5 時間
3	講義内容	情報の秘匿、ログ解析				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間
		復習	授業の内容を確認し、理解を深める			2.5 時間
4	講義内容	ファイルフォーマット、データの復元				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間
		復習	授業の内容を確認し、理解を深める			2.5 時間
5	講義内容	Web アプリの脆弱性、データベースアクセス				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間
		復習	授業の内容を確認し、理解を深める			2.5 時間
6	講義内容	プログラミング、組み込み、リバースエンジニアリング				
	該当到達目標 1	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間
		復習	授業の内容を確認し、理解を深める			2.5 時間
7	講義内容	符号化、PKI				
	該当到達目標	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する			0.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	授業の内容を確認し、理解を深める	2.5 時間
8	講義内容	脆弱性、バグ、攻撃コード		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する	0.5 時間
	1	復習	授業の内容を確認し、理解を深める	2.5 時間
9	講義内容	日本と世界のセキュリティ制度		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する	0.5 時間
	2	復習	授業の内容を確認し、理解を深める	2.5 時間
10	講義内容	インシデント対応 1		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する	0.5 時間
	2	復習	授業の内容を確認し、理解を深める	2.5 時間
11	講義内容	インシデント対応 2		
	該当到達目標	予習	テキストを読み、基礎知識を理解する	0.5 時間
	2	復習	授業の内容を確認し、理解を深める	2.5 時間
12	講義内容	セキュリティ対策課題 1		
	該当到達目標	予習	PBL 課題の発表準備を進める	0.5 時間
	3	復習	PBL 課題を進め、発表の用意をする	2.5 時間
13	講義内容	セキュリティ対策課題 2		
	該当到達目標	予習	PBL 課題の発表準備を進める	0.5 時間
	3	復習	PBL 課題を進め、発表の用意をする	2.5 時間
14	講義内容	セキュリティ対策課題 3		
	該当到達目標	予習	PBL 課題の発表準備を進める	0.5 時間
	3	復習	PBL 課題を進め、発表の用意をする	2.5 時間
15	講義内容	セキュリティ対策課題 発表		
	該当到達目標	予習	PBL 課題の発表準備を進める	0.5 時間
	3	復習	他の班の PBL 課題を見て、理解を深める	2.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	CTF に関する文献を授業中に提示する。			

科目名	病院実習(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA341
英文名	Hospital Training			講義形態	講義
担当教員	大川 喜代美				
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	病院の基本的機能の理解、入院および外来診療録の具体的管理状況の理解、診療録管理部門の病院内で果たしている機能の理解、疾病統計・サマリー等がどのようなものかを学習する。 ・各実習先病院に事前訪問し実習内容について説明を受ける。 ・実習は各実習先病院にて担当者より要点をおよびに業務内容を提示される。指示に従い業務を遂行する。 ・実習前指導を行うため、必ず出席すること。 ・予習復習は毎日行うこと。 ・実習終了後、コメントを頂いた実習ノート、推敲した内容の印刷したもの、推敲した原稿を word で作成し mail 添付して提出する。				
到達目標	実習内容は以下のとおりである。 1.病院の基本機能を理解する。■ 2.入院および外来診療録の具体的管理状況を理解する。■ 3.診療録管理部門が病院内で果たしている機能を理解する。■ 4.疾病統計・サマリー等がどのようなものかを具体的に理解する。■ 5.診療録の量的・質的点検の方法および編綴を実習する。■ 6.診療録の収納、検索、貸出業務を理解する。■ 7.傷病名、手術、処置等のコーディングの補助業務を実習する。■				
評価方法	実習報告書の提出(10%)および、実習先病院から返送される診療情報管理病院実習個人評価票(90%)に基づいて評価する。				
使用教材	ICD-10 第 1 巻・第 3 巻 診療情報管理士テキストⅢ・Ⅳ				
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
課題に対するフィードバック	実習ノートの提出後に実習先病院の担当者よりコメントが記入されて実習生に返却される。				
オフィスアワー (研究室)	木曜 1 限(1 号館 609 研究室)	メールアドレス (#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp		
講義内容	各病院の実習担当より、事前訪問時の打ち合わせおよび実習当日に説明がある。■				
	予習	診療情報管理士テキストⅢおよびテキストⅣを読んで復習し、病院に必要な法律、実務の知識を再確認しておく。			10 時間
	復習	実習中に担当者から受けた注意や、実習中に質問した事を実習ノートに書く。最終日に実習ノート 10 日分を推敲し報告書をまとめる			15 時間
合計時間(予習・復習)					25 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 実習前指導を行うため、必ず出席すること。予習復習は毎日行うこと。 ■:実務経験に基づく内容を示す。				

科目名	インターンシップ(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA342
英文名	Internship			講義形態	演習
担当教員	田村 拓郎				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		健康・医療および情報に関する知識・技能	✓	生涯学習力	
		問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	社会人としての仕事の取り組み方や就職活動への心構えなどを学び、キャリアデザイン力を向上させることを目的とする。本科目は以下の流れで進行する。 ・ 学内で事前のガイダンスと研修を実施し、インターンの目的や必要なマナー、業界研究等について説明する。 ・ 研修先において実地研修を 1～2 週間行い、社会や職業への理解を深める。 ・ 実習終了後、学内で研修報告会を行い、インターンシップの成果について発表を行う。				
到達目標	1.業界研究等、資料をまとめることができる。 2.企業人として真摯に職業に取り組む姿についてレポートできる。 3.自らの職業選択についてデザインできる。				
評価方法	事前学習と事後研修(課題提出、報告会への参加ならびに発表を含む)50%、実地研修(研修先の評価結果を含む)50%で評価する。				
使用教材					
参考文献					
課題に対するフィードバック	事前学習の課題は、授業担当者からのコメントを付して返却する。研修報告会に向けて作成した資料は資料集として当日配布を予定している。				
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限		メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
講義内容	4 月中旬 概要説明ガイダンス 5 月初旬～7 月中旬 事前研修 夏休み 実地研修(1～2 週間) 10 月中旬 事後研修(研修報告会)				
	予習	実習先に関する予習、実習指導で準備した資料の確認			時間
	復習	実習先で教わったことの再確認、現場で得た実体験のまとめ、報告会用資料準備			時間
合計時間(予習・復習)					時間
備考					

科目名	Web 制作演習(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA343
英文名	Web Production Exercise				講義形態	講義
担当教員	長澤 亨、田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	Web クリエータ能力認定試験					
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養			✓	コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			✓	生涯学習力
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	ネットワークを通して情報発信する場合、Web 管理システムが用いられる。近年、Web 制作技術を持たない多くの組織が社内で Web サイトの運営をするのが一般的になった。本演習では制作のしやすさ、拡張性の高さから WordPress を用いて Web サイトの制作技術を修得し、企画段階から制作後の運営方法を身に付けることを目的とする。 授業の進め方は、Web デザイン I ～Ⅲ、Web プログラミング I・Ⅱに関する知識を確認するために、基本的な演習課題を解かせる。知識不足であると思われる部分に関しては、講義し定着を図る。最終的に実際の Web サイトのテーマを見つけ、共同作業において実用可能な Web サイトを構築する。そして公開におけるセキュリティやその運用に関する知識を習得させる。なお、知識不足と思われる学生は追加自習を促す。					
到達目標	1.CMS(Contents Management System)について説明できる。 2.Web サイト制作に必要な、企画、制作、運営について説明できる。 3.WordPress のインストールと設定について説明できる。 4.WordPress の基本操作について説明できる。 5.Web サイト制作の基本フローについて説明できる。 6.Web サイトのカスタマイズについて説明できる。					
評価方法	課題提出 50%、授業の参加度 50%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	小さな会社の WordPress サイト制作・運営ガイド 田中勇輔 翔泳社 ISBN978-4-7981-3229-7 C3055					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題に対する正解を示し、提出内容にコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日の 1 時限、3 時限、質問はメールでも受け付ける。1 号館 6 階 608			メールアドレス (#→@)	nagasawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	Chapter1 WordPress のすすめ				
	該当到達目標	予習	Chapter1 WordPress のすすめ			1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習			1.5 時間
2	講義内容	Chapter2 サイト制作の準備				
	該当到達目標	予習	Chapter2 サイト制作の準備			1 時間
	1,2	復習	演習講義内容の復習			1.5 時間
3	講義内容	Chapter3 WordPress のインストール				
	該当到達目標	予習	Chapter3 WordPress のインストール			1 時間
	3	復習	演習講義内容の復習			1.5 時間
4	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作①				
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
5	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作②		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
6	講義内容	Chapter4 WordPress の基本操作③		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	4	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
7	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter4 WordPress の基本操作を熟読	1 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
8	講義内容	Chapter5 サイト制作の基本フロー		
	該当到達目標	予習	Chapter5 サイト制作の基本フロー	1 時間
	5	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
9	講義内容	Chapter6 カスタマイズの基本知識		
	該当到達目標	予習	基本操作を熟読	1 時間
	6	復習	演習講義内容の復習	1.5 時間
10	講義内容	サイト制作演習①		
	該当到達目標	予習	企画書の作成	1 時間
	3,4,5,6	復習	企画書の完成	1.5 時間
11	講義内容	サイト制作演習②		
	該当到達目標	予習	制作編①	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
12	講義内容	サイト制作演習③		
	該当到達目標	予習	制作編②	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
13	講義内容	制作作業		
	該当到達目標	予習	制作編③	1 時間
	3,4,5,6	復習	制作作業	1.5 時間
14	講義内容	サイト制作演習⑤		
	該当到達目標	予習	運営編	1 時間
	3,4,5,6	復習	運営カスタマイズ作業	1.5 時間
15	講義内容	Web 制作演習の総合復習		
	該当到達目標	予習	全体を見直しておく	1 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	総合的に復習する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		特別ゼミ I（応用展開科目）			科目 ナンバリング	HIA344
英文名		Special Exercises on Information I			講義形態	演習
担当教員		中村 賢治				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応			豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）		医療・情報分野は社会に広く展開し、各分野の研究領域は深く掘り下げられている。早期から先進的なテーマに積極的に取り組み、チーム学習や共同研究、開発を行い、コミュニケーション力を付けるとともに、応用力や論理的な思考能力を養い、社会への適応性、人間力としての生きる力を涵養し、継続的に学修する習慣を身につける。その基盤となる知識などを身に着ける。 学科教員により提案される様々なテーマに対して、学生がテーマを選択しワークショップ形式で学んでいく。				
到達目標		1.コミュニケーション力を身につけている。 2.論理的な思考を身につけている。 3.チームをまとめ、調整する能力を身につけている。 4.資料を収集し、まとめ、プレゼンテーションする能力を身につけている。 5.継続的に学修する習慣を身につけている。				
評価方法		テーマの達成度、テーマへの参加度などで総合的に評価する。（詳細は各教員がガイダンスで説明する）				
使用教材		使用教材は、テーマにより異なるため、開講期のテーマ掲示時に指定する。				
参考文献						
課題に対する フィードバック		レポートや課題には、返却時にコメントを付けて返却する。				
オフィスアワー （研究室）		各指導教員がガイダンス時に説明する。	メールアドレス （#→@）	各指導教員がガイダンス時に説明する。		
	講義内容	医療情報教員により、提案される様々なテーマに対して、学生が選択して、積極的に学んでいくワークショップ型の学修形態である。テーマの例として、「深層学習の応用、ロボットの活用、スマートフォン用アプリケーション開発、VR の活用、応用情報の試験対策、ネットワーク技術（CCNA）の修得、医療情報技師の学習、安全確保支援士の対策、ポケットコンピュータラズベリーの応用、Web サーバの構築、ビッグデータ解析、人工知能の応用」など様々である。				
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	各テーマ内容によって、課される内容が異なるため、指導教員の指示に従って予習を行うこと。			15 時間
		復習	各テーマの指導教員が課題を課するため、その指示に従って復習する。			30 時間
備考						

科目名		特別ゼミⅡ（応用展開科目）			科目ナンバリング	HIA345
英文名		Special Exercises on InformationⅡ			講義形態	演習
担当教員		中村 賢治				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 （テーマ・内容）		医療・情報分野は社会に広く展開し、各分野の研究領域は深く掘り下げられている。早期から先進的なテーマに積極的に取り組み、チーム学習や共同研究、開発を行い、コミュニケーション力を付けるとともに、応用力や論理的な思考能力を養い、社会への適応性、人間力としての生きる力を涵養し、継続的に学修する習慣を身につける。基盤となる知識を発展させる。 学科教員により提案される様々なテーマに対して、学生がテーマを選択しワークショップ形式で学んでいく。				
到達目標		1.コミュニケーション力を身につけている。 2.論理的な思考を身につけている。 3.チームをまとめ、調整する能力を身につけている。 4.資料を収集し、まとめ、プレゼンテーションする能力を身につけている。 5.継続的に学修する習慣を身につけている。				
評価方法		テーマの達成度、テーマへの参加度などで総合的に評価する。（詳細は各教員がガイダンスで説明する）				
使用教材		使用教材は、テーマにより異なるため、開講期のテーマ掲示時に指定する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		レポートや課題には、返却時にコメントを付けて返却する。				
オフィスアワー （研究室）		各指導教員がガイダンス時に説明する。	メールアドレス （#→@）	各指導教員がガイダンス時に説明する。		
	講義内容	医療情報教員により、提案される様々なテーマに対して、学生が選択して、積極的に学んでいくワークショップ型の学修形態である。テーマの例として、「深層学習の応用、ロボットの活用、スマートフォン用アプリケーション開発、VR の活用、応用情報の試験対策、ネットワーク技術（CCNA）の修得、医療情報技師の学習、安全確保支援士の対策、ポケットコンピュータラズベリーの応用、Web サーバの構築、ビッグデータ解析、人工知能の応用」など様々である。				
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	各テーマ内容によって、課される内容が異なるため、指導教員の指示に従って予習を行うこと。			15 時間
		復習	各テーマの指導教員が課題を課するため、その指示に従って復習する。			30 時間
備考						

科目名		特別ゼミⅢ(応用展開科目)			科目 ナンバリング	HIA346
英文名		Special Exercises on InformationⅢ			講義形態	演習
担当教員		中村 賢治				
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針 との対応			豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		医療・情報分野は社会に広く展開し、各分野の研究領域は深く掘り下げられている。早期から先進的なテーマに積極的に取り組み、チーム学習や共同研究、開発を行い、コミュニケーション力を付けるとともに、応用力や論理的な思考能力を養い、社会への適応性、人間力としての生きる力を涵養し、継続的に学修する習慣を身につける。発展させた知識を応用させる。 学科教員により提案される様々なテーマに対して、学生がテーマを選択しワークショップ形式で学んでいく。				
到達目標		1.コミュニケーション力を身につけている。 2.論理的な思考を身につけている。 3.チームをまとめ、調整する能力を身につけている。 4.資料を収集し、まとめ、プレゼンテーションする能力を身につけている。 5.継続的に学修する習慣を身につけている。				
評価方法		テーマの達成度、テーマへの参加度などで総合的に評価する。(詳細は各教員がガイダンスで説明する)				
使用教材		使用教材は、テーマにより異なるため、開講期のテーマ掲示時に指定する。				
参考文献						
課題に対する フィードバック		レポートや課題には、返却時にコメントを付けて返却する。				
オフィスアワー (研究室)		各指導教員がガイダンス時に説明する。	メールアドレス (#→@)	各指導教員がガイダンス時に説明する。		
	講義内容	医療情報教員により、提案される様々なテーマに対して、学生が選択して、積極的に学んでいくワークショップ型の学修形態である。テーマの例として、「深層学習の応用、ロボットの活用、スマートフォン用アプリケーション開発、VR の活用、応用情報の試験対策、ネットワーク技術(CCNA)の修得、医療情報技師の学習、安全確保支援士の対策、ポケットコンピュータラズベリーの応用、Web サーバの構築、ビッグデータ解析、人工知能の応用」など様々である。				
	該当到達目標	予習	各テーマ内容によって、課される内容が異なるため、指導教員の指示に従って予習を行うこと。			15 時間
	1,2,3,4,5	復習	各テーマの指導教員が課題を課するため、その指示に従って復習する。			30 時間
備考						

科目名		特別ゼミⅣ(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA347
英文名		Special Exercises on InformationⅣ			講義形態	演習
担当教員		中村賢治				
科目に関連した実務経験						
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別						
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)		医療・情報分野は社会に広く展開し、各分野の研究領域は深く掘り下げられている。早期から先進的なテーマに積極的に取り組み、チーム学習や共同研究、開発を行い、コミュニケーション力を付けるとともに、応用力や論理的な思考能力を養い、社会への適応性、人間力としての生きる力を涵養し、継続的に学修する習慣を身につける。自立して学習することを目指す。 学科教員により提案される様々なテーマに対して、学生がテーマを選択しワークショップ形式で学んでいく。				
到達目標		1.コミュニケーション力を身につけている。 2.論理的な思考を身につけている。 3.チームをまとめ、調整する能力を身につけている。 4.資料を収集し、まとめ、プレゼンテーションする能力を身につけている。 5.継続的に学修する習慣を身につけている。				
評価方法		テーマの達成度、テーマへの参加度などで総合的に評価する。(詳細は各教員がガイダンスで説明する)				
使用教材		使用教材は、テーマにより異なるため、開講期のテーマ掲示時に指定する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		レポートや課題には、返却時にコメントを付けて返却する。				
オフィスアワー (研究室)		各指導教員がガイダンス時に説明する。	メールアドレス (#→@)	各指導教員がガイダンス時に説明する。		
	講義内容	医療情報教員により、提案される様々なテーマに対して、学生が選択して、積極的に学んでいくワークショップ型の学修形態である。テーマの例として、「深層学習の応用、ロボットの活用、スマートフォン用アプリケーション開発、VR の活用、応用情報の試験対策、ネットワーク技術(CCNA)の修得、医療情報技師の学習、安全確保支援士の対策、ポケットコンピュータラズベリーの応用、Web サービスの構築、ビッグデータ解析、人工知能の応用」など様々である。				
	該当到達目標 1,2,3,4,5	予習	各テーマ内容によって、課される内容が異なるため、指導教員の指示に従って予習を行うこと。			15 時間
		復習	各テーマの指導教員が課題を課するため、その指示に従って復習する。			30 時間
備考						

科目名	情報演習Ⅲ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIB348
英文名	Information ExerciseⅢ				講義形態	演習
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期 選必・単位数 選択 2 単位					
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力	
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	現代は医療を含めあらゆる分野において情報システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっていきと考えられる。そこで必要となる情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどの技術と情報技術の骨格を成すデータ構造とアルゴリズムの知識、そしてそれを実践するためのプログラミングスキルなど、求められる知識もスキルも高度化している。本科目では、これらの知識を確かなものとし、より高度な内容を学ぶ力を涵養することを目指す。 授業は基本情報技術者試験午後問題のレベルの過去問題への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。過去問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となりますので、合格への意欲を持って取り組んで下さい。					
到達目標	6. 情報システムを支える基礎的数理を理解し、説明できる。 7. 情報システムの基本的なハードウェア・ソフトウェア構成を説明できる。 8. 情報システムに必要なセキュリティ対策や基本的セキュリティ技術を説明できる。 9. LAN とそのインターネットへの基本的な接続構成を説明できる。 10. 関係データベースの基礎的理論を理解し、基本的な利用ができる。 11. 基本的なデータ構造やアルゴリズムについて、疑似コードや C 言語で実装できる。					
評価方法	期末試験(100%)で評価する。					
使用教材	適宜資料を配布する					
参考文献						
課題に対するフィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 5 限		メールアドレス (#→@)		ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	過去問題演習				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	疑似コード、C 言語				
	該当到達目標	予習	C 言語のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	C言語によるプログラミング(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	C言語によるプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	C言語によるプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	C言語によるプログラミング(4)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	C言語によるプログラミング(5)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	過去問題演習(1)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(2)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	過去問題演習(3)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修することが望ましい。			

科目名	情報演習Ⅳ(応用展開科目)				科目 ナンバリング	HIB349
英文名	Information ExerciseⅣ				講義形態	講義
担当教員	石川 雅弘					
科目に関連した 実務経験						
学年・開講期	3 年 後期 選必・単位数 選択 2 単位					
種別	基本情報技術者試験対応科目					
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		生涯学習力		
		問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	現代は医療を含めあらゆる分野において情報システムが導入されており、その活用の範囲はますます広がっていきと考えられる。そこで必要となる情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどの技術と情報技術の骨格を成すデータ構造とアルゴリズムの知識、そしてそれを実践するためのプログラミングスキルなど、求められる知識もスキルも高度化している。本科目では、これらの知識を確かなものとし、より高度な内容を学ぶ力を涵養することを目指す。 授業は基本情報技術者試験午後問題のレベルの過去問題への取り組みを中心に進め、適宜補足的講義を行う。過去問題への取り組みや疑問の解消には個々の積極的な姿勢が重要となりますので、合格への意欲を持って取り組んで下さい。					
到達目標	12. 情報システムを支える基礎的数理を理解し、説明できる。 13. 情報システムの基本的なハードウェア・ソフトウェア構成を説明できる。 14. 情報システムに必要なセキュリティ対策や基本的セキュリティ技術を説明できる。 15. LAN とそのインターネットへの基本的な接続構成を説明できる。 16. 関係データベースの基礎的理論を理解し、基本的な利用ができる。 17. 基本的なデータ構造やアルゴリズムについて、疑似コードや C 言語で実装できる。					
評価方法	期末試験(100%)で評価する。					
使用教材	適宜資料を配布する					
参考文献						
課題に対する フィードバック	解答例の提示と解説を行う。					
オフィスアワー (研究室)	月曜 4 限		メールアドレス (#→@)		ishikawa#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	過去問題演習				
	該当到達目標	予習	各個別科目のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
2	講義内容	疑似コード、C 言語				
	該当到達目標	予習	C 言語のテキストを見直しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
3	講義内容	データ構造とアルゴリズム(1)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
4	講義内容	データ構造とアルゴリズム(2)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間
	1,2	復習	過去問題に取り組む。			1.5 時間
5	講義内容	データ構造とアルゴリズム(3)				
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	過去問題に取り組む。	1.5 時間
6	講義内容	C言語によるプログラミング(1)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
7	講義内容	C言語によるプログラミング(2)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
8	講義内容	C言語によるプログラミング(3)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
9	講義内容	C言語によるプログラミング(4)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
10	講義内容	C言語によるプログラミング(5)		
	該当到達目標	予習	配布資料に目を通しておく。	1.5 時間
	3	復習	課題プログラムを完成・実行する。	1.5 時間
11	講義内容	過去問題演習(1)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
12	講義内容	過去問題演習(2)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	過去問題演習(3)		
	該当到達目標	予習	指定した過去問題に取り組む。	1.5 時間
	3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
14	講義内容	総合演習(1)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
15	講義内容	総合演習(2)		
	該当到達目標	予習	これまでの資料に目を通しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	課題とした過去問題に取り組む。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	基本情報技術者試験合格が目標なので、他の関連する科目も履修することが望ましい。			

科目名	診療情報演習Ⅲ(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA350
英文名	Health Information Management PracticeⅢ			講義形態	演習
担当教員	大川 喜代美				
科目に関連した実務経験	診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
	✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)	診療情報管理士認定試験合格のため、分類法およびコーディングについてより深い知識を習得する。 診療情報『管理士テキストの『専門・診療情報管理』について良く理解し、問題集を全て正解する。各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標	1.テキスト診療情報管理(専門課程編)分類法 要約症例(サマリー)の主要病態の正しい選択、および正確なコーディング 2.模擬試験にて診療情報管理士認定試験合格ラインに到達する■				
評価方法	授業への参加度 90%(原則欠席不可)、課題完成 10%				
使用教材	診療情報管理Ⅲ、診療情報管理Ⅳ、診療情報管理士教育問題集専門 1 章～7 章、診療情報管理士教育問題集専門 8 章～12 章、ICD-10(2013 年版)第 1 巻・第 3 巻、プリント配布				
参考文献	診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
課題に対するフィードバック	次回の課題プリントを配布する。翌週課題の解答および解説をする。 模擬テストの実施により、不得意問題を把握し、個別に指導する。				
オフィスアワー(研究室)	木曜 1 限(1 号館 609 研究室) 質問はメールでも可能。		メールアドレス(#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章			
	該当到達目標	予習	診療情報管理士テキスト(専門課程編)分類法の症例を読み、主傷病名を選択する方法を予習する。		1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		1 時間
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章			
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅳ章、第Ⅴ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。		1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		1 時間
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章			
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅳ章、第Ⅴ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。		1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		1 時間
4	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章			
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅵ章、第Ⅶ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。		1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		1 時間
5	講義内容	第Ⅹ章、第Ⅺ章			
	該当到達目標	予習	配布した第Ⅹ章、第Ⅺ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。		1.5 時間
	1	復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。		1 時間
6	講義内容	第Ⅻ章、第Ⅱ章①			

令和２年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1	予習	配布した第Ⅱ章、第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
7	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅱ章②		
		予習	配布した第Ⅱ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
8	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅲ章、第Ⅳ章		
		予習	配布した第Ⅲ章、第Ⅳ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	第Ⅲ章、第Ⅳ章の授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
9	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅴ章、第Ⅵ章		
		予習	配布した第Ⅴ章、第Ⅵ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
10	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅶ章、第Ⅷ章		
		予習	配布した第Ⅶ章、第Ⅷの要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
11	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅸ章、第Ⅹ章		
		予習	配布した第Ⅸ章、第Ⅹ章の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
12	該当到達目標 1	講義内容 第Ⅺ章 原死因		
		予習	配布した第Ⅺ章 原死因の要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
13	該当到達目標 1	講義内容 原死因		
		予習	配布した原死因要約症例を解き、解らないところを質問できるようにしておく。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
14	該当到達目標 2	講義内容 過去問模擬試験■		
		予習	前回までの問題と解説を読み返し模擬試験に備える。	1.5 時間
		復習	授業での模試の解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
15	該当到達目標 2	講義内容 第１回業者模試■		
		予習	分類法コーディングで不得意な章の解答・解説を読み返し模擬試験に備える。	1.5 時間
		復習	授業での解答と解説を振り返り、理解する。	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名		診療情報演習Ⅳ(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA351
英文名		Health Information Management PracticeⅣ			講義形態	講義
担当教員		大川 喜代美				
科目に関連した実務経験		診療報管理士として診療情報管理業務および医事課に勤務(経験)				
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別		「診療情報管理士」指定科目				
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
		✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		診療情報管理士認定試験国際対策として、基礎科目、専門科目の総復習を行う。各講義ではテーマについて概要を説明する。授業はテキストにて要点を提示する。				
到達目標		1.診療情報管理士教育問題集 国際統計分類Ⅰ 第1章～第21章の問題演習■ 2.診療情報管理士教育問題集 国際疾病分類概論の問題演習■ 3.模擬試験				
評価方法		授業への参加度 90%(原則欠席不可)、課題完成 10%				
使用教材		診療情報管理Ⅳ専門 8章～12章、診療情報管理士教育問題集専門 8章～12章、ICD-10(2013年版)第1巻・第3巻				
参考文献		診療情報管理学 診療情報管理士業務指針 診療情報の記録指針				
課題に対するフィードバック		授業時間内に期末試験について、出題の意図と内容の解説を行う。				
オフィスアワー(研究室)		木曜1限(1号館609研究室) 質問はメールでも可能。		メールアドレス(#→@)	okawa-ki#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	第Ⅰ章、第Ⅲ章■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅰ章、第Ⅲ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
2	講義内容	第Ⅳ章、第Ⅴ章■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅳ章、第Ⅴ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
3	講義内容	第Ⅵ章、第Ⅶ章■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅵ章、第Ⅶ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
4	講義内容	第Ⅷ章、第Ⅸ章■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅷ章、第Ⅸ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
5	講義内容	第Ⅹ章、第Ⅺ章■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅹ章、第Ⅺ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
6	講義内容	第Ⅻ章、第Ⅻ章①■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅻ章、第Ⅻ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
7	講義内容	第Ⅻ章②■				
	該当到達目標1	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第Ⅻ章の問題を解く。			1.5 時間
		復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。			1 時間
8	講義内容	第ⅩⅢ章、第ⅩⅣ章■				

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第XⅢ章、第XⅣ章の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
9	講義内容	第XⅤ章、第XⅥ章■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第XⅤ章、第XⅥ章の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
10	講義内容	第XⅦ章、第XⅧ章■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第XⅦ章、第XⅧ章の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
11	講義内容	第XⅨ章、第XⅩ章■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第XⅨ章、第XⅩ章の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
12	講義内容	第XⅪ章 原死因■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編第XⅪ章の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
13	講義内容	原死因■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門・分類法編原死因の問題を解く。	1.5 時間
	1	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
14	講義内容	11章 国際統計分類Ⅰ■		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門第11章・12章 国際疾病分類概論の問題を解く。	1.5 時間
	2	復習	授業での解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
15	講義内容	第1回業者模試		
	該当到達目標	予習	診療情報管理士教育問題集専門 11章・12章のポイントを振り返り理解する	1.5 時間
	2	復習	模試を自己採点し、解答・解説を良く読み理解する。	1 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	診療情報管理士資格必修科目 予習・復習については、試験前後の学習にて補完すること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	SPI 講座 I (非言語能力 I) (応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA352
英文名	SPI Course I (Non-verbal ability I)				講義形態	演習
担当教員	石田 正史					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
到達目標	1.演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2.演習を通して、数理的な処理能力を身につける。					
評価方法	授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。					
使用教材	講師作成テキスト					
参考文献						
課題に対するフィードバック	単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー (研究室)	木曜日の 4 時限、質問はメールでも受け付ける。			メールアドレス (#→@)	ishida1206#hb.tp1.jp	
1	講義内容	ガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスに目を通しておく			1 時間
	1,2	復習	テキストに目を通す。			1 時間
2	講義内容	基礎計算①分数、正負の加減乗除、公約数、公倍数				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
3	講義内容	基礎計算②方程式、不等式等の計算				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
4	講義内容	鶴亀算、年齢算、植木算				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
5	講義内容	速さ①速さ、平均の速さ、旅人算				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く			1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。			1 時間
6	講義内容	速さ②流水算、通過算、時計算				
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	仕事算・給排水算		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	濃度		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	歩合算、割合		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	図形①平面図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	図形②立体図形と計量		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	空間把握(軌跡、折り紙、展開図など)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	場合の数・確率①場合の数、順列、組合せ		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	場合の数・確率②確率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
15	講義内容	規則性の発見(数列、魔方陣)		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名		SPI 講座Ⅱ（非言語能力Ⅱ）（応用展開科目）				科目ナンバリング	HIA353
英文名		SPI CourseⅡ（Non-verbal abilityⅡ）				講義形態	演習
担当教員		石田 正史					
科目に関連した実務経験							
学年・開講期		2 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位			
種別							
学位授与方針との対応			豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力	
		✓	問題解決力				
講義概要 （テーマ・内容）		SPI は、あらゆる職業に共通して求められる潜在的な業務遂行能力、職業適性や性格等の検査である。これらの能力が人材の能力適性検査の基準とされている。能力適性検査は「言語能力」と「非言語能力」から成るが、本講座では後者を扱う。非言語能力に関する領域において、企業との能力適性検査に円滑かつスピーディーに解答ができる力を修得する。単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
到達目標		1.演習を通して、数理的な思考能力を身につける。 2.演習を通して、数理的な処理能力を身につける。					
評価方法		授業への参加・貢献 10%、自宅学習の状況 10%、授業中に実施する小テスト 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。					
使用教材		講師作成テキスト					
参考文献							
課題に対するフィードバック		単元ごとに小テストを実施し、単元の振り返りを行う。また、出席カードで自宅での学習状況や授業における疑問点や改善要望等を収集する。					
オフィスアワー （研究室）		木曜日の 4 時限、質問はメールでも受け付ける。		メールアドレス （#→@）	ishida1206#hb.tp1.jp		
1	講義内容	記数法					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。				1 時間
2	講義内容	演算、虫食い算					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。				1 時間
3	講義内容	矢印問題（PERT 法、ブラックボックス、物流と比率）					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。				1 時間
4	講義内容	グラフとその領域（一次関数、二次関数、分数関数）					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。				1 時間
5	講義内容	判断推理①論理					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。				1 時間
6	講義内容	判断推理②集合					
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。				1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
7	講義内容	判断推理③文章推理		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
8	講義内容	判断推理④順序、位置・方位		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
9	講義内容	資料①分布図、構成比		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
10	講義内容	資料②指数、増加率		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
11	講義内容	物理①電気回路		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
12	講義内容	物理②運動力学		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
13	講義内容	物理③てこ、滑車		
	該当到達目標	予習	ポイント確認、例題を解く。	1 時間
	1,2	復習	チェック問題を解く。返却された小テストを見直す。	1 時間
14	講義内容	SPI 非言語分野模擬試験		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す。	1 時間
	1,2	復習	模擬試験を見直す。	1 時間
15	講義内容	総まとめ		
	該当到達目標	予習	テキスト全体を見直す	1 時間
	1,2	復習	テキストで不得意分野を見直す。	1 時間
合計時間(予習・復習)				30 時間
備考	予習・復習については、試験前の学習で補完すること。			

科目名	SPI 講座Ⅲ(言語能力Ⅰ)(応用展開科目)			科目ナンバリング	HIA354
英文名	SPI CourseⅢ (Language AbilityⅠ)			講義形態	講義
担当教員	根本 敬彦				
科目に関連した実務経験					
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別					
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	SPI の言語能力の各分野を網羅的に学習し、言語能力検査の出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。SPI の能力適性検査の成績による「足切り」の増加という事態を踏まえ、年々SPI のスコアが上昇傾向にあるだけに、80%以上の正答率をあげることに伴う言語分野の攻略のために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。とくに最新の国際学力調査(PISA)における「読解力」の順位の急落という事態に鑑み、すべての学問の基礎としての「読解力」の強化には十二分に注力します。授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心にを行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。				
到達目標	1.語句の意味に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2.語句の知識に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3.文章読解に関する多様な出題を検討し、理解できる。				
評価方法	定期試験 70%、小テスト(3 回)30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布する。				
参考文献					
課題に対するフィードバック	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説する。				
オフィスアワー (研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に 教室等で質問に応じます。		メールアドレス (#→@)	qqn335k9#helen.ocn.ne.jp	
1	講義内容	言語能力の向上—ガイダンス			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読み、言語分野克服のための要点を理解する。		0.5 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法について確認する。		0.5 時間
2	講義内容	同義語・類義語			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、同義語・類義語の出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	同義語・類義語の多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
3	講義内容	対義語・反対語			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントによって、対義語・反対語の出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	対義語・反対語の多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
4	講義内容	言葉の対応関係(1)－包含関係・行為関係			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、包含関係・行為関係の出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	包含関係・行為関係の多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
5	講義内容	言葉の対応関係(2)－原料関係・用途関係			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、原料関係・用途関係の出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	原料関係・用途関係の多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	同音異義語・同訓異字		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異義語・同訓異字の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異義語・同訓異字の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	同音異字・同訓異義語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、同音異字・同訓異義語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	同音異字・同訓異義語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	ことわざ・慣用句・故事成語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ことわざ・慣用句・故事成語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ことわざ・慣用句・故事成語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	三字熟語・四字熟語		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、三字熟語・四字熟語の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	三字熟語・四字熟語の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	その他・語句の知識(敬語・難解語句・文法・誤記しやすい字)		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、その他・語句の知識の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	その他・語句の知識の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	文章読解(1)－要旨把握・内容合致		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、要旨把握・内容合致問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	要旨把握・内容合致問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	文章読解(2)－文章整序		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、文章整序問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	文章整序問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	文章読解(3)－空欄補充		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、空欄補充問題の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	空欄補充問題の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	文章読解(4)－特定語理解		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、特定語理解の出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	特定語理解の多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名	SPI 講座Ⅳ(言語能力Ⅱ)(応用展開科目)			科目 ナンバリング	HIA355
英文名	SPI CourseⅣ (Language AbilityⅡ)			講義形態	講義
担当教員	根本 敬彦				
科目に関連した 実務経験					
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 1 単位		
種別					
学位授与方針 との対応		豊かな人間性と幅広い教養			コミュニケーションスキル
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能			生涯学習力
	✓	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	一般常識問題のうち、主に人文科学分野の各科目の頻出テーマの出題傾向に即した問題演習を反復することによって、「就職力」の向上と幅広い教養の醸成を図ることを目的とします。一般常識テストの正答率をあげるために、実践的な知識・問題対応力の修得を目標とします。とくに出題頻度の高い時事問題や社会に関する問題などへの対策に極力傾注します。授業は事前配布プリントを使用し、重要事項を確認したうえで問題演習を中心にを行います。実践的な「就職力」の向上を目的とする科目であることを十二分に自覚し、授業には積極的に取り組み、また授業内容の定着度を高めるため、とくに復習は重視してください。				
到達目標	1.日本史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 2.世界史に関する多様な出題を検討し、理解できる。 3.地理に関する多様な出題を検討し、理解できる。				
評価方法	定期試験 70%、小テスト(3 回)30%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材	毎回事前に、要点整理および問題演習のための自己作成プリントを配布する。				
参考文献					
課題に対する フィードバック	小テストについては、実施後出題内容の重要ポイントについて解説する。				
オフィスアワー (研究室)	授業日の授業開始前もしくは終了後に 教室等で質問に応じます。		メールアドレス (#→@)	qqn335k9#helen.ocn.ne.jp	
1	講義内容	日本史(1)ー律令国家の形成と衰退			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、律令国家の形成と衰退についての出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	律令国家の形成と衰退についての多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
2	講義内容	日本史(2)ー中世の政治と経済			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、中世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	中世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
3	講義内容	日本史(3)ー近世の政治と経済			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近世の政治と経済についての出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	近世の政治と経済についての多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
4	講義内容	日本史(4)ー近現代の政治と社会			
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近現代の政治と社会についての出題形式を認識し、概要を知る。		0.5 時間
	1	復習	近現代の政治と社会についての多様な出題を検討し、理解する。		0.5 時間
5	講義内容	世界史(1)ーヨーロッパ世界の形成			

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、ヨーロッパ世界の形成についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	ヨーロッパ世界の形成についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
6	講義内容	世界史(2)－近代ヨーロッパ世界の成立		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、近代ヨーロッパ世界の成立についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	近代ヨーロッパ世界の成立についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
7	講義内容	世界史(3)－市民社会の成長		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、市民社会の成長についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	市民社会の成長についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
8	講義内容	世界史(4)－中国史二つの世界大戦		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、二つの世界大戦についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	二つの世界大戦についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
9	講義内容	世界史(5)－中国史		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、中国史についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	2	復習	中国史についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
10	講義内容	地理(1)－気候・植生・土壌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、気候・植生・土壌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	気候・植生・土壌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
11	講義内容	地理(2)－農牧業		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、農牧業についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	農牧業についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
12	講義内容	地理(3)－エネルギー資源・鉱物資源		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、エネルギー資源・鉱物資源についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	エネルギー資源・鉱物資源についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
13	講義内容	地理(4)－世界各国地誌		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、世界各国地誌についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	世界各国地誌についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
14	講義内容	地理(5)－環境問題		
	該当到達目標	予習	事前配布プリントにより、環境問題についての出題形式を認識し、概要を知る。	0.5 時間
	3	復習	環境問題についての多様な出題を検討し、理解する。	0.5 時間
15	講義内容	総合問題演習・解説		
	該当到達目標	予習	当該科目の既習内容の確認をする。	0.5 時間
	1,2,3	復習	総合問題演習の解説を踏まえ、要点を確認する。	0.5 時間
合計時間(予習・復習)				15 時間
備考				

科目名		チーム医療アプローチ演習(応用専門科目)			科目ナンバリング	HIA356
英文名		Interprofessional Practice			講義形態	演習
担当教員		小笠原映子(看護)、篠原智行(理学)、大林恭子(薬学)、木村憲洋(情報)、竹内真理(栄養)				
科目に関連した実務経験		小笠原(看護):看護師、訪問看護師として総合病院に勤務(経験) 篠原(理学):理学療法士として急性期、回復期病院に勤務(経験)。生活期病院に非常勤勤務。 大林(薬学):薬剤師として大学病院に勤務(経験) 木村(情報):病院経営企画及び診療情報管理にて病院に勤務(経験) 竹内(栄養):管理栄養士として国立病院機構に勤務(経験)。健大附属クリニック管理栄養士兼務。				
学年・開講期		3 年 前期	選必・単位数	選択 1 単位		
種別						
学位授与方針との対応		✓	豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル	
		✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	✓	生涯学習力	
		✓	問題解決力			
講義概要(テーマ・内容)		チーム医療が必要な事例を用いて、福祉・医療系の各専門職の役割・活動および患者、家族に必要な福祉・医療活動について検討する。さらにチーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性、および専門職の連携の課題について学ぶ。 1 回目の講義は、テーマについて概要を説明する。授業はパワーポイントにより要点を提示する。 2～8 回目の講義は、グループワークの形式で進める。				
到達目標		1. 各専門職の役割と活動について説明できる。 2. チーム医療展開における情報伝達・共有の必要性について説明できる。 3. チーム医療を促進するための福祉・医療系専門職の協働の必要性を説明できる。■ 4. チーム医療における専門職の連携を促進するための課題を考察できる。■				
評価方法		演習参加への積極性 20%、レポート 50%、グループ発表の内容 30%の総合評価				
使用教材		関連する資料を随時配布する。				
参考文献						
課題に対するフィードバック		模擬症例検討を行う際には、グループごとに結果をまとめて発表させ、それに対して教員と他チームの学生による検討を行いフィードバックする。				
オフィスアワー(研究室)		小笠原(看護):月曜 3 限 5 号館 403 研究室 篠原(理学):水曜 3 限 3 号館 206 研究室 大林(薬学):月曜 1 限 7 号館 307 研究室 木村(情報):月曜 1 限 1 号館 610 研究室 竹内(栄養):木曜 2 限 1 号館 308 研究室	メールアドレス(#→@)		小笠原(看護) ogasawara#takasaki-u.ac.jp 篠原(理学) shinohara-t#takasaki-u.ac.jp 大林(薬学) obayashi#takasaki-u.ac.jp 木村(情報) norihiro#takasaki-u.ac.jp 竹内(栄養) mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	ガイダンス／チーム医療アプローチについて				
	該当到達目標	予習	チーム医療について調べておく。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	演習の目標や進め方、提出物を確認する。			1.5 時間
2	講義内容	チームカンファレンスの目的と方法■				
	該当到達目標	予習	各専門職の役割、チームカンファレンスの目的について調べておく。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	チームカンファレンスの目的、方法、留意点を整理する。			1.5 時間
3	講義内容	効果的な情報伝達と共有①■				
	該当到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。			1.5 時間
	1,2,3,4	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	効果的な情報伝達と共有②		
	該当到達目標	予習	情報伝達と共有方法について調べて考えておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	情報伝達と共有方法の工夫を整理する。	1.5 時間
5	講義内容	模擬症例検討①(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)		
	該当到達目標	予習	疾病と治療について学習し、自職種の関わり方をまとめる	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
6	講義内容	模擬症例検討②(模擬症例に対する自職種の役割、アプローチについて)		
	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを整理する。	1.5 時間
7	講義内容	模擬症例検討③(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて) *グループワーク■		
	該当到達目標	予習	模擬症例への自職種の役割、アプローチを他職種に説明する方法について準備しておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
8	講義内容	模擬症例検討④(模擬症例への最善の医療に向けたチーム医療アプローチについて) *グループワーク発表■		
	該当到達目標	予習	発表の準備をしておく。	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	模擬症例への各職種の役割、チーム医療アプローチの意義を整理する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				24 時間
備考	【履修条件】原則、チーム医療アプローチ論を履修していること。 【キーワード】専門職、チーム医療、多職種連携 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	医療情報ゼミ(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA357	
英文名	Medical Information Seminar				講義形態	講義	
担当教員	学科全教員						
科目に関連した実務経験							
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	必修 2 単位				
種別							
学位授与方針との対応	✓	豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力		
	✓	問題解決力					
講義概要 (テーマ・内容)	専門導入科目、専門基幹科目、専門展開科目を踏まえて、実践的な応用を通じて、医療と情報に関する理解を深めることを講義目標とする。						
到達目標	医療系資格を優先的に取得する学び方をする学生には、医療現場における基礎的な知識として、「医療事務管理士」に合格できるレベルであること。情報系資格を優先的に取得する学び方をする学生には、情報現場における基礎的な知識として、「IT パスポート」に合格できるレベルであること、すでに合格している学生にとっては、上位の資格を目指す。また、四年次の卒業研究に繋ぐための各テーマに沿った基礎的な知識を修得する。さらに、就職活動を通じて、企業研究、自己鍛錬など、エントリーにおける文書化、自己アピールなどができる素養を身に付けること。						
評価方法	参加度(30%)、期末試験(40%)、外部試験(30%)により総合的に評価する。 医療系資格を優先的に取得する学び方の学生は「医療事務管理士」、情報系資格を優先的に取得する学び方の学生は「IT パスポート」の試験に合格すること。						
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。						
参考文献							
課題に対するフィードバック	模擬試験に関しては答案を返却し解説する。卒論テーマに関するレポートでは、内容を精査し訂正やアドバイスを付加して返却する。また、就活に関する自己アピール等の文章に関しては、添削指導を行う。						
オフィスアワー (研究室)	各教員が最初のゼミにて示す。			メールアドレス (#→@)	各教員が最初のゼミにて示す。		
講義内容	各学生が希望するゼミに分かれ、到達目標に沿って、様々な知識を修得するとともに、卒業研究に必要な基礎的な知識の修得、就活に必要な知識を学び、円滑な卒業研究と就活ができるように研鑽する。進め方は、各教員が学生の状況と卒業研究のテーマを勘案して、適切な時間配分で講義を進める。						
	予習	各教員が必要に応じて予習内容を知らせる				適宜	時間
	復習	各教員が必要に応じて復習内容を知らせる				適宜	時間
合計時間(予習・復習)						時間	
備考	この授業は、各学生が希望するゼミに分かれて実施される。各教員が学生の状況と卒業研究のテーマを勘案して、適切な時間配分で講義を進める。						

科目名	医療情報学総合演習(応用展開科目)				科目ナンバリング	HIA358
英文名	Comprehensive Practice of Medical Informatics				講義形態	演習
担当教員	医療情報学科教員全員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	4 年 前期	選必・単位数	必修 2 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養		✓	コミュニケーションスキル	
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能		✓	生涯学習力	
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	これまでに学んできた健康医療の専門知識と情報のスキルをベースに、本演習では健康医療分野での現実の課題と情報技術を有機的に結び付け問題解決能力を養い、社会の一員として活躍できる力を身に付ける。 オムニバスの演習形式で行われ、各回の担当教員より提示された課題に取り組む。健康医療分野において、情報技術が活かされている具体的事例について学び、現実の課題と情報技術を有機的に結び付ける。					
到達目標	1.我が国の健康医療を取り巻く状況や課題を理解し、それら課題の有力な解決手段の1つとしてこれまでに学んできた情報技術を捉える。 2.健康医療分野に情報技術が活かされている具体的事例を理解する。					
評価方法	期末レポート課題により評価する。60%以上で合格。					
使用教材	各担当教員自作資料					
参考文献						
課題に対するフィードバック	オムニバス形式の演習科目なので、その都度担当教員が課題を出しフィードバックを行う。					
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段については、各自で教員に確認すること。	
1	講義内容	最先端医療(小澤)				
	該当到達目標	予習	幹細胞とはどのようなものかについて基礎的知識を得ておくこと。			0.5 時間
	1,2	復習	日本発の最先端医療として、iPS 細胞の活用の展望と重粒子線がん治療の成果の概要を理解する。			1 時間
2	講義内容	医療経営(木村)				
	該当到達目標	予習	病院経営について基本的な事項について調べてみる。			0.5 時間
	1	復習	病院経営における経営資源と特徴について講義で聞いたことを整理する。			1 時間
3	講義内容	医療経済(町田)				
	該当到達目標	予習	あらかじめ配布する資料・データに目を通し理解しておく。			1 時間
	1	復習	日本の医療政策について理解を深め、海外との比較ができるようにする。			1.5 時間
4	講義内容	医療倫理(大石)				
	該当到達目標	予習	「医療倫理の四原則」について調べておく。			1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、ケーススタディについてさらに考察する。			1.5 時間
5	講義内容	医療の情報化(松尾)				
	該当到達目標	予習	参照フォルダのパワーポイント資料に目を通しておく。			1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	健康医療ビッグデータの処理例について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	医療情報の標準化(東福寺)		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	1,2	復習	当日配布した課題についてレポートを作成し、教務課に提出する。	2.5 時間
7	講義内容	災害時における事務職の役割(大川)		
	該当到達目標	予習	チーム医療での診療情報管理士の役割と病院事務職について調べておく。	1 時間
	1	復習	配布資料を読み返し、理解を深める。	1 時間
8	講義内容	医療統計の実際(石川)		
	該当到達目標	予習	3年生までに学習した基礎的な統計学を復習しておく。	1 時間
	1,2	復習	授業で提示された例題を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	データベース(石川)		
	該当到達目標	予習	データベース概論(2年後期必修)で配布した資料を復習しておく。	1 時間
	1	復習	配布資料を読み返したり、webで情報収集するなどして、理解を深める。	1.5 時間
10	講義内容	ネットワーク(長澤)		
	該当到達目標	予習	ネットワークに関する資料を参照フォルダで配布するので事前に熟読する。	1 時間
	1,2	復習	講義時に配布したレポート課題に取り組む。	1.5 時間
11	講義内容	機械学習と画像処理(中村)		
	該当到達目標	予習	授業用資料を参照フォルダに入れておくので、それを熟読する。	1 時間
	1,2	復習	授業で配布した資料・問題演習を行う。	1.5 時間
12	講義内容	マルチメディアⅠ(木幡)		
	該当到達目標	予習	事前に指定した事項について調べまとめておく。	1 時間
	1	復習	講義をふまえたレポート課題に取り組む。	1.5 時間
13	講義内容	マルチメディアⅡ(田村)		
	該当到達目標	予習	不要	0 時間
	1	復習	講義で行ったことをまとめ、課題を作成する。	2.5 時間
14	講義内容	情報ビジネス(坂本)		
	該当到達目標	予習	講義用資料をあらかじめ各自で印刷し、内容について事前に調べておく。	1 時間
	1	復習	講義内容をまとめてレポート作成する。	2 時間
15	講義内容	全体まとめ(東福寺)		
	該当到達目標	予習	参照フォルダのレポート課題に目を通し理解しておく。	1 時間
	1,2	復習	課題の実施	3 時間
合計時間(予習・復習)				37 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	卒業研究(卒業研究)				科目ナンバリング	HIG401
英文名	Graduation Study				講義形態	演習
担当教員	学科全教員					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	4 年 通年	選必・単位数	必修 4 単位			
種別						
学位授与方針との対応		豊かな人間性と幅広い教養	✓	コミュニケーションスキル		
	✓	健康・医療および情報に関する知識・技能	✓	生涯学習力		
	✓	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	医療情報学についての勉学の総仕上げと位置付けられる。これまで、修得した知識・技能に基づいて、教員の指導のもとに、特定のテーマの研究(調査・実験など)を自主的に行い、企画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文作成などの能力を涵養する。 各教員の指導の下、特定のテーマの研究(調査・実験など)を行い、企画・データ収集・整理・討論・発表・卒業論文を作成する。					
到達目標	卒業研究を通じて、未知なるものを探究する考え方やその方法を身に付ける。また、研究の成果を整理まとめ、発表(プレゼンテーション)する技術を身に付ける。さらに、卒業論文としてまとめる。					
評価方法	参加度(30%)、卒論発表 2 回(30%)、卒業論文(40%)により総合的に評価する。					
使用教材	教員が、必要に応じて作成し配布する。					
参考文献						
課題に対するフィードバック	卒業論文のテーマに関する資料や論文検索し、その内容をまとめ報告し、内容を討論する。プレゼンテーション内容や卒業論文の内容は、その都度教員が精査し、適切にアドバイスする。					
オフィスアワー (研究室)	各教員が最初の授業で提示する。		メールアドレス (#→@)		各教員が最初の授業で提示する。	
講義内容	各学生が希望するテーマに分かれ、到達目標に沿って下記のように研究を進める。 1.研究テーマの設定 2.研究テーマに沿った文献 資料の収集と整理 3.研究内容の適切な設定と研究 4.研究内容の中間発表 5.研究内容の本発表 6.卒業研究を卒業論文としてまとめる。					
	予習	各教員が必要に応じて指示する。				期間中適宜
	復習	各教員が必要に応じて指示する。				期間中適宜
合計時間(予習・復習)						
備考						

科目名	生涯学習社会と図書館(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Lifelong Learning Society and Library				講義形態	講義
担当教員	斎藤 順二					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	生涯学習及び社会教育の本質と意義の理解を図り、学校教育・家庭教育等との関連、並びに社会教育施設、専門的職員の役割、学習活動への支援等の基本について理解できる。 授業では、テキストを單元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。					
到達目標	1.高齢社会の到来で、従来の学歴社会から生涯学習社会への移行が進展している現況を理解できる。 2.図書館は社会生活で「知の拠点」として大きな役割を果たすことが求められていると認識している。 3.図書館にあって、地域住民の課題解決と学習支援サービスに対応できる司書を目指す。					
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材						
参考文献						
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。		メールアドレス (#→@)		連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	生涯学習と社会教育				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT1 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習へのアプローチ			1.5 時間
2	講義内容	〈社会〉と〈教育〉				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT2 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習の展開と学習の実際を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	〈社会教育〉の始まり				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT3 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習社会の役割と連携を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	誰のための教育か？				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT4 に目を通す。			1 時間
	1	復習	生涯学習振興施策の立案と推進を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	誰が〈教育する〉のか？				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT5 に目を通す。			1 時間
	1	復習	社会教育の意義・発展・特質を理解する。			1.5 時間

令和２年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	公教育とは何か？		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT6 に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育行政の意義・役割を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	戦後日本の教育政策		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT7 に目を通す。	1 時間
	1	復習	自治体の制度と教育関連法規を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	教育の自由		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT8 に目を通す。	1 時間
	1	復習	社会教育の内容・方法・形態を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	ユネスコの生涯教育論		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT9 に目を通す。	1 時間
	1	復習	学習への支援と学習成果の評価と活用を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	学校教育と生涯教育		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT10 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育施設・生涯学習関連施設の管理・運営を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	社会教育と生涯教育		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT11 に目を通す。	1 時間
	3	復習	社会教育指導者の役割を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	生涯教育理念の普及と変質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT12 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(群馬県生涯学習センター・指導者バンク)を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	わが国における生涯学習論の展開		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT13 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(高崎市生涯学習推進本部の学習推進計画)を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	わが国における生涯学習理念の普及と変質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT14 に目を通す。	1 時間
	3	復習	生涯学習の実際(講演会・放送大学・フィールドワーク等)を理解する。	1.5 時間
15	講義内容	生涯学習体験報告会		
	該当到達目標	予習	まとめのレポート	1 時間
	1,2,3	復習	私の生涯学習計画をまとめて発表する。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名		図書館概論(司書)		科目ナンバリング	—
英文名		Introduction to Library		講義形態	講義
担当教員		秋山 美和子			
科目に関連した実務経験		地方公務員(管理職)として公共図書館に勤務(現在)			
学年・開講期		1 年 後期	選必・単位数	選択	2 単位
種別		司書科目			
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と幅広い教養	—	コミュニケーションスキル
		—	健康・医療および情報に関する知識・技能	—	生涯学習力
		—	問題解決力		
講義概要(テーマ・内容)		図書館情報学の入門として、図書館の歴史、社会的意義、機能、役割、組織の運営、図書館の課題と展望までを概観し、図書館とは何かを理解できるようにする。			
到達目標		1.図書館の社会的意義、機能、役割等について論述できるようにする。 2.図書館の歴史から将来展望までを、社会の変化に合わせて理解する。 3.図書館の組織の運営について理解する。■			
評価方法		最終レポート 60%、課題 3 回 30%、講義への参加態度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
使用教材		高山正也・岸田和明編著『改訂 図書館概論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-271-4 必要に応じて資料を配布			
参考文献					
課題に対するフィードバック		各講義終了時に学生から感想等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次の講義で解説する。			
オフィスアワー(研究室)		質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。	メールアドレス(#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館の社会的意義			
	該当到達目標	予習	シラバス、教科書の監修者の言葉から1章の該当箇所までを読み、本講義の目標および図書館の社会的意義について確認する。		1 時間
	1	復習	講義概要、到達目標、評価方法を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館の社会的意義について理解する。		2 時間
2	講義内容	図書館の歴史			
	該当到達目標	予習	1章の該当箇所を読み、図書館の歴史について表にまとめるなどして整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1,2	復習	図書館の歴史と社会の変化を、関連づけて考えられるようにする。		2 時間
3	講義内容	図書館の機能とサービス			
	該当到達目標	予習	2章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館資料を知り、図書館の機能とサービスの基本的な考え方について理解する。		2 時間
4	講義内容	パブリックサービスとテクニカルサービス■			
	該当到達目標	予習	2章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	利用者への直接サービス(パブリックサービス)と、それを支える間接的な業務(テクニカルサービス)について理解する。		2 時間
5	講義内容	図書館員の基本理念			
	該当到達目標	予習	2章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	図書館員の基本理念となる宣言等について、制定された社会的背景や意義、事例等を調べて図書館員のあるべき姿について理解する。	2 時間
6	講義内容	公共図書館(存在意義とあるべき姿)■		
	該当到達目標	予習	3章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,3	復習	公共図書館の存在意義とあるべき姿について、基本的な考え方を理解する。	2 時間
7	講義内容	公共図書館(成立と展開)		
	該当到達目標	予習	3章の該当箇所を読み、自分が関心のある公共図書館について調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	近代公共図書館の変遷と、図書館改革の動きについて理解する。	2 時間
8	講義内容	各種図書館(国立図書館、学校図書館)		
	該当到達目標	予習	4章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,3	復習	国立国会図書館のサイトを実際に利用し、国立図書館としての機能と役割について理解する。また、学校図書館の意義について理解する。	2 時間
9	講義内容	各種図書館(大学図書館、専門図書館)		
	該当到達目標	予習	4章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,3	復習	大学図書館の機能と役割について、体験を通して理解する。また、専門図書館、図書館類縁施設等の機能と役割について理解する。	2 時間
10	講義内容	図書館の経営、連携・協力■		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館経営と図書館の連携・協力の種類について理解する。	2 時間
11	講義内容	図書館の職員と組織■		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の職員(体制、職務、資質向上に関すること)および図書館の組織構造について理解する。	2 時間
12	講義内容	図書館の施設・設備		
	該当到達目標	予習	5章の該当箇所を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容を参考にしながら、実際に公共図書館を訪問して施設・設備について調査し、理解する。	2 時間
13	講義内容	図書館に関連する機関・団体		
	該当到達目標	予習	6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館関連団体、出版・書店・取次の制度、その他の関連組織・団体等について理解する。	2 時間
14	講義内容	図書館の課題と展望		
	該当到達目標	予習	7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べる。	1 時間
	1,2,3	復習	社会の変化に対応した図書館のあり方について理解する。	2 時間
15	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標	予習	教科書、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師にメールで連絡する。	1.5 時間
	1,2,3	復習	図書館とは何かを自ら考え、論述できるようにする。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、積極的に発言することを期待する。 復習に力点をおいて、学習内容を深めること。			

できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみること。

■:実務経験に基づく内容を示す。

科目名	図書館制度・経営論(司書)			科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Administration and Management			講義形態	講義
担当教員	秋山 美和子				
科目に関連した実務経験	公共図書館に管理職として勤務(司書)				
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	司書科目				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養	—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能	—	生涯学習力	
	—	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	図書館職員となるための知識として、図書館に関する法律、自治体行政の制度・図書館政策について学ぶ。また、「図書館学は実学である」という視点に立ち、できる限り実際の図書館の状況を交えながら図書館経営の考え方、職員、施設・設備等の経営資源、サービス計画、調査と評価、管理形態等について解説する。				
到達目標	1.図書館に関する法制度、自治体行政の制度・政策について理解する。 2.図書館の理念を踏まえ、それが実際の図書館の運営にどのように反映されているか理解する。■ 3.図書館職員の職務を学び、経営的な視点を身につける。■				
評価方法	レポート 60%、課題 3 回 30%、講義への参加態度 10%で評価する。総合評価 60%以上を合格とする。				
使用教材	糸賀雅児・葉袋秀樹編集『改訂 図書館制度・経営論』(樹村房) ISBN 978-4-88367-202-8 必要に応じて資料を配布				
参考文献					
課題に対するフィードバック	各講義終了時に学生から感想等の提出を受け、疑問点やさらに解説が必要な事項等について次の講義で解説する。				
オフィスアワー (研究室)	質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了後に応じる。		メールアドレス (#→@)	メールアドレスは初回授業時に提示する。	
1	講義内容	ガイダンス(授業の進め方、評価方法)、図書館における制度と経営			
	該当到達目標	予習	シラバスに目を通し、講義の進め方等を理解する。教科書の監修者の言葉、序文、序章を読み、本講座の趣旨を理解する。		1 時間
	1	復習	講義内容、到達目標、評価方法を理解し、自分なりの学習計画を立てる。図書館における制度と経営を学ぶ必要性を理解する。		2 時間
2	講義内容	図書館制度の概観			
	該当到達目標	予習	I 部 1 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館関係法規の体系等を把握し、図書館制度の学習について理解する。		2 時間
3	講義内容	図書館の制度(日本国憲法、教育基本法、地方自治法等)			
	該当到達目標	予習	I 部 2 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	各法律と図書館との関係を理解する。		2 時間
4	講義内容	図書館の制度(図書館法)			
	該当到達目標	予習	I 部 3 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	図書館制度・経営の基本となる図書館法について理解する。		2 時間
5	講義内容	図書館の制度(他館種の図書館に関連する法規)			
	該当到達目標	予習	I 部 4 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間
	1	復習	公共図書館以外他館種の法律について理解する。		2 時間
6	講義内容	図書館の制度(子ども読書活動推進法・文字活字文化振興法)			
	該当到達目標	予習	I 部 5 章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。		1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	図書館サービスの柱の一つである子供の読書活動の推進に関する法規を理解する。	2 時間
7	講義内容	図書館の制度(図書館サービス、経営関係法規)		
	該当到達目標	予習	I部6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	図書館サービスや経営に関連した法規を理解する。	2 時間
8	講義内容	図書館政策(国・地方自治体)		
	該当到達目標	予習	I部7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2	復習	国の図書館政策として主な基準・答申・報告および地方公共団体の図書館政策について理解する。	2 時間
9	講義内容	図書館の経営(公共性)■		
	該当到達目標	予習	II部1章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の公共性と経営について理解する。	2 時間
10	講義内容	図書館の経営(館種ごとの経営論)		
	該当到達目標	予習	II部2章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	館種ごとの経営論およびガバナンスについて理解する。	2 時間
11	講義内容	図書館の経営(組織と職員)■		
	該当到達目標	予習	II部3章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館を運営していくための組織、職員体制、職員の役割について理解する。また、図書館ボランティアの活動についても調べてみる。	2 時間
12	講義内容	図書館の経営(計画とマーケティング、予算の確保)■		
	該当到達目標	予習	II部4章、5章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の各種計画について理解し、図書館経営を可能にする予算確保の方法について知る。	2 時間
13	講義内容	図書館の経営(経営評価)		
	該当到達目標	予習	II部6章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の経営評価の意義と目的、方法、課題について理解する。	2 時間
14	講義内容	図書館の経営(多様な管理形態)		
	該当到達目標	予習	II部7章を読み、自分の関心・疑問を整理し、場合によっては調べてみる。	1 時間
	1,2,3	復習	業務委託、指定管理者制度等、多様化する管理形態の現状、課題について理解する。	2 時間
15	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標	予習	教科書、ノート等を確認し、自分の関心・疑問を整理し、疑問点や質問事項があれば講師にメールで連絡する。	1 時間
	1,2,3	復習	図書館の制度・経営論について自ら考え、論述できるようにする。	2 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	講義では、積極的に発言することを期待する。 復習に力点をおいて、学習内容を深めること。 できるだけ多くの図書館を訪ねたり、インターネットで検索したりして実際に体験してみること。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	図書館情報技術論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Service Technology				講義形態	講義
担当教員	田村 拓郎					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	近年の情報機器の多様化や進歩には目覚ましいものがある。図書館においても CD、DVD、コンピュータソフトなどの多様なメディアやコンピュータに代表される各種の情報機器が整備されてきている。また、これらの図書館資料にネットワーク情報資源を加えて、図書館情報資源としてとらえる必要がある。図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン、電子資料、コンピュータシステム等について解説し、利用法について学修する。 授業では、教員が各回の内容を教材や実演を通じて説明し、学生は指示された課題を実施しファイルにまとめて提出する。					
到達目標	1.図書館業務やサービスに必要な、情報機器やコンピュータシステムの知識を習得できる。 2.実際にコンピュータ等を利用し検索などができる。					
評価方法	課題提出状況(70%)、学習姿勢(30%)で評価する。					
使用教材	図書館情報技術論					
参考文献						
課題に対するフィードバック	課題発表を行い、受講生同士の質疑応答を行なう。					
オフィスアワー (研究室)	月曜日 4,5 限			メールアドレス (#→@)	tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	講義全体のガイダンス				
	該当到達目標	予習	シラバスを確認しておく。			0 時間
	1	復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・成績評価方法などを理解する。			0.5 時間
2	講義内容	コンピュータとネットワークの基礎				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間
3	講義内容	LAN の構成、プロトコル				
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。			1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間
4	講義内容	コンピュータシステムの管理				
	該当到達目標	予習	該当する部分の教科書を読んでおくこと。			0.5 時間
	1	復習	授業の課題の再確認を行い、発表の準備をする。			1 時間
5	講義内容	データベースの仕組み				
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。			1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。			2 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	図書館業務システムの仕組み		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
7	講義内容	図書館における情報技術活用の現状		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
8	講義内容	電子資料		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
9	講義内容	電子資料の管理技術		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
10	講義内容	電子図書館とデジタルアーカイブ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
11	講義内容	情報技術と社会		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
12	講義内容	インターネットと図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
13	講義内容	最新の情報技術と図書館		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
14	講義内容	Web2.0 と Library2.0		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
15	講義内容	展望、まとめ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	4 時間
合計時間(予習・復習)				42.5 時間
備考	予習・復習の時間は参考程度であり、自らの習熟状況をふまえ必要に応じ各自で補完すること。			

科目名	図書館サービス概論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Services				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	図書館サービスの考え方を理解し、様々なサービスを展開する上での知識と技術を学びます。 授業は、教科書と教員の作成するプリントを使って説明します。パワーポイントによる図の提示を行います。					
到達目標	1.公共図書館が行っている様々なサービスの意義を理解する■ 2.住民を支援するサービス展開ができる知識と技術を習得する■ 3.課題解決型サービスを理解する■ 4.アウトリーチサービスを理解する■ 5.学校図書館・類縁機関等との連携を理解する■					
評価方法	筆記試験 80% レポート課題(1 回)・小テスト 20% 総合評価 60%以上を合格とする					
使用教材	『図書館サービス概論』 高山 正也・村上篤太郎 編著 樹村房 2019 年 2000 円					
参考文献	『図書館情報学基礎資料』今まど子・小山 憲司編著 樹村房 2019 年 1000 円 『図書館のめざすもの』 竹内愼著 日本図書館協会 2014 年 『生きるための図書館』(岩波新書) 竹内愼著 岩波書店 2019 年 780 円					
課題に対するフィードバック	提出課題にコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限(研究室 1 号館 5 階 509)			メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 図書館サービスの理念				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p9 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	「図書館員の倫理綱」「図書館法」「ユネスコ公共図書館宣言」を復習する			1.5 時間
2	講義内容	図書館サービスの意義				
	該当到達目標	予習	教科書 p10～p22 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	「ランガナータン 5 法則」を復習する			1.5 時間
3	講義内容	図書館サービスの変遷(1)				
	該当到達目標	予習	教科 p23～p32 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	『市民の図書館』について調べる			1.5 時間
4	講義内容	図書館サービスの変遷(2)				
	該当到達目標	予習	教科書 p33～p43 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	「公貸権」を調べる			1.5 時間
5	講義内容	図書館サービスの種類と方法				
	該当到達目標	予習	教科書 p44～p56 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2,4	復習	図書館サービスの種類と方法を理解する			1.5 時間
6	講義内容	資料提供サービス 相互貸借の実際■				
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p79 を読んでおくこと			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2,5	復習	相互貸借のしくみを理解する	1.5 時間
7	講義内容	情報提供サービス■		
	該当到達目標	予習	教科書 p80～p95 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	情報提供サービスをまとめる	1.5 時間
8	講義内容	利用対象別サービス(1) ビジネス支援サービスの実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p96～p117 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	利用対象者別サービスを理解する	1.5 時間
9	講義内容	利用対象別サービス(2) 多文化サービスの実際■アウトリーチサービスの実際■		
	該当到達目標	予習	教科書 p96～p117 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	障害者サービスの種類をまとめる	1.5 時間
10	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p118～p127 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,	復習	各自近隣の図書館と書店に出向き、掲示やサインについてレポートすること	4.5 時間
11	講義内容	図書館サービスとコミュニケーション(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p128～p133 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,	復習	コミュニケーションをとるべき関係機関、類縁機関等を一覧にする	1.5 時間
12	講義内容	図書館サービスと著作権 学校図書館と著作権■		
	該当到達目標	予習	教科書 p134～p151 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3	復習	司書として想定できる著作権の設問を3つ作成し提出	1.5 時間
13	講義内容	図書館サービスの協力と連携■		
	該当到達目標	予習	教科書 p152～p174 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	学校支援サービスについてまとめる	1.5 時間
14	講義内容	図書館サービスの課題と展望 および 資料保存について■		
	該当到達目標	予習	教科書 p175～p186 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	資料保存に筆余蘊ことをまとめる	1.5 時間
15	講義内容	図書館サービスと図書館員の心得 まとめ		
	該当到達目標	予習	嘗て、図書館が破壊されたり、資料が焼かれたりした事実を調べて提出	1.5 時間
	1	復習	「図書館員の倫理綱」「図書館法」「ユネスコ公共図書館宣言」「アメリカ社会に役立つ図書館の12か条」を読む	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				48 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報サービス論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Information Services				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	図書館には、人々が様々な目的で訪れます。教養や趣味で生活を豊かにという方もいれば、必要な情報を得たい方もいます。商店開業・仕事の調べものなどのビジネス、まちおこし、出産・育児、闘病・介護、障害、多文化、災害、貧困など図書館が情報サポートする場面は多岐にわたっています。図書館が蓄積した知は市井の人々を支援する情報基盤です。この授業では、利用者と情報を結びつける図書館員の専門的な役割を扱います。 授業は、教科書と教員の作成するプリントを使って説明します。パワーポイントによる図の提示を行います。					
到達目標	1.図書館における情報サービスの意義を理解する 2.情報サービスの種類と内容を理解する 3.各種情報源の特徴と利用法を理解する■ 4.レファレンスサービスにおける回答の方法を学び、実践的に対応できるようになる■ 5.発信型情報サービスの意義を理解する■					
評価方法	筆記試験 80% 課題・小テスト 20% 総合評価 60%以上を合格とする					
使用教材	『情報サービス論』 山口真也[ほか]編著 ミネルヴァ書房 2018 年 2,800 円					
参考文献	『情報サービス論』山崎久道編 樹村房 2019 年 『情報サービス論』竹之内禎編著 学文社 2013 年 『夜明けの図書館 1～5』 埜納タオ著 双葉社 2011 年～2017 年 『レファレンスサービス』 長澤雅男著 丸善 1995 年					
課題に対するフィードバック	小テストにコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限(研究室 1 号館 5 階 509)		メールアドレス (#→@)		ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報社会と図書館の情報サービス				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p11 を読んでおくこと			1.5 時間
	1	復習	p12～p14 コラムを読んで意見を提出する			1.5 時間
2	講義内容	図書館における情報サービスの種類				
	該当到達目標	予習	教科書 p15～p41 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	p42～p44 のコラムを読んで意見を提出する			1.5 時間
3	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(1)レファレンスサービスの定義・種類				
	該当到達目標	予習	教科書 p45～p57 を読んでおくこと			1.5 時間
	1,2	復習	図書館の館種とそれぞれに重視される情報サービスを理解する			1.5 時間
4	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(2)レファレンスサービスの機能・情報探索行動				
	該当到達目標	予習	教科書 p58～p65 を読んでおくこと			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	次世代 OPAC の特徴を理解する	1.5 時間
5	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(3)レファレンスプロセス・レファレンスインタビュー■		
	該当到達目標	予習	教科書 p66～p97 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンスプロセスを理解する	1.5 時間
6	講義内容	レファレンスサービスの理論と実践(4)レファレンスライブラリアン・コレクション・思考ツール■		
	該当到達目標	予習	教科書 p98～p121 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	デジタルレファレンスサービスの種類と機能を理解する	1.5 時間
7	講義内容	ブックリストをつくってみよう(1)		
	該当到達目標	予習	「健康」「福祉」をキーワードにブックリストのテーマを考えておく	1.5 時間
	1,2,5	復習	テーマに合う図書をグレードや内容によってグルーピングしておく	1.5 時間
8	講義内容	ブックリストをつくってみよう(2)発表		
	該当到達目標	予習	テーマに沿ったブックリストを制作する	3 時間
	1,2,5	復習		0 時間
9	講義内容	情報検索の理論と方法■		
	該当到達目標	予習	教科書 p122～p142 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	自由語検索と統制語検索を理解する	1.5 時間
10	講義内容	各種情報源の特質と利用法(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p143～p150 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	事実調査の種類と特性を理解する	1.5 時間
11	講義内容	各種情報源の特質と利用法(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p151～p166 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	文献調査の情報源を確認する	1.5 時間
12	講義内容	各種情報源の特質と利用法(3)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p167～p203 を読んでおくこと	1.5 時間
	3,4	復習	各種情報源の特質と利用法の概要を理解する	1.5 時間
13	講義内容	発信型情報サービス&著作権■		
	該当到達目標	予習	教科書 p204～p218 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	発信型情報サービスの種類を理解する	1.5 時間
14	講義内容	利用教育・情報リテラシー教育の展開、学校図書館利用教育■		
	該当到達目標	予習	教科書 p219～p228 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	探求学習の過程における学校図書館の情報サービスを確認する	1.5 時間
15	講義内容	これからの情報サービス担当者としての役割		
	該当到達目標	予習	教科書 p229～p237 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,5	復習	レファレンスサービスと利用者サービスの担当者の条件を確認する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	児童サービス論(司書)			科目ナンバリング	—
英文名	Library Service for Children			講義形態	講義
担当教員	小柳 聡美				
科目に関連した実務経験	学校図書館司書として公立小中学校に勤務(経験) 教務職員として進学塾に勤務(経験)				
学年・開講期	2 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位		
種別	司書科目				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養	—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能	—	生涯学習力	
	—	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	児童サービス(対象は乳幼児からヤングアダルトまで)の概要と意義、担当者の専門的職務、歴史的変遷と発展内容、児童資料の特色と選択、発達と学習への「読書」の役割、児童コレクションの形成と管理、さらにヤングアダルトサービスの概要と資料の特色を認識する。 生涯学習の一環としての児童サービスの重要性を理解するとともに、どのようにすれば子ども達に読書の楽しさと喜びを伝えられるかについて学ぶ授業です。特に各自がオリジナルの図書館案内を作成することによって、児童サービスの内容を認識でき、キャリアプランへの構築へと繋がります。				
到達目標	1.公共図書館における児童サービスの重要性を理解する。 2.児童資料の類型について理解し、選択・評価できる。 3.公共図書館を利用する児童のニーズを理解し、対応できる能力を身につける。■ 4.子どもと本を結びつけることの重要性を理解し、援助できる。				
評価方法	筆記試験 70%、オリジナル図書館案内(児童向け)の作成 20%、授業参加度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。				
使用教材					
参考文献	教科書『児童サービス論』JAL 図書館情報学テキストシリーズⅢ6 堀川照代 編著(日本図書館協会) ISBN978-4-8204-1315-8				
課題に対するフィードバック	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。				
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	児童サービスの概要と意義			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。		1.5 時間
		1	復習	教科書 p.9～p.18 を読む。	
2	講義内容	児童サービス担当者の専門的職務			
	該当到達目標	予習	教科書 p.19～p.39 に目を通す。		1.5 時間
		1	復習	児童サービス担当者の専門性を理解する。 教科書 p.255～p.261 を読む。	
3	講義内容	児童資料の類型			
	該当到達目標	予習	教科書 p.40～p.42 に目を通す。		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	児童資料の形態と内容を理解する。	1.5 時間
4	講義内容	児童資料の特色と選択 1 絵本の種類とグレード		
	該当到達目標	予習	教科書 p.43～p.48 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	学んだ種類の絵本を、図書館等で探し、読む。	1.5 時間
5	講義内容	児童資料の特色と選択 2 児童文学・創作児童文学、昔話・伝承文学、詩		
	該当到達目標	予習	教科書 p.49～p.58 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	紹介された作品の中から1作品を選び、読む。	1.5 時間
6	講義内容	児童資料の特色と選択 3 ノンフィクション、レファレンスブック		
	該当到達目標	予習	教科書 p.59～p.79 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	レファレンスブックとは何か理解する。 図書館においてレファレンスブックの位置を確認する。	1.5 時間
7	講義内容	児童資料の特色と選択 4 児童資料の出版と流通		
	該当到達目標	予習	児童資料に限らず、現在の出版と流通について調べておく。	1.5 時間
	1,2	復習	児童資料の出版と流通について理解する。	1.5 時間
8	講義内容	児童資料の特色と選択 5 児童コレクションの形成と評価		
	該当到達目標	予習	教科書 p.80～p.92 に目を通す。	1.5 時間
	1,2	復習	児童コレクションの形成について理解し、評価できるようにする。	1.5 時間
9	講義内容	児童サービスの業務 1 資料提供サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.93～p.98 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	資料提供サービスについて理解する。	1.5 時間
10	講義内容	児童サービスの業務 2 情報サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.99～p.104 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	情報サービスについて理解する。	1.5 時間
11	講義内容	児童サービスの業務 3 乳幼児サービス		
	該当到達目標	予習	教科書の p.174～p.188 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	乳幼児サービスについて理解する。	1.5 時間
12	講義内容	児童サービスの方法・技術(読み聞かせとストーリーテリング)■		
	該当到達目標	予習	教科書の p.155～p.173 に目を通す。	1.5 時間
	1,3,4	復習	次週、読み聞かせの実践で使用する絵本(1～3 冊)と、ストーリーテリングしてみたい作品を選ぶ。	1.5 時間
13	講義内容	絵本読み聞かせ指導■		
	該当到達目標	予習	選んだ絵本、作品を読む練習をする。	1.5 時間
	1,4	復習	読み聞かせの方法について理解する。	1.5 時間
14	講義内容	ヤングアダルトサービスの概要と資料の特色		
	該当到達目標	予習	教科書 p.189～p.207 に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	ヤングアダルトサービスとは何か理解する。	1.5 時間
15	講義内容	児童サービス対象者向けオリジナル図書館案内の提出・発表		
	該当到達目標	予習	図書館案内の作成。	1.5 時間
	1,3	復習	全講義の振り返り。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	近隣の公共図書館を来館し、現在の児童サービスの現状を実際に見聞して来てください。			

	■:実務経験に基づく内容を示します。

科目名		情報サービス演習(司書)		科目ナンバリング	—
英文名		Practicum of Information Retrieval		講義形態	講義
担当教員		太田 克子、田村 拓郎			
科目に関連した実務経験		(太田)司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)			
学年・開講期		3 年 通年	選必・単位数	選択	4 単位
種別		司書科目			
学位授与方針との対応		—	豊かな人間性と幅広い教養	—	コミュニケーションスキル
		—	健康・医療および情報に関する知識・技能	—	生涯学習力
		—	問題解決力		
講義概要 (テーマ・内容)		情報サービスの組織化、情報源整備、情報源の評価、情報検索の実際、レファレンス質問への対応、発信型情報サービスについて、公共図書館職員の実務を想定した課題に取り組みながら学びます。また、学校図書館における情報サービスの事例についても紹介します。レファレンスツールの適切な活用法を身につけます。 授業では、本学の図書館で実際にレファレンスブックを使って、事例課題についての資料探索を体験するほか、各自行った事前課題についてグループで検討し、成果発表による学修の共有を行います。毎回課題を出しますので、本学図書館や公共図書館等を利用して取り組んでください。			
到達目標		1.蓄積された大量の情報の中から必要な情報を迅速・的確に検索する技能を習得する■ 2.情報サービスの組織化、情報源の評価や整備、発信型情報サービスについて、演習を通して体験し、実務をイメージできるようになる 3.基本的なレファレンスブックの特徴を把握し、レファレンス質問の内容に合わせて選択することができる■ 4.各種のレファレンスブックについて、索引などを活用して探索ができる■ 5.レファレンス質問をめぐる図書館利用者とのコミュニケーションの基本を理解する■ 6.レファレンス質問処理の記録を作成、活用できる■			
評価方法		毎回の課題 85%、授業中のグループ活動等貢献度 15%、総合評価 60%以上を合格とする。			
使用教材		配付資料			
参考文献		『レファレンスブックス』 長澤雅男・石黒祐子共著 日本図書館協会 2016			
課題に対するフィードバック		(太田)課題にコメントをつけて返却する (田村)課題発表を行い、受講生同士の質疑応答を行なう。			
オフィスアワー (研究室)		(太田) 水曜日 3 限(1 号館 5 階 509 研究室) (田村) 月曜日 4,5 限	メールアドレス (#→@)	(太田) ota-y#takasaki-u.ac.jp (田村) tamura-t#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報検索の基礎知識■			
	該当到達目標	予習	図書館におけるレファレンスサービスとは何か調べておく		1.5 時間
	2,3,4,6	復習	レファレンス質問処理記録の取り方を理解する		1.5 時間
2	講義内容	レファレンスブックによる調査の基本■			
	該当到達目標	予習	レファレンスプロセス、保守理論、中間理論、自由理論を理解する		1.5 時間
	2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる		1.5 時間
3	講義内容	言葉・文字の情報を探す■			
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する		1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる		1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

4	講義内容	事物・事柄の情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる	1.5 時間
5	講義内容	展示コーナーのプレゼンテーション■		
	該当到達目標	予習	利用者を設定し展示コーナーの企画を立てる。授業には展示する図書を持参して臨む。	3.0 時間
	2	復習		0 時間
6	講義内容	歴史・日時の情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる	1.5 時間
7	講義内容	地名・地理・地図の情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる	1.5 時間
8	講義内容	POPの発表■		
	該当到達目標	予習	各自紹介したいレファレンスブックをPOPにして提出する	3.0 時間
	2	復習		0 時間
9	講義内容	人物・団体情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる	1.5 時間
10	講義内容	新聞・雑誌・郷土資料・書誌情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	レファレンス課題に回答の方針を立てる	1.5 時間
11	講義内容	白書・統計・法情報を探す■		
	該当到達目標	予習	レファレンス課題と評価課題を作成提出する	1.5 時間
	1,2,3,4,6	復習	白書・統計・法情報のURLをまとめる	1.5 時間
12	講義内容	実際のレファレンスインタビューを想定してシナリオを考える■		
	該当到達目標	予習	レファレンスをするときの利用者の心理を想定して考えること	1.5 時間
	5	復習	実際のレファレンスインタビューを想定して実演し、動画制作をする	1.5 時間
13	講義内容	実際のレファレンスインタビューを想定して実演・発表する■		
	該当到達目標	予習	実際のレファレンスインタビューを想定して実演し、動画で提出する	2.5 時間
	5	復習	レファレンスを受ける図書館員の期待される姿をまとめる	0.5 時間
14	講義内容	情報サービス(レフェラルサービス・メールマガジン・パスファインダー等)、事例を紹介する■		
	該当到達目標	予習	利用者の立場でどのような発信型情報サービスを受けたいか考えてくること	0.5 時間
	1,2,3,4,5,6	復習	図書館として情報を必要とする人に対する企画を具体的にミニレポートにする	2.5 時間
15	講義内容	パスファインダーの発表■		
	該当到達目標	予習	パスファインダー制作して提出する	0.5 時間
	1,2,3	復習	情報サービスを通して、利用者も図書館員も育つ図書館の姿を考えること	0.5 時間
16	講義内容	情報検索の概要		
	該当到達目標	予習	特になし	0 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
17	講義内容	情報検索システムの基本機能		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
18	講義内容	OPACによる検索の実際		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
19	講義内容	主要なサーチエンジンの概要		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
20	講義内容	サーチエンジンによる検索の実際		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
21	講義内容	シソーラスの利用		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
22	講義内容	検索システムの仕組み		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
23	講義内容	論文検索の概要		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
24	講義内容	検索システムの仕組み 2		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
25	講義内容	論文検索の概要		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
26	講義内容	論文検索		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
27	講義内容	論文検索の実際		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
28	講義内容	論文検索の実際 2		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
29	講義内容	論文検索の実際 3		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	2	復習	授業の課題を行い、発表資料の作成を行う。	2 時間
30	講義内容	講義のまとめ		
	該当到達目標	予習	課題の発表の準備をする。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関する課題を行い提出すること。	4 時間
合計時間(予習・復習)				90 時間
備考	この科目は「情報サービス論」を履修していなければ受講できません この科目は課題提出等で基本的なパソコンの操作が必要です。各自で習得しておいてください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	図書館情報資源概論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Information Resources				講義形態	講義
担当教員	斎藤 順二					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 前期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	高度情報化社会の進展に伴い、図書館環境も大きく変わりつつある。ここでは、印刷資料・非印刷資料・電子資料とネットワーク情報資源について、類型と特質、選択・収集・保存等、図書館業務に必要な情報資源に関する知識の基本について理解できることを目標にする。 授業では、テキストを單元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。					
到達目標	1.多様化する図書館情報資源(印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 2.多様化する図書館情報資源(非印刷メディア)の有効活用を考えることができる。 3.多様化する図書館情報資源(電子メディア)の有効活用を考えることができる。					
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材	馬場俊明編著『図書館情報資源概論』(日本図書館協会)定価(1,900 円+税)					
参考文献						
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点・評価して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	図書館情報資源の意義				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT1 に目を通す。			1 時間
	1,2,3	復習	図書館情報資源の定義と類型について理解する。			1.5 時間
2	講義内容	図書館情報資源と図書館の自由				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT2 に目を通す。			1 時間
	1,2,3	復習	表現の自由と検閲の問題を理解する。			1.5 時間
3	講義内容	印刷資料の類型と特質				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT3 に目を通す。			1 時間
	1	復習	図書・雑誌・新聞の特質を理解する。			1.5 時間
4	講義内容	非印刷資料の類型と特質				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT4 に目を通す。			1 時間
	3	復習	映像・音声資料の特質を理解する。			1.5 時間
5	講義内容	電子資料の類型と特質				
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT5 に目を通す。			1 時間
	3	復習	電子メディアの特質を理解する。			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

6	講義内容	ネットワーク情報資源の類型と特質		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT6 に目を通す。	1 時間
	3	復習	通信メディアの特質を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	地域資料・行政資料		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT7 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	政府刊行物・灰色文献についても理解する。	1.5 時間
8	講義内容	情報資源の生産(出版)と流通		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT8 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	主な出版社の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	図書館業務と情報資源に関する知識		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT9 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	主な著者の基本的な知識を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	コレクション形成の理論		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT10 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	資料の選択・収集について理解する。	1.5 時間
11	講義内容	コレクション形成の方法		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT11 に目を通す。	1 時間
	3	復習	選択ツールの利用・選定を理解する	1.5 時間
12	講義内容	人文・社会科学分野の情報資源とその特性		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT12 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	科学技術・生活分野の情報資源とその特性		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT13 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	各分野の情報資源を理解する。	1.5 時間
14	講義内容	資料の受入・除籍・保存・管理		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT14 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	資料の補修・配架・展示・点検等も理解する。	1.5 時間
15	講義内容	学習の整理と展望		
	該当到達目標	予習	教科書の UNIT15 に目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	近未来の図書館構想も視野に入れて理解を深める。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				37.5 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。			

科目名	情報資源組織論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Introduction to Library Information Resources Organization				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センターにて教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	1 年 後期	選必・単位数	選択 2 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	図書館には膨大かつ多種多様な情報資源が備わっています。それらに利用者がアクセスするには、情報資源を一定のルールに従って分類し、整理し、保存され、その仕組みが維持されていなければなりません。いかなる利用者も目的の資料に迅速かつ的確に辿り着ける仕組みは、情報資源の組織化にかかっています。その図書館の根幹に関わる技術の意義と機能を理解します。 授業は、教科書を使って説明する。パワーポイントによる図の提示を行っていく。					
到達目標	1.情報資源を組織化する意義を理解する■ 2.記述目録法を理解する■ 3.主題目録法(分類・件名)を理解する■ 4.その他、図書記号の付与、排架等組織化に関する技術を理解する■					
評価方法	筆記試験 90% 小テスト 10% 総合評価 60%以上を合格とする					
使用教材	『情報資源組織法』 志保田務ほか編著 第一法規 2016 年 2,600 円 『日本十進分類法 新訂 10 版簡易版』 もりきよし原編 日本図書館協会 2018 年 3,000 円					
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年					
課題に対するフィードバック	小テストにコメントを付けて返却する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限(研究室 1 号館 5 階 509)			メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 情報資源組織化の意義				
	該当到達目標 1	予習	教科書 p1～p33 を読んでおくこと			1.5 時間
		復習	教科書 p.7 の受入の流れを理解すること			1.5 時間
2	講義内容	目録法総論・書誌コントロール				
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 p35～p45 を読んでおくこと			1.5 時間
		復習	書誌コントロールを解説するミニレポートを作成する			1.5 時間
3	講義内容	和資料記入の作成(単行書誌)■				
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 p47～p66 を読んでおくこと			1.5 時間
		復習	課題の単行レベルの記述をすること			1.5 時間
4	講義内容	和資料記入の作成(書誌階層)■				
	該当到達目標 1,2	予習	教科書 p66～p99 を読んでおくこと			1.5 時間
		復習	課題の単行レベル・集合レベル・構成レベルの記述すること			1.5 時間
5	講義内容	和資料記入の作成(復習・小テスト)■				
	該当到達目標	予習	教科書 p1～p99 を読んでおくこと			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1,2	復習	復習課題の目録記述をすること	1.5 時間
6	講義内容	和資料記入の作成(逐次刊行物・その他の資料)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p99～p118 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	逐次刊行物課題の目録記述をすること	1.5 時間
7	講義内容	アクセスポイント(著者)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p118～p132 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	アクセスポイント(著者)についての規定を理解すること	1.5 時間
8	講義内容	アクセスポイント(タイトル)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p118～p132 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	アクセスポイント(タイトル)についての規定を理解すること	1.5 時間
9	講義内容	洋資料記入の作成 外国語資料の収集・整備に触れる■		
	該当到達目標	予習	教科書 p133～p161 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2	復習	出版社と注記の記述を理解すること	1.5 時間
10	講義内容	主題目録法(件名と分類記号)■		
	該当到達目標	予習	教科書 p163～p180 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	書架分類と書誌分類の特徴を理解する	1.5 時間
11	講義内容	日本十進分類法		
	該当到達目標	予習	教科書 p181～p193 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	海外の主要分類表の特徴を理解する 日本十進分類表の問題点をまとめる	1.5 時間
12	講義内容	分類作業■		
	該当到達目標	予習	教科書 p193～p202 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	分類表第2次区分を覚えること	1.5 時間
13	講義内容	分類規定■		
	該当到達目標	予習	教科書 p202～p256 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,3	復習	分類規定を理解する	1.5 時間
14	講義内容	図書記号の付与と排架並びに図書以外の資料の保存 公共図書館学校図書館の事例■		
	該当到達目標	予習	教科書 p257～p267 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,4	復習	図書記号の付与と排架について理解する	1.5 時間
15	講義内容	ネットワーク情報資源の組織化とネットワーク		
	該当到達目標	予習	教科書の p267～p277 を読んでおくこと	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	ネットワーク情報資源について理解する	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				45 時間
備考	■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	情報資源組織演習(司書)				科目 ナンバリング	—
英文名	Library Information Resources Organization Practice				講義形態	講義
担当教員	太田 克子					
科目に関連した 実務経験	司書として県立図書館に勤務(経験)、学校司書として県立高校に勤務(経験) 司書として県総合教育センター教育専門図書館を担当(経験)					
学年・開講期	2 年 通年	選必・単位数	選択 4 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針 との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	図書館の実際の業務を想定して、情報資源の組織化に関する演習を行う。利用者が資料・情報に迅速かつ的確に辿り着けるように、多様な情報資源の組織化を行うための実践的なスキルを習得する。 多様なメディア(視聴覚資料、地図、紙芝居、楽譜、灰色文献等)の記述にも触れる。 受講生には、毎回課題の解答を板書して発表してもらう。特に分類作業については、グループで主題分析の検討をした結果を説明してもらう。この過程を通して利用者の資料・情報探索のニーズを考え、図書館の対応のあり方を考える 授業の進め方については、前半は、教科書を使って要点をまとめていく。後半は演習問題の解答合わせをする。					
到達目標	1.『日本目録規則』(NCR)に準拠し情報資源の目録記述ができる。■ 2.アクセスポイントの排列ができる。■ 3.『日本十進分類法』(NDC)と『基本件名標目表』(BSH)に準拠し、その使い方を習得し、情報資源の主題分析ができ、分類記号付与、件名付与ができる。■ 4.請求記号を付与できる。■					
評価方法	試験 90% 小テスト・授業貢献度等 10% 総合評価 60%以上を合格					
使用教材	『目録法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2016 年 1,500 円 『分類法キイノート』 宮沢厚雄著 樹村房 2019 年 1,500 円 『日本十進分類法 新訂 10 版簡易版』 もりきよし原編 日本図書館協会 2018 年 3,000 円					
参考文献	『日本目録規則 2018 年版』 日本図書館協会 2018 年 『日本目録規則 1987年版改訂 3 版』 日本図書館協会 2006 年 『日本十進分類法 新訂 10 版』 もりきよし原著 日本図書館協会 2015 年 『基本件名標目表 第 4 版』 日本図書館協会 1999 年					
課題に対する フィードバック	小テストを添削して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	水曜日 3 限(研究室 1 号館 5 階 509)			メールアドレス (#→@)	ota-y#takasaki-u.ac.jp	
1	講義内容	オリエンテーション 目録の意義 目録の種類について事例を紹介する■				
	該当到達目標 1	予習	教科書『目録法キイノート』の第 1 章を読んでおくこと			1.5 時間
		復習	目録の種類と書誌の種類をまとめる			1.5 時間
2	講義内容	日本目録規則■				
	該当到達目標 1	予習	教科書『目録法キイノート』の第 2 章を読んで問題を解いておくこと			1.5 時間
		復習	書誌事項のエリアを把握する 記述の情報源の優先順をまとめる			1.5 時間
3	講義内容	タイトルと責任表示(1)■				
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第 3 章を読んで問題を解いておくこと			1.5 時間

令和2年度 医療情報学科 シラバス

	1	復習	責任表示の役割を調べる	1.5 時間
4	講義内容	タイトルと責任表示(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第4章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	部編名、別タイトル、複数作品を収録する図書についてまとめる	1.5 時間
5	講義内容	タイトルと責任表示に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第5章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p25～p27を復習する	1.5 時間
6	講義内容	版表示、出版・頒布等の事項■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第6章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	版と刷、出版地についてまとめる	1.5 時間
7	講義内容	形態、注記、ISBN■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第7章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p34～p38を復習する	1.5 時間
8	講義内容	単行書に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第8章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p41～p45を復習する	1.5 時間
9	講義内容	書誌単位(1)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第9章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位と集合単位について復習する	1.5 時間
10	講義内容	書誌単位(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第10章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	シリーズものとセットものについて復習する	1.5 時間
11	講義内容	3層の書誌階層(1) 構成単位の例■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第11章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	単行(基礎)単位、集合単位、構成単位について復習する	1.5 時間
12	講義内容	3層の書誌階層(2)■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第12章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p76～p78を復習する	1.5 時間
13	講義内容	書誌単位に関する総合演習問題■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第13章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p83～p88を復習する	1.5 時間
14	講義内容	目録法に関する総合演習問題 雑誌・灰色文献・地図等の例■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第14章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1	復習	p94～p95をまとめる	1.5 時間
15	講義内容	見出し項目の選出と編成■		
	該当到達目標	予習	教科書『目録法キイノート』の第15章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	1,2	復習	第15章より、統一タイトルと排列のルールをまとめる	1.5 時間
16	講義内容	分類記号の位置づけと日本十進分類法■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第1・2章を読んでおくこと	1.5 時間
	3	復習	第1・2章より主要な図書館分類法についてまとめる	1.5 時間
17	講義内容	主題分析 本表の見方と階層構造■		
	該当到達目標	予習	教科書『分類法キイノート』の第3章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
	3	復習	第3章より本表の見方を理解する	1.5 時間
18	講義内容	主題分析 主題の特定と相関関係■		

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 3	予習	教科書『分類法キイノート』の第 4 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	第 4 章より分類記号付与の注意点をまとめる	1.5 時間
19	講義内容 該当到達目標 3	補助表 形式区分■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 5 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	教科書 p36～p37 を復習する	1.5 時間
20	講義内容 該当到達目標 3	補助表 地理区分・海洋区分■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 6 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	地理区分・日本地方区分・海洋区分を理解する	1.5 時間
21	講義内容 該当到達目標 3	補助表 言語区分・言語共通区分■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 6 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	地理区分と言語区分について p.48 を復習すること	1.5 時間
22	講義内容 該当到達目標 3	補助表 文学共通区分・地域的論述の細区分・その他の固有補助表■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 8 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	文学について、日本の時代区分と海外の時代区分をまとめて表にすること	1.5 時間
23	講義内容 該当到達目標 3	補助表に関する演習問題■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 9 章の問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p.63 を復習すること	1.5 時間
24	講義内容 該当到達目標 3	分類規程 複数主題(対等と相互作用)■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 10 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p67～p70 を復習すること	1.5 時間
25	講義内容 該当到達目標 3	分類規程 複数主題(重点処置)■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 11 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p82～p83 を復習すること	1.5 時間
26	講義内容 該当到達目標 3	分類規程 伝記■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 12 章を読んで問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p84～p87 を復習すること	1.5 時間
27	講義内容 該当到達目標 3	分類規程に関する演習問題 館種による分類について■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 13 章の問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p.90 の分類法の心得 25 選を復習すること	1.5 時間
28	講義内容 該当到達目標 3	分類法に関する演習問題■		
		予習	教科書『分類法キイノート』の第 14 章の問題を解いておくこと	1.5 時間
		復習	p.98 の問題を復習すること	1.5 時間
29	講義内容 該当到達目標 3,4	所在記号 件名 多様な館種の請求記号の事例を紹介しながらイメージできるようにする■		
		予習	最寄りの公共図書館に出向いて、所在記号や別置記号にどんなものがあるか、まとめておく	1.5 時間
		復習	教科書『分類法キイノート』の第 15 章を読んで復習すること	1.5 時間
30	講義内容 該当到達目標 1,2,3,4	まとめ 情報資源組織化の意義		
		予習	情報資源組織化の意義を考えること	1.5 時間
		復習	情報資源組織化の意義をまとめる	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				90 時間
備考	この科目は「情報資源組織論」を履修していなければ受講できません。 『日本十進分類法第 10 版』第 2 区分表を必ず覚えてから受講してください。 各章の演習問題を解いて授業に臨んでください。 ■:実務経験に基づく内容を示す。			

科目名	図書館サービス特論(司書)			科目ナンバリング	—
英文名	Lecture on Library Services			講義形態	講義
担当教員	小柳 聡美				
科目に関連した実務経験	学校図書館司書として公立小中学校に勤務(経験) 教務職員として進学塾に勤務(経験)				
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位		
種別	司書科目				
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力
	—	問題解決力			
講義概要 (テーマ・内容)	司書資格取得必修科目で学んだ内容を実際に司書業務の中に活かすには、カウンターサービス並びにフロアワークに必要なコミュニケーション能力を伸ばすことが不可欠である。特に日本人に固有なノンバーバル・コミュニケーションの理解と将来の超高齢化・少子化を考慮しながらのコミュニケーション能力の育成により、生涯学習としての図書館利用を促せるサービス環境の構築を目指す。 第 2 回の授業より、導入で前回の講義内容を 400 字にまとめて発表してもらう。				
到達目標	1.対人業務に必要なコミュニケーション能力を学び、その能力を具体的に修得できる。■ 2.コミュニケーションの定義を正確に理解する。 3.多種多様な利用者に対し、円滑なコミュニケーションが実現できる対応力を身につける。■				
評価方法	筆記試験 70%、授業時間内提出物 20%、授業参加度 10%で評価する。 総合評価 60%以上を合格とする。なお詳しい評価基準は、初回講義時に提示する。				
使用教材	教科書『コミュニケーション学入門』大田信男(大修館書店) ISBN4-469-21186-9				
参考文献					
課題に対するフィードバック	提出物は講義内で発表時間を設け、講評する。 筆記試験の意図は、第 1 回の講義で説明する。				
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じます。		メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示します。	
1	講義内容	コミュニケーションの必要性			
	該当到達目標	予習	シラバスの内容を読んで講義の目標などを理解する。 なぜ司書資格を取得しようと考えたか、という点を交えて自己紹介が出来るようにしておく。		2 時間
	1,2	復習	教科書第 1 章を読み、コミュニケーションとは何かを理解する。		2 時間
2	講義内容	ノンバーバル・コミュニケーションのメッセージ性			
	該当到達目標	予習	教科書第 3 章に目を通す。		2 時間
	1,2	復習	バーバル・コミュニケーション、ノンバーバル・コミュニケーションとは何か理解する。		2 時間
3	講義内容	マス・コミュニケーションと社会			
	該当到達目標	予習	教科書第 5 章に目を通す。		1.5 時間
	1	復習	マス・コミュニケーション、マス・メディアとは何か理解する。		2 時間
4	講義内容	若者文化とコミュニケーション			

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標	予習	教科書第 9 章に目を通す。	1.5 時間
	1,3	復習	(現在「若者」である)自分にとっての若者文化とは何か考察する。	2 時間
5	講義内容	図書館サービスとコミュニケーションの関係		
	該当到達目標	予習	図書館における自身の「コミュニケーション」体験について発表できるように準備しておく。	1.5 時間
	1,4	復習	図書館において必要なコミュニケーションとは何か考察する。	1.5 時間
6	講義内容	カウンターサービスとフロアワークの目的と意義■		
	該当到達目標	予習	教科書第 4 章に目を通す。	1.5 時間
	1,4	復習	カウンターサービス、フロアワークとは何か、違いも含めて理解する。	1.5 時間
7	講義内容	情報化の進展と図書館サービス		
	該当到達目標	予習	教科書 11, 12 章に目を通す。	2 時間
	1	復習	図書館における情報化の必要性について理解する。	2 時間
8	講義内容	「モノ」と「コト」に付けられた「名前」		
	該当到達目標	予習	教科書第 2 章に目を通す。	2 時間
	1	復習	全講義の振り返り。	2 時間
合計時間(予習・復習)				29 時間
備考	キーワード:「ノンバーバル・コミュニケーション」「フロアワーク」「カウンターサービス」「生涯学習」 ■:実務経験に基づく内容を示します。			

科目名	図書館情報資源特論(司書)				科目ナンバリング	—
英文名	Lecture on Library Information Resources				講義形態	講義
担当教員	斎藤 順二					
科目に関連した実務経験						
学年・開講期	3 年 後期	選必・単位数	選択 1 単位			
種別	司書科目					
学位授与方針との対応	—	豊かな人間性と幅広い教養		—	コミュニケーションスキル	
	—	健康・医療および情報に関する知識・技能		—	生涯学習力	
	—	問題解決力				
講義概要 (テーマ・内容)	「図書館情報資源概論」で学んだ内容をさらに発展的に学習し理解を深める観点から、図書館情報資源に関する領域の課題を選択し、高度化・多様化する利用者のニーズに応えられることを目標にする。 授業では、テキストを単元ごとに読解し要約する。また「日本の名作」の朗読 CD を補助教材として使用する。					
到達目標	1.各分野の情報資源の特性を知る。 2.各分野の情報資源にアクセスできる。					
評価方法	まとめのミニレポート(各章の要約と朗読 CD の感想)15 回で 90%評価する。授業参加度を 10%加味する。総合評価 60%以上を合格とする。					
使用教材						
参考文献	『図書館情報資源概論』(継続使用)					
課題に対するフィードバック	まとめのミニレポートは毎回提出してもらい、次回採点評価して返却する。					
オフィスアワー (研究室)	質問には授業開始前もしくは終了後に教室等で応じる。			メールアドレス (#→@)	連絡手段は初回授業時に提示する。	
1	講義内容	資料特論(灰色文献)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT18 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	灰色文献にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
2	講義内容	資料特論(政府刊行物)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT19 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	政府刊行物にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
3	講義内容	資料特論(地域資料)				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT20 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	地域社会分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
4	講義内容	人文科学分野の情報資源				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT21 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	人文科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
5	講義内容	社会科学分野の情報資源				
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT22 に目を通す。			1 時間
	1,2	復習	社会科学分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。			1.5 時間
6	講義内容	科学技術分野の情報資源				

令和 2 年度 医療情報学科 シラバス

	該当到達目標 1,2	予習	教科書 UNIT28 に目を通す。	1 時間
		復習	科学技術分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
7	講義内容	生活分野の情報資源		
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT29 に目を通す。	1 時間
	1,2	復習	生活分野の情報資源にアクセスし、理解を深める。	1.5 時間
8	講義内容	NIE(教育に新聞を！)の活動報告		
	該当到達目標	予習	教科書 UNIT38 に目を通す。	1 時間
	1	復習	NIE 活動に参加し、新聞記事をスクラップにまとめる。	1.5 時間
合計時間(予習・復習)				20 時間
備考	記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完してください。			